

**2020年（令和2年）  
投資信託に関するアンケート調査  
（NISA、iDeCo等制度に関する調査）**

**報 告 書**

2021年3月



一般社団法人  
**投資信託協会**

# <目 次>

	ページ
<b>1. 調査計画の概要</b> .....	<b>5</b>
<b>2. 調査結果の要約</b> .....	<b>9</b>
<b>3. 回答者のプロフィール</b> .....	<b>27</b>
(1)性別・年代〔Q1〕〔Q2〕 .....	28
(2)職業〔Q3〕 .....	30
(3)20歳未満の親族の有無〔Q4①②〕 .....	32
(4)世帯年収、個人年収〔Q5①②〕 .....	34
(5)保有経験のある金融資産〔Q6①〕 .....	36
(6)現在保有している金融資産〔Q6②〕 .....	37
(7)投資信託/ETF/ジートの保有期間(各商品の現在保有者)〔Q7①②③〕 .....	38
<b>4. ETF、ジートの浸透状況、今後の購入意向</b> .....	<b>41</b>
(1)ETFの認知状況〔Q8①〕 .....	42
(2)ETFの特徴認知(ETF認知者)〔Q9①〕 .....	43
(3)ETFの魅力点、最魅力点〔Q9②③〕 .....	44
(4)ETFの不満点、最不満点(ETF内容認知者、保有経験者)〔Q10①②〕 .....	48
(5)ETF今後の購入・継続保有意向〔Q13①〕 .....	50
(6)ジートの認知状況〔Q8②〕 .....	52
(7)ジートの特徴認知(ジート認知者)〔Q11①〕 .....	53
(8)ジートの魅力点、最魅力点〔Q11②③〕 .....	54
(9)ジートの不満点、最不満点(ジート内容認知者、保有経験者)〔Q12①②〕 .....	58
(10)ジート今後の購入・継続保有意向〔Q13②〕 .....	60

## <目 次>

<b>5. NISAの浸透状況、今後の利用意向</b> .....	<b>62</b>
(1)NISAの認知〔Q14①〕 .....	63
(2)NISAの利用状況(制度認知者)〔Q15_1①〕 .....	64
(3)NISAでの保有金融商品(NISAでの現在金融商品保有者)〔Q16_1①〕 .....	65
(4)NISAでの積立投資実施状況(NISAでの現在金融商品保有者)〔Q17①〕 .....	66
(5)NISAの口座開設金融機関(NISAでの現在金融商品保有者)〔Q18①〕 .....	67
(6)NISA口座開設・金融商品未購入理由 (NISA口座開設・金融商品未購入層)〔Q19①〕 .....	68
(7)NISA口座未開設理由(NISA認知・口座未開設層)〔Q19①〕 .....	69
(8)NISA口座での金融商品購入検討のきっかけ (NISA口座開設・金融商品未購入層)〔Q20①〕 .....	70
(9)NISA口座開設検討のきっかけ(NISA認知・口座未開設層)〔Q20①〕 .....	71
(10)NISAの今後の利用意向〔Q21①〕 .....	72
(11)NISAでの投資方法意向(NISA今後利用意向者)〔Q23①〕 .....	73
(12)NISAでの月次積立投資希望額 (NISA毎月一定額積立投資意向層)〔Q24_1〕 .....	74
(13)NISAの制度改正の認知〔Q22_3〕 .....	75
<b>6. つみたてNISAの浸透状況、今後の利用意向</b> .....	<b>77</b>
(1)つみたてNISAの認知〔Q14②〕 .....	78
(2)つみたてNISAの利用状況(制度認知者)〔Q15_1②〕 .....	79
(3)つみたてNISAでの保有金融商品 (つみたてNISAでの現在金融商品保有者)〔Q16_2〕 .....	80
(4)つみたてNISAの口座開設金融機関 (つみたてNISAでの現在金融商品保有者)〔Q18②〕 .....	81
(5)つみたてNISA口座開設・金融商品未購入理由 (つみたてNISA口座開設・金融商品未購入層)〔Q19②〕 .....	82
(6)つみたてNISA口座未開設理由(つみたてNISA認知・口座未開設層)〔Q19②〕 .....	83
(7)つみたてNISAでの金融商品購入検討のきっかけ (つみたてNISA口座開設・金融商品未購入層)〔Q20②〕 .....	84
(8)つみたてNISAでの口座開設検討のきっかけ (つみたてNISA認知・口座未開設層)〔Q20②〕 .....	85
(9)つみたてNISAの今後の利用意向〔Q21②〕 .....	86
(10)つみたてNISAでの月次積立投資希望額 (つみたてNISA今後利用意向者)〔Q24_2〕 .....	87

## <目 次>

<b>7. ジュニアNISAの浸透状況、今後の利用意向</b> .....	<b>88</b>
* (10) 以外は20歳未満の親族がいる者ベース	
(1)ジュニアNISAの認知〔Q14③〕 .....	89
(2)ジュニアNISAの利用状況(制度認知者)〔Q15_1③〕 .....	90
(3)ジュニアNISAでの保有金融商品 (ジュニアNISAでの現在金融商品保有者)〔Q16_1②〕 .....	91
(4)ジュニアNISAでの積立投資実施状況 (ジュニアNISAでの現在金融商品保有者)〔Q17②〕 .....	92
(5)ジュニアNISAの口座開設金融機関 (ジュニアNISAでの現在金融商品保有者)〔Q18③〕 .....	93
(6)ジュニアNISA口座開設・金融商品未購入理由 (ジュニアNISA口座開設・金融商品未購入層)〔Q19③〕 .....	94
(7)ジュニアNISA口座未開設理由(ジュニアNISA認知・口座未開設層)〔Q19③〕 .....	95
(8)ジュニアNISA口座での金融商品購入検討のきっかけ (ジュニアNISA口座開設・金融商品未購入層)〔Q20③〕 .....	96
(9)ジュニアNISA口座開設検討のきっかけ (ジュニアNISA認知・口座未開設層)〔Q20③〕 .....	97
(10)ジュニアNISA終了・廃止の認知〔Q22_1〕 .....	98
(11)ジュニアNISAの今後の利用意向〔Q22_2〕 .....	99
(12)ジュニアNISAでの投資方法意向(ジュニアNISA今後利用意向者)〔Q23②〕 .....	100
(13)ジュニアNISAでの月次積立投資希望額 .....	101
(ジュニアNISA毎月一定額積立投資者)〔Q24_3〕	
<b>8. 企業型確定拠出年金の浸透状況、今後の利用意向</b> .....	<b>102</b>
* (1)以外は60歳未満の者ベース	
(1)企業型確定拠出年金の認知〔Q14④〕 .....	103
(2)企業型確定拠出年金の利用状況(制度認知者)〔Q15_2①〕 .....	104
(3)企業型確定拠出年金での保有金融商品 (企業型確定拠出年金での現在金融商品保有者)〔Q16_3①〕 .....	105
(4)企業型確定拠出年金のマッチング拠出実施状況 (企業型確定拠出年金での現在金融商品保有者)〔Q30〕 .....	107

## <目 次>

<b>9. 個人型確定拠出年金(iDeCo)の浸透状況、今後の利用意向</b> .....	<b>108</b>
*(1)(4)(10)以外は60歳未満の者ベース	
(1)個人型確定拠出年金の認知〔Q14⑤〕 .....	109
(2)個人型確定拠出年金の利用状況(制度認知者)〔Q15_2②〕 .....	111
(3)個人型確定拠出年金での保有金融商品 (個人型確定拠出年金での現在金融商品保有者)〔Q16_3②〕 .....	113
(4)個人型確定拠出年金の特徴認知(制度認知者全体)〔Q27①〕 .....	114
(5)個人型確定拠出年金の特徴認知(制度認知者)〔Q27①〕 .....	115
(6)個人型確定拠出年金の魅力点、最魅力点〔Q27②③〕 .....	116
(7)個人型確定拠出年金の口座開設・投資性商品未購入理由および 口座未開設理由(口座開設・投資性商品未購入、口座未開設層)〔Q25〕 .....	120
(8)個人型確定拠出年金での投資性商品購入および口座開設検討のきっかけ (口座開設・投資性商品未購入、口座未開設層)〔Q26〕 .....	122
(9)個人型確定拠出年金の今後の利用・継続利用意向〔Q28〕 .....	124
(10)確定拠出年金制度の対象者拡大・受給開始の上限延長に関する認知と興味度 (企業型確定拠出年金・個人型確定拠出年金制度認知者)〔Q29〕 .....	126
<b>10. その他項目</b> .....	<b>128</b>
*ジュニアNISAは20歳未満の親族がいる者ベース、企業型/個人型確定拠出年金は60歳未満ベース	
(1)NISA/つみたてNISA/ジュニアNISA/企業型確定拠出年金/個人型確定拠出年金 で投資する場合に、選択したい金融商品〔Q31①②③④⑤〕 .....	129

※ 末尾添付資料 : 調査票

# 1. 調査計画の概要



## 1. 調査計画の概要

調査の目的	全国の20歳～79歳の男女個人を対象に、『NISA、つみたてNISA、ジュニアNISA、企業型／個人型確定拠出年金(iDeCo)』制度の認知・利用状況、口座での金融商品未購入理由や口座未開設理由、利用意向などを確認すると同時に、『ETF、リート』の認知・保有状況、魅力度、不満点、購入意向などを把握し、今後の投資信託の利用拡大および啓発普及活動に役立つ資料とすること。																																																																																				
調査手法	インターネット調査（抽出フレーム：NRCネットワークパネル） ※ インターネット調査のモニターは、一般的に情報感度が高い事が確認されており、金融商品（投資信託）においては保有率や制度認知が郵送調査モニターなどに比べて高めに出る傾向にあります。 また、2019年よりパネルが変更となったため、2018年のデータとは傾向が異なる箇所があります。																																																																																				
調査対象	全国（首都圏、阪神圏、その他地域の3ブロック）の20～79歳の男女																																																																																				
サンプル数	<p>総計20,000サンプル</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 性・年代・エリアで割付実施（割付は平成31年1月1日現在の住民基本台帳に基づく）。</li> <li>* 職業条件による除外は実施していない。</li> </ul> <p>&lt;性・年代・エリアごとの回収数詳細&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>20-29歳</th> <th>30-39歳</th> <th>40-49歳</th> <th>50-59歳</th> <th>60-69歳</th> <th>70-79歳</th> <th>20-79歳計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">男性</td> <td>首都圏</td> <td>417</td> <td>505</td> <td>646</td> <td>529</td> <td>451</td> <td>407</td> <td>2,955</td> </tr> <tr> <td>阪神圏</td> <td>192</td> <td>217</td> <td>294</td> <td>243</td> <td>233</td> <td>223</td> <td>1,402</td> </tr> <tr> <td>その他地域</td> <td>721</td> <td>872</td> <td>1,105</td> <td>954</td> <td>1,071</td> <td>870</td> <td>5,593</td> </tr> <tr> <td>男性計</td> <td>1,330</td> <td>1,594</td> <td>2,045</td> <td>1,726</td> <td>1,755</td> <td>1,500</td> <td>9,950</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">女性</td> <td>首都圏</td> <td>401</td> <td>474</td> <td>604</td> <td>487</td> <td>455</td> <td>472</td> <td>2,893</td> </tr> <tr> <td>阪神圏</td> <td>192</td> <td>220</td> <td>299</td> <td>250</td> <td>252</td> <td>267</td> <td>1,480</td> </tr> <tr> <td>その他地域</td> <td>674</td> <td>831</td> <td>1,066</td> <td>963</td> <td>1,119</td> <td>1,024</td> <td>5,677</td> </tr> <tr> <td>女性計</td> <td>1,267</td> <td>1,525</td> <td>1,969</td> <td>1,700</td> <td>1,826</td> <td>1,763</td> <td>10,050</td> </tr> <tr> <td colspan="2">TOTAL</td> <td>2,597</td> <td>3,119</td> <td>4,014</td> <td>3,426</td> <td>3,581</td> <td>3,263</td> <td>20,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ エリアの定義とエリア計での回収数は以下の通り。</p> <p>首都圏：東京、神奈川、埼玉、千葉／計5,848サンプル          阪神圏：大阪、京都、兵庫、奈良／計2,882サンプル          その他地域：上記以外の都道府県／計11,270サンプル</p>			20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	20-79歳計	男性	首都圏	417	505	646	529	451	407	2,955	阪神圏	192	217	294	243	233	223	1,402	その他地域	721	872	1,105	954	1,071	870	5,593	男性計	1,330	1,594	2,045	1,726	1,755	1,500	9,950	女性	首都圏	401	474	604	487	455	472	2,893	阪神圏	192	220	299	250	252	267	1,480	その他地域	674	831	1,066	963	1,119	1,024	5,677	女性計	1,267	1,525	1,969	1,700	1,826	1,763	10,050	TOTAL		2,597	3,119	4,014	3,426	3,581	3,263	20,000
		20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	20-79歳計																																																																													
男性	首都圏	417	505	646	529	451	407	2,955																																																																													
	阪神圏	192	217	294	243	233	223	1,402																																																																													
	その他地域	721	872	1,105	954	1,071	870	5,593																																																																													
	男性計	1,330	1,594	2,045	1,726	1,755	1,500	9,950																																																																													
女性	首都圏	401	474	604	487	455	472	2,893																																																																													
	阪神圏	192	220	299	250	252	267	1,480																																																																													
	その他地域	674	831	1,066	963	1,119	1,024	5,677																																																																													
	女性計	1,267	1,525	1,969	1,700	1,826	1,763	10,050																																																																													
TOTAL		2,597	3,119	4,014	3,426	3,581	3,263	20,000																																																																													
調査時期	2020年11月26日(木)～12月5日(土)																																																																																				
調査主体	一般社団法人 投資信託協会																																																																																				
調査実施機関	株式会社日本リサーチセンター																																																																																				

<グラフ・表・コメントについて>

- ・ 本報告書の回答割合等の数値(%)は、小数点第2位を四捨五入して算出している。
- ・ グラフ、数表上の数値は特に断りがない限りは%値となる。また“n”は各属性の実数(サンプル数)を表しており、n数が少ない属性(30未満)のデータを見る際は、あくまで参考値として捉えるように注意する必要がある。

# 1. 調査計画の概要

## <分析軸の内容>

分析軸		カテゴリー	備考
基本軸 1	性別	1 男性	Q1の調査結果から作成
		2 女性	
	年代別	1 20代	Q2の調査結果から作成
		2 30代	
		3 40代	
		4 50代	
		5 60代	
		6 70代	
	世帯年収別	1 100万円未満	Q5①の調査結果から作成
		2 ~300万円	
		3 ~500万円	
		4 ~1000万円	
		5 ~1000万円以上	
	職業別	1 自営/自由・農林漁業	Q3で「5.自由業」「6.農林漁業」「7.自営業」回答者
		2 会社員、会社役員、派遣・契約社員など	Q3で「1.会社員・非営利団体職員」「2.会社役員・経営者」「3.派遣・契約社員」回答者
		3 公務員	Q3で「4.公務員」
4 専業主婦/主夫		Q3で「9.専業主婦/主夫」回答者	
基本軸 2	投資信託保有状況別 (※1)(※2)	1 現在保有層	Q6②で「4.投資信託(除くETF、Jリート)」「5.ETF」「6.不動産投信(Jリート)」回答者
		2 保有経験層(現在非保有)	Q6①で「4」「5」「6」と回答し、Q6②で回答していない者
		3 保有未経験層(金融資産保有経験有)	Q6①で「4」「5」「6」と回答しておらず、またQ6②で「13.この中で保有したものはなし」と回答していない者
		4 保有未経験層(金融資産保有経験無)	Q6①で「13」と回答している者
ETF分析軸	ETF認知別	1 商品内容認知層	Q8①で「1.名前も商品の内容も知っている」回答者
	ETF保有状況別 (※1)	1 現在保有層	Q6②で「5.ETF」回答者
		2 保有経験層(現在非保有)	Q6①で「5」と回答し、Q6②で回答していない者
		3 保有未経験層(金融資産保有経験有)	Q8①で「1-2」かつQ6①で「5と13以外」の回答者
		4 保有未経験層(金融資産保有経験無)	Q8①で「1-2」かつQ6①で「13」回答者
		5 非認知層(金融資産保有経験有)	Q8①で「3.知らない」かつQ6①で「5と13以外」の回答者
6 非認知層(金融資産保有経験無)	Q8①で「3」かつQ6①で「13」回答者		
Jリート分析軸	Jリート認知別	1 商品内容認知層	Q8②で「1」回答者
	Jリート保有状況別 (※1)	1 現在保有層	Q6②で「6.不動産投信(Jリート)」回答者
		2 保有経験層(現在非保有)	Q6①で「6」と回答し、Q6②で回答していない者
		3 保有未経験層(金融資産保有経験有)	Q8②で「1-2」かつQ6①で「6と13以外」の回答者
		4 保有未経験層(金融資産保有経験無)	Q8②で「1-2」かつQ6①で「13」回答者
		5 非認知層(金融資産保有経験有)	Q8②で「3.知らない」かつQ6①で「6と13以外」の回答者
6 非認知層(金融資産保有経験無)	Q8②で「3」かつQ6①で「13」回答者		

※1 Q6①②のどちらかで「14.わからない・答えたくない」との回答者は、金融資産の保有状況が不明の為、分類に含めず。

※2 国内の投資信託商品の保有状況で分類を実施しており、「外国で作られた投資信託」は保有条件として加味していない。従って、「外国で作られた投資信託」の保有経験があっても、国内の投資信託(Q6=「4.投資信託」「5.ETF」「6.Jリート」)の保有経験がなければ「保有未経験層」に分類される。



# 1. 調査計画の概要

## <分析軸の内容>

分析軸		カテゴリー	備考
NISA分析軸	NISA実施状況別	1 現在口座開設層	Q15_1①で「1.口座開設して、現在も金融商品保有」 「2.口座開設し、金融商品購入したが、現在は売却し保有なし」 「3.口座開設したが、金融商品未購入」回答者
		2 口座開設経験層（現在非開設）	Q15_1①で「4.過去に口座開設し、金融商品保有、現在口座閉鎖」 「5.過去に口座開設したが、金融商品未購入で閉鎖」回答者
		3 認知・口座非開設層	Q14①で「1.名前も制度の内容の知っている」「2.名前は知っているが、制度の内容はよく分からない」かつ Q15_1①で「6.今までに口座開設なし」回答者
		4 非認知層	Q14①で「3.知らない」回答者
	今後NISA利用意向有層	1 利用意向有層全体	Q21①で「1.利用したい、利用し続けたい」「2.やや利用したい、やや利用し続けたい」回答者
つみたてNISA分析軸	つみたてNISA実施状況別	1 現在口座開設層	Q15_1②で「1-3」回答者
		2 口座開設経験層（現在非開設）	Q15_1②で「4-5」回答者
		3 認知・口座非開設層	Q14②で「1-2」かつ Q15_1②で「6」回答者
		4 非認知層	Q14②で「3」回答者
	今後つみたてNISA利用意向有層	1 利用意向有層全体	Q21②で「1-2」回答者
ジュニアNISA分析軸（*）	ジュニアNISA実施状況別	1 現在口座開設層	Q15_1③で「1-3」回答者
		2 口座開設経験層（現在非開設）	Q15_1③で「4-5」回答者
		3 認知・口座非開設層	Q14③で「1-2」かつ Q15_1③で「6」回答者
		4 非認知層	Q14③で「3」回答者
	今後ジュニアNISA利用意向有層	1 利用意向有層全体	Q22②で「1.現在利用しており、継続して利用したい」「3.現在は利用していないが、利用したい」回答者
企業型確定拠出年金分析軸（*）	企業型確定拠出年金実施状況別	1 口座開設層	Q15_2①「1」回答者
		2 口座開設経験層（現在非開設）	Q15_2①で「2」回答者
		3 認知・口座非開設層	Q14④「1-2」かつ Q15_2①で「3」回答者
		4 非認知層	Q14④で「3」回答者
個人型確定拠出年金分析軸（*）	個人型確定拠出年金認知別	1 商品内容認知層	Q14⑤で「1」回答者
	個人型確定拠出年金実施状況別	1 口座開設層	Q15_2②で「1」回答者
		2 口座開設経験層（現在非開設）	Q15_2②で「2」回答者
		3 認知・口座非開設層	Q14⑤「1-2」かつ Q15_2②で「3」回答者
		4 非認知層	Q14⑤で「3」回答者
今後個人型確定拠出年金利用意向有層	1 利用意向有層全体	Q28で「1.利用したい、利用し続けたい」「2.やや利用したい、やや利用し続けたい」回答者	

\* ジュニアNISA分析軸は「20歳未満の親族がいる者」に、企業型／個人型確定拠出年金分析軸は「60歳未満の者」に絞って作成。

○ NISA／ジュニアNISA／個人型確定拠出年金では、上記以外に「現在口座非開設・投資信託保有状況」「今後利用意向有・投資信託保有状況別」でも部分的に分析を実施。

## 2. 調査結果の要約

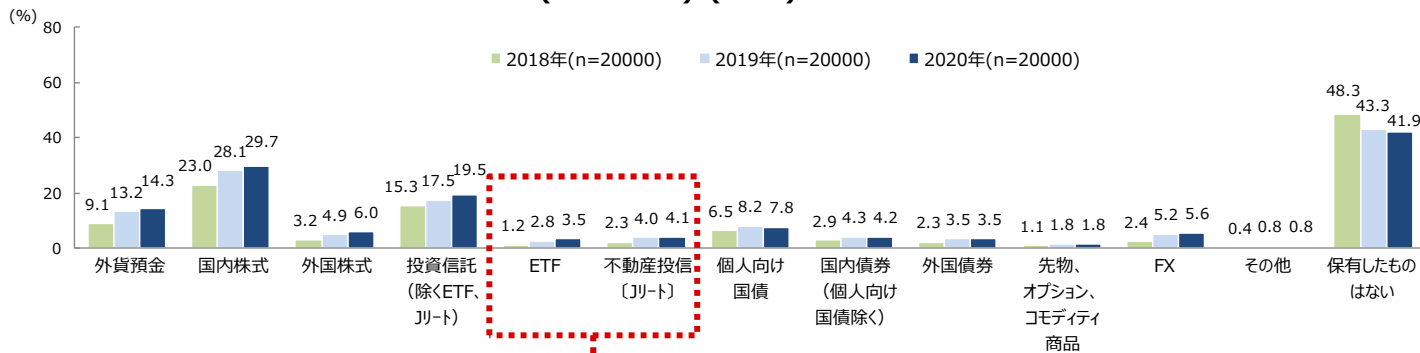


## 2. 調査結果の要約

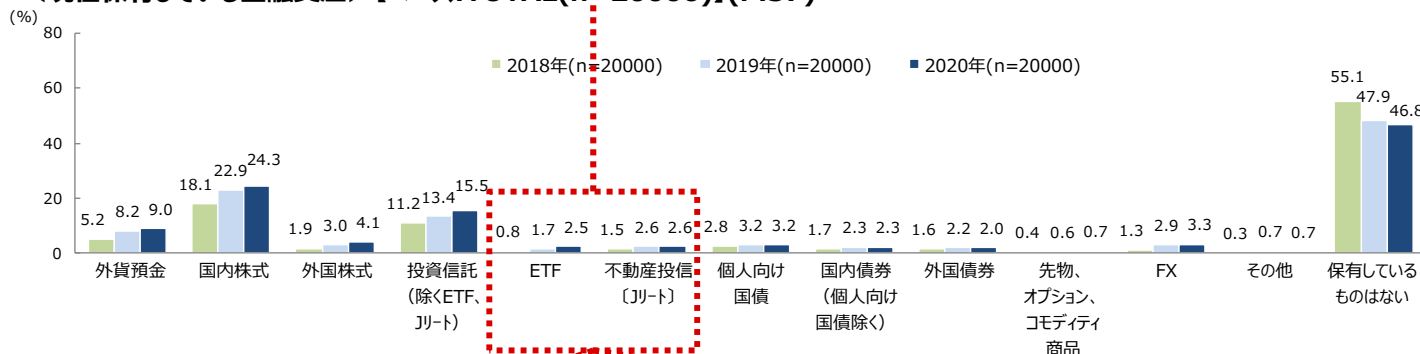
### ETF、Jリート of 保有率

■ ETF、Jリート of 保有経験率は3.5%、4.1%、現在保有率は2.5%、2.6%と低い水準にとどまる。年代でみると、ETFでは保有経験率・現在保有率ともに30代・40代がやや高い傾向。一方、Jリートでは高齢層の保有経験率がやや高い。

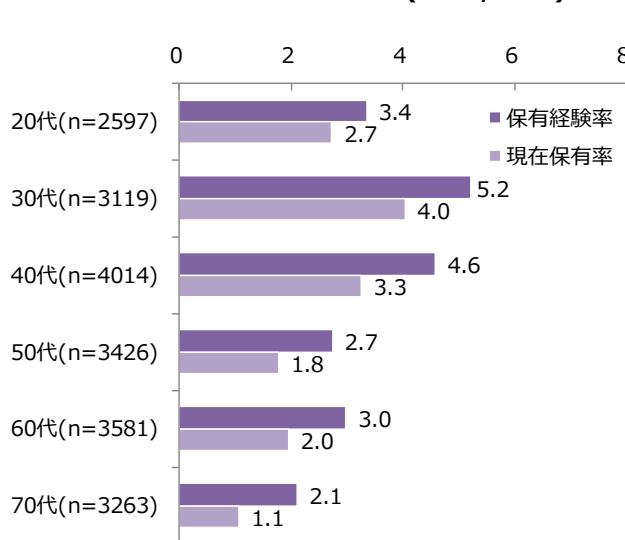
<保有経験のある金融資産>【ベース:TOTAL(n=20000)】(P.36)



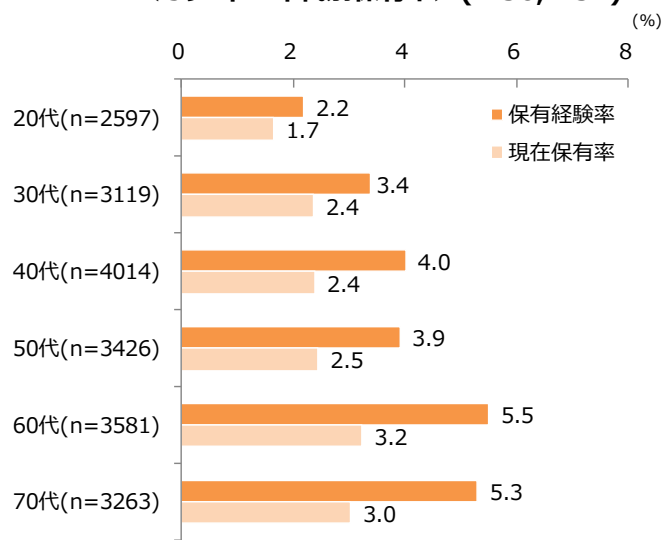
<現在保有している金融資産>【ベース:TOTAL(n=20000)】(P.37)



<ETF 年代別保有率> (P.36,P.37)



<Jリート 年代別保有率> (P.36,P.37)



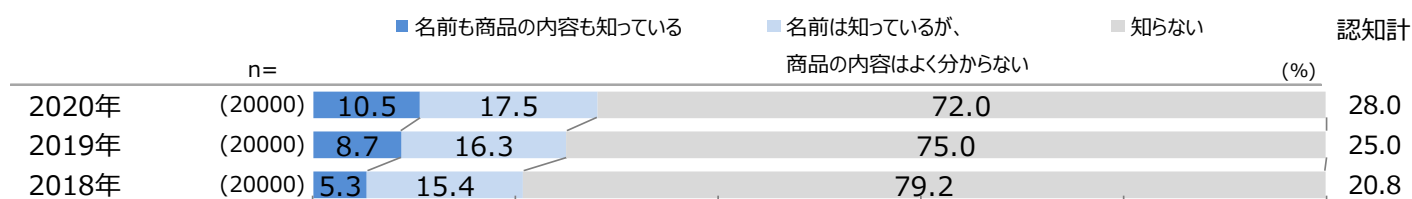
## 2. 調査結果の要約

### ETF、Jリートの特徴認知

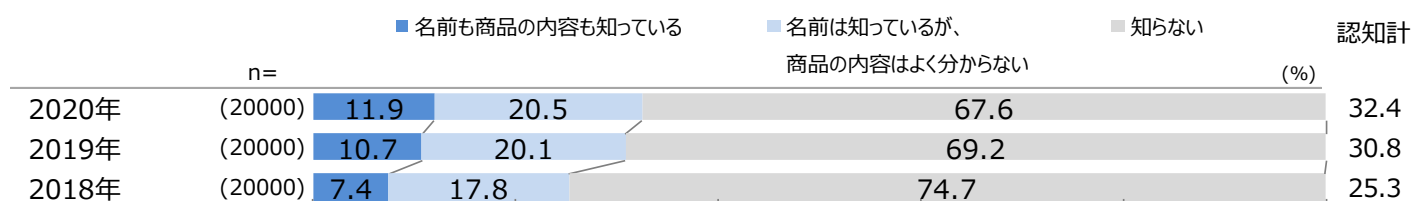
■ ETF認知率(認知計)は28.0%、Jリート認知率は32.4%。ETF認知率が前回より微増。

■ 商品特徴では、ETFは「元本保証はない」、Jリートは「少額から不動産投資できる」ことの認知率が最も高い。

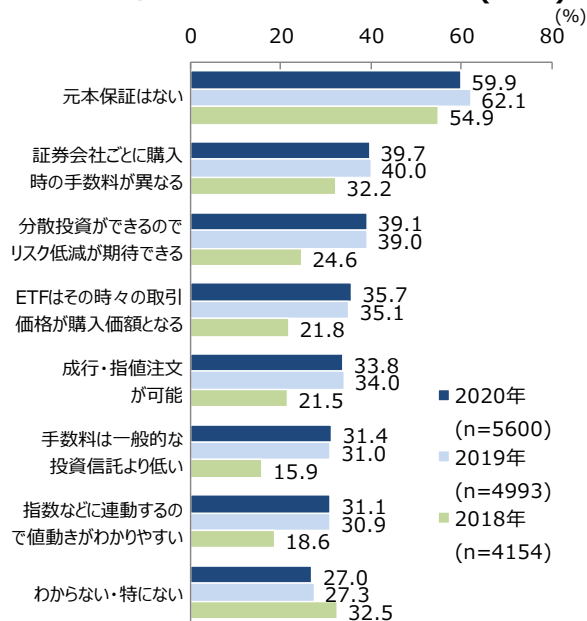
＜ETFの認知状況＞【ベース:TOTAL(n=20000)】(P.42)



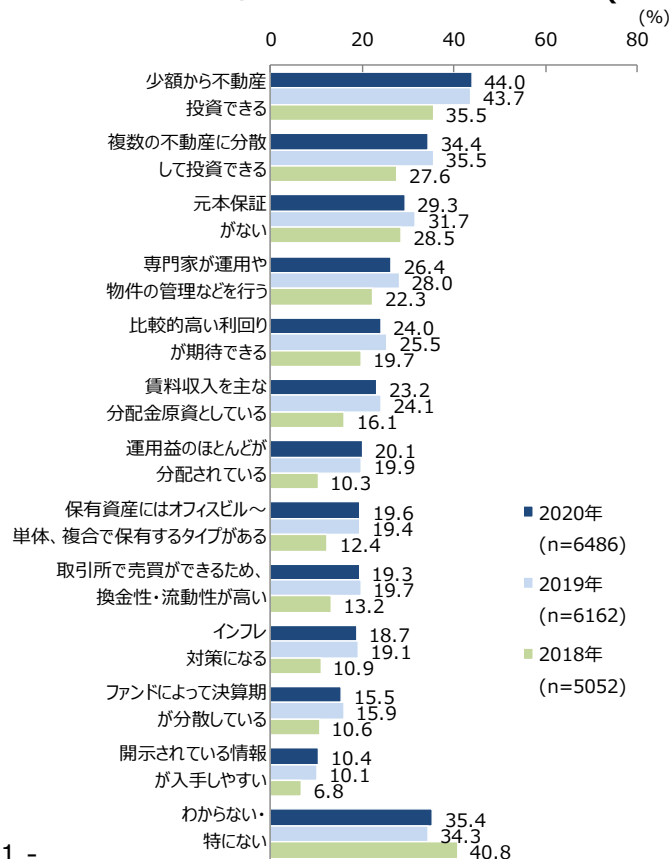
＜Jリートの認知状況＞【ベース:TOTAL(n=20000)】(P.52)



＜ETF特徴認知＞【ベース:ETF認知者】(P.43)



＜Jリート特徴認知＞【ベース:Jリート認知者】(P.53)



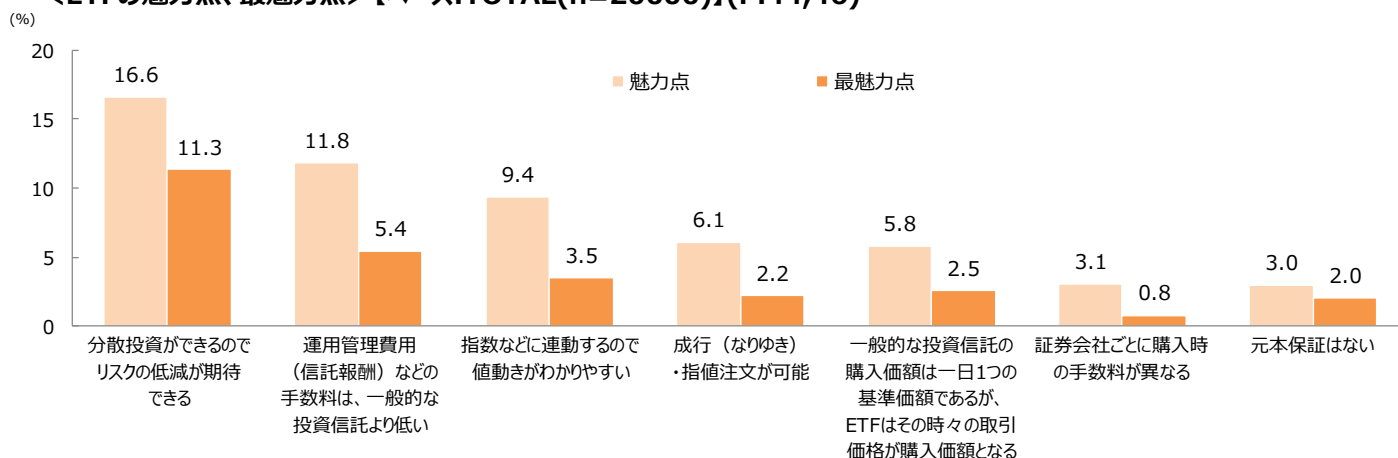
## 2. 調査結果の要約

### ETFの魅力点、最魅力点／不満点、最不満点

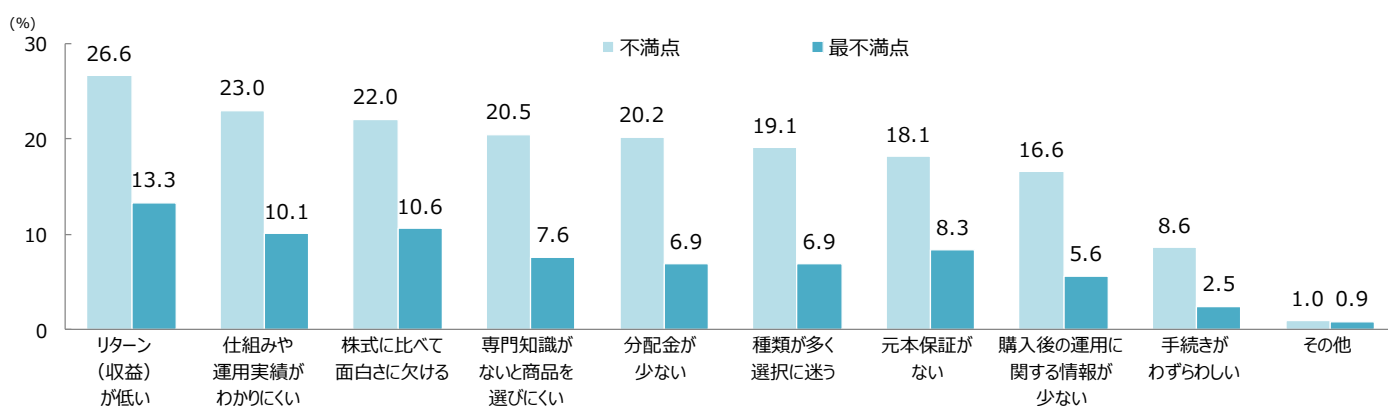
■ETFは、「分散投資できるのでリスク低減が期待できる」点が魅力である一方で、「リターン(収益)が低い」「仕組みや運用実績がわかりにくい」ことなどが不満点となっている。

・ETF現在保有層は「分散投資ができるのでリスク低減が期待できる」「手数料は一般的な投資信託より低い」が5割半ばと高い。(P.45)

#### <ETFの魅力点、最魅力点>【ベース:TOTAL(n=20000)】(P.44,46)



#### <ETFの不満点、最不満点>【ベース:ETF内容認知者および保有経験者(n=2173)】(P.48,49)



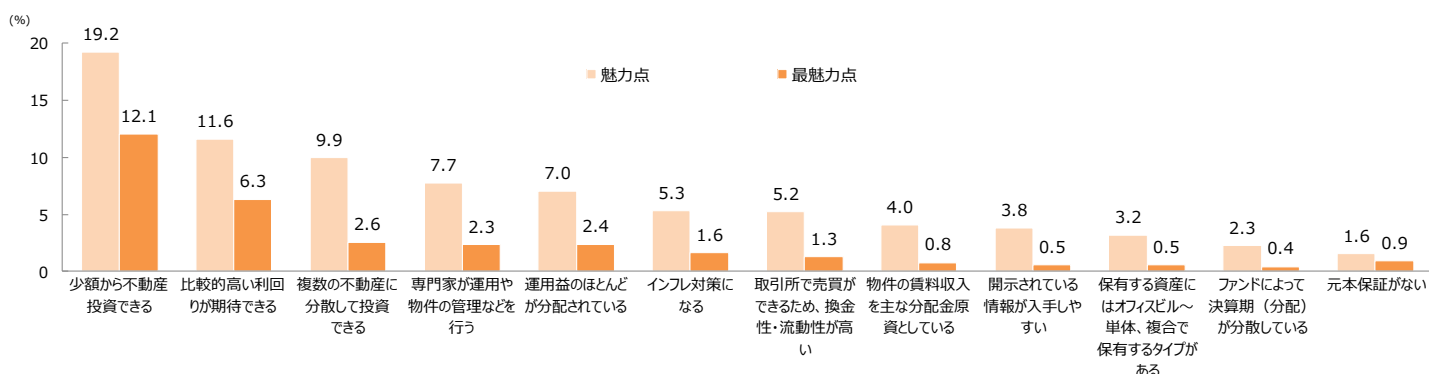
## 2. 調査結果の要約

### Jリートの魅力点、最魅力点／不満点、最不満点

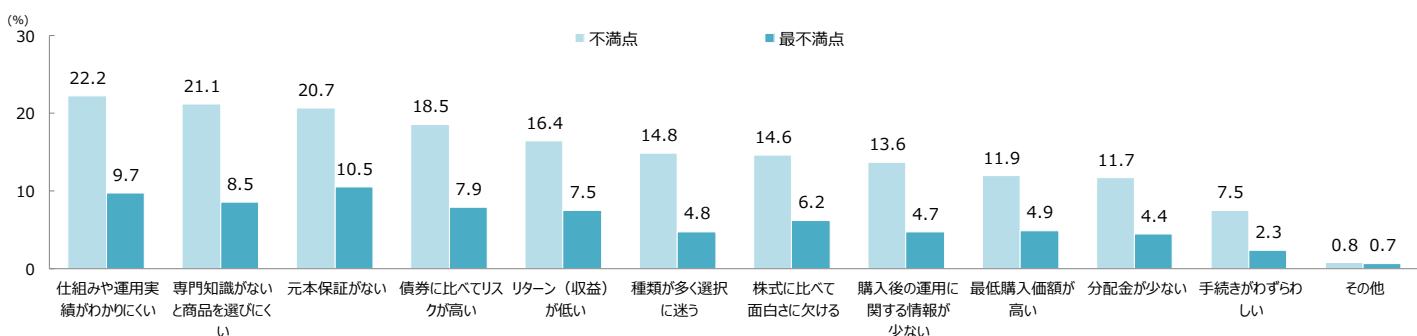
■ Jリートは、「少額から不動産投資できる」ことが魅力点である一方で、不満点は「仕組みや運用実績がわかりにくい」「専門知識がないと商品を選びにくい」「元本保証がない」が上位で、理解の難しさが中心。

・Jリート現在保有層では魅力点として「少額から不動産投資できる」「比較的高い利回りが期待できる」が45%程度と高い。一方、不満点として「専門知識がないと商品を選びにくい」(16.0%)が他層に比べて低い。(P.55,58)

#### <Jリートの魅力点、最魅力点>【ベース:TOTAL(n=20000)】(P.54,56)



#### <Jリートの不満点、最不満点>【ベース:Jリート内容認知者および保有経験者(n=2523)】(P.58,59)



## 2. 調査結果の要約

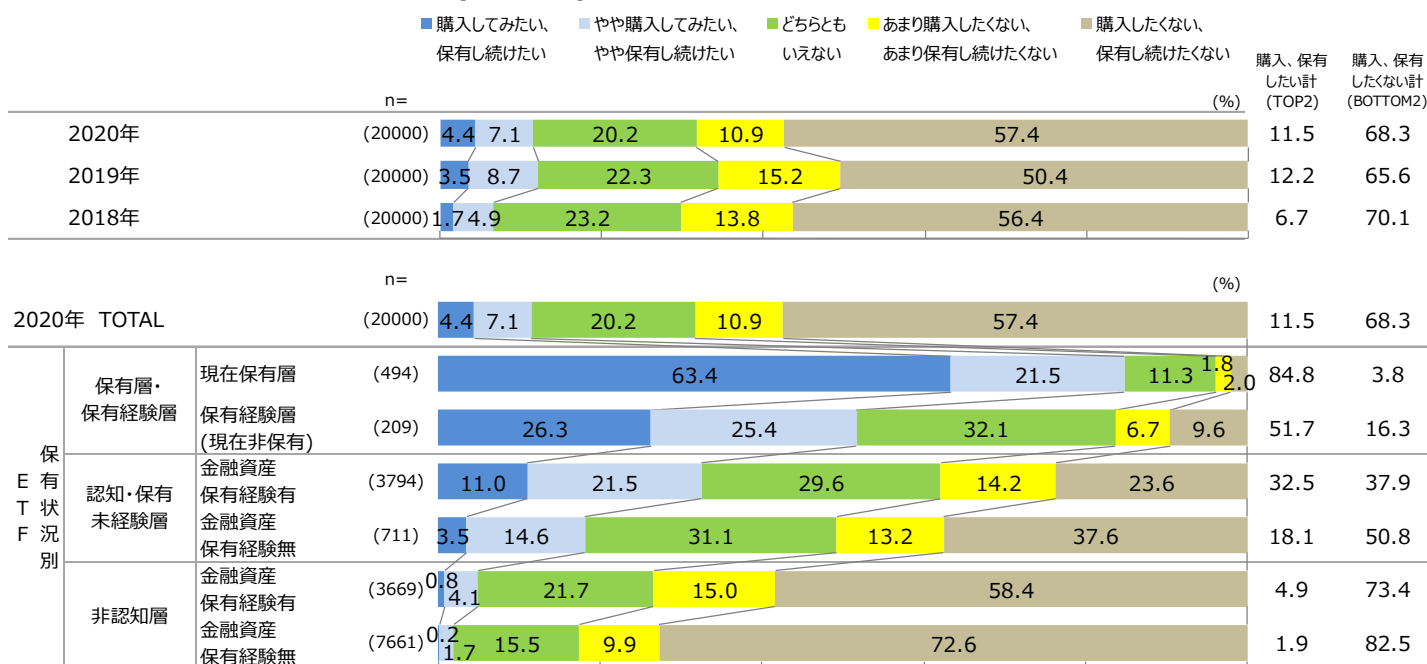
### ETF、Jリート今後の購入・継続保有意向

#### ■ ETF、Jリートともに10%強の購入意向(TOP2 ※)がある。

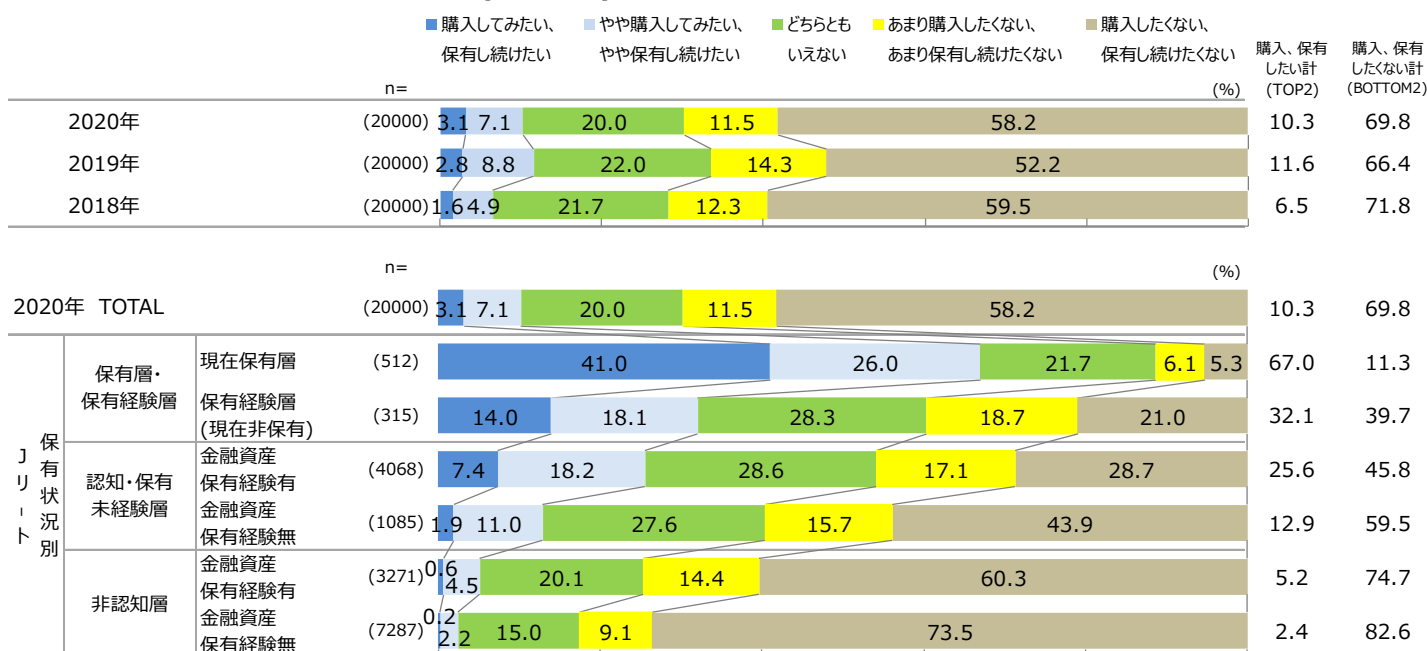
現在保有層では、ETFは84.8%、Jリートは67.0%の人に継続保有意向がある。

※ TOP2=購入したい計（「購入してみたい、保有し続けたい」+「やや購入してみたい、やや保有し続けたい」）

#### <ETFの今後の購入・継続保有意向> (P.50,51)



#### <Jリートの今後の購入・継続保有意向> (P.60,61)



## 2. 調査結果の要約

NISA、つみたてNISA、ジュニアNISA、企業型確定拠出年金、個人型確定拠出年金 (iDeCo)の認知状況

■ 5制度の中ではNISAの認知率(77.5%)が最も高く、ジュニアNISAの認知率(48.0%)が最も低い。

■ 時系列の変動をみると、認知率、制度内容認知率は各制度ともに前回から増加傾向。

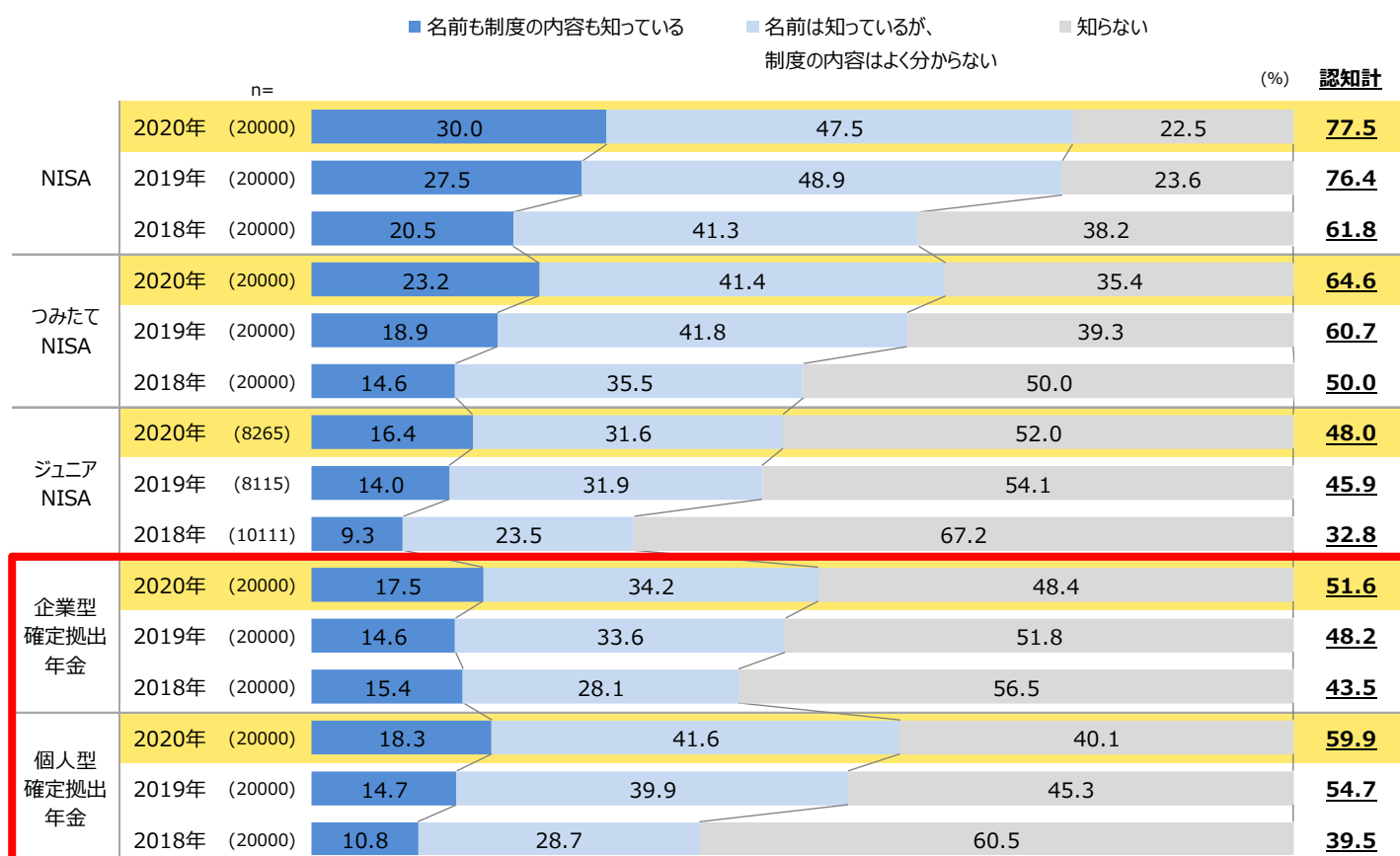
■ 60歳未満でみると、企業型確定拠出年金の認知度は50.8%と約半数、個人型確定拠出年金の認知率は63.9%と6割を超える。

・ どの制度も、世帯年収が上がるほど認知率は高くなる。(P.63,78,89,103,110)

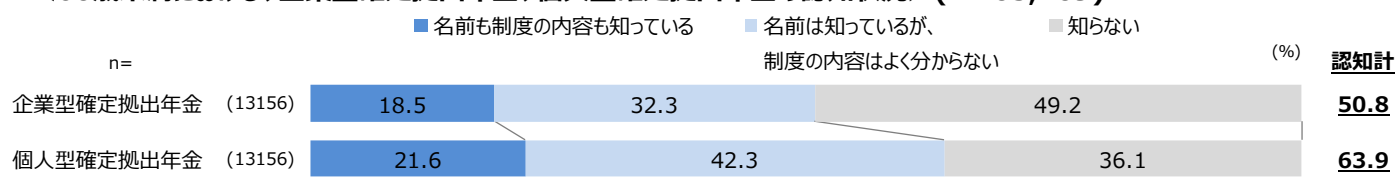
※ 制度開始は、NISAは2014年、つみたてNISAは2018年(口座開設開始は2017年10月)、ジュニアNISAは2016年より。

<NISA、つみたてNISA、ジュニアNISA、企業型確定拠出年金、個人型確定拠出年金の認知状況> (P. 63,78,89,103,109)

\* ジュニアNISAは20歳未満の親族有の者ベース



<60歳未満における、企業型確定拠出年金、個人型確定拠出年金の認知状況> (P.103,109)





## 2. 調査結果の要約

NISA、つみたてNISA、ジュニアNISA、企業型確定拠出年金、個人型確定拠出年金の利用状況／企業型確定拠出年金でのマッチング拠出利用状況

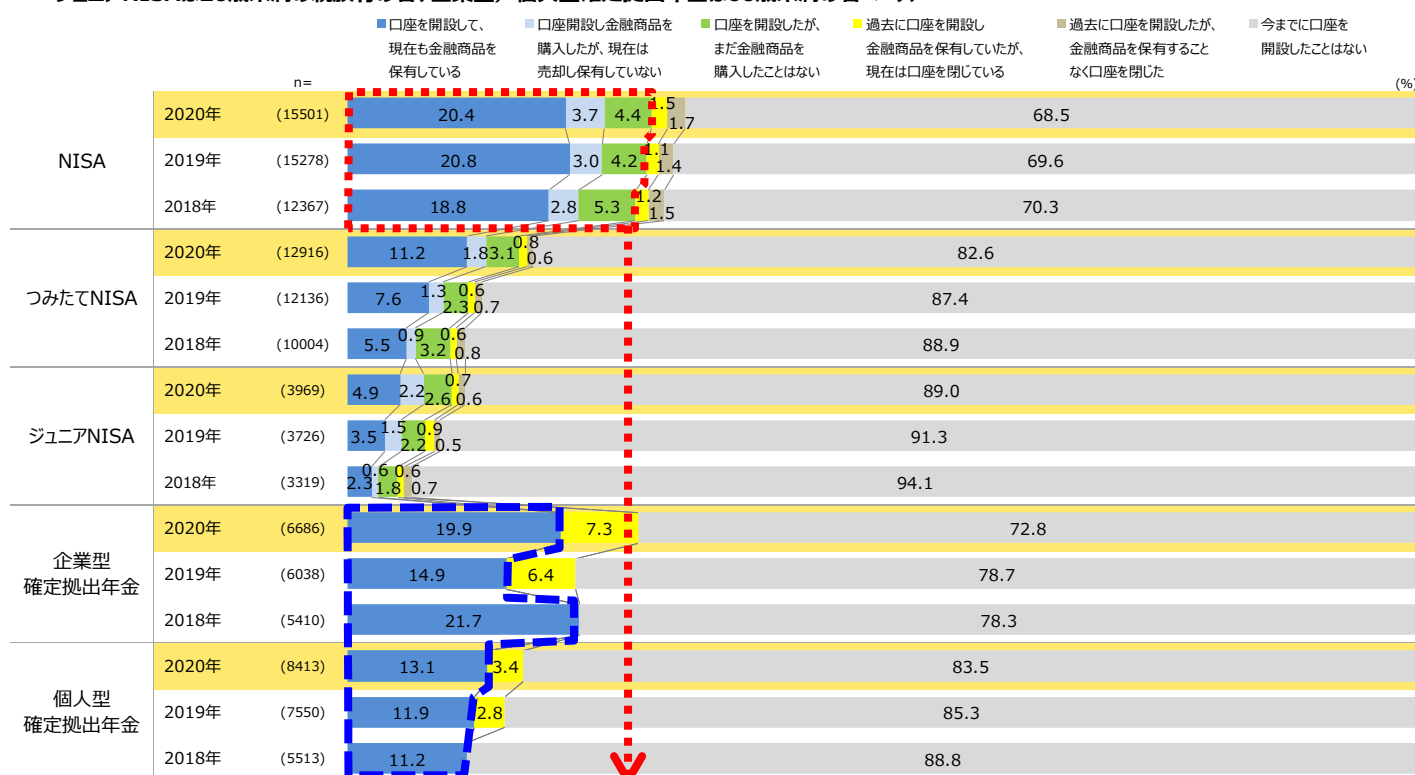
■ 各制度の認知者で口座開設して現在金融商品を保有しているのは、  
NISA(20.4%)、企業型確定拠出年金(19.9%)、個人型確定拠出年金(13.1%)。

■ NISAでは口座開設者の15.5%が金融商品未購入。企業型確定拠出年金では、  
4割半がマッチング拠出を実施している。

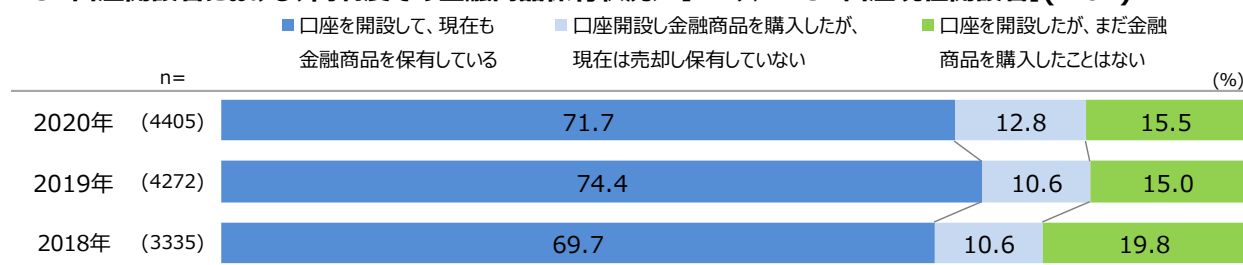
・ジュニアNISA以外の各制度とも、世帯年収が上がるほど、口座開設して現在金融商品を保有している割合が高くなる傾向。  
(P. 64,79,90,104,111)

<NISA、つみたてNISA、ジュニアNISA、企業型確定拠出年金、個人型確定拠出年金の利用状況>【ベース：各制度認知者】(P.64,78,89,103,109)

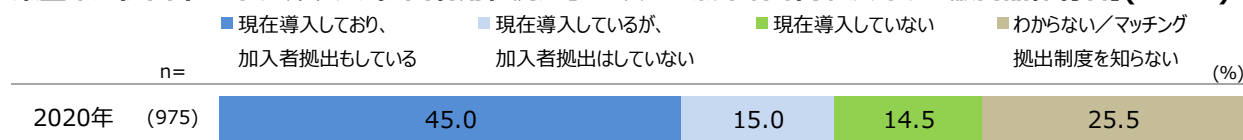
\* ジュニアNISAは20歳未満の親族有の者、企業型／個人型確定拠出年金は60歳未満の者ベース



<NISA口座開設者における、同制度での金融商品保有状況>【ベース：NISA口座現在開設者】(P.64)



<企業型確定拠出年金でのマッチング拠出利用状況>【ベース：60歳未満で同制度での金融商品保有者】(P.107)



## 2. 調査結果の要約

### NISA、つみたてNISA、ジュニアNISAでの保有金融商品

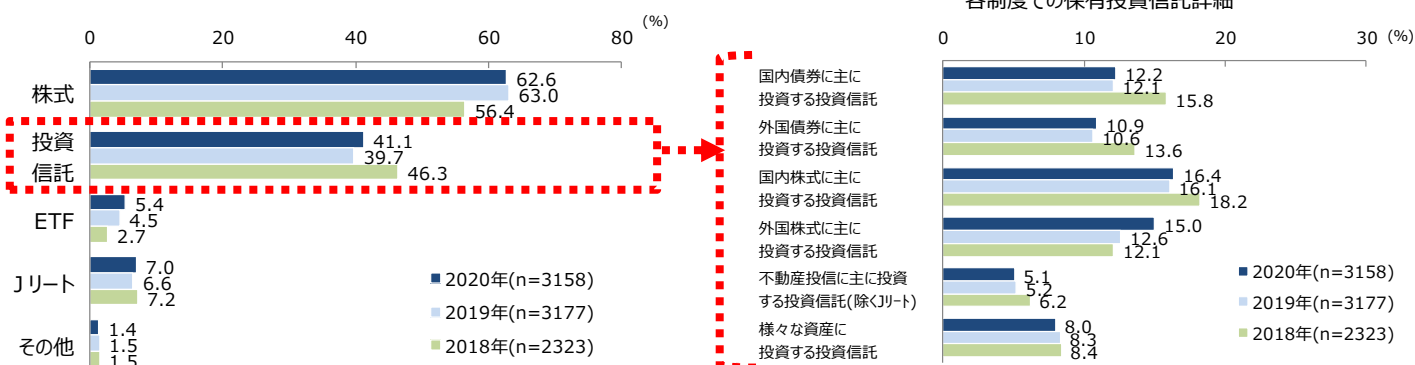
■ NISAでの保有金融商品では、「株式」保有率は62.6%、「投資信託」保有率 ※ は41.1%で前回と同程度。

■ つみたてNISAでは「外国株式に主に投資する投資信託」保有率(42.2%)が最も高く、前回より8.4ポイント増加。

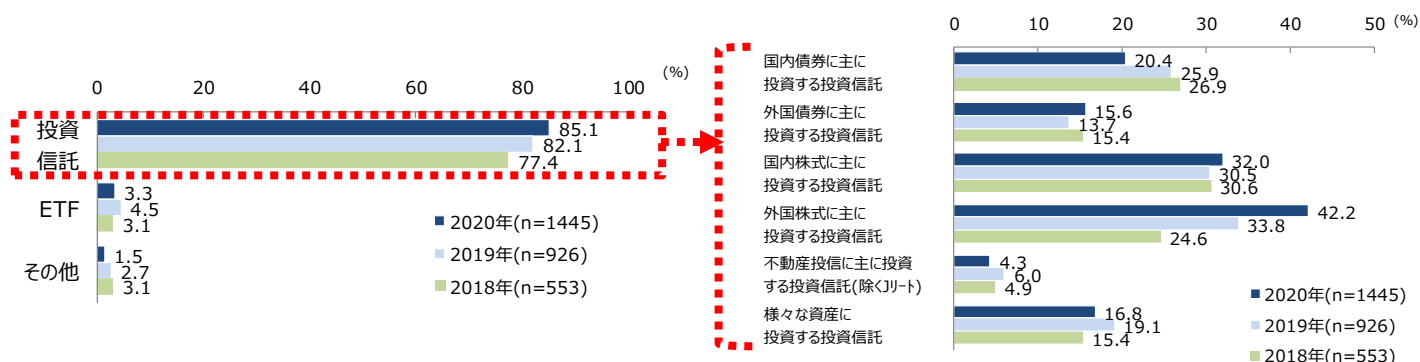
■ ジュニアNISAでは「投資信託」保有率は前回より増加し、「株式」が減少。投資信託商品の中では、「外国株式に主に投資する投資信託」が前回より増加。

※ 「国内債券に主に投資～様々な資産に投資する投資信託」のいずれかが保有者の割合

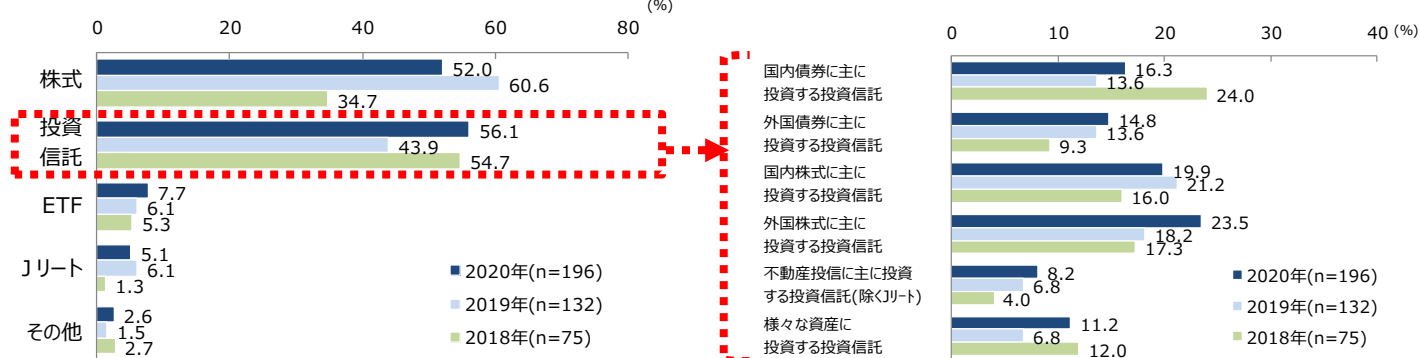
#### <NISAでの保有金融商品>【ベース:同制度での金融商品保有者】(P.65)



#### <つみたてNISAでの保有金融商品>【ベース:同制度での金融商品保有者】(P.80)



#### <ジュニアNISAでの保有金融商品>【ベース:20歳未満の親族がいる同制度での金融商品保有者】(P.91)

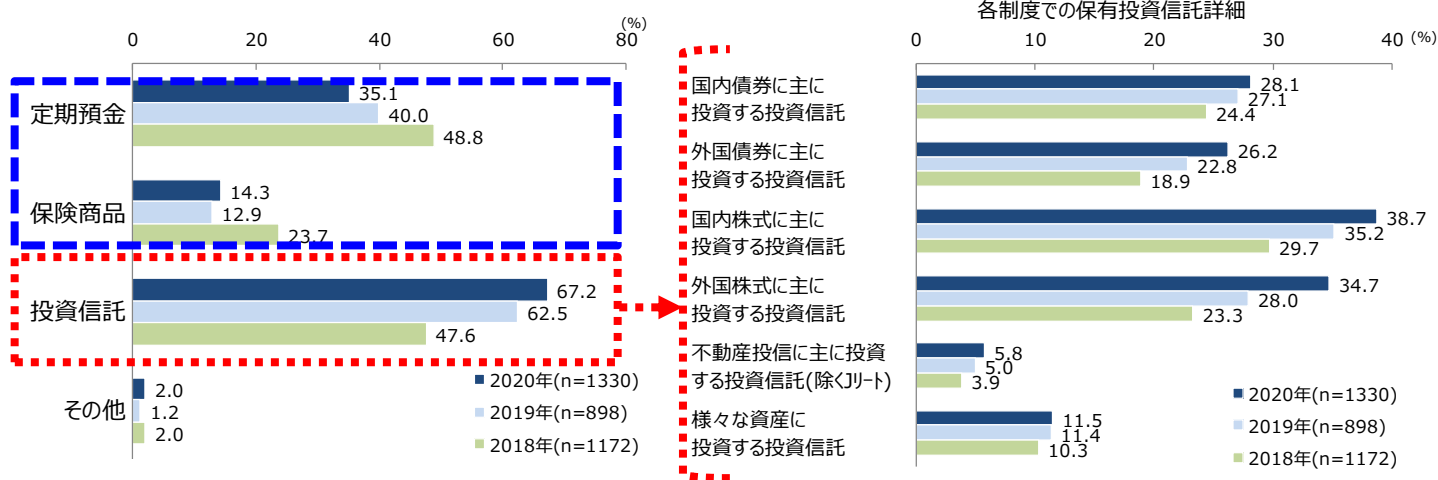


## 2. 調査結果の要約

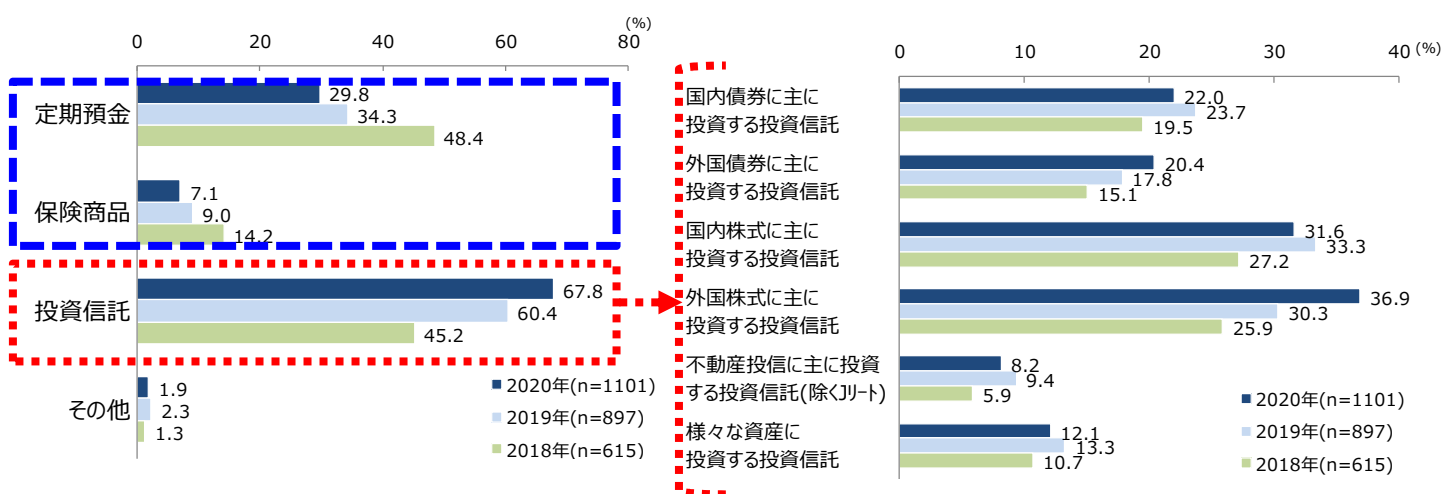
### 企業型確定拠出年金、個人型確定拠出年金制度での保有金融商品

- 企業型確定拠出年金での保有金融商品は、「投資信託」が67.2%と7割弱。保有商品の詳細では「国内株式／外国株式に主に投資する投資信託」の保有率が30%以上と高い。
- 個人型確定拠出年金での保有金融商品は、「投資信託」が67.8%で7割弱。保有商品の詳細では「国内株式／外国株式に主に投資する投資信託」の保有率が30%以上と高い。「外国株式に主に投資する投資信託」は前回より6.6ポイント増加。

＜企業型確定拠出年金での保有金融商品＞【ベース:同制度での金融商品保有者】(P.105)



＜個人型確定拠出年金での保有金融商品＞【ベース:同制度での金融商品保有者】(P.113)



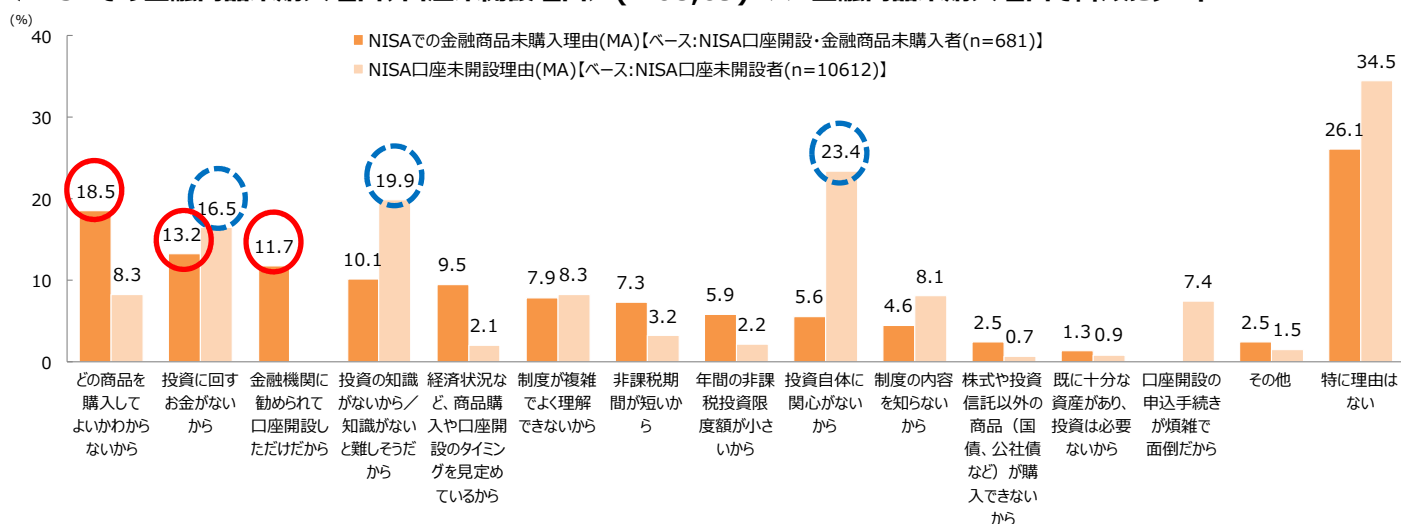
## 2. 調査結果の要約

NISAでの口座開設・金融商品未購入理由、口座未開設理由／  
NISAでの金融商品購入、口座開設検討のきっかけ

■ NISAでの金融商品未購入理由は、「どの商品を購入してよいかわからない」「投資に回すお金がない」「金融機関の勧めで口座開設しただけ」が上位。  
金融商品購入検討のきっかけは「金融や投資を勉強して理解できたら」「手取り収入が増えたら」との知識不足の解消、経済的理由が並んで上位。

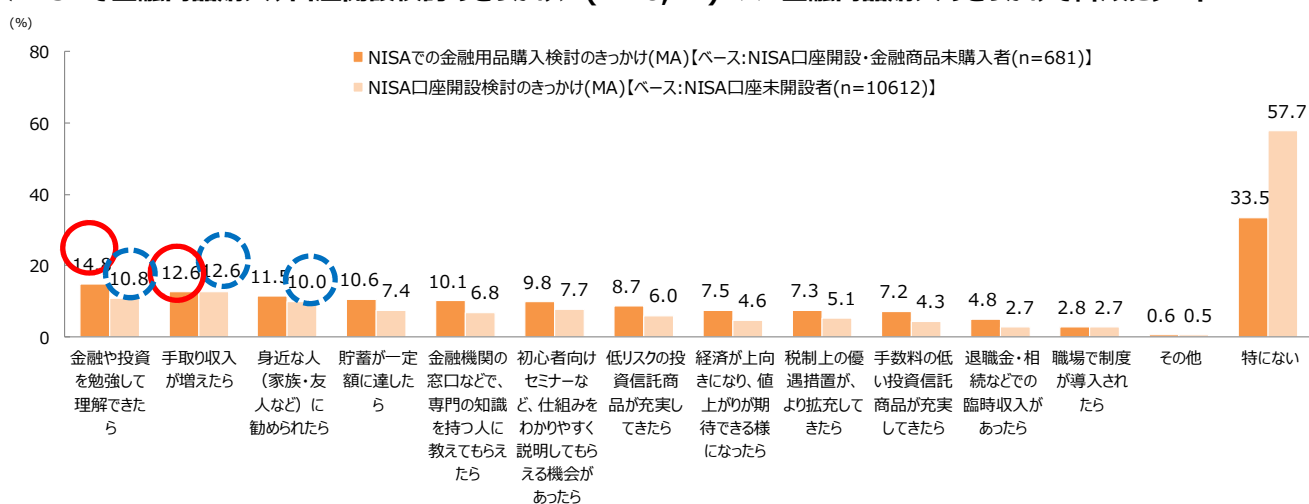
■ NISA口座未開設の理由では、「投資自体に関心がない」「投資の知識がない/知識がないと難しそう」「投資に回すお金がない」が上位。検討のきっかけは「手取り収入が増えたら」「金融や投資を勉強して理解できたら」「身近な人に勧められたら」など。  
口座未開設理由にもある知識・経済的課題の解消、身近な人の推奨が口座開設検討に寄与している様子。

<NISAでの金融商品未購入理由、口座未開設理由> (P.68,69) ※ 金融商品未購入理由で降順にソート



\* 「金融機関に勧められて口座開設しただけ」は金融資産未購入層／ 「口座開設の申し込み手続きが煩雑で面倒」は口座未開設層にのみ聴取

<NISAで金融商品購入、口座開設検討のきっかけ> (P.70,71) ※ 金融商品購入のきっかけで降順にソート



○・・・金融商品未購入理由／金融商品購入検討のきっかけで高い項目      ●・・・口座未開設理由／口座開設検討のきっかけで高い項目

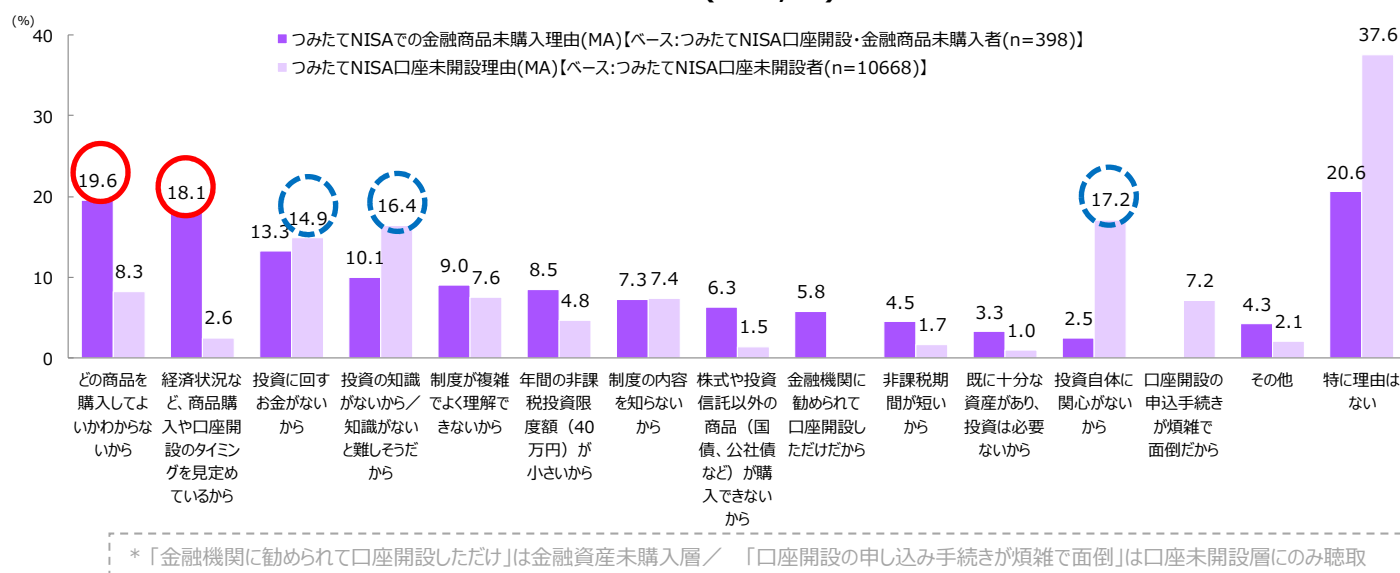
## 2. 調査結果の要約

つみたてNISAでの口座開設・金融商品未購入理由、口座未開設理由／  
つみたてNISAでの金融商品購入、口座開設検討のきっかけ

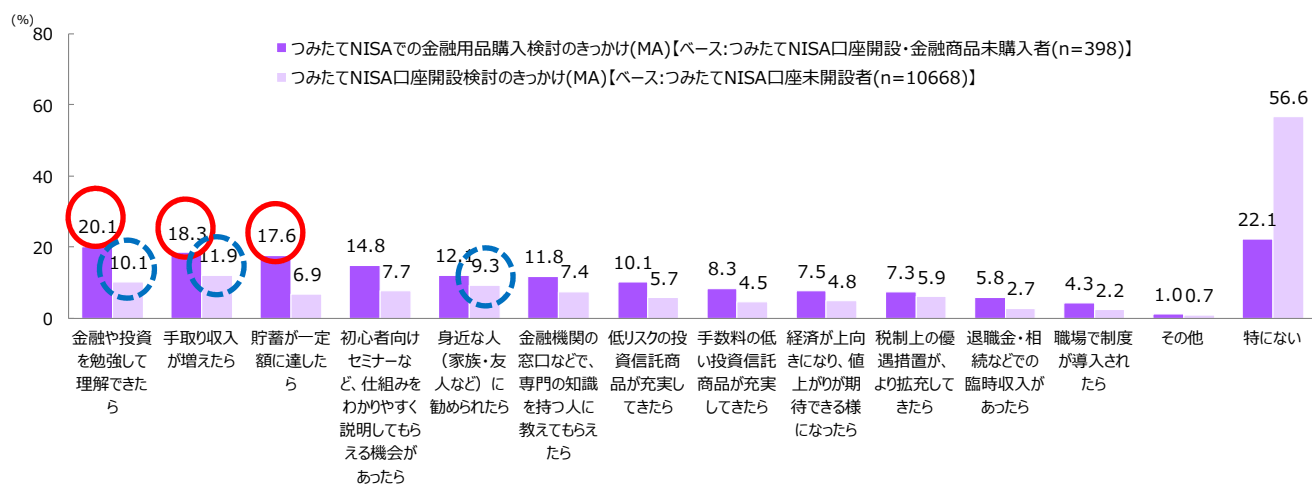
■ つみたてNISAでの金融商品未購入理由は「どの商品を購入してよいかわからない」が最も高く、「タイミングを見定めている」が続く。金融商品購入検討のきっかけでは「金融や投資を勉強して理解できたら」「手取り収入が増えたら」「貯蓄が一定額に達したら」が上位。

■ つみたてNISA口座未開設の理由は、「投資自体に関心がない」「投資の知識がない/知識がないと難しそう」「投資に回すお金がない」が上位。口座開設検討のきっかけでは、「手取り収入が増えたら」「金融や投資を勉強して理解できたら」「身近な人の勧め」が上位で、NISA口座と同様の傾向がみられる。

<つみたてNISAでの金融商品未購入理由、口座未開設理由> (P.82,83) ※ 金融商品未購入理由で降順にソート



<つみたてNISAで金融商品購入、口座開設検討のきっかけ> (P.84,85) ※ 金融商品購入のきっかけで降順にソート



○・・・金融商品未購入理由/金融商品購入検討のきっかけで高い項目      ○・・・口座未開設理由/口座開設検討のきっかけで高い項目

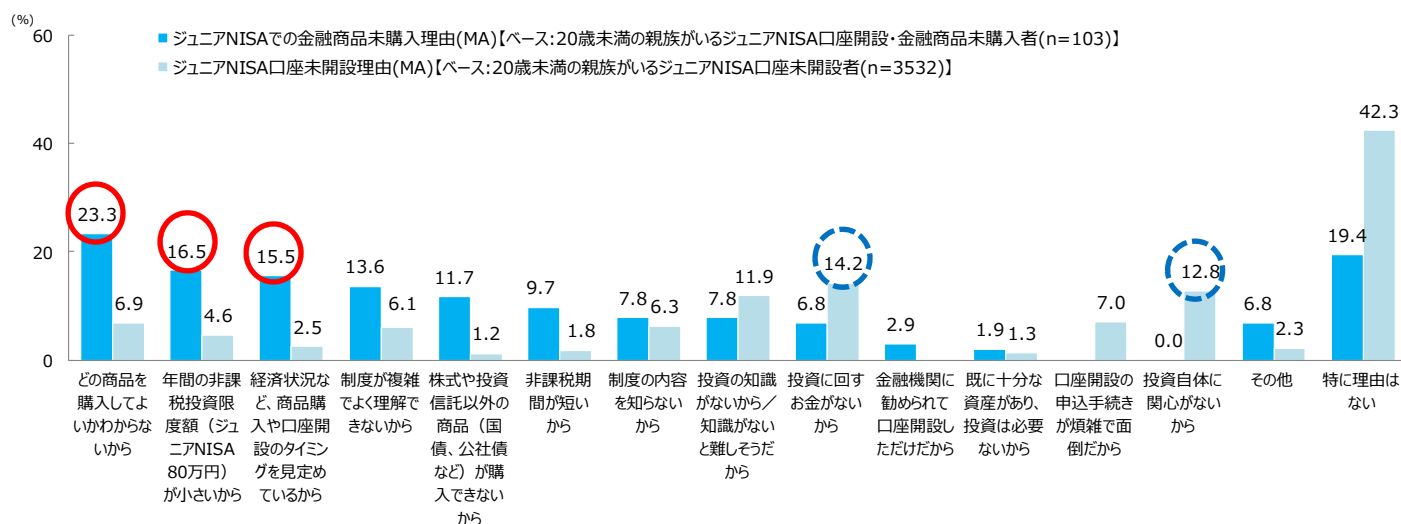
## 2. 調査結果の要約

ジュニアNISAでの口座開設・金融商品未購入理由、口座未開設理由／  
ジュニアNISAでの金融商品購入、口座開設検討のきっかけ

■ジュニアNISAでの金融商品未購入理由は「どの商品を購入してよいかわからない」「年間の非課税投資限度額が小さい」「タイミングを見定めている」が続く。金融商品購入検討のきっかけは「貯蓄が一定額に達したら」が最も高く、「金融や投資を勉強して理解できたら」が続く。

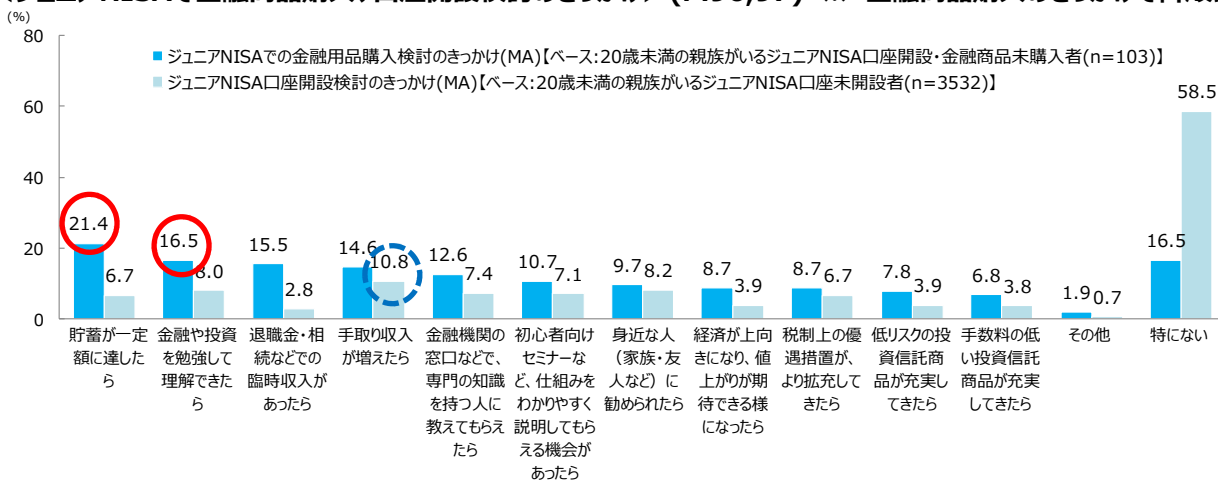
■ジュニアNISA口座未開設の理由では「投資に回すお金がないから」が最も高く、「投資自体に関心がない」が続く。口座開設検討のきっかけは、各項目とも低率で分散傾向にあり、「手取り収入が増えたら」が10.8%で最多。

<ジュニアNISAでの金融商品未購入理由、口座未開設理由> (P.94,95) ※ 金融商品未購入理由で降順にソート



\* 「金融機関に勧められて口座開設しただけ」は金融資産未購入層 / 「口座開設の申し込み手続きが煩雑で面倒」は口座未開設層にのみ聴取

<ジュニアNISAで金融商品購入、口座開設検討のきっかけ> (P.96,97) ※ 金融商品購入のきっかけで降順にソート



○・・・金融商品未購入理由／金融商品購入検討のきっかけで高い項目      ○・・・口座未開設理由／口座開設検討のきっかけで高い項目



## 2. 調査結果の要約

### NISA、つみたてNISA、ジュニアNISAの今後の利用・継続利用意向

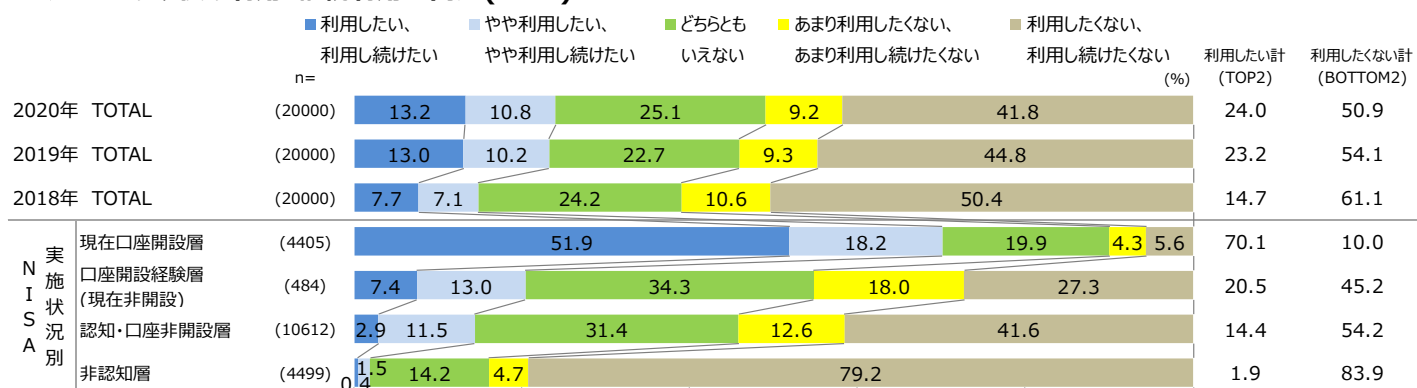
■ 全体では、「NISA」の利用意向(TOP2 ※1)は24.0%と前回と同程度。「つみたてNISA」(18.1%)はやや増加。「ジュニアNISA」は7.1% ※2。

※1 TOP2=利用したい計 (「利用したい、利用し続けたい」+「やや利用したい、やや利用し続けたい」)

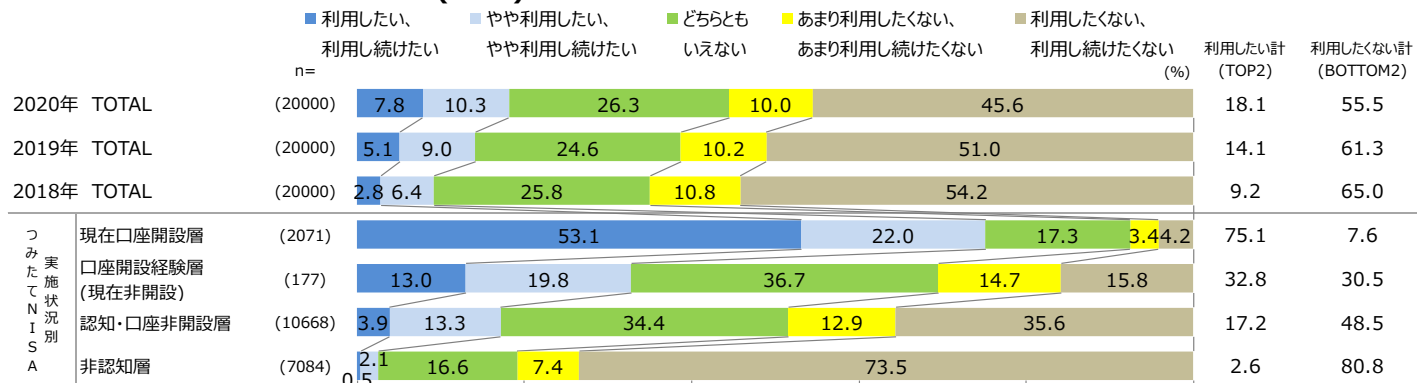
※2 TOP2=利用したい計 (「現在利用しており、継続して利用したい」「現在は利用していないが、利用したい」)

- ・ 年代別では、若年層ほど「つみたてNISA」「ジュニアNISA」の利用意向率が高くなる傾向。(P.86,99)
- ・ 世帯年収別では、高年収層ほど「NISA」「つみたてNISA」「ジュニアNISA」ともに利用意向が高くなる。(P.72,86,99)

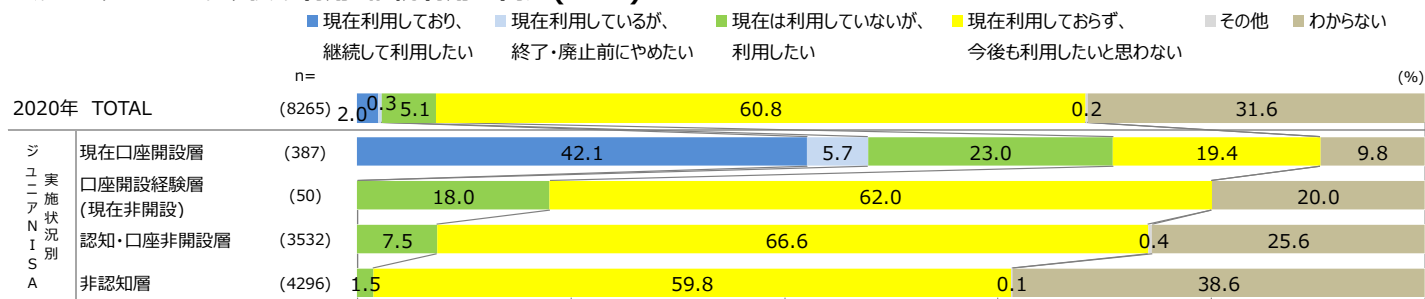
#### <NISAの今後の利用・継続利用意向> (P.72)



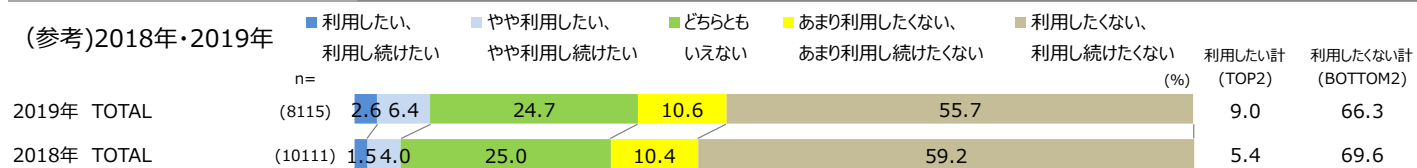
#### <つみたてNISAの今後の利用意向> (P.86)



#### <ジュニアNISAの今後の利用・継続利用意向> (P.99)



(参考)2018年・2019年



## 2. 調査結果の要約

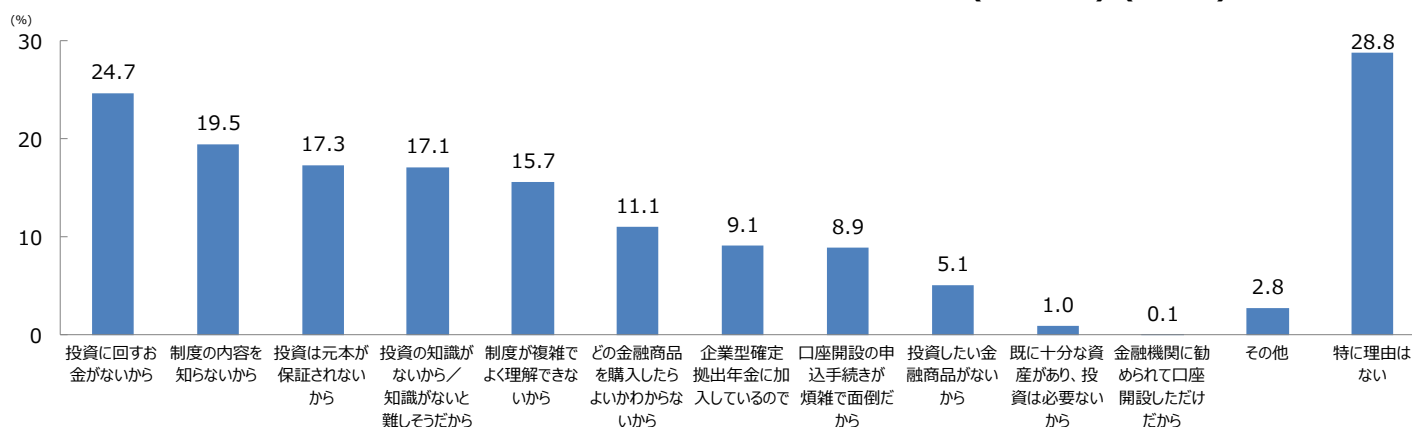
個人型確定拠出年金での口座開設・金融商品未購入および口座未開設理由／個人型確定拠出年金での金融商品購入および口座開設のきっかけ

- **金融商品※未購入および口座未開設の理由は、「投資に回すお金がない」が最も高く、「制度の内容を知らないから」が続く。**
- **金融商品※の購入および口座開設のきっかけは、「投資に回すお金ができたなら」「手取り収入が増えたら」と上位2つが経済的な理由となっている。次いで「金融や投資を勉強して理解できたなら」と知識不足の解消に関する項目が続く。**

※ 定期預金・保険商品を除く投資性商品

### <個人型確定拠出年金での金融商品未購入および口座未開設理由>

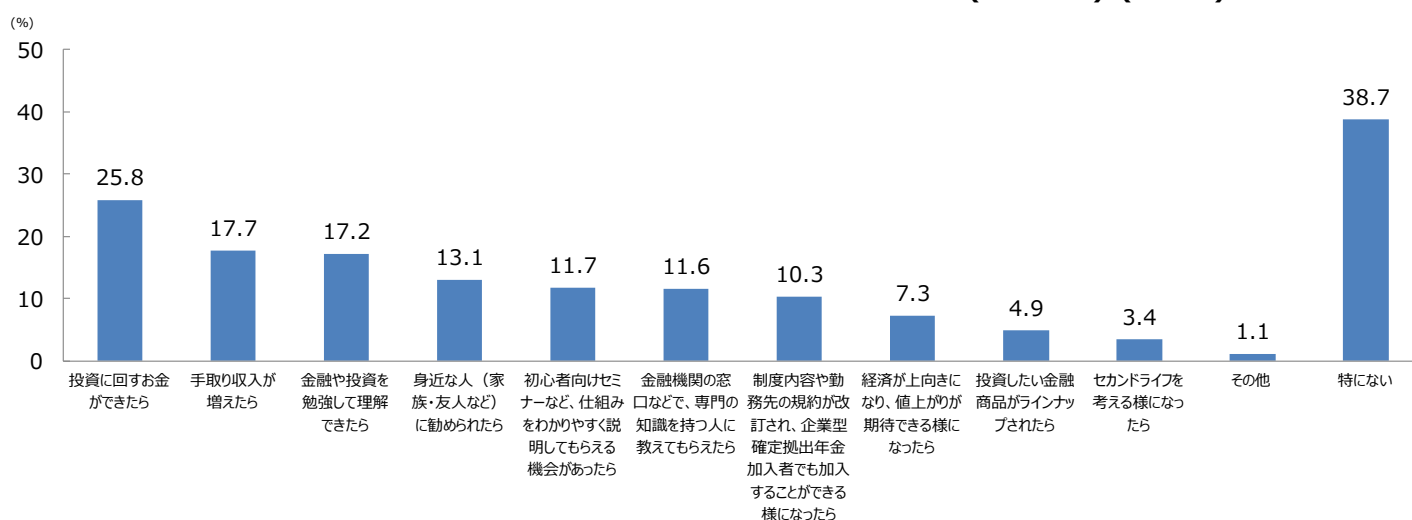
【ベース：60歳未満の個人型確定拠出年金での金融商品未購入および口座未開設層(n=7245)】(P.120)



\* 「口座開設の申込手続きが煩雑で面倒」は口座未開設層(n=6438)／「金融機関に勧められて口座開設しただけ」は口座開設・経験層(n=438)にのみ聴取

### <個人型確定拠出年金での金融商品購入および口座開設のきっかけ>

【ベース：60歳未満の個人型確定拠出年金での金融商品未購入および口座未開設層(n=7245)】(P.122)





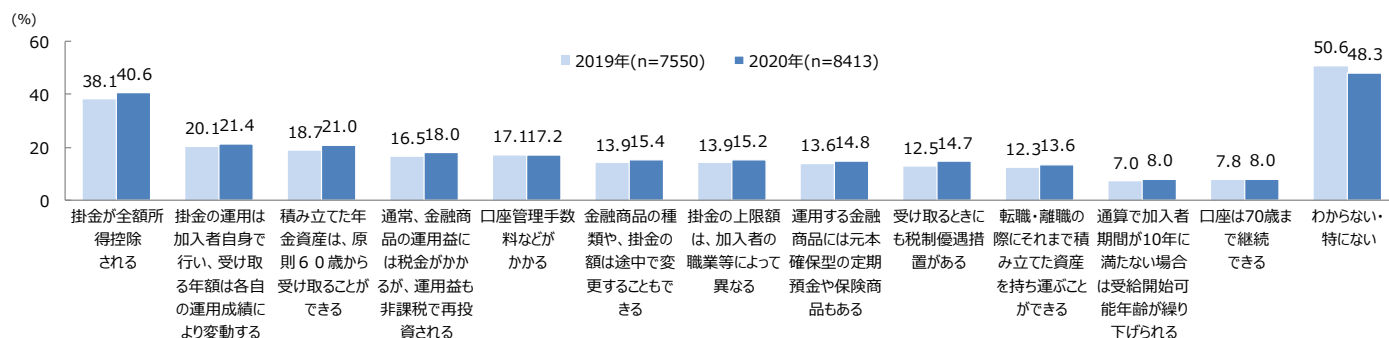
## 2. 調査結果の要約

### 個人型確定拠出年金の特徴認知／個人型確定拠出年金の魅力点・最魅力点

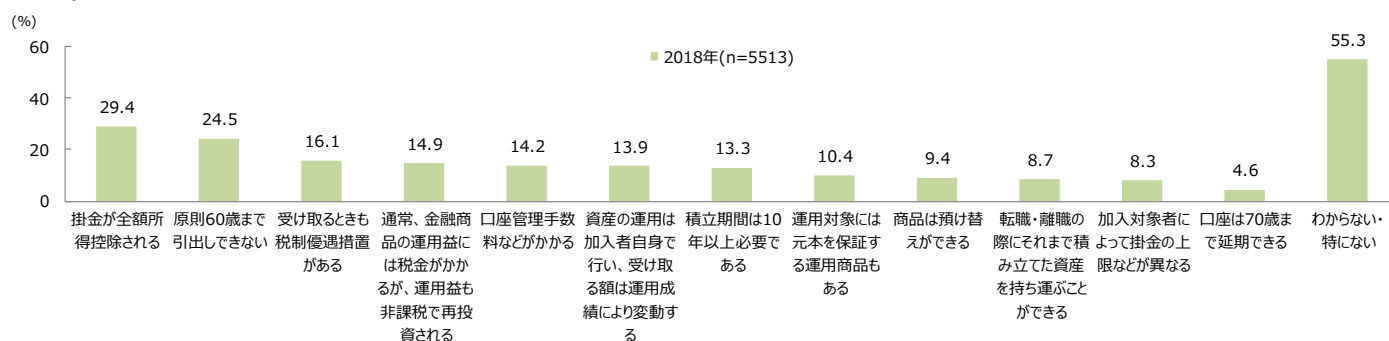
■ 特徴認知は、前回と同様に「掛金が全額所得控除される」が最も高く、「掛金の運用は加入者自身で行い、受け取る額は運用成績により変動」「原則60歳から受け取ることができる」が続く。他の項目は2割未満となっている。

■ 「掛金が全額所得控除される」との税制措置は、魅力点においても最も高い。それ以外の項目は10%未満にとどまる。

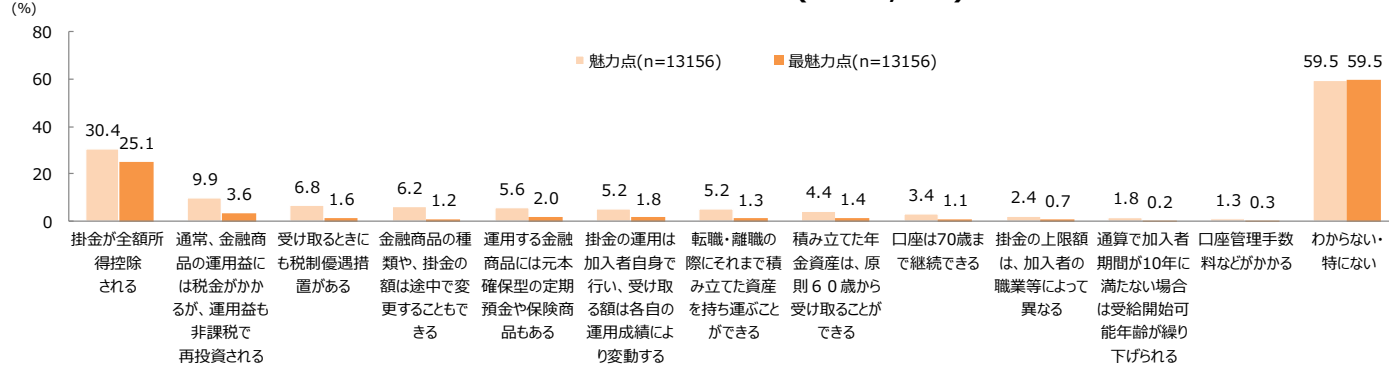
#### <個人型確定拠出年金の特徴認知>【ベース：60歳未満の個人型確定拠出年金認知者】(P.115)



#### (参考)2018年



#### <個人型確定拠出年金の魅力点・最魅力点>【ベース：60歳未満の者】(P.116,118)

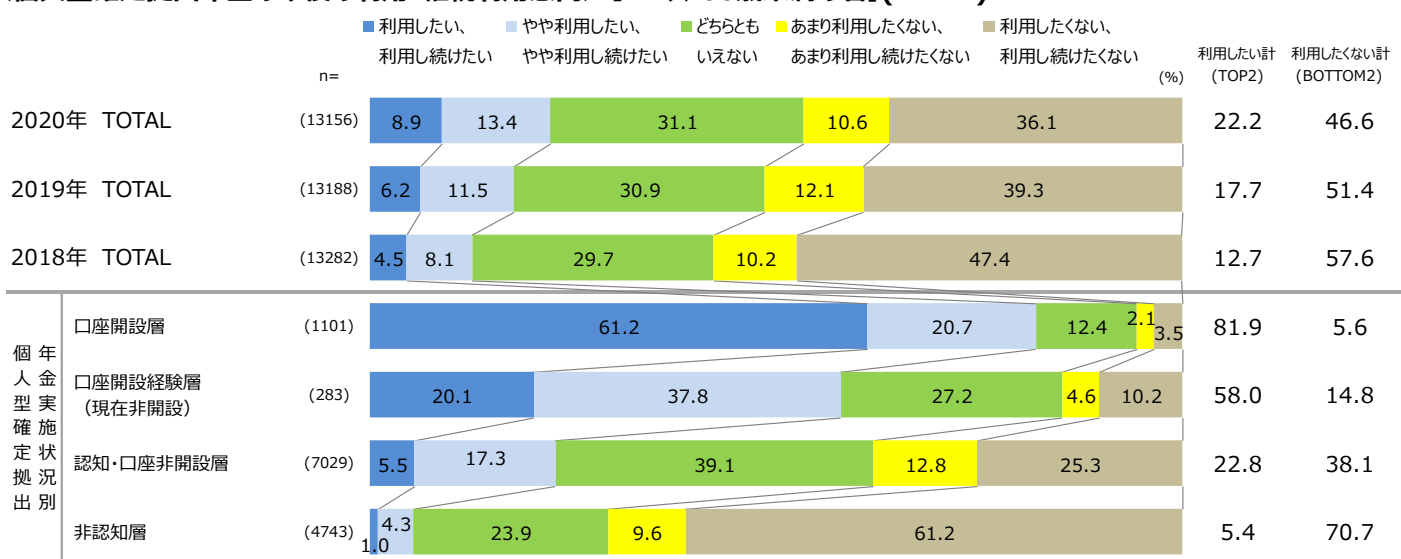


## 2. 調査結果の要約

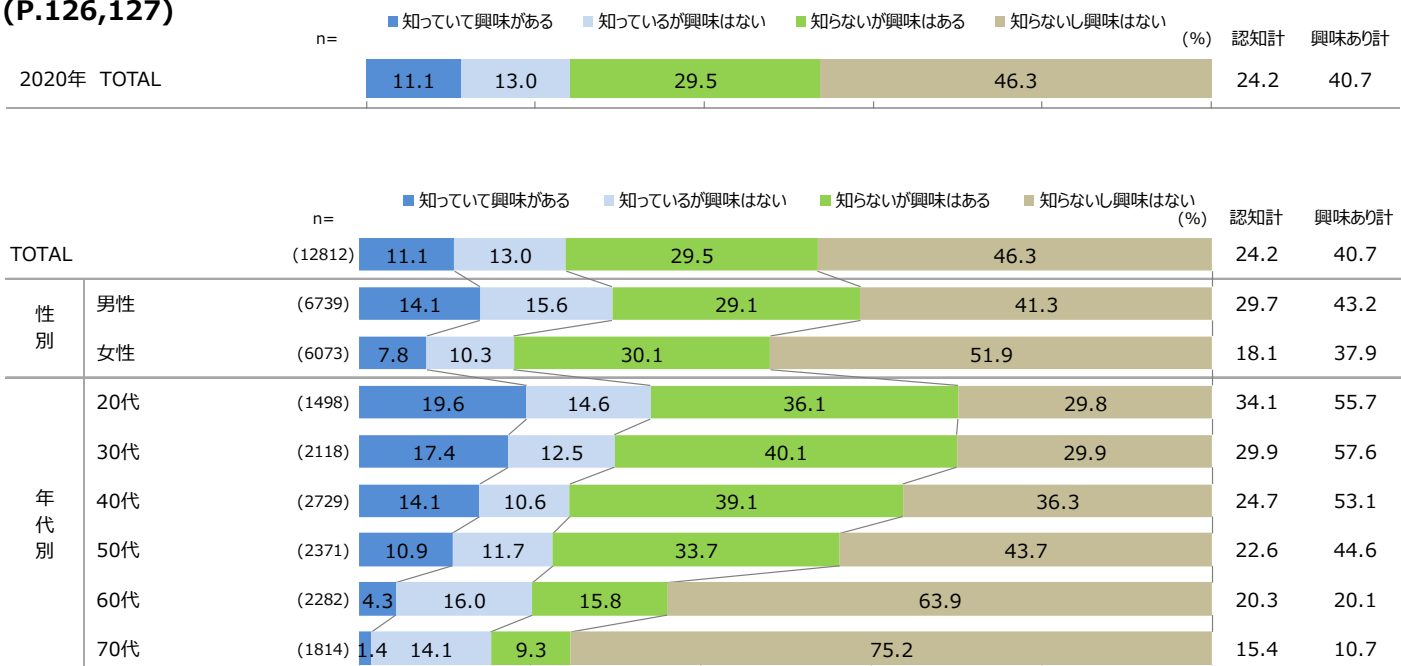
個人型確定拠出年金の今後の利用・継続利用意向／個人型確定拠出年金制度の対象者拡大・受給開始の上限延長に関する認知と興味度

- 全体では、利用意向(TOP2:利用したい計)が22.2%と前回より利用意向がやや増加。また、個人型確定拠出年金の口座開設層では継続利用意向が81.9%と高い。
- 制度改正においては認知率(認知計)が24.2%、興味度(興味あり計)が40.7%。いずれの比率も男性の方が高く、また若年層ほど高い傾向。

### <個人型確定拠出年金の今後の利用・継続利用意向>【ベース:60歳未満の者】(P.124)



### <個人型確定拠出年金の対象者拡大・受給開始の上限延長の認知・興味度>【ベース:60歳未満の個人型確定拠出年金認知者】(P.126,127)



## 2. 調査結果の要約

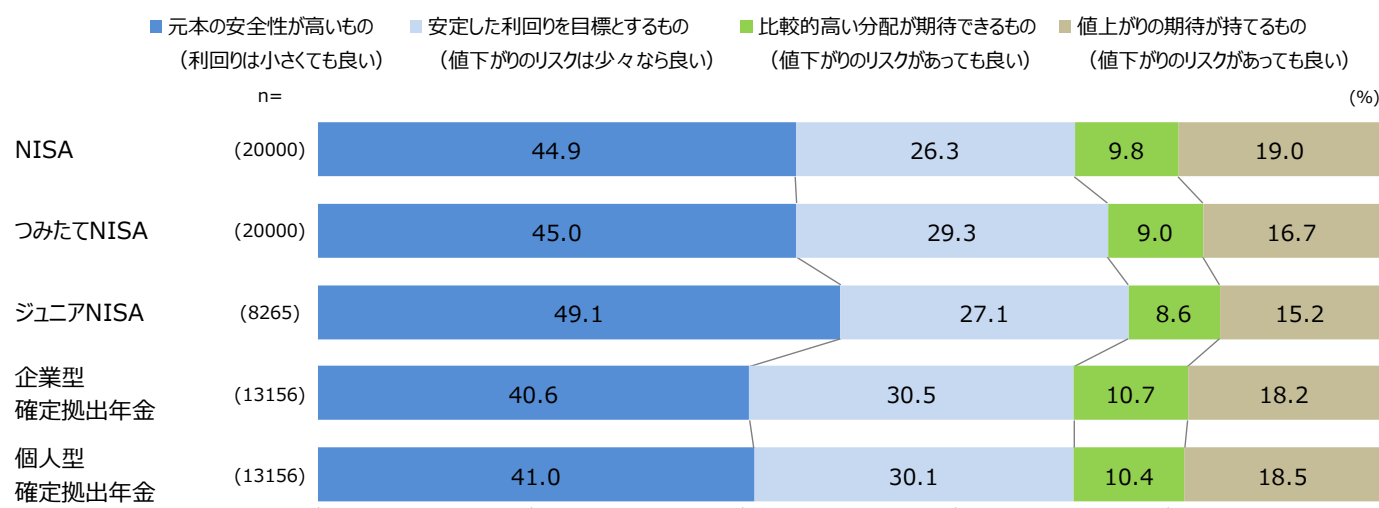
NISA、つみたてNISA、ジュニアNISA、企業型確定拠出年金、個人型確定拠出年金で投資する場合に、選択したい金融商品

■ いずれの制度も、全体では「元本の安全性が高いもの(利回りは小さくてもよい)」への投資意向が4割台と高い。特にジュニアNISAでは5割弱と他制度の利用意向者より、元本の安全性重視の姿勢が高い。各制度利用意向者では「安定した利回りを目標とするもの(値下がりのリスクは少々なら良い)」が高く、利回り重視の投資姿勢が強まる。また、NISAでは、他制度の利用意向者に比べて、リスクがあってもリターンが期待できる商品の選択意向がやや高い。

- ・ いずれの制度でも、高齢層ほど「元本安全」商品への投資意向が高くなる。(P.129,131,133,135,136)
- ・ また高年取層ほど「安定利回りを目標」とする商品や、「比較的高い分配が期待できる」商品への投資意向が高くなる。(P.129,131,133,135,136)

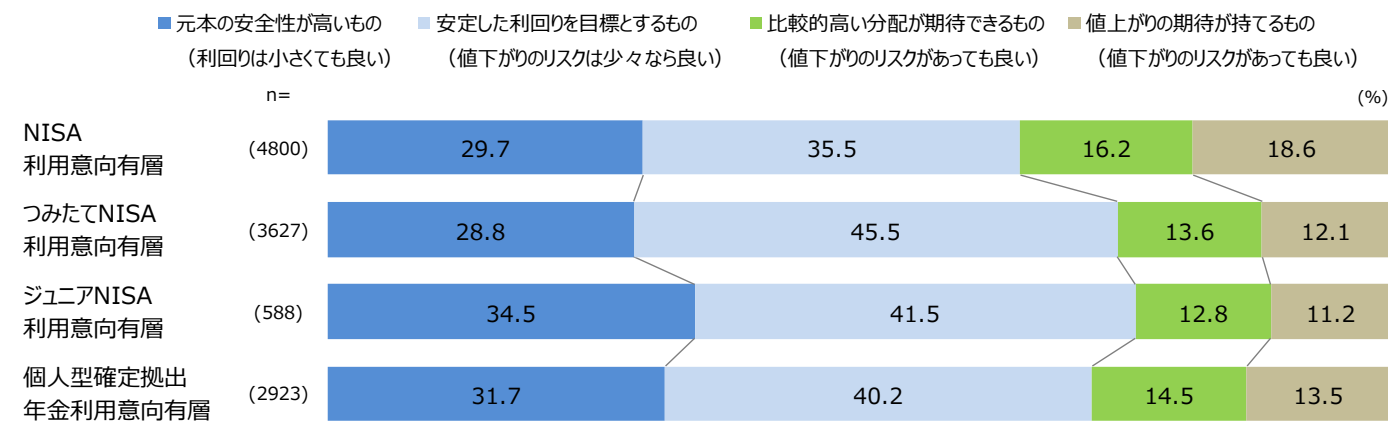
<各制度で投資する場合に、選択したい金融商品> (P.129,131,133,135,136)

\* ジュニアNISAは20歳未満の親族有の者、企業型／個人型確定拠出年金は60歳未満の者ベース



<各制度で投資する場合に、選択したい金融商品>【ベース:各制度利用意向者】(P.130,132,134,137)

\* ジュニアNISAは20歳未満の親族有の者、個人型確定拠出年金は60歳未満の者ベース



### 3. 回答者のプロフィール

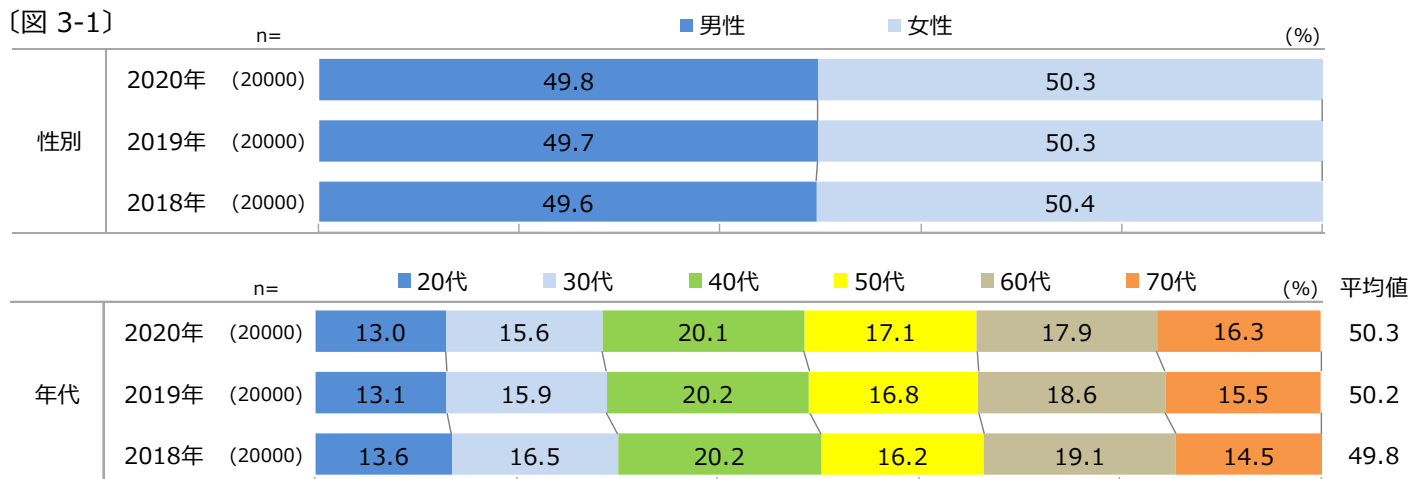


### 3. 回答者のプロフィール

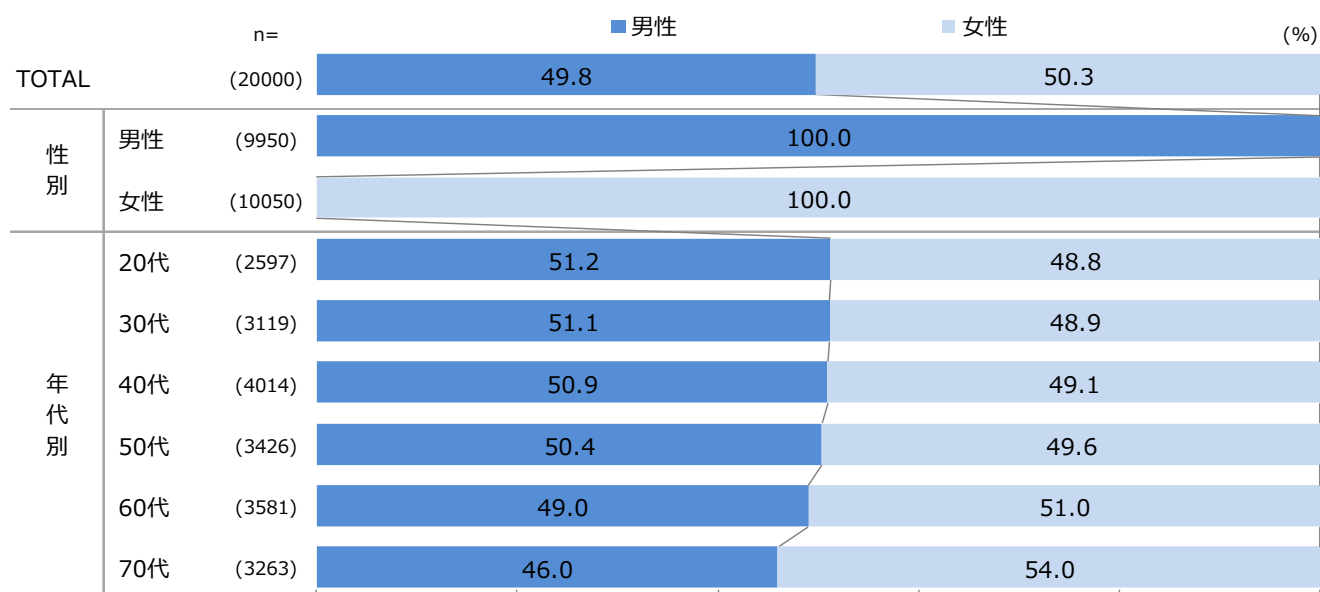
#### (1) 性別・年代〔Q1:単数回答・Q2:自由記述回答〕

- 回答者の性別は「男性」が49.8%、「女性」が50.3%。平均年齢は50.3歳となっている。〔図3-1〕
- 投資信託保有状況別では、現在保有層および保有経験層、保有未経験層(金融資産保有経験有)で「男性」の方が多い。〔図3-3〕
- 投資信託の「現在保有層」は60代が最も高く、「保有経験層」は年代が上がるにつれて増加する。〔図3-5〕

〔図 3-1〕



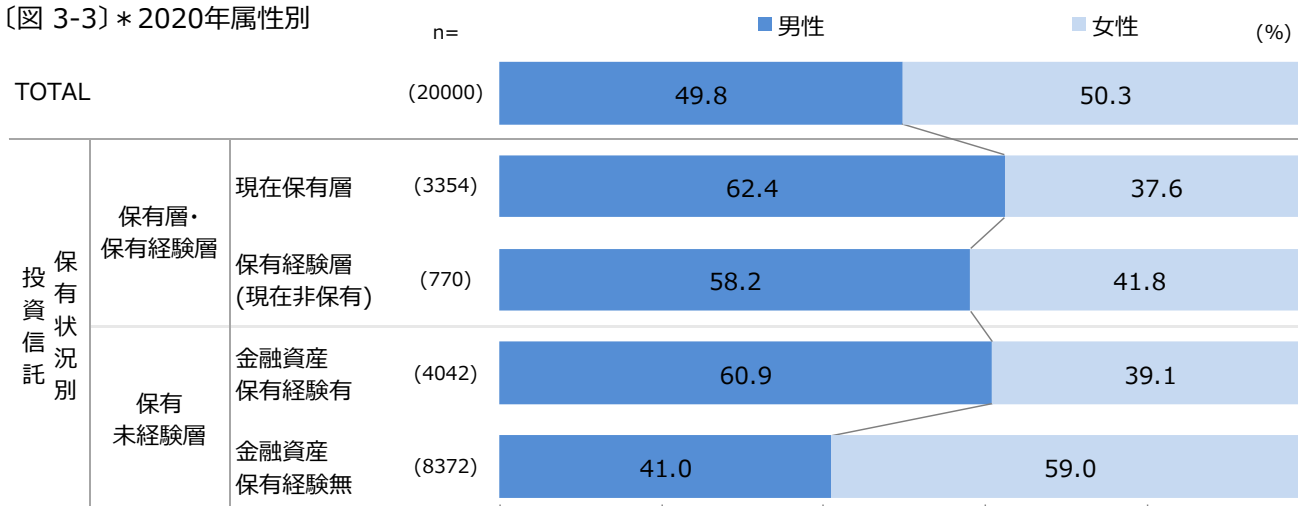
〔図 3-2〕 \* 2020年属性別



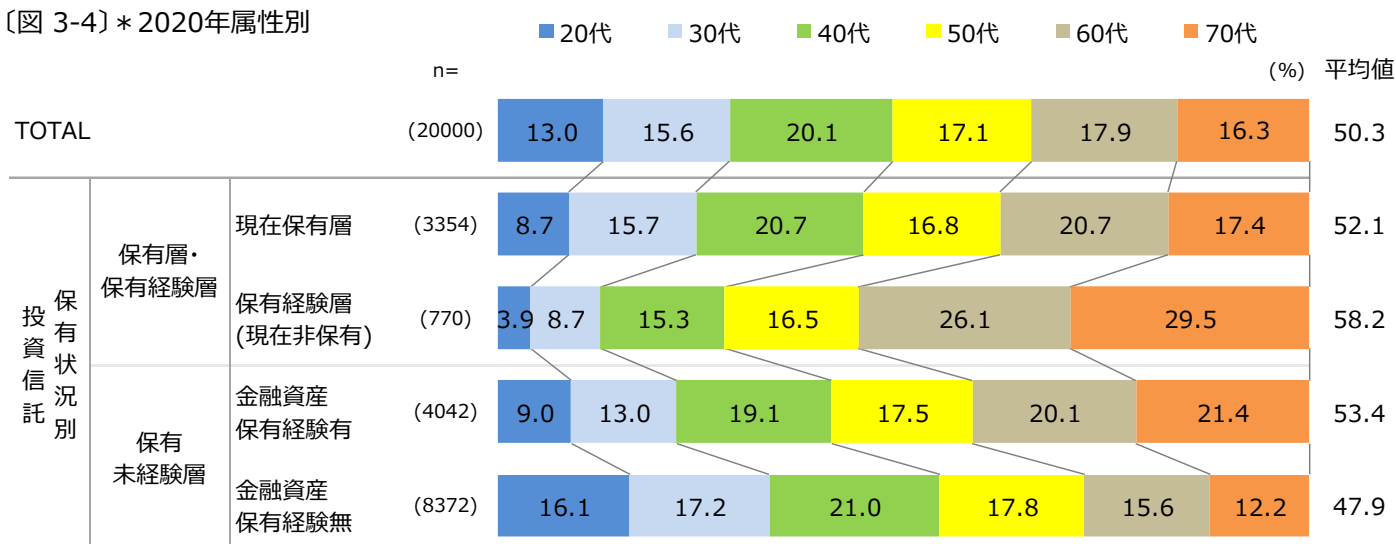
### 3. 回答者のプロフィール

#### (1) 性別・年代〔Q1:単数回答・Q2:自由記述回答〕

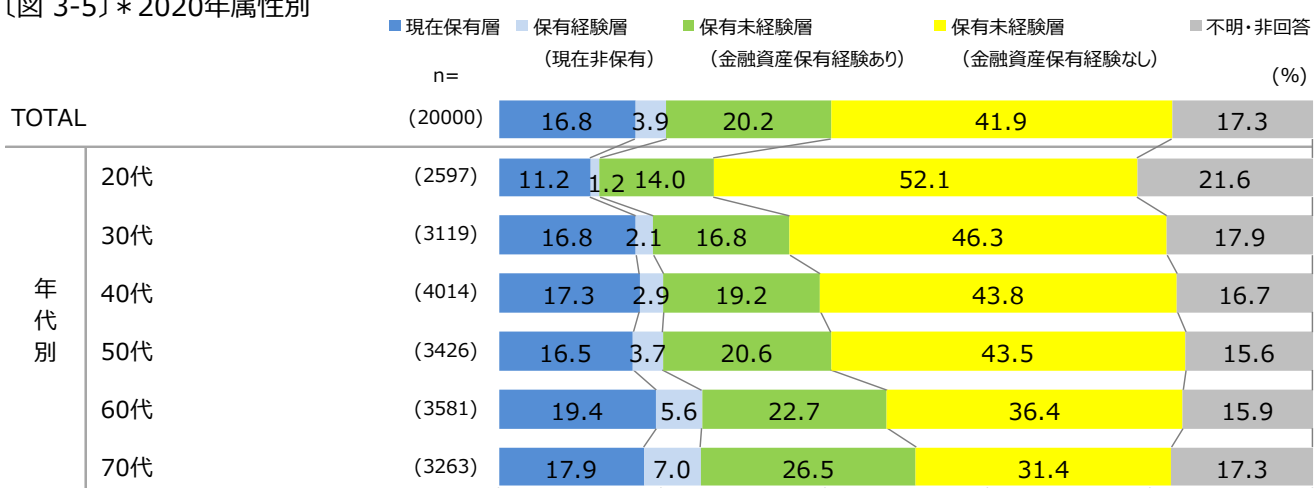
〔図 3-3〕\* 2020年属性別



〔図 3-4〕\* 2020年属性別



〔図 3-5〕\* 2020年属性別



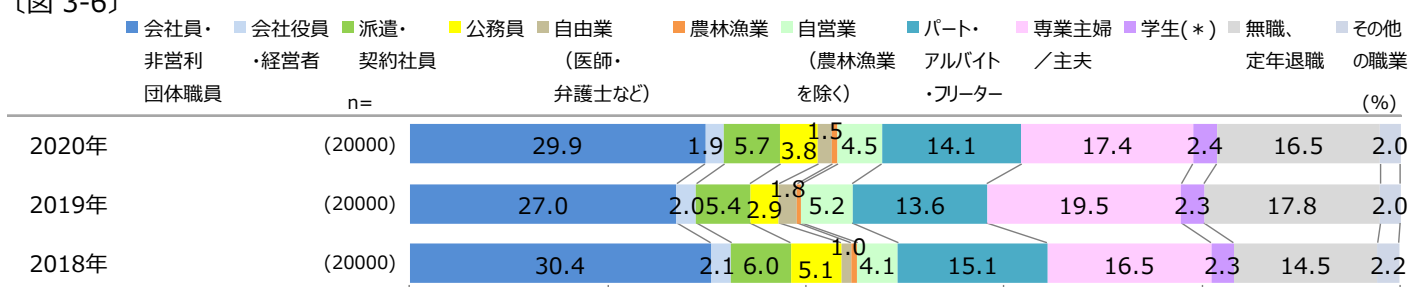
### 3. 回答者のプロフィール

#### (2) 職業〔Q3:単数回答〕

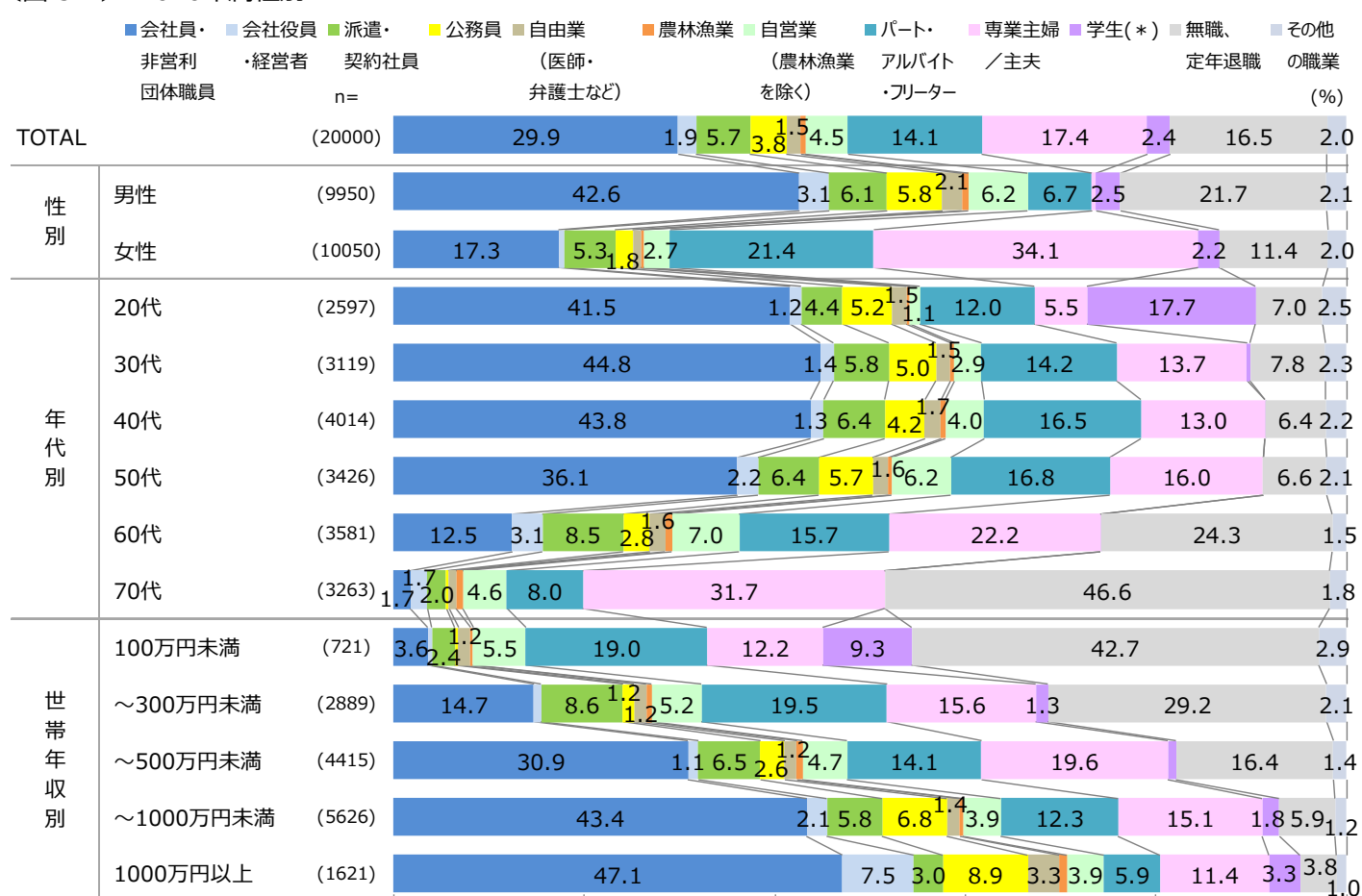
- 回答者の職業は「会社員・非営利団体職員」(29.9%)が最も多く、世帯年収が上がるにつれて増加傾向。また年収1,000万円以上の世帯では、「会社役員・経営者」(7.5%)がやや多い。〔図3-6〕〔図3-7〕

- 投資信託現在保有層では、他層に比べて「会社員・非営利団体職員」が、保有経験層では「無職、定年退職」が多い。〔図3-8〕

〔図 3-6〕



〔図 3-7〕\* 2020年属性別



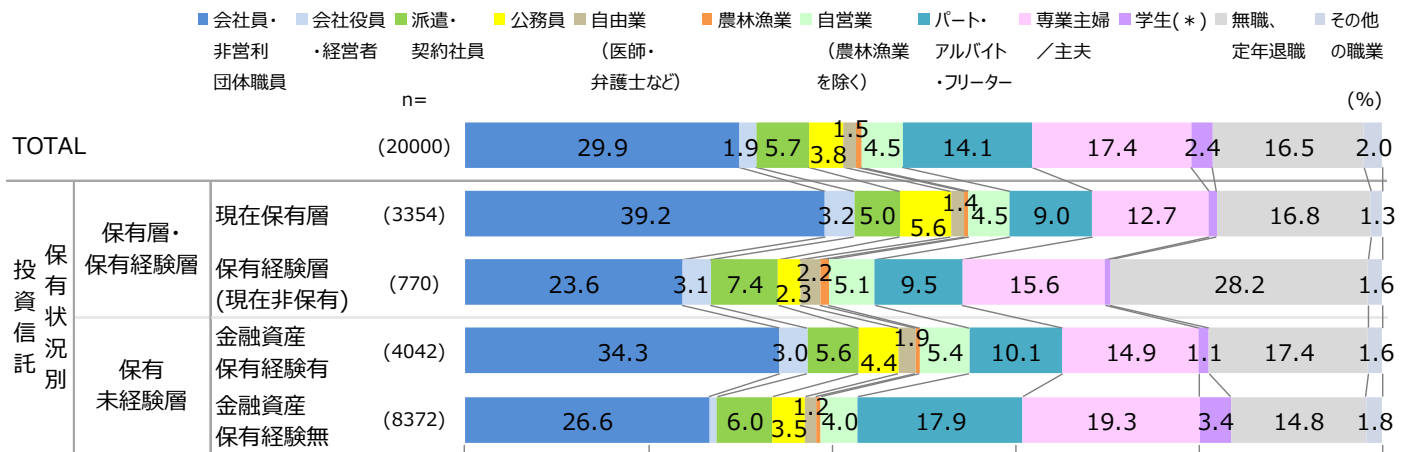
※1%未満の反応率は非表示

\* 学生=大学生、大学院生、専門学校生、短大生、予備校生

### 3. 回答者のプロフィール

#### (2) 職業〔Q3:単数回答〕

〔図 3-8〕\* 2020年属性別



※1%未満の反応率は非表示

\* 学生=大学生、大学院生、専門学校生、短大生、予備校生

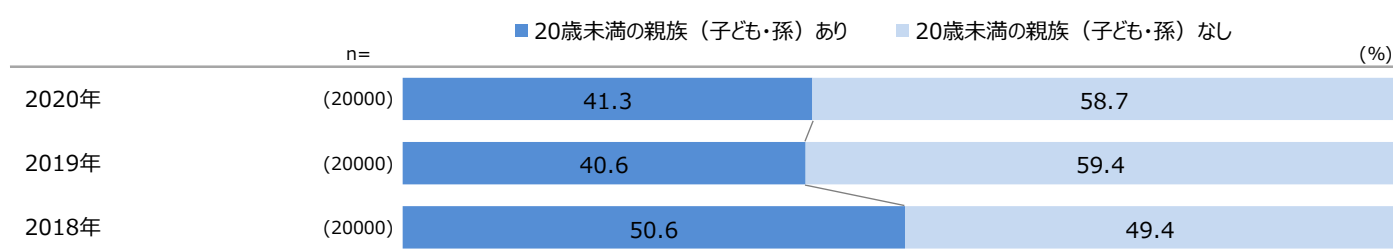


### 3. 回答者のプロフィール

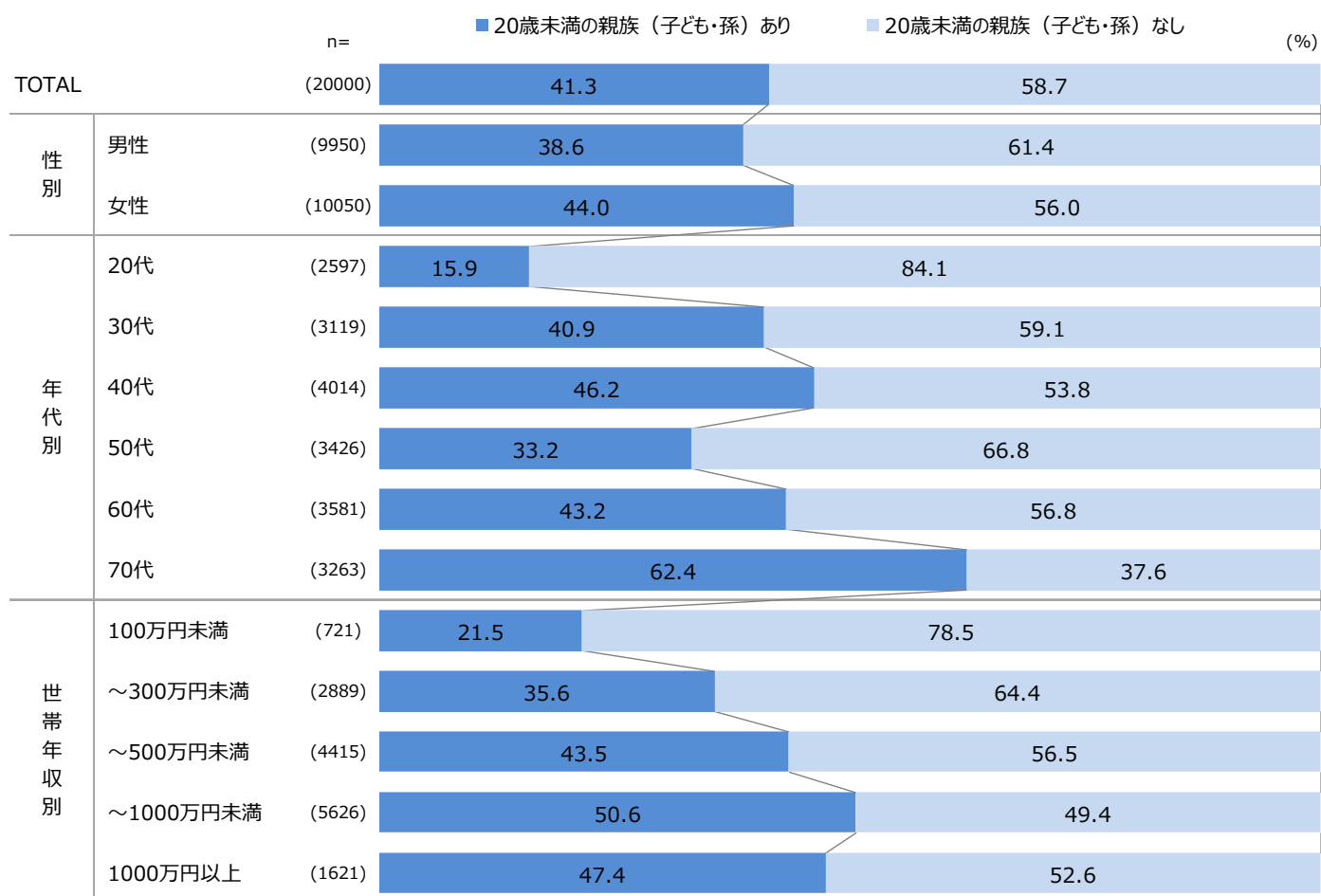
#### (3) 20歳未満の親族の有無〔Q4①②:単数回答〕

- 20歳未満の親族(子ども・孫)がいる人は41.3%で、前回と同程度。50代で比率が低くなるものの、年代が上がるほど高くなる傾向。〔図3-9〕〔図3-10〕  
\* 2018年からの変動は調査パネル変更の影響も考えられる
- 20歳未満の子どもの数は、いずれの人数でも30代・40代で、20歳未満の孫の数は60代・70代で高い。〔図3-11〕〔図3-12〕

〔図 3-9〕【20歳未満の親族（子ども・孫）の有無】 ※ Q4①②の結果を加工して作成



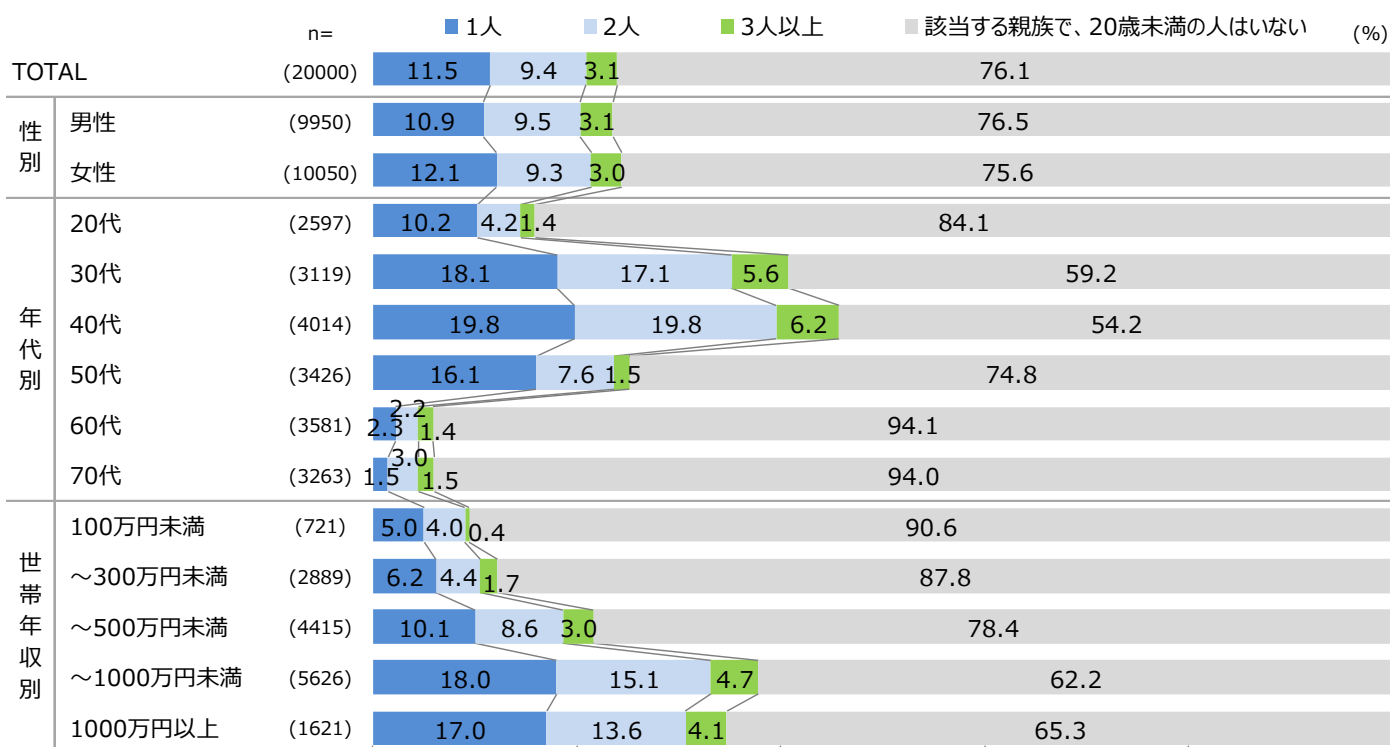
〔図 3-10〕【20歳未満の親族（子ども・孫）の有無】 ※ Q4①②の結果を加工して作成 \* 2020年属性別



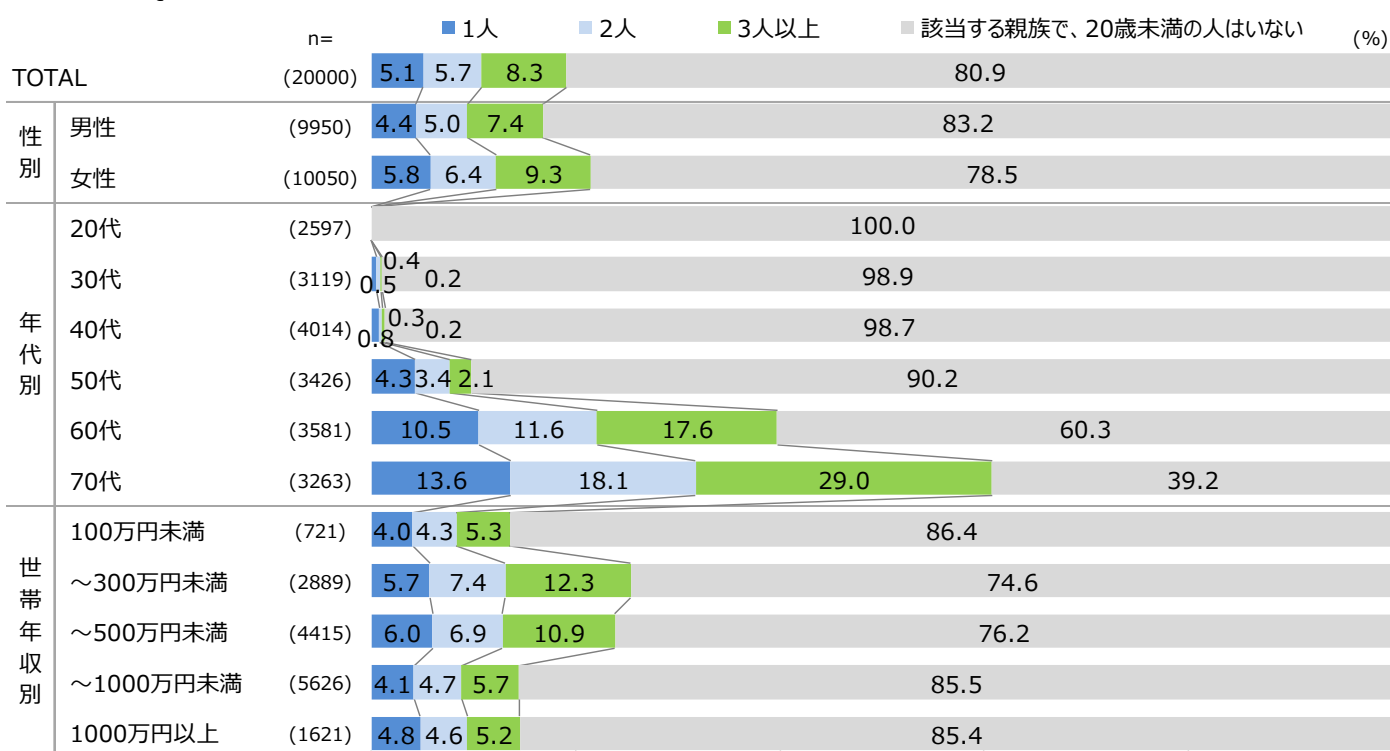
### 3. 回答者のプロフィール

#### (3) 20歳未満の親族の有無〔Q4①②:単数回答〕

〔図 3-11〕【Q4① 20歳未満の子どもの有無】 \* 2020年属性別



〔図 3-12〕【Q4② 20歳未満の孫の有無】 \* 2020年属性別



### 3. 回答者のプロフィール

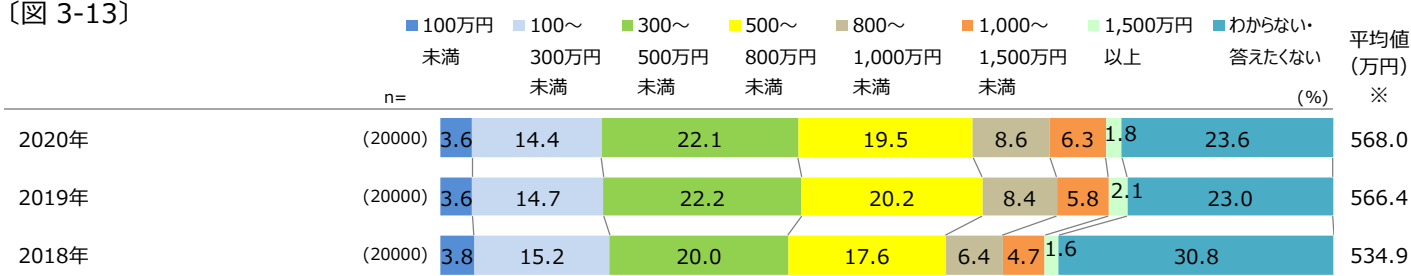
#### (4) 世帯年収〔Q5①:単数回答〕

- 世帯年収は「300～500万円未満」(22.1%)、「500万円～800万円未満」(19.5%)がやや多く、平均値は「568.0万円」で前回と同程度。〔図3-13〕

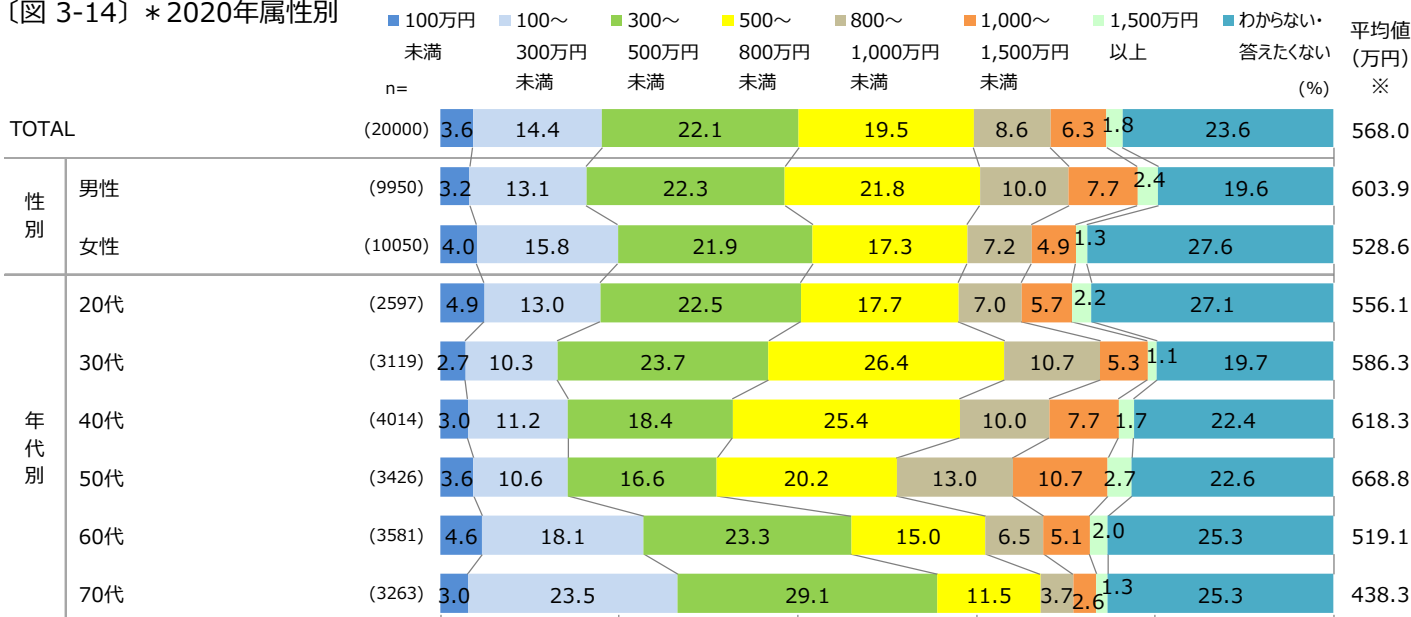
\* 2018年からの変動は調査パネル変更の影響も考えられる

- 投資信託現在保有層は平均値が「677.0万円」と他層に比べて高い。〔図3-15〕

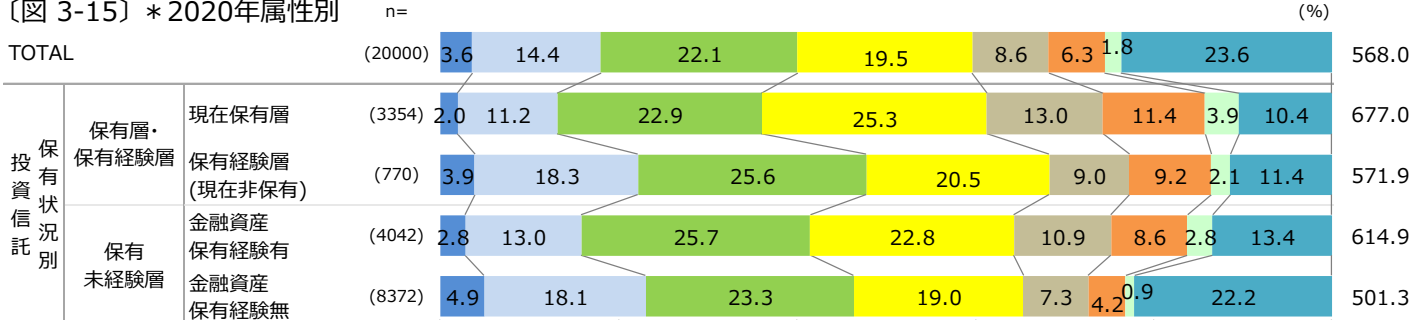
〔図 3-13〕



〔図 3-14〕 \* 2020年属性別



〔図 3-15〕 \* 2020年属性別



※ 平均値は「わからない・答えたくない」を除いて算出。算出にあたってのウエイト値は以下の通り

100万円未満：50万円 / 100～300万円未満：200万円 / 300～500万円未満：400万円 / 500～800万円未満：650万円  
800～1000万円未満：900万円 / 1000～1500万円未満：1250万円 / 1500万円以上：1750万円

### 3. 回答者のプロフィール

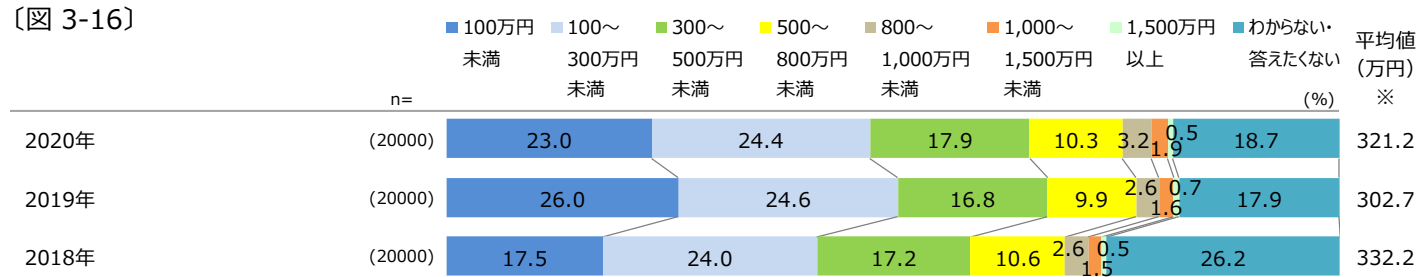
#### (4) 個人年収〔Q5②:単数回答〕

- 個人年収は「100万円～300万円未満」(24.4%)、「100万円未満」(23.0%)がやや多い。平均値は「321.2万円」と前回より18.5万円高い。〔図3-16〕

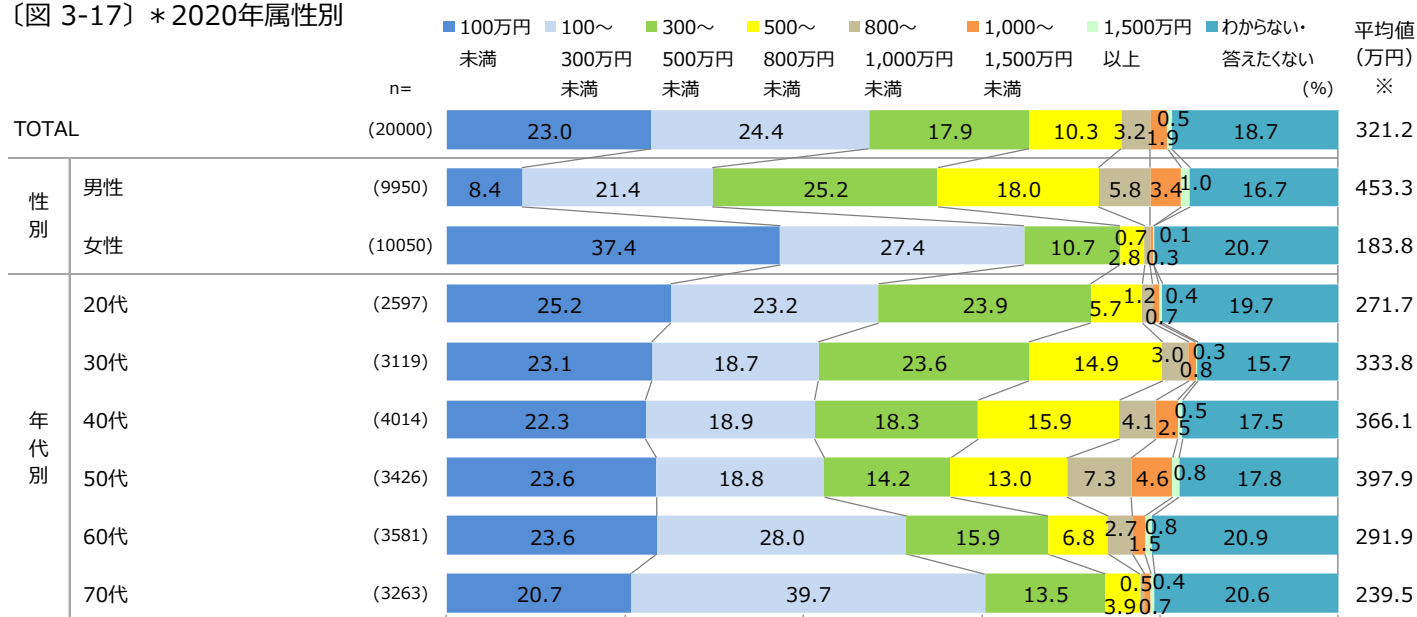
\* 2018年からの変動は調査パネル変更の影響も考えられる

- 世帯年収と同様に、投資信託現在保有層では平均値が「446.7万円」と他層に比べて高い。〔図3-18〕

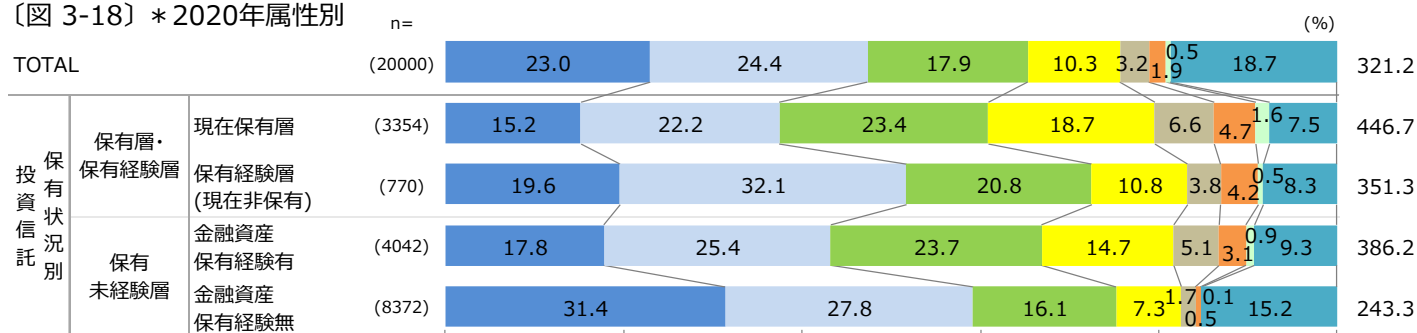
〔図 3-16〕



〔図 3-17〕 \* 2020年属性別



〔図 3-18〕 \* 2020年属性別



※ 平均値は「わからない・答えたくない」を除いて算出。算出にあたってのウエイト値は以下の通り

100万円未満：50万円 / 100～300万円未満：200万円 / 300～500万円未満：400万円 / 500～800万円未満：650万円 / 800～1000万円未満：900万円 / 1000～1500万円未満：1250万円 / 1500万円以上：1750万円

### 3. 回答者のプロフィール

#### (5) 保有経験のある金融資産〔Q6①:重複回答〕

- 「投資信託」の保有経験率は19.5%と「国内株式」(29.7%)に次いで多く、「リート」は4.1%、「ETF」は3.5%にとどまる。〔図3-19〕 \* 2018年からの変動は調査パネル変更の影響も考えられる
- 年代が上がるにつれて「国内株式」の保有経験率は増加する。「投資信託」は20代で低く、60代・70代で高い。「ETF」は、30代・40代が、「リート」は高齢層がやや高い傾向。  
また、世帯年収別では「国内株式」「外国株式」「投資信託」「リート」では、いずれも高年収層ほど保有経験率が高くなる。〔図3-20〕

〔図 3-19〕

	n=	外貨 預金	国内 株式	外国 株式	投資 信託 (除く ETF、 リート)	ETF	不動産 投信 (リート)	個人 向け 国債	国内 債券 (個人向 け国債 除く)	外国 債券	先物、 オプション 、コモディ ティ商品 (金など)	FX	その他	この中 で保有 したもの はない	わから ない・ 答えた くない (%)
2020年	(20000)	14.3	29.7	6.0	19.5	3.5	4.1	7.8	4.2	3.5	1.8	5.6	0.8	41.9	16.6
2019年	(20000)	13.2	28.1	4.9	17.5	2.8	4.0	8.2	4.3	3.5	1.8	5.2	0.8	43.1	17.6
2018年	(20000)	9.1	23.0	3.2	15.3	1.2	2.3	6.5	2.9	2.3	1.1	2.4	0.4	48.3	17.3

〔図 3-20〕 \* 2020年属性別

	n=	外貨 預金	国内 株式	外国 株式	投資 信託 (除く ETF、 リート)	ETF	不動産 投信 (リート)	個人 向け 国債	国内 債券 (個人向 け国債 除く)	外国 債券	先物、 オプション 、コモディ ティ商品 (金など)	FX	その他	この中 で保有 したもの はない	わから ない・ 答えた くない (%)
TOTAL	(20000)	14.3	29.7	6.0	19.5	3.5	4.1	7.8	4.2	3.5	1.8	5.6	0.8	41.9	16.6
性別	男性 (9950)	17.1	39.5	8.5	23.9	5.8	5.6	7.9	5.1	4.2	3.1	9.0	1.1	34.5	14.5
	女性 (10050)	11.4	19.9	3.6	15.2	1.3	2.7	7.6	3.4	2.8	0.6	2.2	0.5	49.1	18.6
年代別	20代 (2597)	7.2	16.2	5.5	11.2	3.4	2.2	1.9	1.8	1.8	1.8	4.2	0.6	52.1	21.3
	30代 (3119)	11.5	23.9	7.6	17.7	5.2	3.4	2.9	1.8	1.6	1.6	7.8	0.7	46.3	17.6
	40代 (4014)	14.4	26.9	6.0	19.1	4.6	4.0	5.7	3.6	2.8	1.8	8.9	0.8	43.8	16.1
	50代 (3426)	16.8	28.5	4.4	19.3	2.7	3.9	7.3	4.4	3.4	1.6	5.5	0.7	43.5	14.9
	60代 (3581)	18.3	37.1	6.1	24.1	3.0	5.5	12.7	6.3	5.3	2.3	3.9	1.0	36.4	14.6
	70代 (3263)	15.2	42.4	6.6	23.5	2.1	5.3	14.7	6.7	5.7	1.8	2.5	0.8	31.4	16.3
世帯 年収 別	100万円未満 (721)	10.5	18.6	2.5	12.6	3.3	2.2	5.8	2.6	2.8	1.2	4.0	0.4	57.4	13.3
	~300万円未満 (2889)	11.3	24.1	4.0	16.9	1.9	3.0	7.4	3.3	2.6	1.3	4.6	0.7	52.5	10.7
	~500万円未満 (4415)	15.4	32.5	5.8	20.8	3.3	4.0	8.9	4.3	3.1	2.1	5.5	1.0	44.3	9.6
	~1000万円未満 (5626)	17.8	37.9	8.6	25.5	5.1	5.5	8.6	5.3	4.7	2.4	8.1	1.0	39.1	9.1
	1000万円以上 (1621)	28.9	51.4	13.5	34.5	8.0	10.1	13.3	10.3	8.1	4.4	10.1	1.4	26.7	7.3

### 3. 回答者のプロフィール

#### (6) 現在保有している金融資産〔Q6②:重複回答〕

- 「投資信託」の現在保有率は15.5%と「国内株式」(24.3%)に次いで高い。「リート」は2.6%、「ETF」は2.5%にとどまる。〔図3-21〕 \* 2018年からの変動は調査パネル変更の影響も考えられる
- 保有経験率と同様、年代が上がるにつれて「国内株式」の現在保有率は増加。「投資信託」の現在保有率は20代がやや低いものの、30代以上では差が小さい。保有経験率と同様、30代・40代で「ETF」の現在保有率がやや高い傾向。また、世帯年収別では高年収層ほど「国内株式」「投資信託」「リート」の現在保有率が高くなる。〔図3-22〕

〔図 3-21〕

	n=	外貨 預金	国内 株式	外国 株式	投資 信託 (除く ETF、 リート)	ETF	不動産 投信 (リート)	個人 向け 国債	国内 債券 (個人向 け国債 除く)	外国 債券	先物、 オプション 、コモディ ティ商品 (金など)	FX	その他	この中 で保有 しているも のではない	わから ない・ 答えた くない	(%)
2020年	(20000)	9.0	24.3	4.1	15.5	2.5	2.6	3.2	2.3	2.0	0.7	3.3	0.7	46.8	17.3	
2019年	(20000)	8.2	22.9	3.0	13.4	1.7	2.6	3.2	2.3	2.2	0.6	2.9	0.7	47.9	18.5	
2018年	(20000)	5.2	18.1	1.9	11.2	0.8	1.5	2.8	1.7	1.6	0.4	1.3	0.3	55.1	17.4	

〔図 3-22〕 \* 2020年属性別

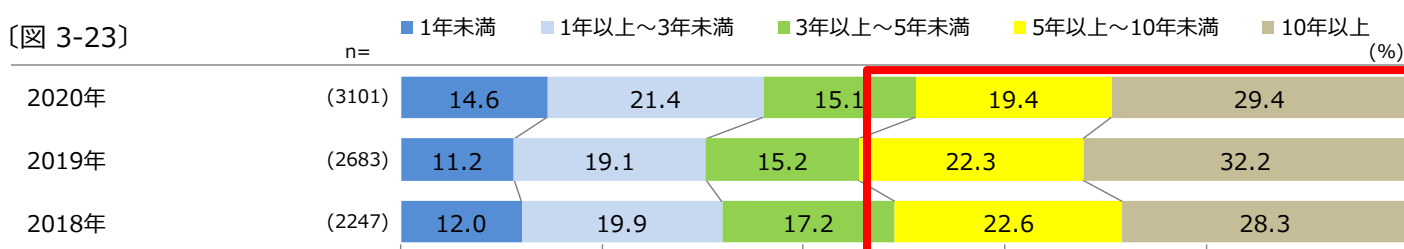
	n=	外貨 預金	国内 株式	外国 株式	投資 信託 (除く ETF、 リート)	ETF	不動産 投信 (リート)	個人 向け 国債	国内 債券 (個人向 け国債 除く)	外国 債券	先物、 オプション 、コモディ ティ商品 (金など)	FX	その他	この中 で保有 しているも のではない	わから ない・ 答えた くない	(%)
TOTAL	(20000)	9.0	24.3	4.1	15.5	2.5	2.6	3.2	2.3	2.0	0.7	3.3	0.7	46.8	17.3	
性別	男性 (9950)	11.3	32.6	5.8	19.2	4.1	3.5	3.5	2.7	2.5	1.2	5.5	1.0	39.6	15.2	
	女性 (10050)	6.8	16.0	2.3	11.9	0.8	1.6	2.8	1.8	1.5	0.3	1.2	0.4	53.9	19.4	
年代別	20代 (2597)	6.2	14.0	4.4	10.1	2.7	1.7	1.3	1.2	1.0	1.0	2.8	0.5	53.6	21.6	
	30代 (3119)	8.1	21.1	6.3	15.3	4.0	2.4	1.7	1.1	1.1	0.8	4.6	0.7	48.7	17.9	
	40代 (4014)	9.4	22.9	4.5	15.9	3.3	2.4	2.7	2.0	1.7	1.0	5.3	0.7	47.7	16.7	
	50代 (3426)	10.6	23.4	2.8	15.6	1.8	2.5	2.9	2.5	2.0	0.4	3.2	0.7	48.8	15.6	
	60代 (3581)	10.8	29.2	3.4	18.1	2.0	3.2	5.1	3.0	2.8	0.6	2.2	0.9	43.3	15.9	
	70代 (3263)	8.1	32.9	3.2	16.5	1.1	3.0	5.0	3.5	3.3	0.6	1.2	0.7	40.1	17.3	
世帯 年収 別	100万円未満 (721)	6.1	15.0	1.9	8.3	2.1	1.4	1.8	1.1	1.1	0.6	2.2	0.3	61.7	13.5	
	~300万円未満 (2889)	6.4	17.8	2.2	12.0	1.0	1.7	2.4	1.6	1.3	0.4	2.7	0.6	59.3	11.4	
	~500万円未満 (4415)	9.5	26.0	3.7	16.3	2.3	2.4	3.5	2.2	1.8	0.6	3.1	0.9	50.3	10.4	
	~1000万円未満 (5626)	11.7	31.8	6.0	21.2	3.8	3.4	3.9	3.1	2.7	1.1	4.9	1.0	43.8	9.9	
	1000万円以上 (1621)	20.6	45.5	10.2	28.7	5.6	7.0	6.4	5.2	5.3	2.3	6.0	1.4	30.5	8.0	

### 3. 回答者のプロフィール

#### (7) 投資信託の保有期間（投資信託現在保有者）〔Q7①:単数回答〕

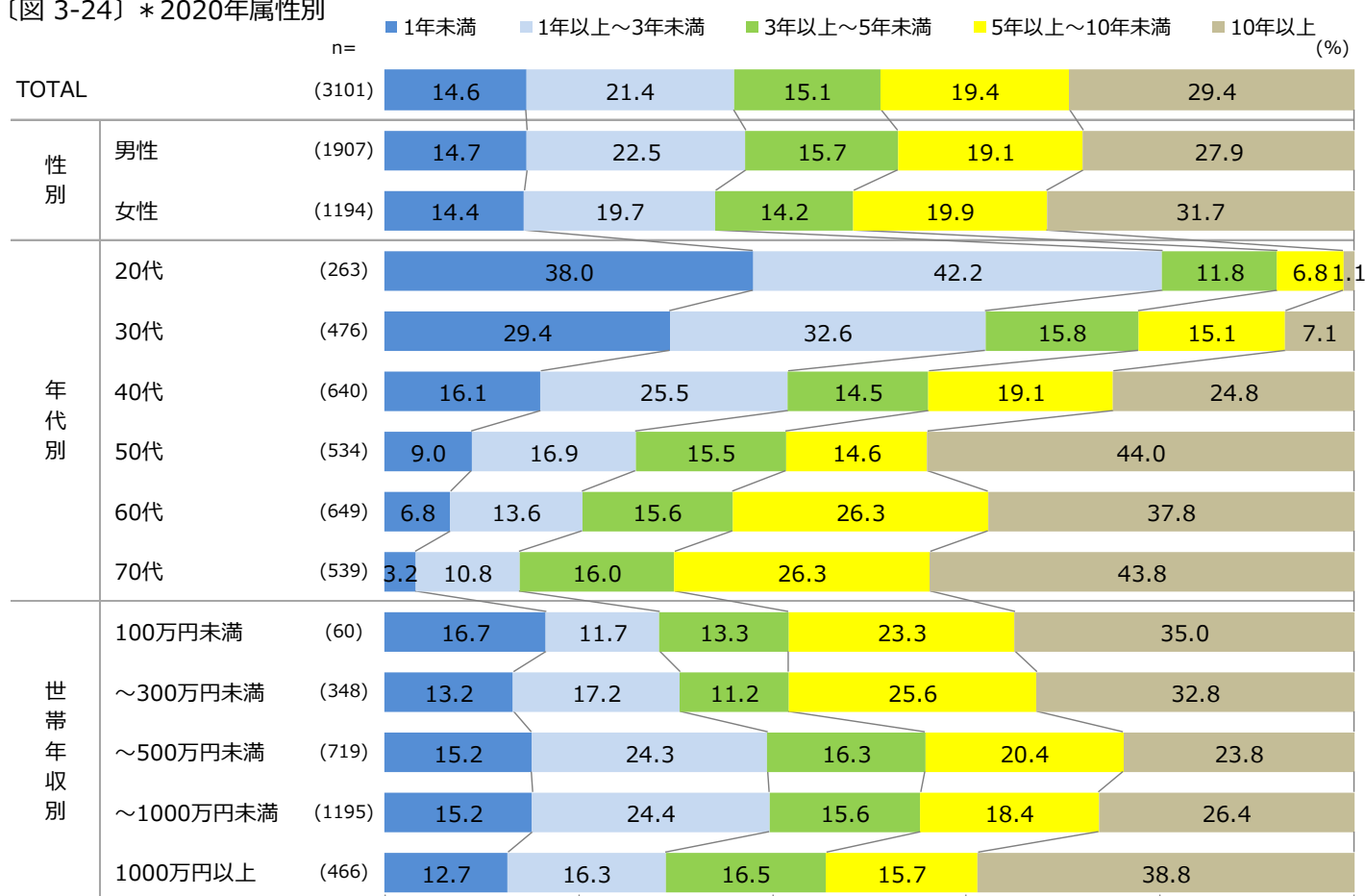
- 投資信託(ETF、リートを除く)の保有期間は、前回から「1年未満」(14.6%)、「1年以上～3年未満」(21.4%)がやや増加し、『5年未満計』(51.1%)が半数以上となり、『5年以上計』(48.8%)をわずかに上回っている。〔図3-23〕 \* 2018年からの変動は調査パネル変更の影響も考えられる
- 年代が上がるほど5年以上の保有率が高くなる。〔図3-24〕

〔図 3-23〕



〔5年以上計〕 2020年 48.8% / 2019年 54.5% / 2018年 50.9%

〔図 3-24〕 \* 2020年属性別



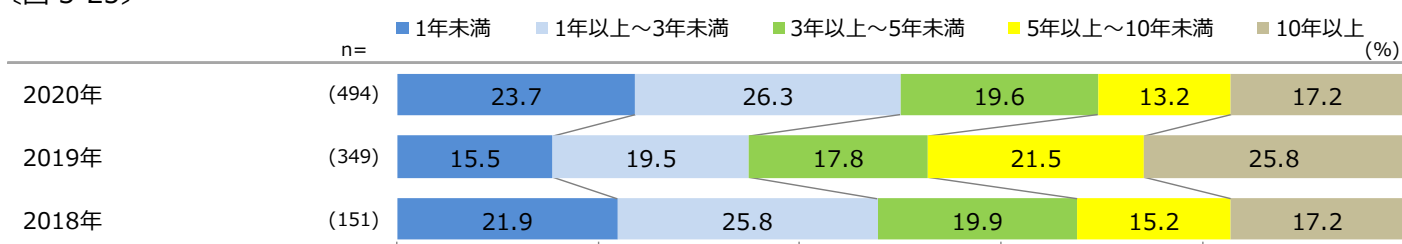
### 3. 回答者のプロフィール

#### (7) ETFの保有期間（ETF現在保有者）〔Q7②:単数回答〕

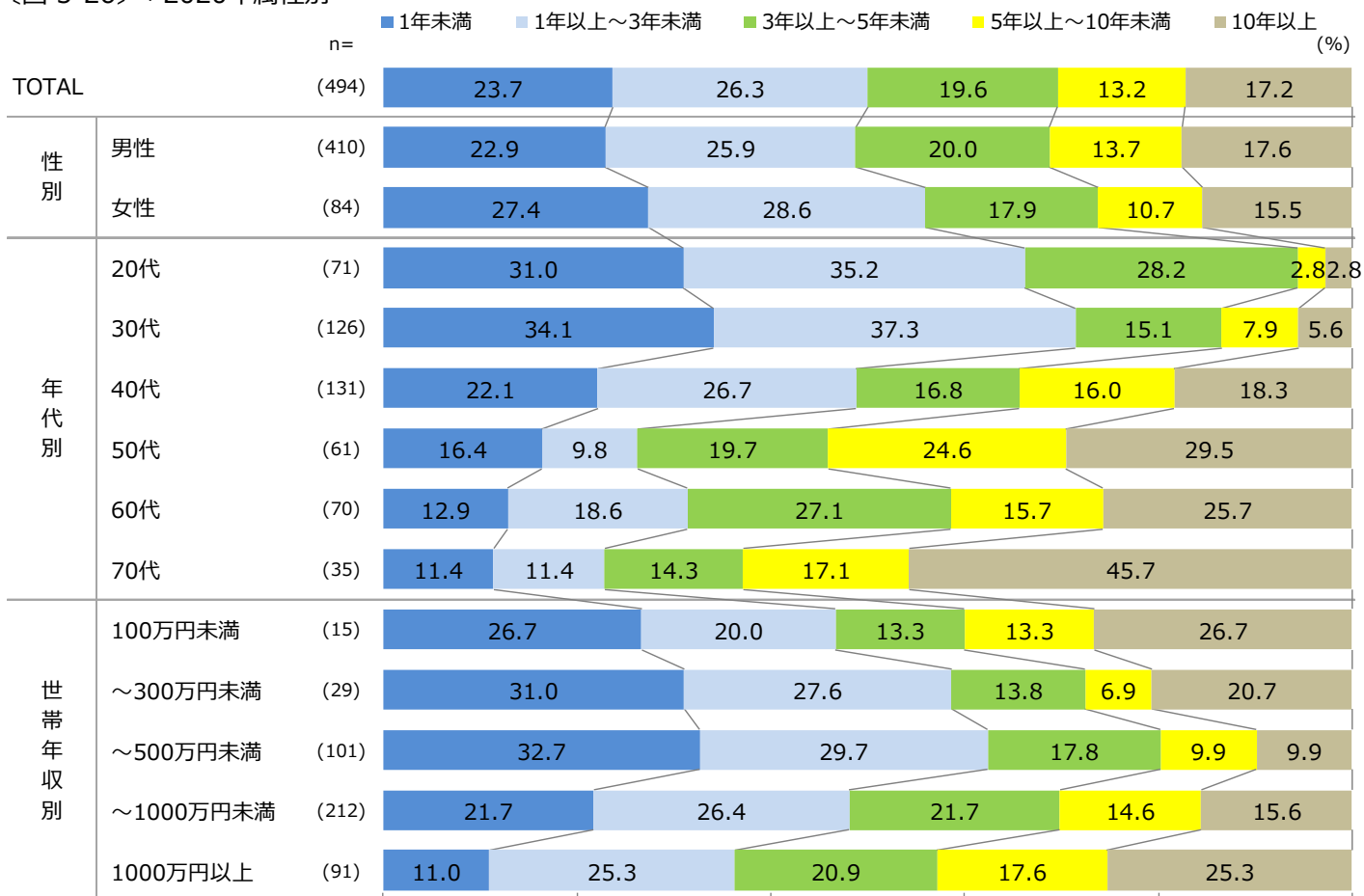
- ETFの保有期間は、「1年未満」(23.7%)が8.2ポイント、「1年以上～3年未満」(26.3%)が6.8ポイント前回より増加した。一方、「5年以上～10年未満」(13.2%)が8.3ポイント、「10年以上」(17.2%)が8.6ポイント前回より減少した。〔図3-25〕

\* 2018年からの変動は調査パネル変更の影響も考えられる

〔図 3-25〕



〔図 3-26〕 \* 2020年属性別





### 3. 回答者のプロフィール

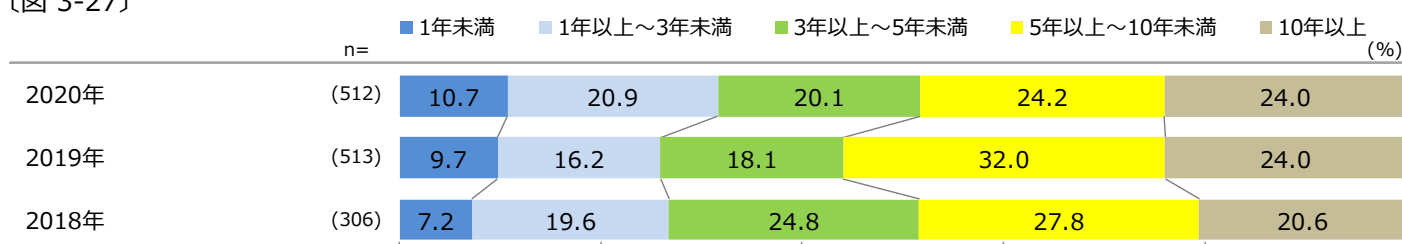
#### (7) リートの保有期間（リート現在保有者）〔Q7③:単数回答〕

- リートの保有期間は、「1年以上～3年未満」(20.9%)が前回より4.7ポイント増加し、「5年以上～10年未満」(24.2%)は7.8ポイント減少した。〔図3-27〕

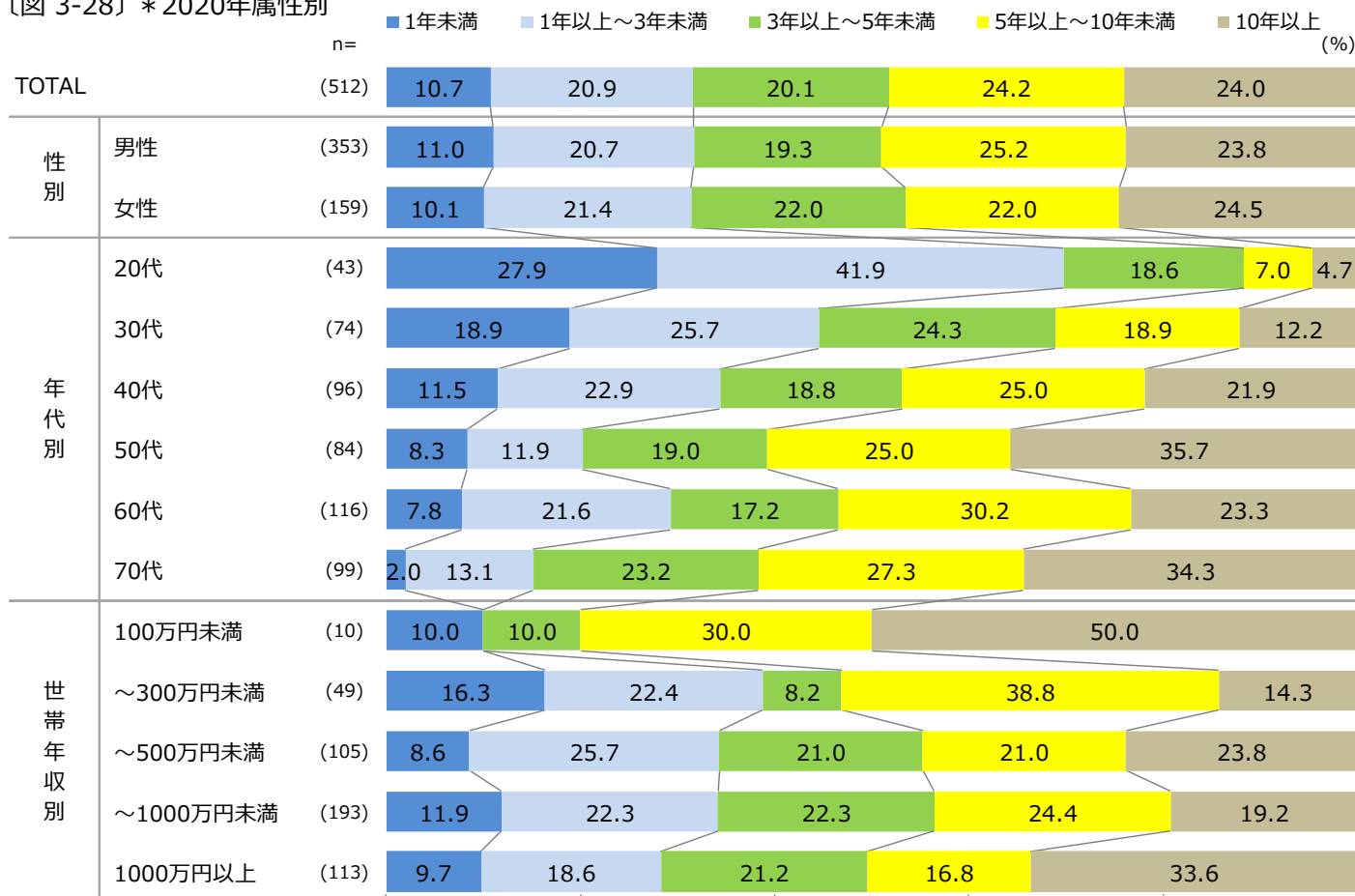
\* 2018年からの変動は調査パネル変更の影響も考えられる

- 年代別では50代をピークに年代が上がるほど、長期保有率が高くなる。世帯年収別では「1000万円以上」で3割強と高い。〔図3-28〕

〔図 3-27〕



〔図 3-28〕 \* 2020年属性別



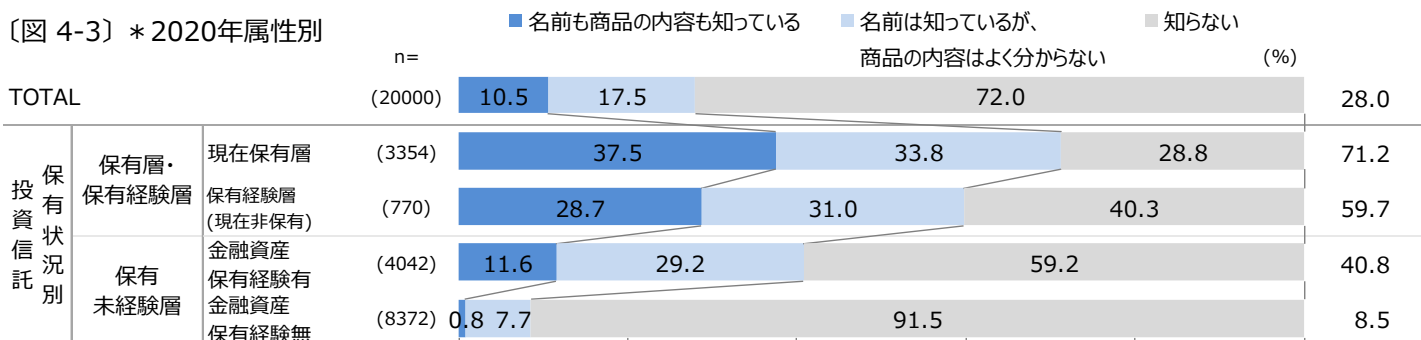
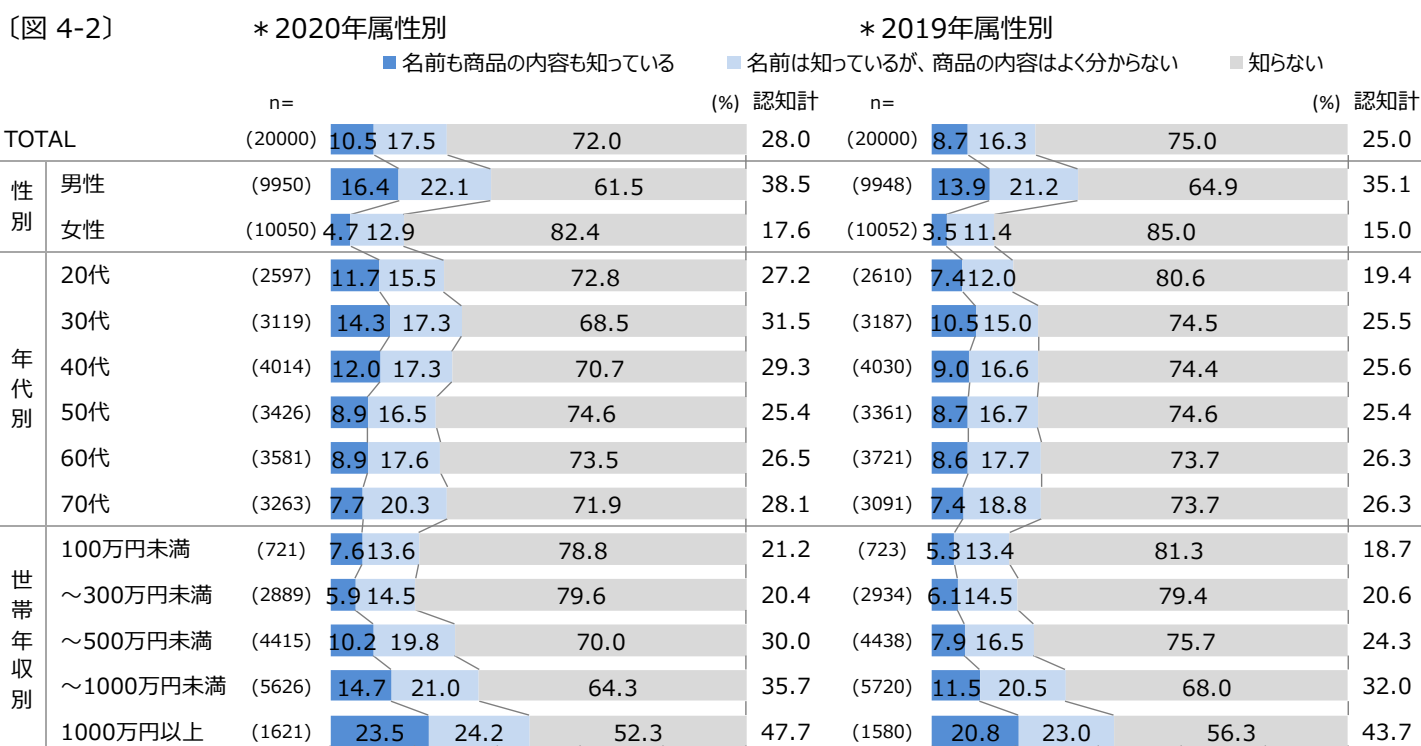
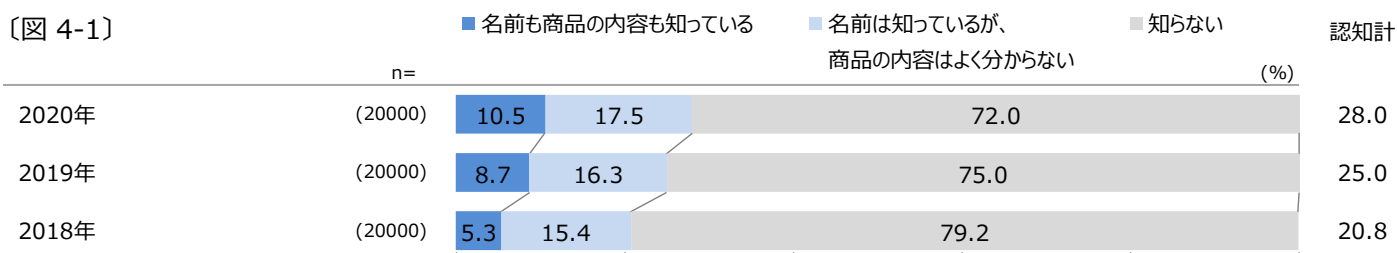
## **4. ETF、Jリートへの浸透状況、今後の購入意向**



## 4. ETF、Jリートへの浸透状況、今後の購入意向

### (1) ETFの認知状況〔Q8①:単数回答〕

- ETFの認知率(認知計：28.0%)、商品内容認知率(10.5%)ともに前回よりわずかに増加傾向。〔図4-1〕 \* 2018年からの変動は調査パネル変更の影響も考えられる
- 年代別では、30代・40代で認知率がやや高い。前回と比べると20代・30代の認知率が増加。世帯年収別では年収が上がるほど認知率が高くなる傾向。〔図4-2〕
- 投資信託現在保有層の認知率は71.2%と、他層に比べて高い。〔図4-3〕



## 4. ETF、ジートの浸透状況、今後の購入意向

### (2) ETFの特徴認知(ETF認知者)[Q9①:複数回答]

- ETFの特徴の認知は、前回同様に「元本保証はない」(59.9%)が特に高い。いずれの項目も認知率は前回と同程度となっている。〔図4-4〕 \* 2018年からの変動は調査パネル変更の影響も考えられる
- 20代では、「元本保証はない」が他の年代に比べて低い。世帯年収別では、「～300万円未満」以上の層で、いずれの項目も年収が上がるほど認知率が高くなる傾向。〔図4-5〕
- ETF現在保有層では、いずれの項目も70%以上の認知率となっている。〔図4-6〕

〔図 4-4〕

	n=	元本保証 はない	証券会社 ごとに購入時 の手数料が 異なる	分散投資が できるのでリスク 低減が期待 できる	ETFはその時々 の取引 価格が購入 価額となる	成行・ 指値注文 が可能	手数料は 一般的な 投資信託 より低い	指数などに 連動する ので 値動きが わかりやすい	わからない ・特 にない	(%)
2020年	(5600)	59.9	39.7	39.1	35.7	33.8	31.4	31.1	27.0	
2019年	(4993)	62.1	40.0	39.0	35.1	34.0	31.0	30.9	27.3	
2018年	(4154)	54.9	32.2	24.6	21.8	21.5	15.9	18.6	32.5	

〔図 4-5〕 \* 2020年属性別

	n=	元本保証 はない	証券会社 ごとに購入時 の手数料が 異なる	分散投資が できるのでリスク 低減が期待 できる	ETFはその時々 の取引 価格が購入 価額となる	成行・ 指値注文 が可能	手数料は 一般的な 投資信託 より低い	指数などに 連動する ので 値動きが わかりやすい	わからない ・特 にない	(%)
TOTAL	(5600)	59.9	39.7	39.1	35.7	33.8	31.4	31.1	27.0	
性別										
男性	(3831)	61.7	41.1	41.7	39.0	37.3	34.5	34.0	25.1	
女性	(1769)	56.0	36.5	33.6	28.5	26.2	24.6	24.8	31.1	
年代別										
20代	(707)	49.1	36.1	35.1	39.2	31.3	28.4	24.3	21.4	
30代	(984)	60.1	41.6	43.4	39.6	38.5	38.2	34.9	23.1	
40代	(1176)	60.3	38.4	42.6	35.0	34.9	33.7	33.5	26.9	
50代	(869)	62.4	40.6	38.2	35.0	34.4	30.6	32.5	28.9	
60代	(948)	65.8	40.4	37.7	32.5	30.7	28.9	30.8	27.4	
70代	(916)	59.1	40.3	35.7	33.5	32.1	26.6	28.3	33.4	
世帯 年収別										
100万円未満	(153)	52.9	35.9	36.6	26.8	30.1	27.5	32.0	33.3	
～300万円未満	(589)	58.1	36.5	31.7	29.4	29.4	24.8	25.1	30.9	
～500万円未満	(1323)	59.3	38.5	39.7	35.0	32.6	30.3	29.3	26.3	
～1000万円未満	(2007)	62.2	42.3	42.3	38.6	36.9	34.9	33.5	23.1	
1000万円以上	(774)	68.7	48.2	48.4	46.4	42.6	41.1	40.6	19.6	

〔図 4-6〕 \* 2020年属性別

	n=	元本保証 はない	証券会社 ごとに購入時 の手数料が 異なる	分散投資が できるのでリスク 低減が期待 できる	ETFはその時々 の取引 価格が購入 価額となる	成行・ 指値注文 が可能	手数料は 一般的な 投資信託 より低い	指数などに 連動する ので 値動きが わかりやすい	わからない ・特 にない	(%)
TOTAL	(5600)	59.9	39.7	39.1	35.7	33.8	31.4	31.1	27.0	
ETF 認知別										
商品内容認知層	(2106)	79.2	61.1	63.1	64.1	58.5	56.6	56.3	6.8	
保有 状況 別										
保有層・ 保有経験層										
現在保有層	(494)	87.0	71.9	77.1	74.5	72.5	73.3	70.6	3.2	
保有経験層 (現在非保有)	(209)	85.2	71.3	70.8	72.7	73.7	63.6	63.6	5.7	
認知・保有 未経験層										
金融資産 保有経験有	(3794)	63.1	39.5	38.9	34.5	32.5	29.8	29.4	22.9	
金融資産 保有経験無	(711)	33.3	20.8	18.6	13.4	13.4	11.1	12.7	53.0	

## 4. ETF、Jリートへの浸透状況、今後の購入意向

### (3) ETFの魅力点〔Q9②:重複回答〕

- ETFの魅力点は、「分散投資ができるのでリスク低減が期待できる」(16.6%)が最も高く、次いで「手数料は一般的な投資信託より低い」(11.8%)が続く。前回と比べて大きな変化はない。〔図4-7〕  
\* 2018年からの変動は調査パネル変更の影響も考えられる
- 年収が上がるほど、多くの項目も高くなる傾向。〔図4-8〕
- ETF現在保有層では「分散投資ができるのでリスク低減が期待できる」「手数料は一般的な投資信託より低い」が5割半ばと高い。〔図4-9〕

〔図 4-7〕

	n=	分散投資ができるので リスク低減が期待できる	手数料は一般的な 投資信託より低い	指数などに 連動するので 値動きがわかりやすい	成行・ 指値注文 が可能	ETFはその 時々の取引 価格が購入 価額となる	証券会社ごと に購入時の 手数料が異なる	元本保証 はない	わからない ・特になし	(%)
2020年	(20000)	16.6	11.8	9.4	6.1	5.8	3.1	3.0	72.2	
2019年	(20000)	14.9	10.3	8.6	5.3	4.6	2.5	3.1	74.9	
2018年	(20000)	11.5	6.7	6.1	4.4	2.9	2.4	2.5	80.0	

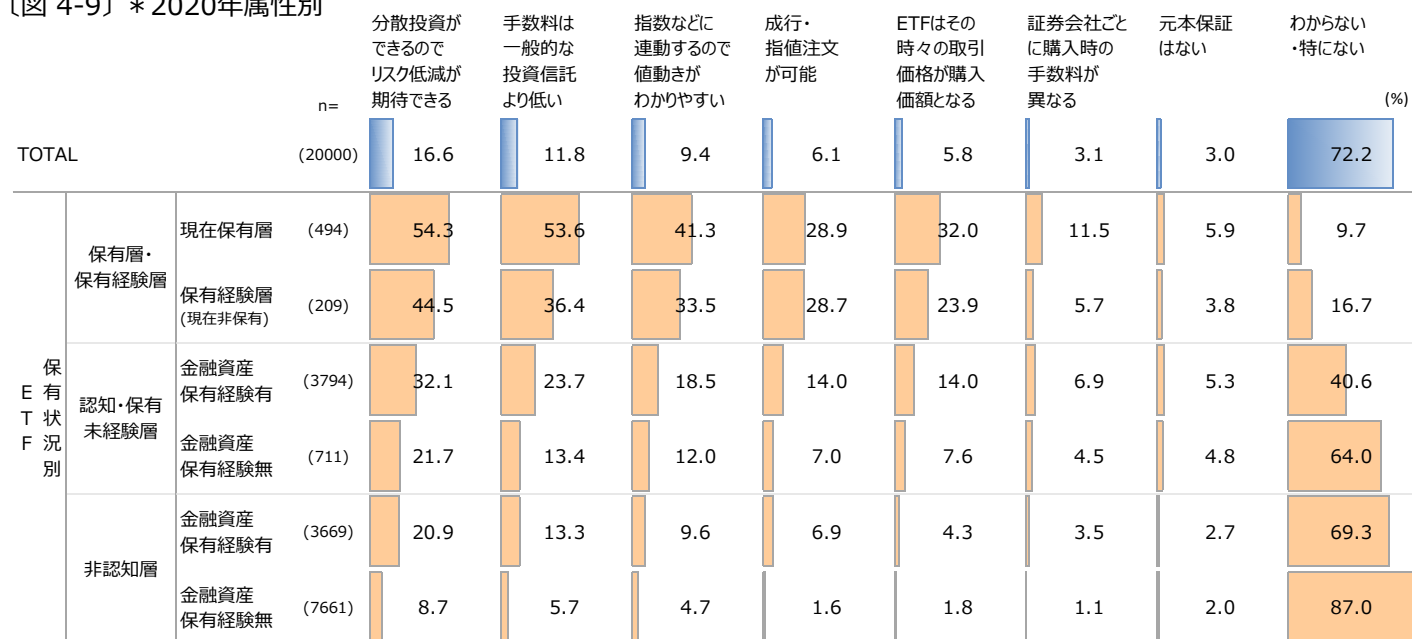
〔図 4-8〕 \* 2020年属性別

	n=	分散投資ができるので リスク低減が期待できる	手数料は一般的な 投資信託より低い	指数などに 連動するので 値動きがわかりやすい	成行・ 指値注文 が可能	ETFはその 時々の取引 価格が購入 価額となる	証券会社ごと に購入時の 手数料が異なる	元本保証 はない	わからない ・特になし	(%)
TOTAL	(20000)	16.6	11.8	9.4	6.1	5.8	3.1	3.0	72.2	
性別	男性	(9950)	19.0	13.7	11.4	8.4	7.9	4.2	4.0	66.3
	女性	(10050)	14.2	10.0	7.4	3.8	3.7	1.9	2.0	78.1
年代別	20代	(2597)	19.9	13.6	11.0	7.0	9.9	5.5	7.0	62.5
	30代	(3119)	22.0	16.5	11.8	7.5	7.5	3.5	4.5	63.4
	40代	(4014)	16.8	13.0	10.3	6.3	5.7	2.5	3.0	70.4
	50代	(3426)	14.5	10.7	8.2	4.9	4.1	2.4	1.9	76.4
	60代	(3581)	13.6	9.4	7.8	5.0	3.9	2.5	1.3	78.7
	70代	(3263)	13.8	8.3	7.4	6.3	4.6	2.8	1.2	79.0
世帯年収別	100万円未満	(721)	11.0	8.3	7.8	4.9	4.0	1.7	4.6	77.8
	~300万円未満	(2889)	13.3	9.3	6.7	4.6	3.3	2.4	2.5	78.1
	~500万円未満	(4415)	18.2	12.7	9.3	6.4	6.6	3.6	3.2	70.1
	~1000万円未満	(5626)	22.0	16.5	12.9	8.5	8.1	4.0	3.9	62.4
	1000万円以上	(1621)	26.5	18.6	16.3	10.1	9.9	4.9	4.5	56.3

## 4. ETF、Jリートへの浸透状況、今後の購入意向

### (3) ETFの魅力点〔Q9②:重複回答〕

〔図 4-9〕 \* 2020年属性別



## 4. ETF、Jリートへの浸透状況、今後の購入意向

### (3) ETFの最魅力点〔Q9③:単数回答〕

- ETFの最魅力点で最も高い項目は、「分散投資ができるのでリスク低減が期待できる」(11.3%)。各項目ともに前回から大きな変動はみられない。〔図4-10〕
- ETF現在保有層では、「分散投資ができるのでリスク低減が期待できる」(30.2%)が最も高く、「手数料は一般的な投資信託より低い」(24.9%)がこれに続き、この2項目が主な魅力点となっている模様。〔図4-12〕

〔図 4-10〕

	n=	分散投資ができるのでリスク低減が期待できる	手数料は一般的な投資信託より低い	指数などに連動するので値動きがわかりやすい	ETFはその時々々の取引価格が購入価額となる	成行・指値注文が可能	元本保証はない	証券会社ごとに購入時の手数料が異なる	わからない・特にな	(%)
2020年	(20000)	11.3	5.4	3.5	2.5	2.2	2.0	0.8	72.2	
2019年	(20000)	10.4	4.8	3.3	2.0	1.9	2.2	0.6	74.9	
2018年	(20000)	8.7	2.9	2.7	1.3	1.8	1.7	0.9	80.0	

〔図 4-11〕 \* 2020年属性別

	n=	分散投資ができるのでリスク低減が期待できる	手数料は一般的な投資信託より低い	指数などに連動するので値動きがわかりやすい	ETFはその時々々の取引価格が購入価額となる	成行・指値注文が可能	元本保証はない	証券会社ごとに購入時の手数料が異なる	わからない・特にな	(%)
TOTAL	(20000)	11.3	5.4	3.5	2.5	2.2	2.0	0.8	72.2	
性別	男性	(9950)	12.8	6.3	4.4	3.5	2.9	2.7	1.1	66.3
	女性	(10050)	9.9	4.6	2.6	1.5	1.5	1.4	0.5	78.1
年代別	20代	(2597)	13.6	5.8	4.2	5.0	2.2	4.9	1.7	62.5
	30代	(3119)	15.2	7.3	4.4	3.1	2.7	3.0	0.8	63.4
	40代	(4014)	11.1	6.8	3.9	2.6	2.5	2.0	0.6	70.4
	50代	(3426)	9.8	5.5	3.1	1.6	1.8	1.3	0.4	76.4
	60代	(3581)	9.7	3.9	2.7	1.5	1.8	1.0	0.7	78.7
	70代	(3263)	9.3	3.4	2.7	2.0	2.2	0.7	0.7	79.0
世帯年収別	100万円未満	(721)	6.7	4.3	3.1	1.7	2.2	4.0	0.3	77.8
	～300万円未満	(2889)	9.3	4.0	2.9	1.2	1.9	1.8	0.8	78.1
	～500万円未満	(4415)	12.3	5.8	3.6	3.1	2.1	2.2	0.8	70.1
	～1000万円未満	(5626)	15.4	7.4	4.6	3.5	3.1	2.4	1.1	62.4
	1000万円以上	(1621)	17.3	10.2	5.1	4.3	3.3	2.7	0.8	56.3

## 4. ETF、Jリートへの浸透状況、今後の購入意向

### (3) ETFの最魅力点〔Q9③:単数回答〕

〔図 4-12〕 \* 2020年属性別

		n=	分散投資ができるのでリスク低減が期待できる	手数料は一般的な投資信託より低い	指数などに連動するので値動きがわかりやすい	ETFはその時々々の取引価格が購入価額となる	成行・指値注文が可能	元本保証はない	証券会社ごとに購入時の手数料が異なる	わからない・特にない (%)
TOTAL		(20000)	11.3	5.4	3.5	2.5	2.2	2.0	0.8	72.2
保有状況別	保有層・保有経験層	現在保有層 (494)	30.2	24.9	12.3	11.3	8.1	1.8	1.6	9.7
		保有経験層 (現在非保有) (209)	25.8	20.1	12.9	8.6	12.0	2.4	1.4	16.7
	認知・保有未経験層	金融資産保有経験有 (3794)	22.4	12.3	7.7	7.2	4.8	3.2	1.8	40.6
		金融資産保有経験無 (711)	14.8	5.9	5.3	2.8	3.0	3.0	1.3	64.0
	非認知層	金融資産保有経験有 (3669)	14.4	5.5	3.1	1.7	3.1	2.0	0.9	69.3
		金融資産保有経験無 (7661)	6.3	2.2	1.5	0.6	0.5	1.6	0.3	87.0



## 4. ETF、Jリートへの浸透状況、今後の購入意向

### (4) ETFの不満点（ETF内容認知者、保有経験者）〔Q10①:重複回答〕

- ETFの不満点は「リターン(収益)が低い」(26.6%)が最も高く、次いで「仕組みや運用実績がわかりにくい」(23.0%)が続く。いずれの項目も前回と同程度になっている。〔図4-13〕

\* 2018年からの変動は調査パネル変更の影響も考えられる

- ETF保有経験層では「リターンが低い」「分配金が少ない」「種類が多く選択に迷う」が他層に比べて高い。〔図4-15〕

〔図 4-13〕

	n=	リターン (収益) が低い	仕組み や運用 実績が わかり にくい	株式に 比べて 面白さに 欠ける	専門知識 がないと商 品を選び にくい	分配金 が少ない	種類 が多く 選択に 迷う	元本 保証 がない	購入後の 運用に関 する情報 が少ない	手続き がわずら わしい	その他	わから ない・ 特にな い
2020年	(2173)	26.6	23.0	22.0	20.5	20.2	19.1	18.1	16.6	8.6	1.0	27.2
2019年	(1781)	27.5	24.8	21.9	22.6	21.7	19.0	19.1	17.2	7.9	1.3	25.9
2018年	(1104)	23.3	19.8	19.7	18.4	15.4	14.5	19.3	11.9	9.1	1.3	22.3

〔図 4-14〕

\* 2020年属性別

	n=	リターン (収益) が低い	仕組み や運用 実績が わかり にくい	株式に 比べて 面白さに 欠ける	専門知識 がないと商 品を選び にくい	分配金 が少ない	種類 が多く 選択に 迷う	元本 保証 がない	購入後の 運用に関 する情報 が少ない	手続き がわずら わしい	その他	わから ない・ 特にな い
TOTAL	(2173)	26.6	23.0	22.0	20.5	20.2	19.1	18.1	16.6	8.6	1.0	27.2
性別												
男性	(1674)	27.3	22.0	23.1	18.6	20.6	18.4	16.1	16.2	8.2	1.1	28.0
女性	(499)	24.2	26.1	18.6	26.9	18.6	21.2	24.8	17.8	9.8	0.6	24.4
年代別												
20代	(312)	23.7	27.6	20.2	24.7	18.3	16.3	14.4	16.3	11.9	0.6	20.5
30代	(455)	24.8	20.0	19.1	20.9	19.6	19.1	13.4	13.4	10.5	1.3	26.6
40代	(498)	28.9	21.3	24.5	17.1	22.5	18.5	18.3	13.3	7.8	1.4	29.1
50代	(317)	27.4	22.4	20.8	18.3	16.4	16.4	16.1	15.8	5.4	1.3	30.3
60代	(329)	30.7	25.2	20.7	20.1	24.0	18.8	23.7	20.4	7.0	0.6	27.7
70代	(262)	22.5	23.7	27.9	24.4	18.7	26.7	26.0	24.8	8.8	0.0	28.2
世帯 年収別												
100万円未満	(60)	21.7	26.7	15.0	18.3	18.3	23.3	10.0	13.3	10.0	0.0	33.3
～300万円未満	(174)	28.2	24.7	25.9	19.0	21.8	24.1	24.7	16.1	9.2	1.7	23.0
～500万円未満	(467)	27.8	23.6	17.6	20.8	20.1	20.6	20.3	15.6	8.8	0.6	27.4
～1000万円未満	(851)	26.4	22.4	24.4	22.7	20.0	18.6	15.5	17.2	8.3	1.3	24.6
1000万円以上	(389)	27.0	20.8	24.4	17.7	20.8	17.5	18.0	18.3	9.8	0.3	28.5

〔図 4-15〕 \* 2020年属性別

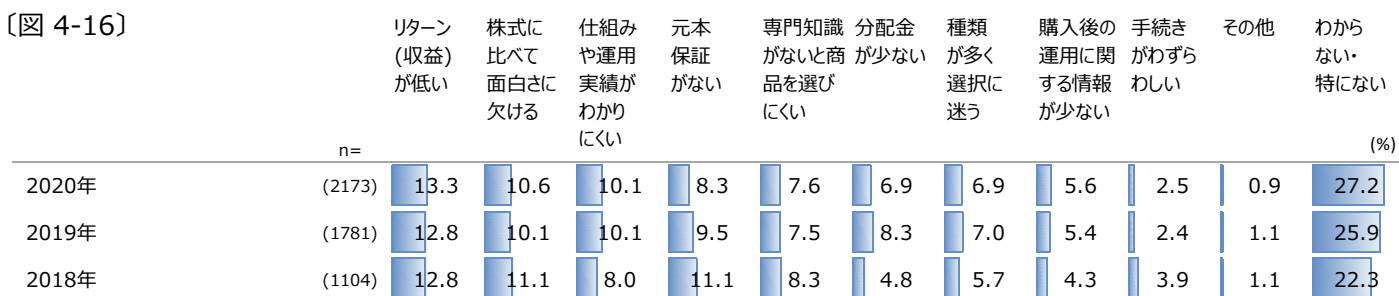
	n=	リターン (収益) が低い	仕組み や運用 実績が わかり にくい	株式に 比べて 面白さに 欠ける	専門知識 がないと商 品を選び にくい	分配金 が少ない	種類 が多く 選択に 迷う	元本 保証 がない	購入後の 運用に関 する情報 が少ない	手続き がわずら わしい	その他	わから ない・ 特にな い	
TOTAL	(2173)	26.6	23.0	22.0	20.5	20.2	19.1	18.1	16.6	8.6	1.0	27.2	
保有 状況 別	保有層・ 保有経験層												
	現在保有層	(494)	23.1	20.2	23.9	15.2	22.1	20.4	14.4	19.0	5.9	0.8	31.6
	保有経験層 (現在非保有)	(209)	34.9	22.5	24.9	19.6	27.3	24.9	17.7	17.7	7.2	1.0	25.8
	認知・保有 未経験層												
金融資産 保有経験有	(1309)	27.8	24.7	22.4	22.4	19.3	18.6	19.6	16.5	9.2	1.1	23.9	
金融資産 保有経験無	(66)	18.2	21.2	9.1	34.8	13.6	16.7	19.7	6.1	18.2	0.0	31.8	

## 4. ETF、Jリートへの浸透状況、今後の購入意向

### (4) ETFの最不満点(ETF内容認知者、保有経験者)[Q10②:単数回答]

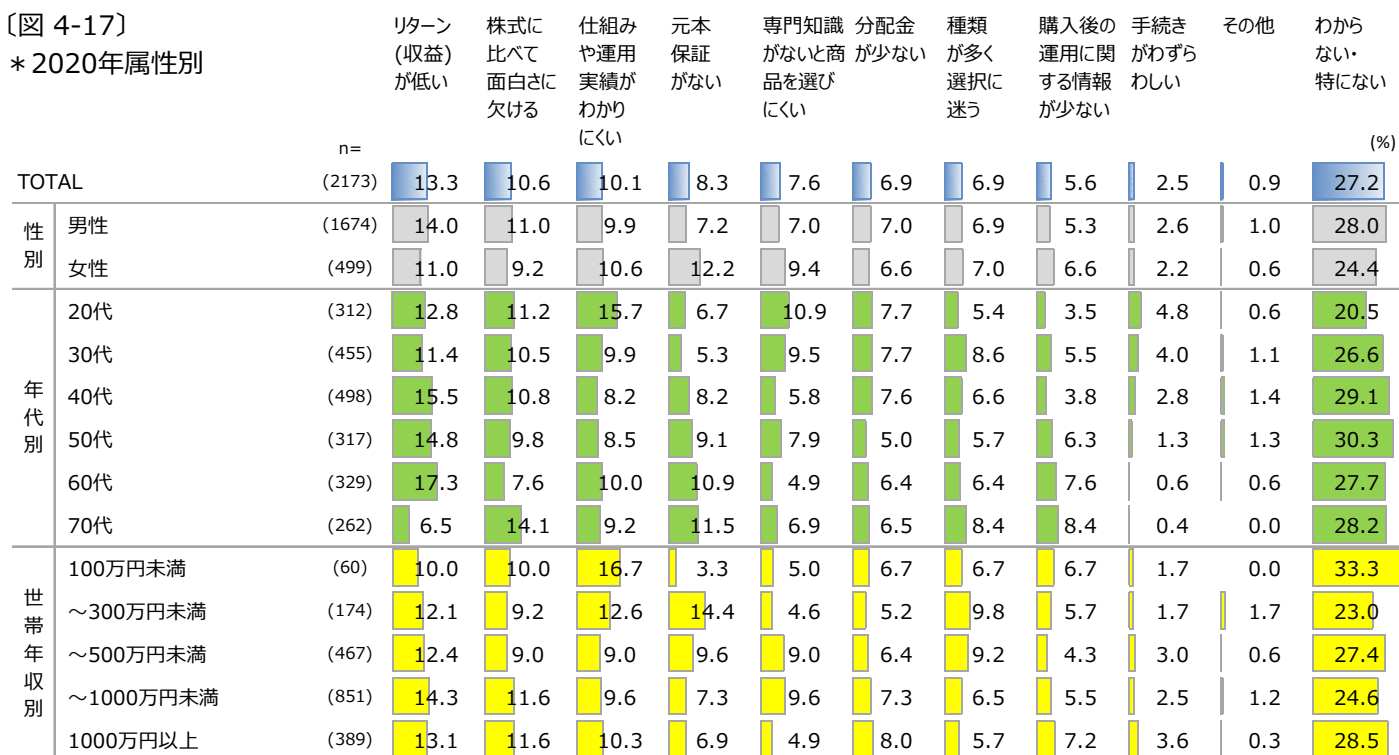
- ETFの最不満点は、「リターン(収益)が低い」(13.3%)、「株式に比べて面白さに欠ける」(10.6%)、「仕組みや運用実績がわかりにくい」(10.1%)が上位3項目であり、いずれの項目も前回と同程度となっている。〔図4-16〕
- ETF保有層・保有経験層は、「分配金が少ない」が、ETF認知・保有未経験層（金融資産保有経験無）より高い。〔図4-18〕

〔図 4-16〕

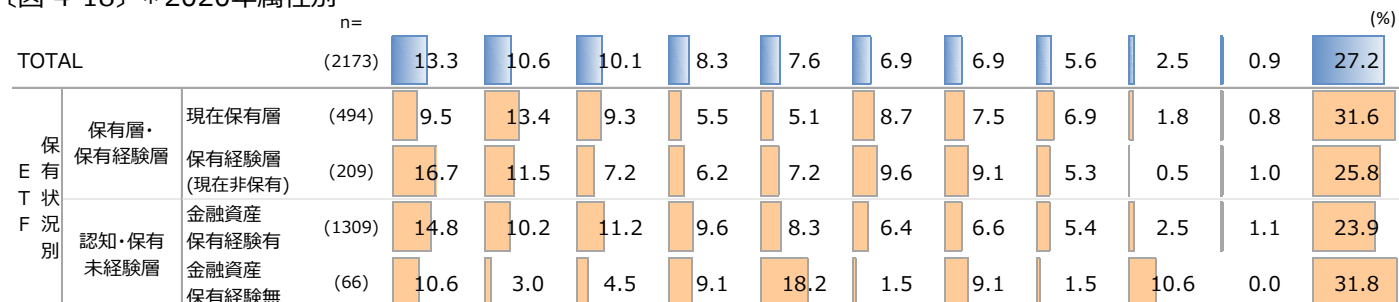


〔図 4-17〕

\* 2020年属性別



〔図 4-18〕 \* 2020年属性別



## 4. ETF、リートの浸透状況、今後の購入意向

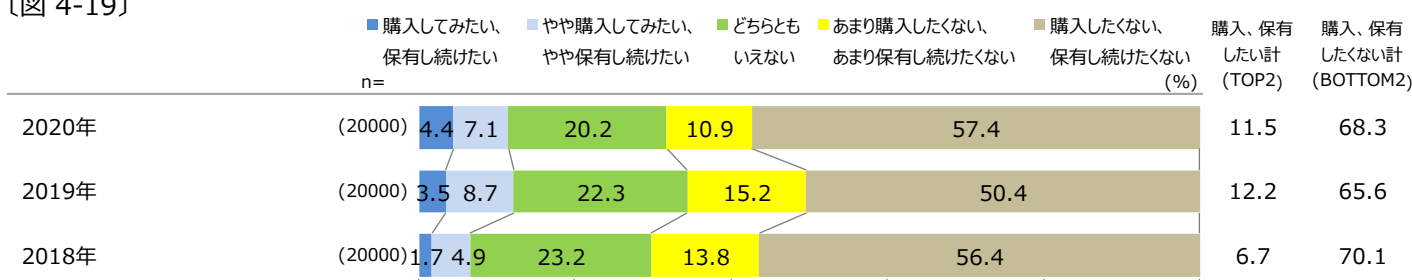
### (5) ETF今後の購入・継続保有意向〔Q13①:単数回答〕

- ETF今後の購入・継続保有意向は、「購入、保有したい計」(TOP2)が11.5%、「購入、保有したくない計」(BOTTOM2)が68.3%と前回と同程度だが、「購入したくない、保有し続けたくない」は7ポイント増加。〔図4-19〕

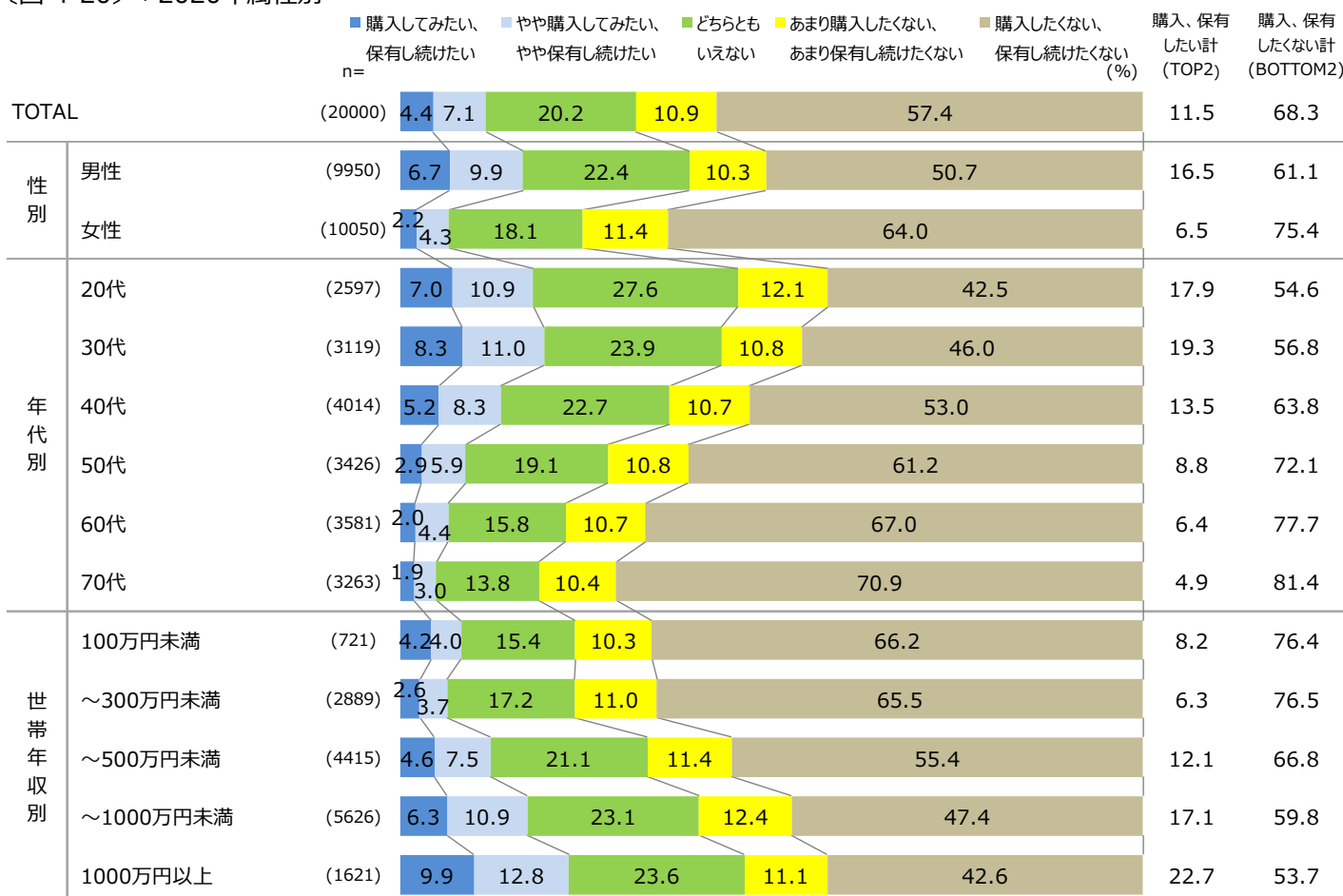
\* 2018年からの変動は調査パネル変更の影響も考えられる

- 「購入、保有したい計」は若年層、高年収層ほど高くなる傾向。〔図4-20〕
- ETF現在保有層では「購入、保有したい計」が84.8%と継続保有意向が高い。また、ETF保有経験層では「購入、保有したい計」が51.7%で、半数に再購入意向がある。〔図4-21〕

〔図 4-19〕



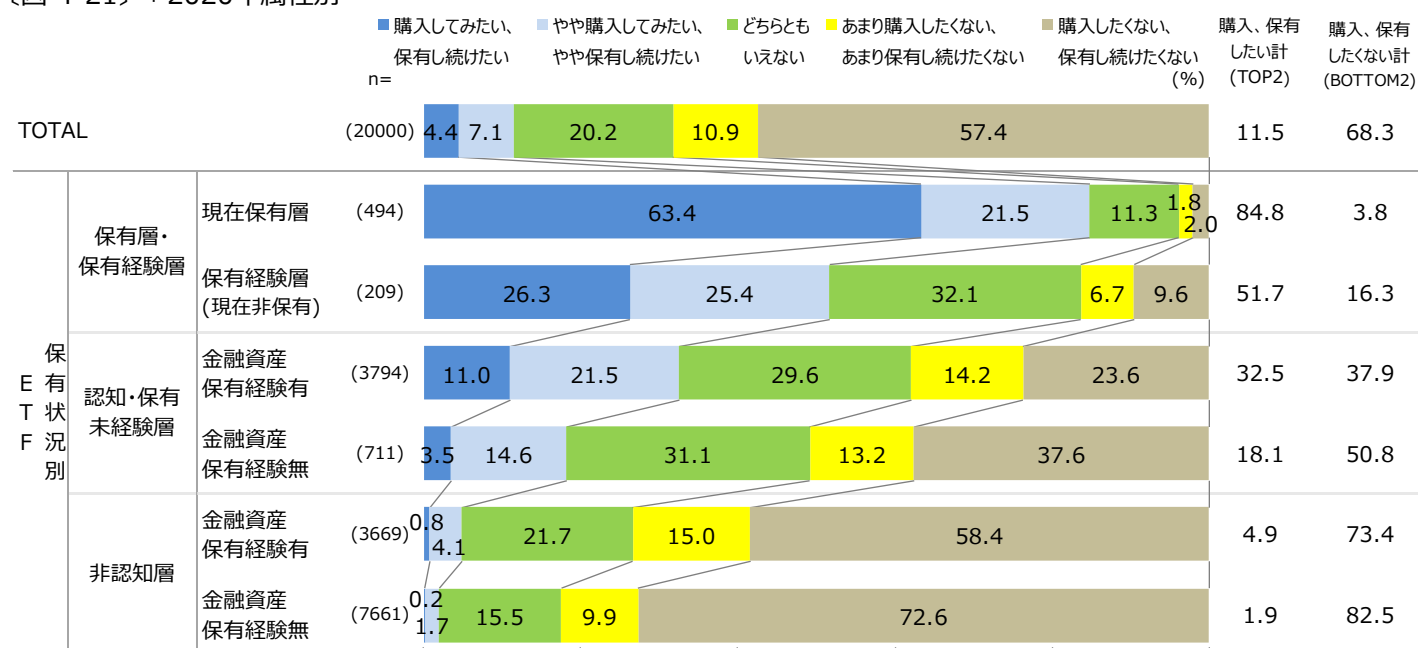
〔図 4-20〕 \* 2020年属性別



## 4. ETF、Jリートへの浸透状況、今後の購入意向

### (5) ETF今後の購入・継続保有意向〔Q13①:単数回答〕

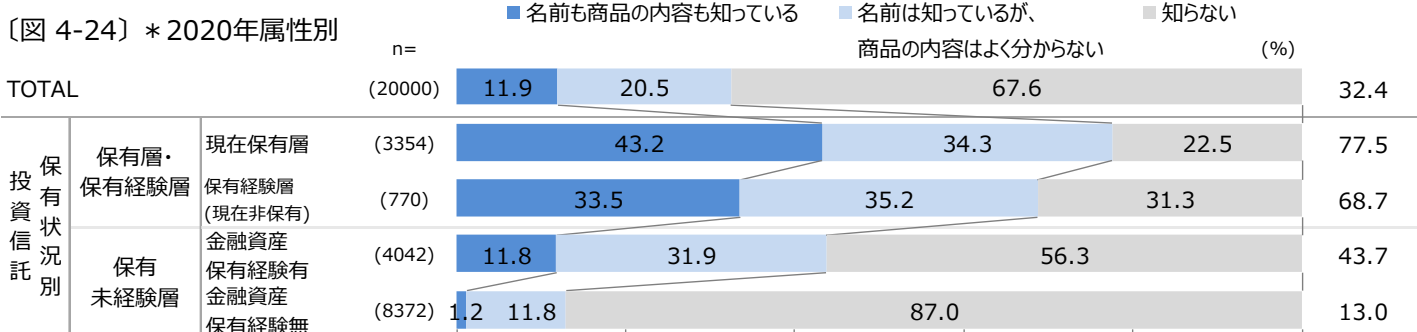
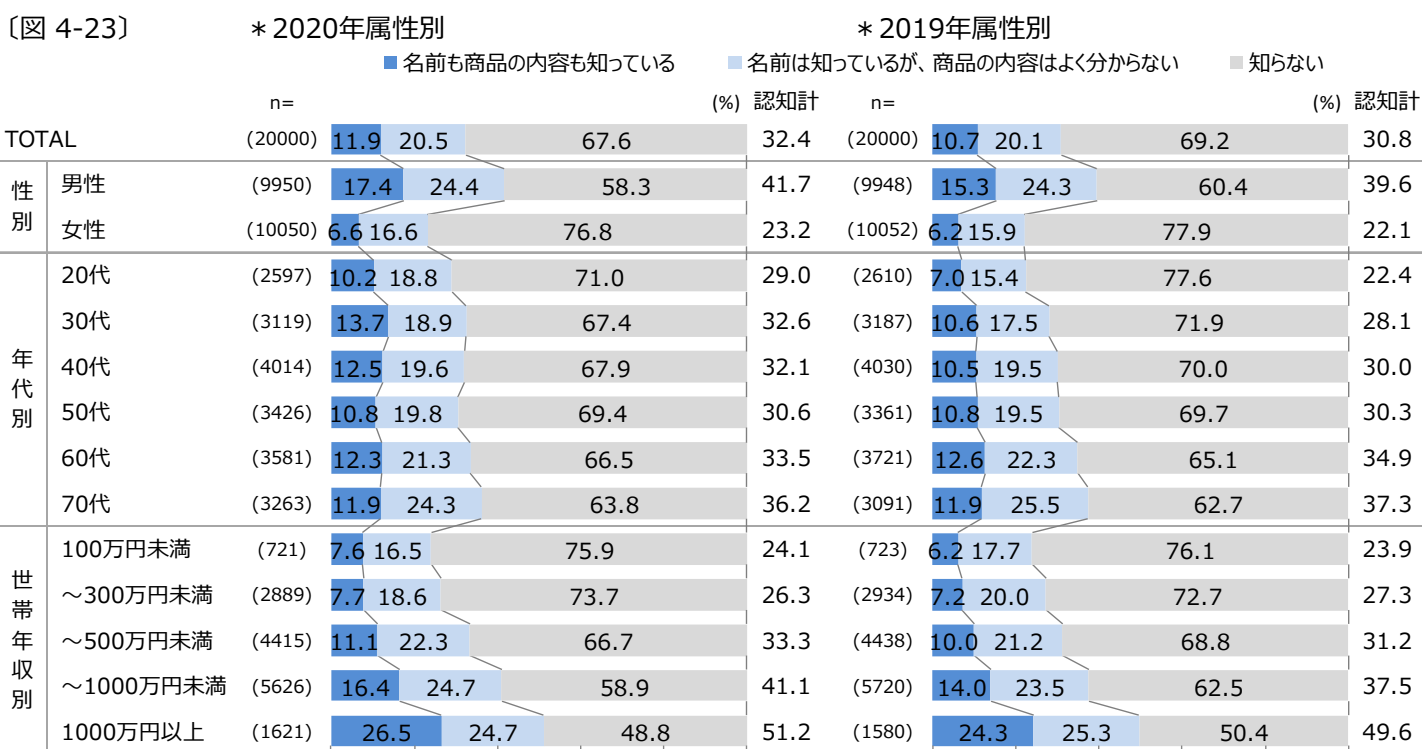
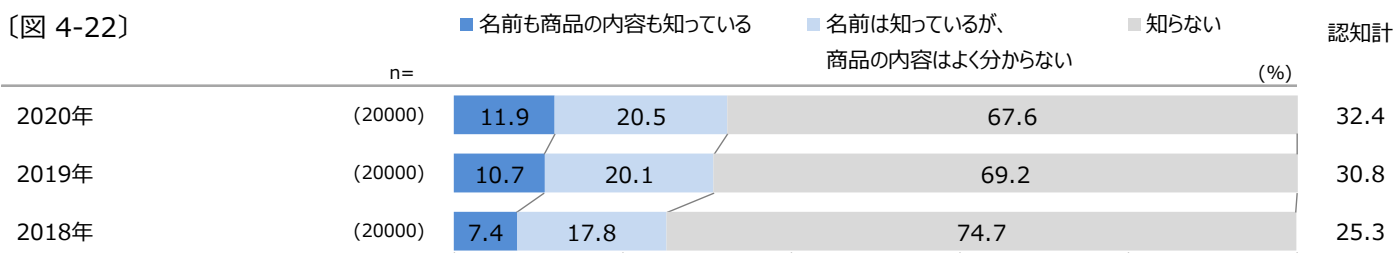
〔図 4-21〕 \* 2020年属性別



## 4. ETF、ジートの浸透状況、今後の購入意向

### (6) ジートの認知状況〔Q8②:単数回答〕

- ジートの認知率(認知計：32.4%)、商品内容認知率(11.9%)は前回と同程度となっている。  
〔図4-22〕 \* 2018年からの変動は調査パネル変更の影響も考えられる
- 年代別では70代がやや高い。前回と比べて、20代、30代の認知率が増加。また、世帯年収が上がるにつれ認知率は高まる傾向。〔図4-23〕
- 投資信託現在保有層での認知率は77.5%にのぼり、投資への関与が強いほどジートの認知率は高くなる。〔図4-24〕



## 4. ETF、ジートの浸透状況、今後の購入意向

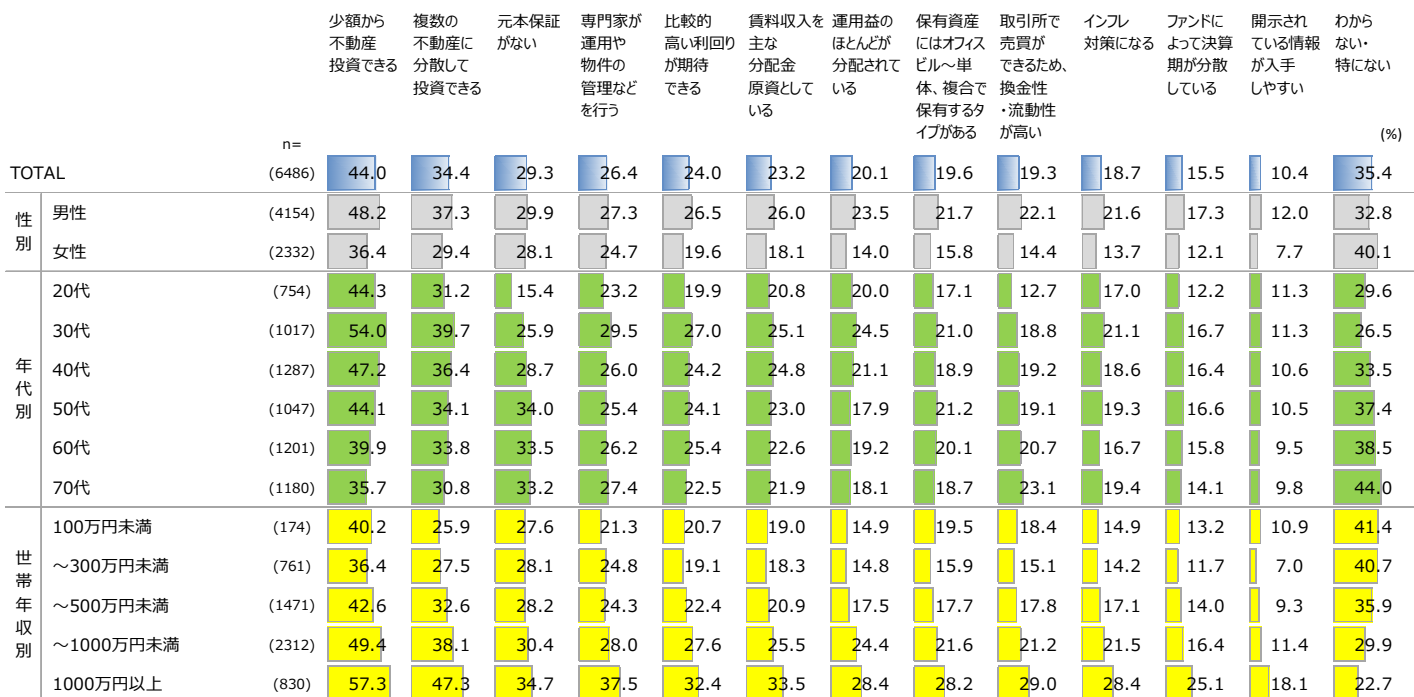
### (7) ジートの特徴認知（ジート認知者）〔Q11①:複数回答〕

- ジートの特徴の認知は、「少額から不動産投資できる」(44.0%)が最も高く、これに「複数の不動産に分散して投資できる」(34.4%)、「元本保証がない」(29.3%)が続く。どの項目も、認知率は前回と同程度となっている。〔図4-25〕 \* 2018年からの変動は調査パネル変更の影響も考えられる
- ジートの商品内容認知層やジート現在保有層などの関与の高い層でも、「開示されている情報が入手しやすい」の認知は20%台と低い水準。〔図4-27〕

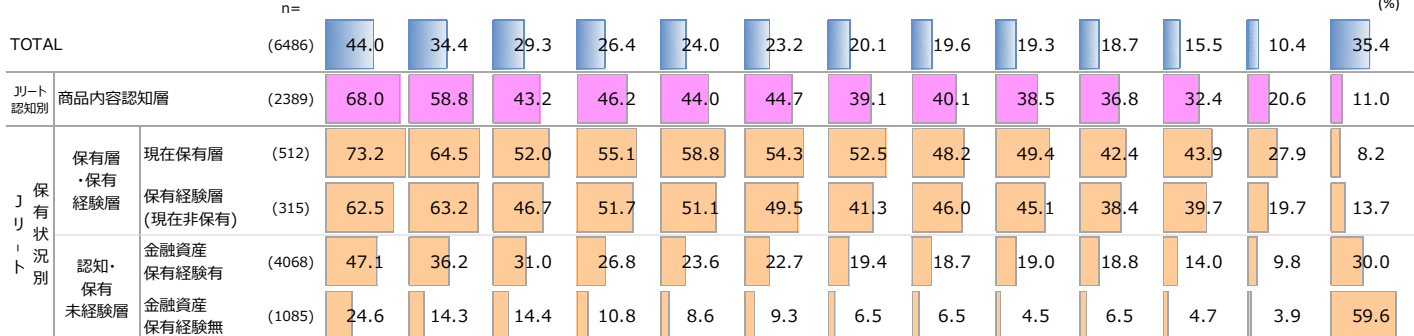
〔図 4-25〕



〔図 4-26〕 \* 2020年属性別



〔図 4-27〕 \* 2020年属性別



## 4. ETF、Jリート of 浸透状況、今後の購入意向

### (8) Jリーツ of 魅力点〔Q11②:重複回答〕

- Jリーツ of 魅力点は「少額から不動産投資できる」(19.2%)が最も高い。前回と比べても大きな変動はみられない。〔図4-28〕 \* 2018年からの変動は調査パネル変更の影響も考えられる
- 「少額から不動産投資できる」は若年層ほど高い。〔図4-29〕
- Jリーツ of 現在保有層では「少額から不動産投資できる」「比較的高い利回りが期待できる」が45%程度と高い。〔図4-30〕

〔図 4-28〕

	n=	少額から 不動産 投資できる	比較的高い利回りが期待できる	複数の不動産に分散して投資できる	専門家が運用や物件の管理などを行う	運用益のほとんどが分配されている	インフレ対策になる	取引所で売買ができるため、換金性・流動性が高い	賃料収入を主な分配金原資としている	開示されている情報が入手しやすい	保有資産にはオフィスビル～単体、複合で保有するタイプがある	ファンドによって決算期が分散している	元本保証がない	わからない・特にな	(%)
2020年	(20000)	19.2	11.6	9.9	7.7	7.0	5.3	5.2	4.0	3.8	3.2	2.3	1.6	68.3	
2019年	(20000)	17.7	11.4	9.1	6.9	6.5	5.3	5.0	3.8	3.6	2.8	2.2	2.1	69.1	
2018年	(20000)	14.8	10.2	6.7	6.5	3.6	3.2	3.2	2.7	3.1	1.9	1.8	3.3	73.6	

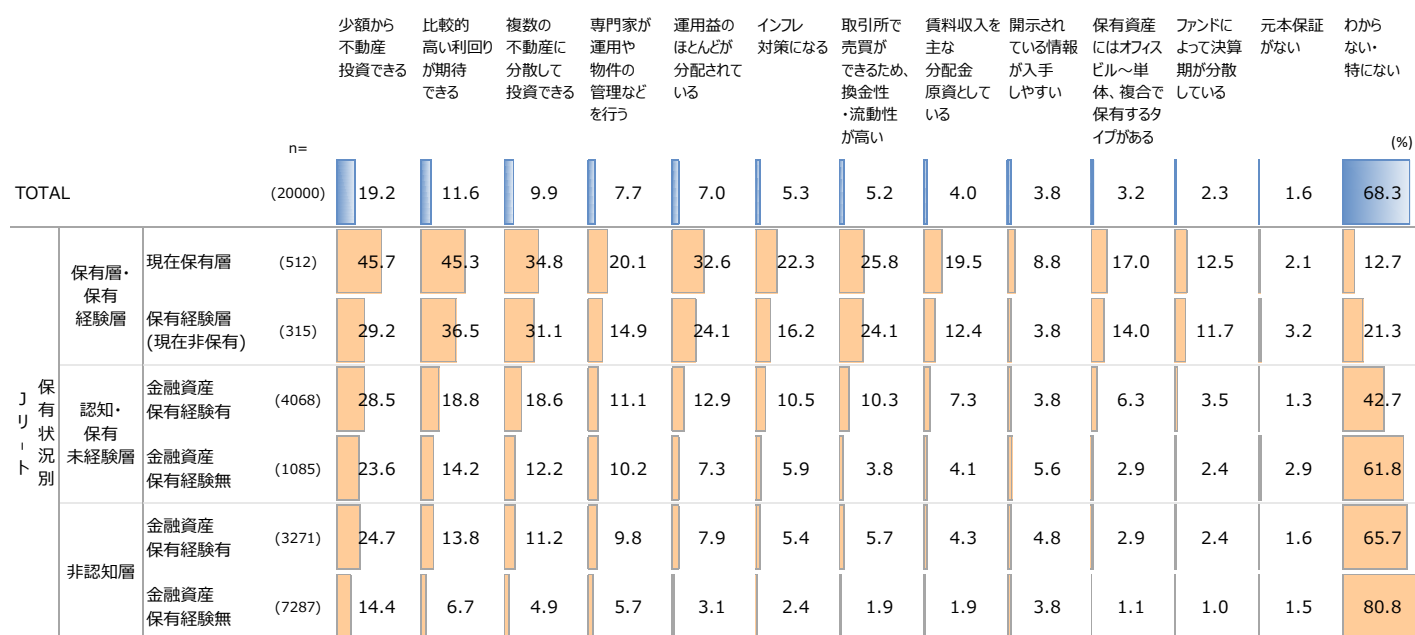
〔図 4-29〕 \* 2020年属性別

	n=	少額から 不動産 投資できる	比較的高い利回りが期待できる	複数の不動産に分散して投資できる	専門家が運用や物件の管理などを行う	運用益のほとんどが分配されている	インフレ対策になる	取引所で売買ができるため、換金性・流動性が高い	賃料収入を主な分配金原資としている	開示されている情報が入手しやすい	保有資産にはオフィスビル～単体、複合で保有するタイプがある	ファンドによって決算期が分散している	元本保証がない	わからない・特にな	(%)
TOTAL	(20000)	19.2	11.6	9.9	7.7	7.0	5.3	5.2	4.0	3.8	3.2	2.3	1.6	68.3	
性別															
男性	(9950)	20.9	12.8	11.7	7.4	8.6	6.8	6.7	5.0	3.5	3.9	2.8	1.8	63.7	
女性	(10050)	17.4	10.4	8.2	8.0	5.4	3.8	3.7	3.0	4.0	2.4	1.7	1.3	72.8	
年代別															
20代	(2597)	27.9	13.2	13.4	11.0	8.1	6.4	4.6	6.0	6.6	4.2	2.8	2.3	58.0	
30代	(3119)	27.8	13.3	13.4	10.4	8.1	5.8	4.7	5.2	5.0	3.4	2.3	1.4	58.5	
40代	(4014)	21.2	11.6	10.4	7.9	7.7	5.2	4.9	4.6	3.8	3.0	2.2	1.8	65.9	
50代	(3426)	16.9	10.8	8.0	6.1	5.8	4.7	4.5	3.1	3.0	2.9	2.2	1.1	72.0	
60代	(3581)	13.1	10.9	7.8	6.2	6.5	4.8	5.5	2.8	2.7	2.7	2.1	1.5	75.2	
70代	(3263)	10.6	10.2	7.6	5.7	6.1	5.2	6.9	3.0	2.3	2.9	2.1	1.4	77.2	
世帯年収別															
100万円未満	(721)	17.6	8.9	6.5	5.7	5.4	2.9	4.4	3.2	3.7	2.2	1.8	2.4	74.1	
～300万円未満	(2889)	15.5	8.7	7.2	7.2	5.2	4.0	4.6	3.1	3.6	2.2	1.7	1.2	75.1	
～500万円未満	(4415)	21.2	12.7	10.7	8.5	7.4	5.9	5.4	4.6	4.2	3.3	2.2	1.9	65.7	
～1000万円未満	(5626)	24.8	15.7	13.2	9.4	9.7	7.3	6.9	5.2	4.5	4.3	2.9	1.8	57.8	
1000万円以上	(1621)	27.2	17.5	17.6	11.5	11.5	9.3	8.2	6.8	5.2	5.9	4.9	1.4	52.4	

## 4. ETF、Jリートへの浸透状況、今後の購入意向

### (8) Jリートの魅力点〔Q11②:重複回答〕

〔図 4-30〕 \* 2020年属性別





## 4. ETF、Jリートへの浸透状況、今後の購入意向

### (8) Jリートへの最魅力点〔Q11③:単数回答〕

- Jリートへの最魅力点は魅力点と同様に「少額から不動産投資できる」(12.1%)が最も高く、その他の項目では前回と比べて大きな変動はみられない。〔図4-31〕

\* 2018年からの変動は調査パネル変更の影響も考えられる

- Jリート現在保有層では「比較的高い利回りが期待できる」が25.8%と最も高い。〔図4-33〕

〔図 4-31〕

	n=	少額から 不動産 投資できる	比較的 高い利回り が期待 できる	複数の 不動産に 分散して 投資できる	運用益の ほとんどが 分配されて いる	専門家が 運用や 物件の 管理など を行う	インフレ 対策になる	取引所で 売買が できるため、 換金性 ・流動性 が高い	元本保証 がない	賃料収入を 主な 分配金 原資として いる	保有資産 にはオフィス ビル～単 体、複合で 保有するタ イプがある	開示され ている情報 が入手 しやすい	ファンドに よって決算 期が分散 している	わから ない・ 特にな い	(%)
2020年	(20000)	12.1	6.3	2.6	2.4	2.3	1.6	1.3	0.9	0.8	0.5	0.5	0.4	68.3	
2019年	(20000)	10.9	6.6	2.5	2.4	2.0	1.6	1.3	1.5	0.8	0.5	0.5	0.4	69.1	
2018年	(20000)	9.0	6.3	1.7	1.1	2.2	1.3	0.7	2.3	0.5	0.3	0.6	0.4	73.6	

※選択肢「賃料収入を主な分配金原資としている」は2018年より聴取

〔図 4-32〕

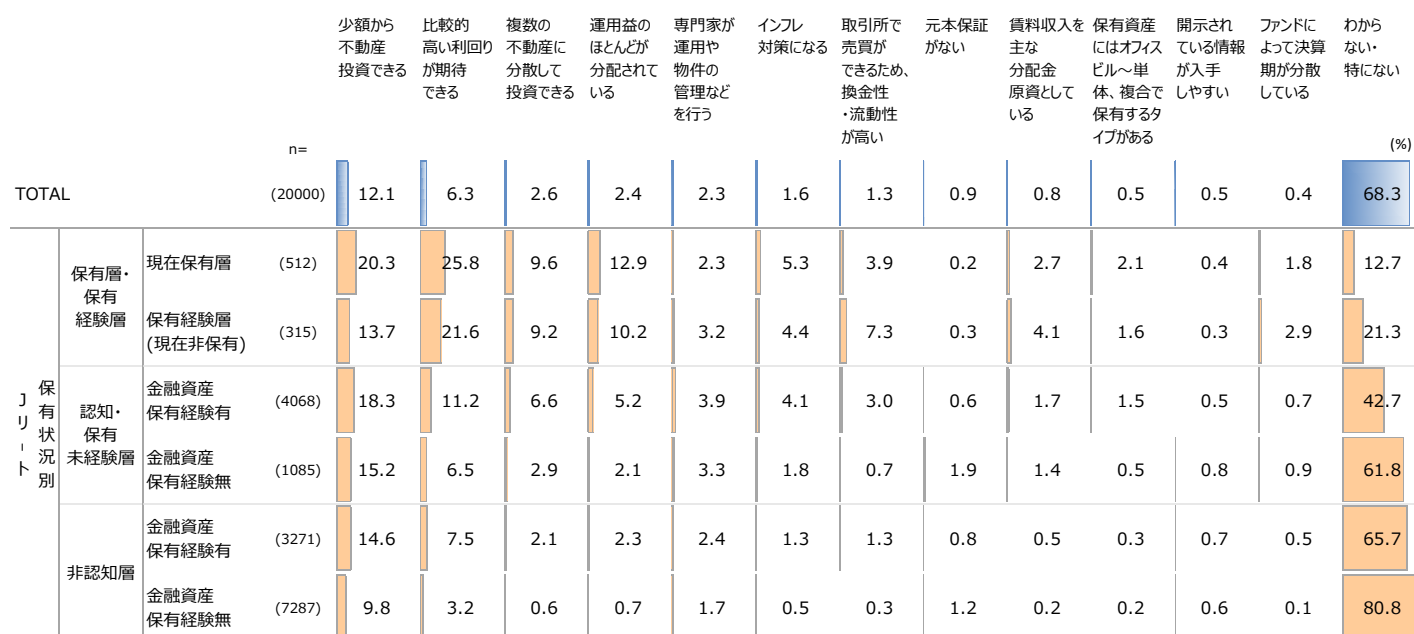
\* 2020年属性別

	n=	少額から 不動産 投資できる	比較的 高い利回り が期待 できる	複数の 不動産に 分散して 投資できる	運用益の ほとんどが 分配されて いる	専門家が 運用や 物件の 管理など を行う	インフレ 対策になる	取引所で 売買が できるため、 換金性 ・流動性 が高い	元本保証 がない	賃料収入を 主な 分配金 原資として いる	保有資産 にはオフィス ビル～単 体、複合で 保有するタ イプがある	開示され ている情報 が入手 しやすい	ファンドに よって決算 期が分散 している	わから ない・ 特にな い	(%)
TOTAL	(20000)	12.1	6.3	2.6	2.4	2.3	1.6	1.3	0.9	0.8	0.5	0.5	0.4	68.3	
性別															
男性	(9950)	13.1	7.4	3.3	3.1	2.0	2.2	1.5	1.1	1.0	0.7	0.4	0.5	63.7	
女性	(10050)	11.1	5.2	1.8	1.7	2.7	1.1	1.0	0.7	0.6	0.4	0.6	0.3	72.8	
年代別															
20代	(2597)	19.1	6.2	3.6	2.1	3.6	1.5	0.8	1.1	1.5	0.7	1.2	0.6	58.0	
30代	(3119)	18.5	7.0	3.5	2.6	3.2	2.0	1.2	0.9	1.0	0.6	0.7	0.4	58.5	
40代	(4014)	13.8	6.1	3.0	3.1	2.2	1.5	1.1	1.0	1.0	0.4	0.5	0.3	65.9	
50代	(3426)	10.6	6.4	2.0	1.6	1.8	1.6	1.3	0.8	0.4	0.6	0.4	0.4	72.0	
60代	(3581)	7.0	6.4	1.9	2.5	1.8	1.3	1.3	0.9	0.4	0.6	0.3	0.4	75.2	
70代	(3263)	5.4	5.7	1.7	2.2	1.7	2.0	1.8	0.7	0.5	0.4	0.2	0.4	77.2	
世帯年収別															
100万円未満	(721)	11.8	4.2	1.7	1.5	1.4	0.4	1.1	1.9	1.0	0.6	0.4	0.0	74.1	
～300万円未満	(2889)	9.7	4.4	1.5	1.7	2.6	1.1	1.3	0.7	0.6	0.4	0.7	0.2	75.1	
～500万円未満	(4415)	13.5	6.6	2.8	2.4	2.4	1.8	1.2	1.0	1.0	0.5	0.7	0.5	65.7	
～1000万円未満	(5626)	15.4	8.9	3.5	3.6	2.7	2.4	1.6	1.0	1.0	0.8	0.5	0.6	57.8	
1000万円以上	(1621)	15.7	10.3	5.4	4.1	3.5	2.6	2.0	0.7	0.9	1.0	0.6	0.7	52.4	

## 4. ETF、Jリートへの浸透状況、今後の購入意向

### (8) Jリートへの最魅力点〔Q11③:単数回答〕

〔図 4-33〕 \* 2020年属性別



## 4. ETF、Jリート of 浸透状況、今後の購入意向

### (9) Jリーートの不満点 (Jリート内容認知者、保有経験者) [Q12①:重複回答]

- Jリーートの不満点は「仕組みや運用実績がわかりにくい」(22.2%)が最も高く、次いで「専門知識がないと商品を選びにくい」(21.1%)、「元本保証がない」(20.7%)が続く。前回から大きな変動はみられない。〔図4-34〕

\* 2018年からの変動は調査パネル変更の影響も考えられる

- Jリート現在保有層では、「専門知識がないと商品を選びにくい」(16.0%)が他層に比べて低い。〔図4-36〕

〔図 4-34〕

	n=	仕組みや運用実績がわかりにくい	専門知識がないと商品を選びにくい	元本保証がない	債券に比べてリスクが高い	リターン(収益)が低い	種類が多く選択に迷う	株式に比べて面白さに欠ける	購入後の運用に関する情報が少ない	最低購入価額が高い	分配金が少ない	手続きがわずらわしい	その他	わからない・特にな
2020年	(2523)	22.2	21.1	20.7	18.5	16.4	14.8	14.6	13.6	11.9	11.7	7.5	0.8	27.8
2019年	(2292)	24.0	23.2	23.4	18.2	15.8	15.1	15.1	14.0	12.2	12.3	6.7	0.9	26.9
2018年	(1558)	19.2	22.6	27.2	14.6	13.1	13.7	12.3	10.2	8.2	9.9	6.0	1.1	23.3

〔図 4-35〕 \* 2020年属性別

	n=	仕組みや運用実績がわかりにくい	専門知識がないと商品を選びにくい	元本保証がない	債券に比べてリスクが高い	リターン(収益)が低い	種類が多く選択に迷う	株式に比べて面白さに欠ける	購入後の運用に関する情報が少ない	最低購入価額が高い	分配金が少ない	手続きがわずらわしい	その他	わからない・特にな
TOTAL	(2523)	22.2	21.1	20.7	18.5	16.4	14.8	14.6	13.6	11.9	11.7	7.5	0.8	27.8
性別														
男性	(1795)	21.6	20.6	17.4	17.7	16.9	14.1	15.3	13.1	12.3	11.6	7.3	0.9	28.5
女性	(728)	23.9	22.4	28.6	20.6	15.2	16.6	12.9	15.0	11.0	11.8	8.0	0.4	26.0
年代別														
20代	(275)	26.9	21.8	9.8	17.1	17.8	11.3	16.4	13.1	13.8	9.1	16.4	0.4	25.5
30代	(442)	21.3	24.9	15.4	16.5	12.4	12.2	13.3	11.3	12.9	11.8	8.4	0.7	24.9
40代	(522)	19.2	20.7	20.5	16.9	16.9	13.0	15.9	10.2	14.4	10.3	8.2	0.4	29.7
50代	(389)	24.2	18.5	18.0	19.0	19.8	12.3	12.1	14.4	10.0	12.9	5.9	1.3	27.5
60代	(473)	21.4	18.6	27.5	20.7	16.1	16.7	11.6	14.2	10.6	12.3	4.0	1.3	27.5
70代	(422)	23.2	22.5	28.2	20.9	16.4	22.3	19.0	19.4	10.0	13.0	5.2	0.5	30.6
世帯年収別														
100万円未満	(58)	24.1	19.0	15.5	15.5	8.6	17.2	13.8	12.1	13.8	8.6	5.2	0.0	36.2
~300万円未満	(242)	24.4	20.7	27.3	20.2	19.0	16.1	16.5	16.9	14.0	16.5	7.4	0.8	26.9
~500万円未満	(517)	22.6	22.8	22.6	19.0	16.1	15.3	13.9	13.9	10.6	10.8	5.6	1.0	26.9
~1000万円未満	(974)	23.2	22.3	19.5	20.0	15.6	14.6	15.4	12.9	12.9	12.0	8.1	0.6	24.4
1000万円以上	(448)	21.0	20.8	17.0	16.1	19.2	14.7	15.4	14.1	10.9	10.3	8.5	1.1	28.6

〔図 4-36〕 \* 2020年属性別

	n=	仕組みや運用実績がわかりにくい	専門知識がないと商品を選びにくい	元本保証がない	債券に比べてリスクが高い	リターン(収益)が低い	種類が多く選択に迷う	株式に比べて面白さに欠ける	購入後の運用に関する情報が少ない	最低購入価額が高い	分配金が少ない	手続きがわずらわしい	その他	わからない・特にな
TOTAL	(2523)	22.2	21.1	20.7	18.5	16.4	14.8	14.6	13.6	11.9	11.7	7.5	0.8	27.8
Jリート保有状況別														
保有層・保有経験層														
現在保有層	(512)	20.1	16.0	22.7	17.2	16.8	15.6	14.3	13.3	10.2	12.9	4.5	0.4	30.5
保有経験層(現在非保有)	(315)	24.8	21.6	21.9	21.0	16.2	16.5	18.4	19.0	14.6	13.0	5.1	1.3	24.4
認知・保有未経験層														
金融資産保有経験有	(1491)	23.5	23.3	20.1	19.4	17.0	14.7	14.6	12.9	12.5	11.2	8.5	0.9	25.4
金融資産保有経験無	(97)	18.6	26.8	22.7	11.3	15.5	18.6	12.4	14.4	9.3	9.3	12.4	0.0	37.1

## 4. ETF、Jリート of 浸透状況、今後の購入意向

### (9) Jリーートの最不満点 (Jリート内容認知者、保有経験者) [Q12②:単数回答]

- Jリーートの最不満点は、「元本保証がない」(10.5%)が最も高く、次いで「仕組みや運用実績がわかりにくい」(9.7%)、「専門知識がないと商品を選びにくい」(8.5%)が続く。前回から大きな変動はみられない。〔図4-37〕 \* 2018年からの変動は調査パネル変更の影響も考えられる
- 年代別では、20代で「仕組みや運用実績がわかりにくい」「手続きがわずらわしい」が、30代で「専門知識がないと商品を選びにくい」が他の年代に比べて高い。〔図4-38〕

〔図 4-37〕

	n=	元本保証がない	仕組みや運用実績がわかりにくい	専門知識がないと商品を選びにくい	債券に比べてリスクが高い	リターン(収益)が低い	株式に比べて面白さに欠ける	最低購入価額が高い	種類が多く選択に迷う	購入後の運用に関する情報が少ない	分配金が少ない	手続きがわずらわしい	その他	わからない・特にな	(%)
2020年	(2523)	10.5	9.7	8.5	7.9	7.5	6.2	4.9	4.8	4.7	4.4	2.3	0.7	27.8	
2019年	(2292)	12.6	9.6	9.2	8.4	7.1	6.5	4.8	4.3	4.5	3.8	1.6	0.8	26.9	
2018年	(1558)	17.3	8.3	11.7	6.8	6.6	6.2	3.9	5.5	3.9	3.3	2.2	1.0	23.3	

〔図 4-38〕 \* 2020年属性別

	n=	元本保証がない	仕組みや運用実績がわかりにくい	専門知識がないと商品を選びにくい	債券に比べてリスクが高い	リターン(収益)が低い	株式に比べて面白さに欠ける	最低購入価額が高い	種類が多く選択に迷う	購入後の運用に関する情報が少ない	分配金が少ない	手続きがわずらわしい	その他	わからない・特にな	(%)
TOTAL	(2523)	10.5	9.7	8.5	7.9	7.5	6.2	4.9	4.8	4.7	4.4	2.3	0.7	27.8	
性別															
男性	(1795)	8.2	9.9	8.3	7.7	8.1	6.7	5.2	4.4	5.0	4.5	2.5	0.8	28.5	
女性	(728)	16.1	9.2	9.1	8.4	6.0	4.9	4.0	5.6	4.0	4.3	2.1	0.4	26.0	
年代別															
20代	(275)	4.4	17.1	9.1	7.3	8.4	6.2	4.0	2.9	4.0	2.9	8.0	0.4	25.5	
30代	(442)	7.7	7.7	14.0	7.7	6.3	6.6	7.7	5.0	3.6	5.4	2.9	0.5	24.9	
40代	(522)	10.7	8.8	8.2	6.7	9.0	7.1	6.5	4.2	3.3	3.4	1.9	0.4	29.7	
50代	(389)	10.3	10.5	6.9	11.1	10.3	4.4	2.6	3.1	6.7	3.9	1.5	1.3	27.5	
60代	(473)	14.0	9.5	5.7	7.8	7.6	5.1	4.7	6.8	4.7	5.1	0.4	1.3	27.5	
70代	(422)	13.5	7.3	7.3	7.3	3.8	7.8	2.8	5.7	6.4	5.5	1.4	0.5	30.6	
世帯年収別															
100万円未満	(58)	6.9	12.1	10.3	3.4	3.4	8.6	5.2	6.9	3.4	1.7	1.7	0.0	36.2	
~300万円未満	(242)	13.6	9.9	7.4	9.5	7.0	6.2	3.3	7.0	3.3	4.5	0.8	0.4	26.9	
~500万円未満	(517)	13.0	9.9	8.7	8.1	6.8	5.4	5.2	4.3	4.6	4.3	1.9	1.0	26.9	
~1000万円未満	(974)	9.7	10.1	9.7	8.0	7.6	6.8	5.9	4.6	4.9	5.4	2.4	0.6	24.4	
1000万円以上	(448)	6.9	9.6	7.6	8.0	8.9	7.6	3.8	4.5	6.3	3.3	3.8	1.1	28.6	

〔図 4-39〕 \* 2020年属性別

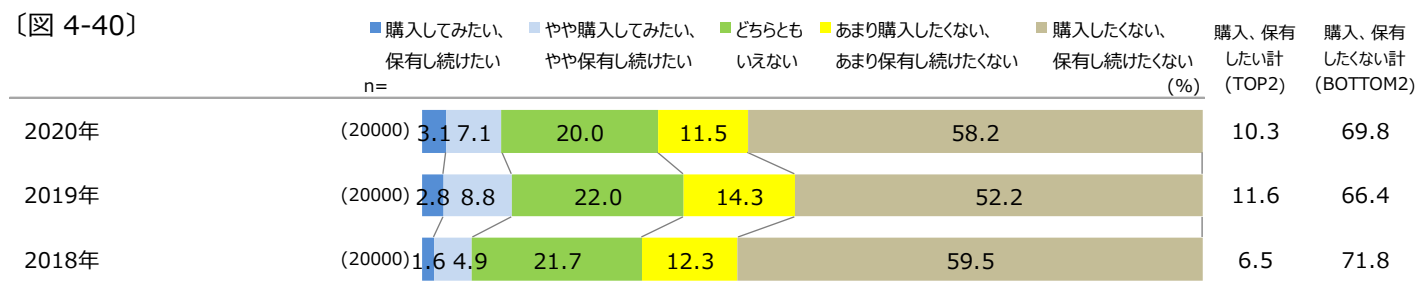
	n=	元本保証がない	仕組みや運用実績がわかりにくい	専門知識がないと商品を選びにくい	債券に比べてリスクが高い	リターン(収益)が低い	株式に比べて面白さに欠ける	最低購入価額が高い	種類が多く選択に迷う	購入後の運用に関する情報が少ない	分配金が少ない	手続きがわずらわしい	その他	わからない・特にな	(%)
TOTAL	(2523)	10.5	9.7	8.5	7.9	7.5	6.2	4.9	4.8	4.7	4.4	2.3	0.7	27.8	
Jリート保有状況別															
保有層・保有経験層															
現在保有層	(512)	13.3	8.0	5.7	6.8	8.2	6.3	3.9	4.3	5.7	6.1	1.0	0.4	30.5	
保有経験層(現在非保有)	(315)	9.2	11.1	9.2	7.6	7.0	7.3	6.3	5.7	5.7	4.8	0.6	1.0	24.4	
認知・保有未経験層															
金融資産保有経験有	(1491)	9.6	10.3	9.7	8.7	7.8	6.6	5.1	4.9	4.4	4.0	2.7	0.9	25.4	
金融資産保有経験無	(97)	14.4	7.2	9.3	4.1	5.2	1.0	3.1	5.2	4.1	4.1	5.2	0.0	37.1	

## 4. ETF、Jリートへの浸透状況、今後の購入意向

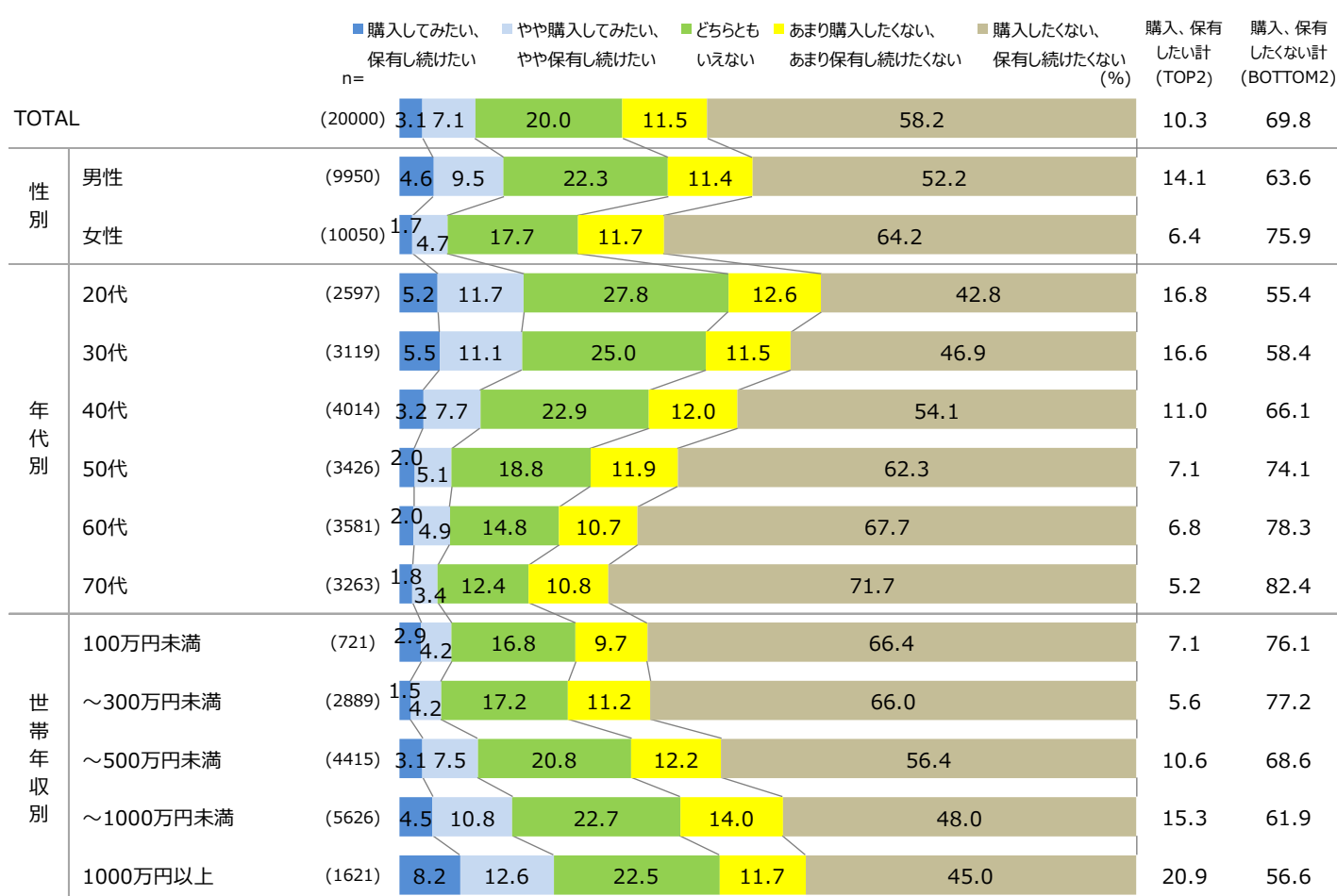
### (10) Jリート今後の購入・継続保有意向〔Q13②:単数回答〕

- Jリート今後の購入・継続保有意向は、「購入、保有したい計」(TOP2)が10.3%と前回と同程度。「購入、保有したくない計」(BOTTOM2)が69.8%で、「購入したくない、保有し続けたくない」が6.0ポイント増加。〔図4-40〕 \* 2018年からの変動は調査パネル変更の影響も考えられる
- 「購入、保有したい計」は、20代・30代で高い。また世帯年収が上がるにつれて増加傾向。〔図4-41〕
- Jリート現在保有層では「購入、保有したい計」が67.0%にのぼる。〔図4-42〕

〔図 4-40〕



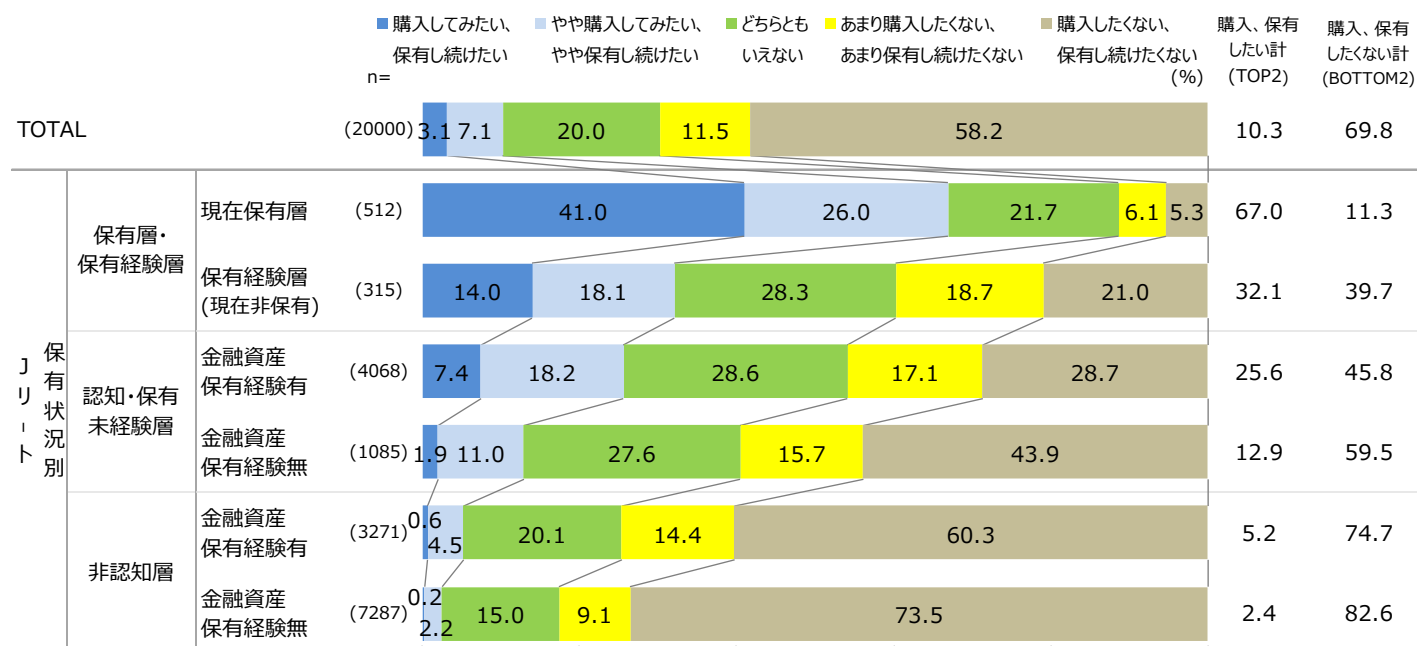
〔図 4-41〕 \* 2020年属性別



## 4. ETF、Jリートへの浸透状況、今後の購入意向

### (10) Jリート今後の購入・継続保有意向〔Q13②:単数回答〕

〔図 4-42〕 \* 2020年属性別



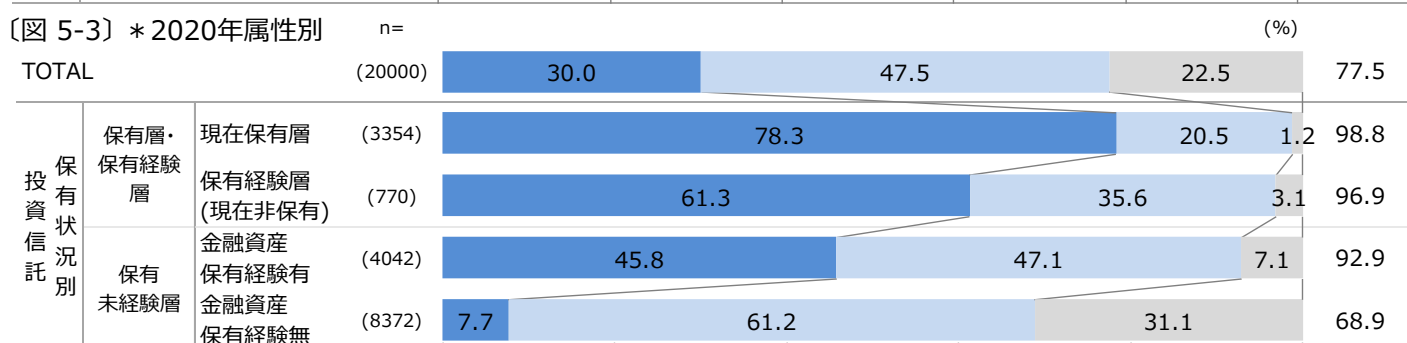
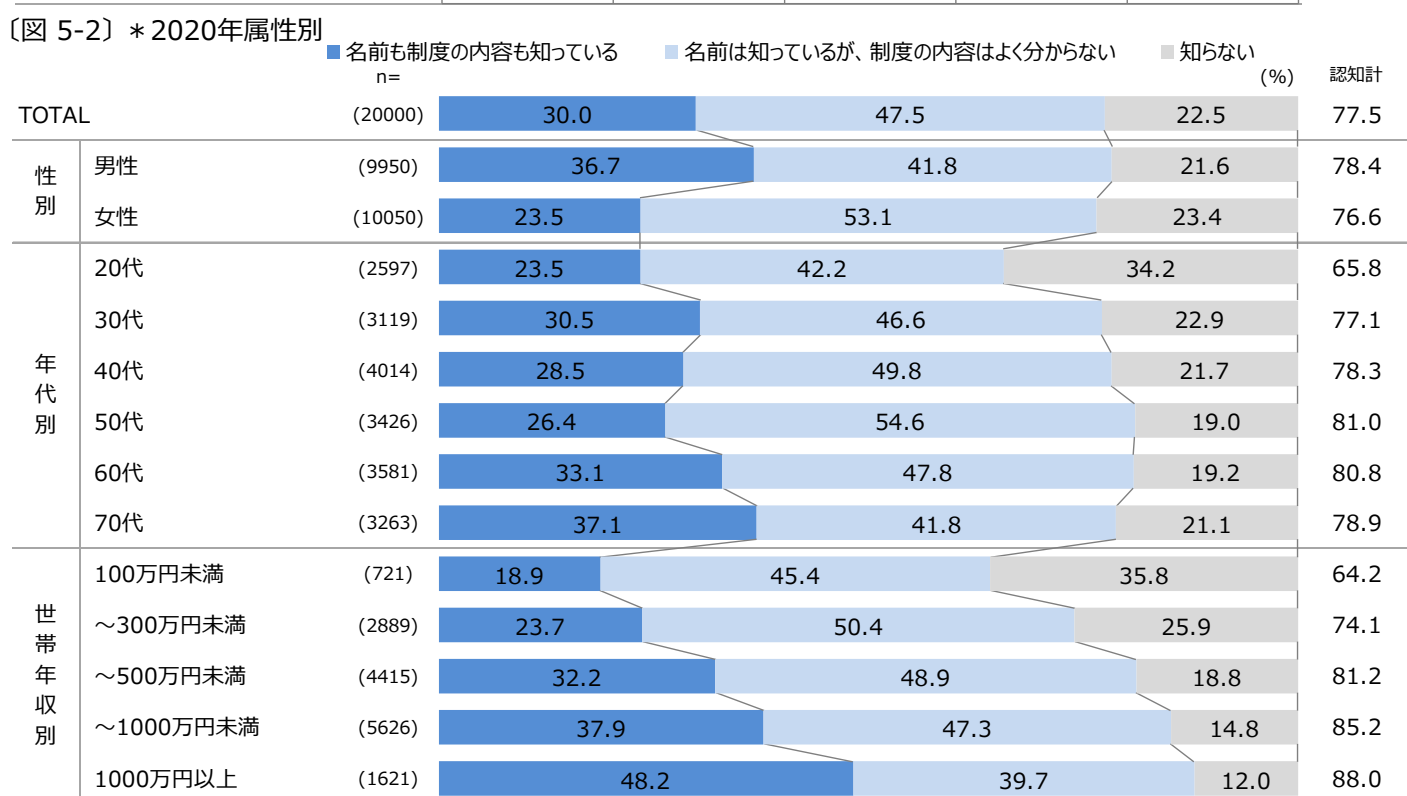
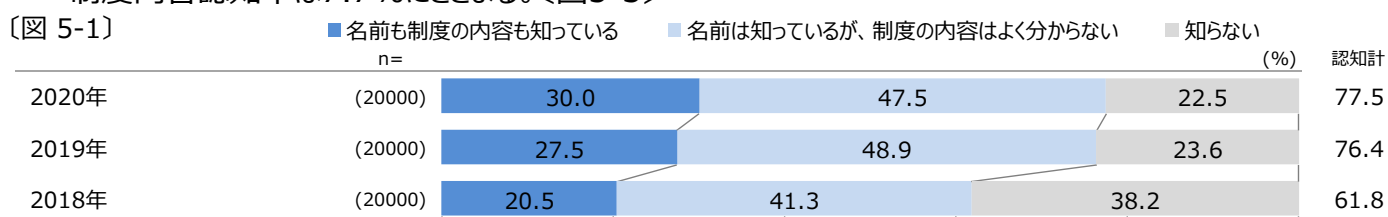
## **5. NISAの浸透状況、 今後の利用意向**



## 5. NISAの浸透状況、今後の利用意向

### (1) NISAの認知〔Q14①:単数回答〕

- NISAの認知率(認知計)は77.5%。制度内容認知率は30.0%で、前回よりわずかに増加。  
〔図5-1〕 \* 2018年からの変動は調査パネル変更の影響も考えられる
- 20代では、認知計が65.8%と他の年代に比べて低い。また世帯年収が高いほど、認知率は高まる傾向。  
〔図5-2〕
- 投資信託現在保有層では、認知率は98.8%と全員に近く、投資への関与が強い層ほど認知率が高い。一方で多数を占める保有未経験層（金融資産保有経験無）の認知率は68.9%、制度内容認知率は7.7%にとどまる。〔図5-3〕

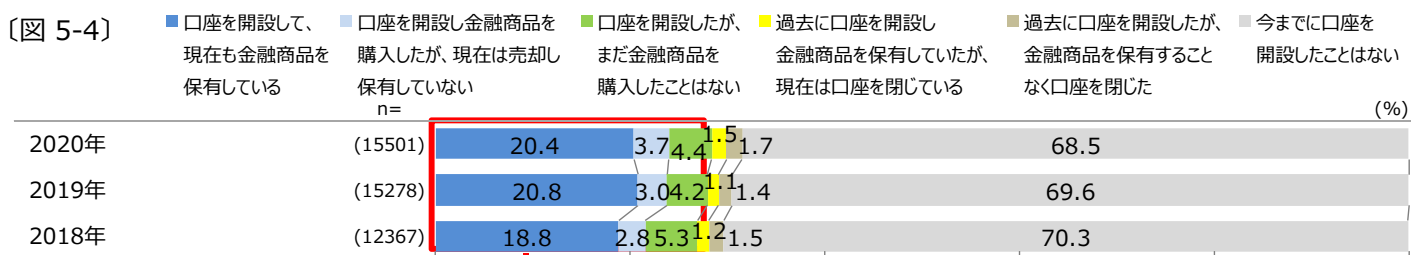




## 5. NISAの浸透状況、今後の利用意向

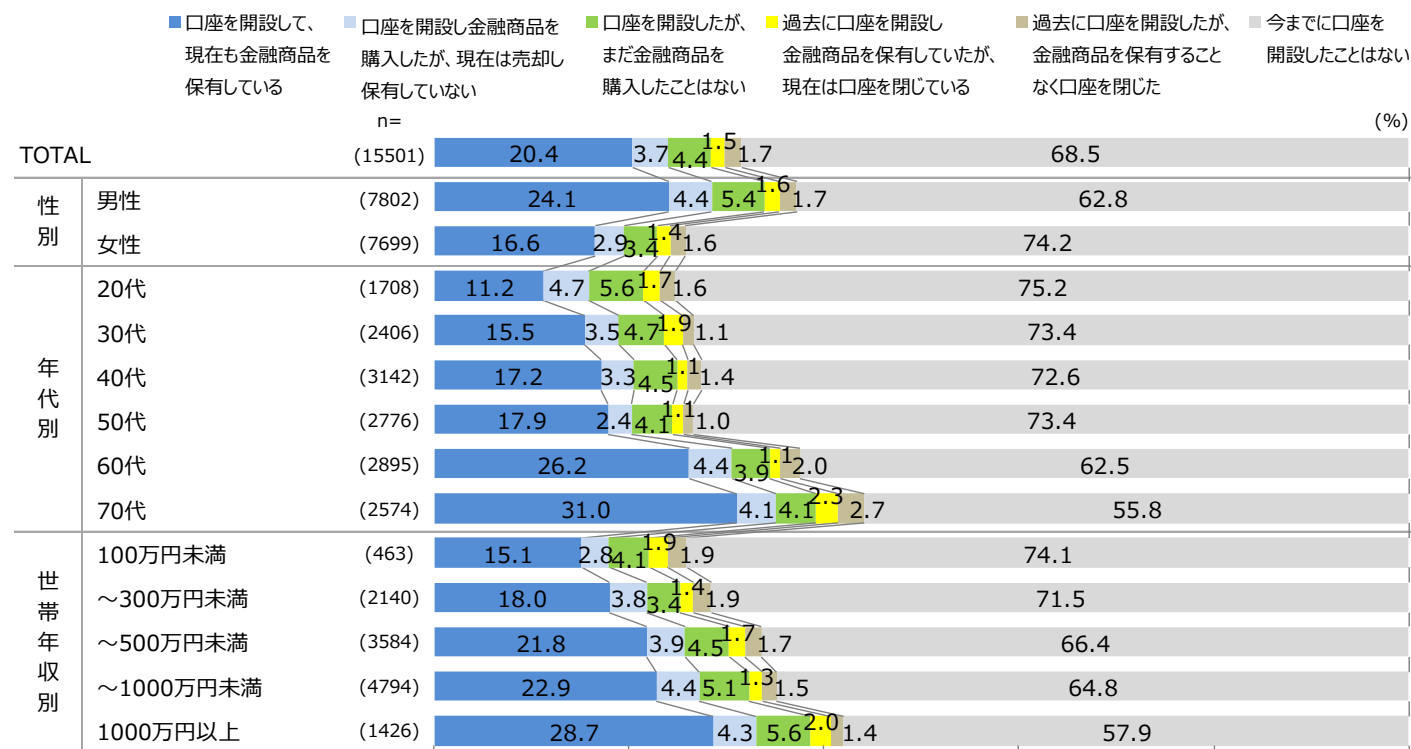
### (2) NISAの利用状況(制度認知者)[Q15\_1①:単数回答]

- NISA認知者のうち、NISAでの現在金融商品保有率は20.4%。  
いずれの項目も前回と同程度になっている。〔図5-4〕 \* 2018年からの変動は調査パネル変更の影響も考えられる
- 年代や世帯年収が上がるにつれて、NISAでの現在金融商品保有率は高くなる。〔図5-5〕
- 投資信託現在保有層では、NISAでの現在金融商品保有者が51.7%にのぼる。〔図5-6〕

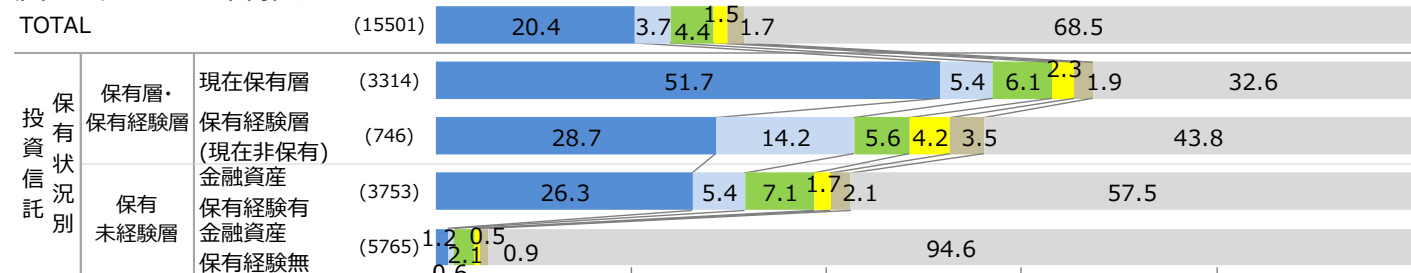


**口座開設者における金融商品保有率：2020年(n=4405)71.7%  
(参考値) 2019年(n=4272)74.4%/ 2018年(n=3335)69.7%**

〔図 5-5〕 \* 2020年属性別



〔図 5-6〕 \* 2020年属性別



## 5. NISAの浸透状況、今後の利用意向

### (3) NISAでの保有金融商品(NISAでの現在金融商品保有者) 〔Q16\_1①:重複回答〕

- NISAでの保有金融商品は、「株式」(62.6%)、「投資信託」(41.1%)で前回と同程度。〔図5-7〕

\* 2018年からの変動は調査パネル変更の影響も考えられる

- 「ETF」「外国株式に主に投資する投資信託」では若年層ほど保有率が高い傾向。〔図5-8〕

〔図 5-7〕

	n=	株式	投資信託	ETF	リート	その他	不明・非回答 (%)
2020年	(3158)	62.6	41.1	5.4	7.0	1.4	8.1
2019年	(3177)	63.0	39.7	4.5	6.6	1.5	7.6
2018年	(2323)	56.4	46.3	2.7	7.2	1.5	7.8

	n=	国内債券に主に投資する投資信託	外国債券に主に投資する投資信託	国内株式に主に投資する投資信託	外国株式に主に投資する投資信託	不動産投信に主に投資する投資信託(除<リート)	様々な資産に投資する投資信託 (%)
2020年	(3158)	12.2	10.9	16.4	15.0	5.1	8.0
2019年	(3177)	12.1	10.6	16.1	12.6	5.2	8.3
2018年	(2323)	15.8	13.6	18.2	12.1	6.2	8.4

〔図 5-8〕 \* 2020年属性別

	n=	株式	投資信託	ETF	リート	その他	不明・非回答 (%)
TOTAL	(3158)	62.6	41.1	5.4	7.0	1.4	8.1
性別							
男性	(1883)	68.5	41.1	7.1	7.8	1.2	5.2
女性	(1275)	54.0	41.2	3.0	5.9	1.6	12.5
年代別							
20代	(192)	62.5	49.5	12.0	8.3	2.1	5.2
30代	(372)	67.2	43.5	9.1	6.2	0.5	5.9
40代	(540)	65.4	44.8	8.5	8.3	2.0	6.1
50代	(497)	56.5	47.7	4.8	5.4	1.6	7.8
60代	(758)	60.3	37.1	3.4	7.5	1.1	10.0
70代	(799)	64.7	35.3	2.3	6.6	1.3	9.6
世帯年収別							
100万円未満	(70)	61.4	32.9	7.1	4.3	2.9	7.1
~300万円未満	(385)	57.4	38.7	2.6	9.6	0.8	11.4
~500万円未満	(783)	64.0	39.7	6.3	7.5	2.0	6.5
~1000万円未満	(1096)	65.7	44.5	6.3	6.6	1.0	4.7
1000万円以上	(409)	64.8	49.4	6.1	8.3	1.5	5.1

	n=	国内債券に主に投資する投資信託	外国債券に主に投資する投資信託	国内株式に主に投資する投資信託	外国株式に主に投資する投資信託	不動産投信に主に投資する投資信託(除<リート)	様々な資産に投資する投資信託 (%)
TOTAL	(3158)	12.2	10.9	16.4	15.0	5.1	8.0
性別							
男性	(1883)	11.3	10.4	17.7	16.4	5.7	7.9
女性	(1275)	13.6	11.7	14.4	12.9	4.1	8.2
年代別							
20代	(192)	13.5	14.6	18.8	21.4	7.3	6.8
30代	(372)	10.8	10.8	20.4	20.7	7.8	7.3
40代	(540)	13.3	11.9	18.5	21.1	6.7	11.5
50代	(497)	14.9	13.1	20.1	18.1	6.4	9.7
60代	(758)	10.8	8.6	14.0	12.0	2.9	7.8
70代	(799)	11.5	10.3	12.4	7.6	3.4	5.4
世帯年収別							
100万円未満	(70)	5.7	4.3	11.4	11.4	4.3	4.3
~300万円未満	(385)	10.9	8.8	14.5	10.1	1.6	7.3
~500万円未満	(783)	12.6	8.9	15.5	13.3	5.4	6.8
~1000万円未満	(1096)	11.8	11.7	17.2	18.0	6.3	9.2
1000万円以上	(409)	18.6	18.1	24.0	23.2	6.6	8.1

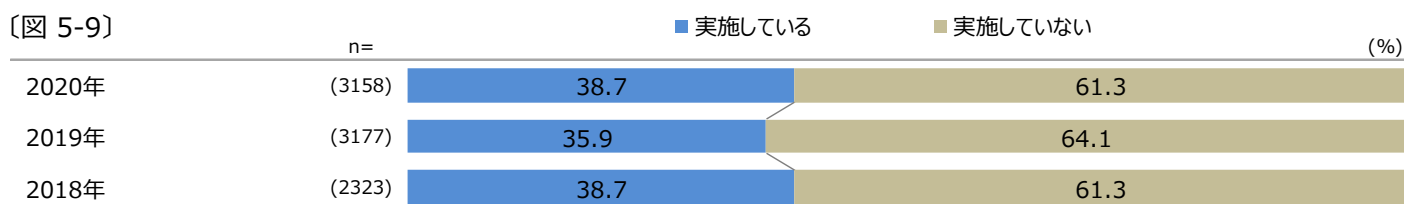
## 5. NISAの浸透状況、今後の利用意向

### (4) NISAでの積立投資実施状況

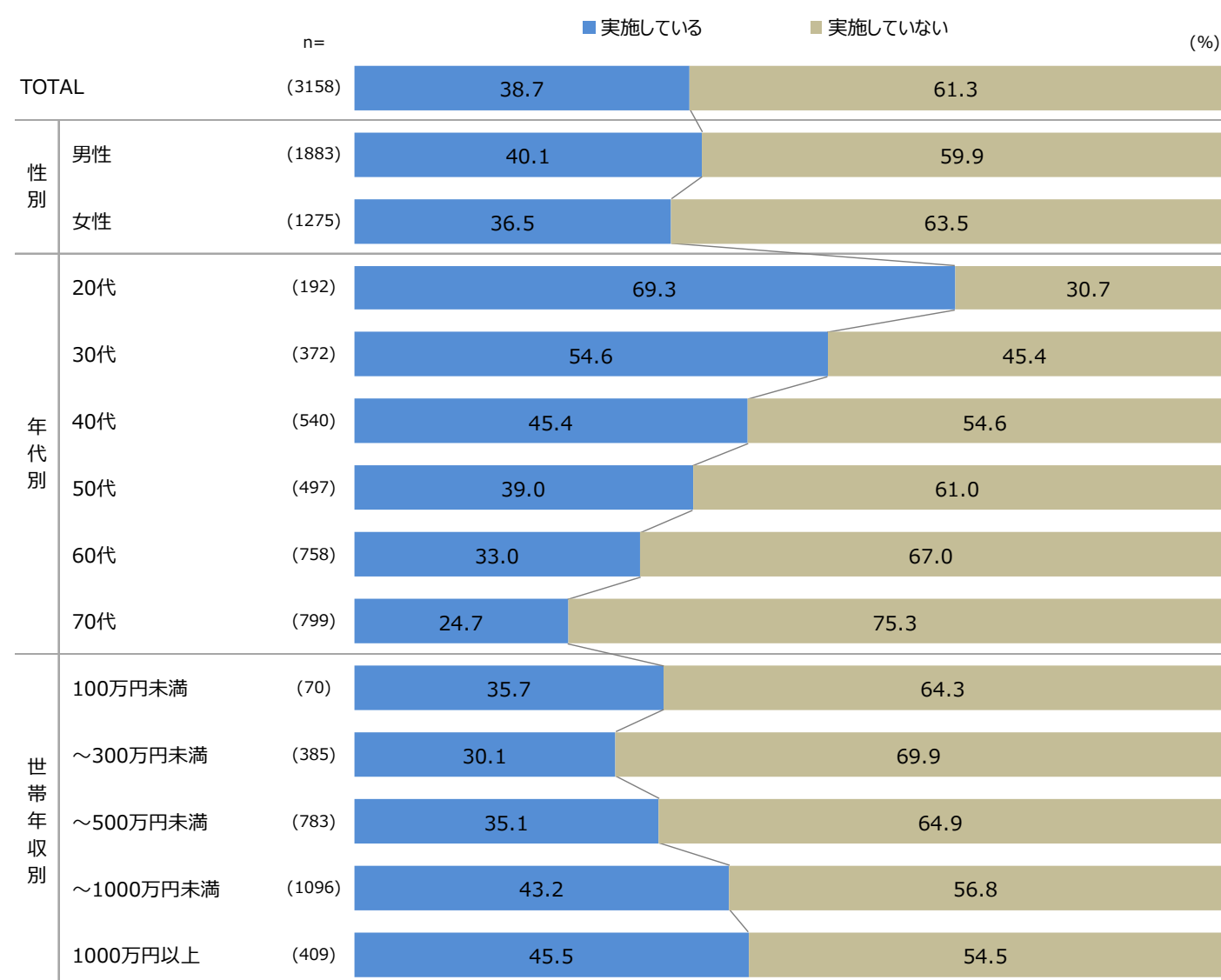
(NISAでの現在金融商品保有者)[Q17①:単数回答]

- NISAでの積立投資実施率は38.7%で、前回よりやや増加。〔図5-9〕  
\* 2018年からの変動は調査パネル変更の影響も考えられる
- 年代別では若年層ほど積立投資実施率は高くなる。また世帯年収別では「100万円以上」で年収が上がるにつれ実施率が高くなる。〔図5-10〕

〔図 5-9〕



〔図 5-10〕 \* 2020年属性別



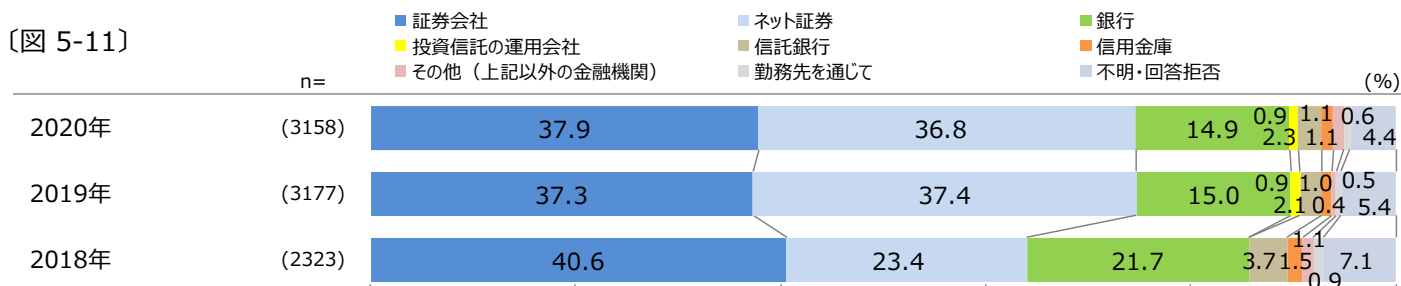
## 5. NISAの浸透状況、今後の利用意向

### (5) NISAの口座開設金融機関

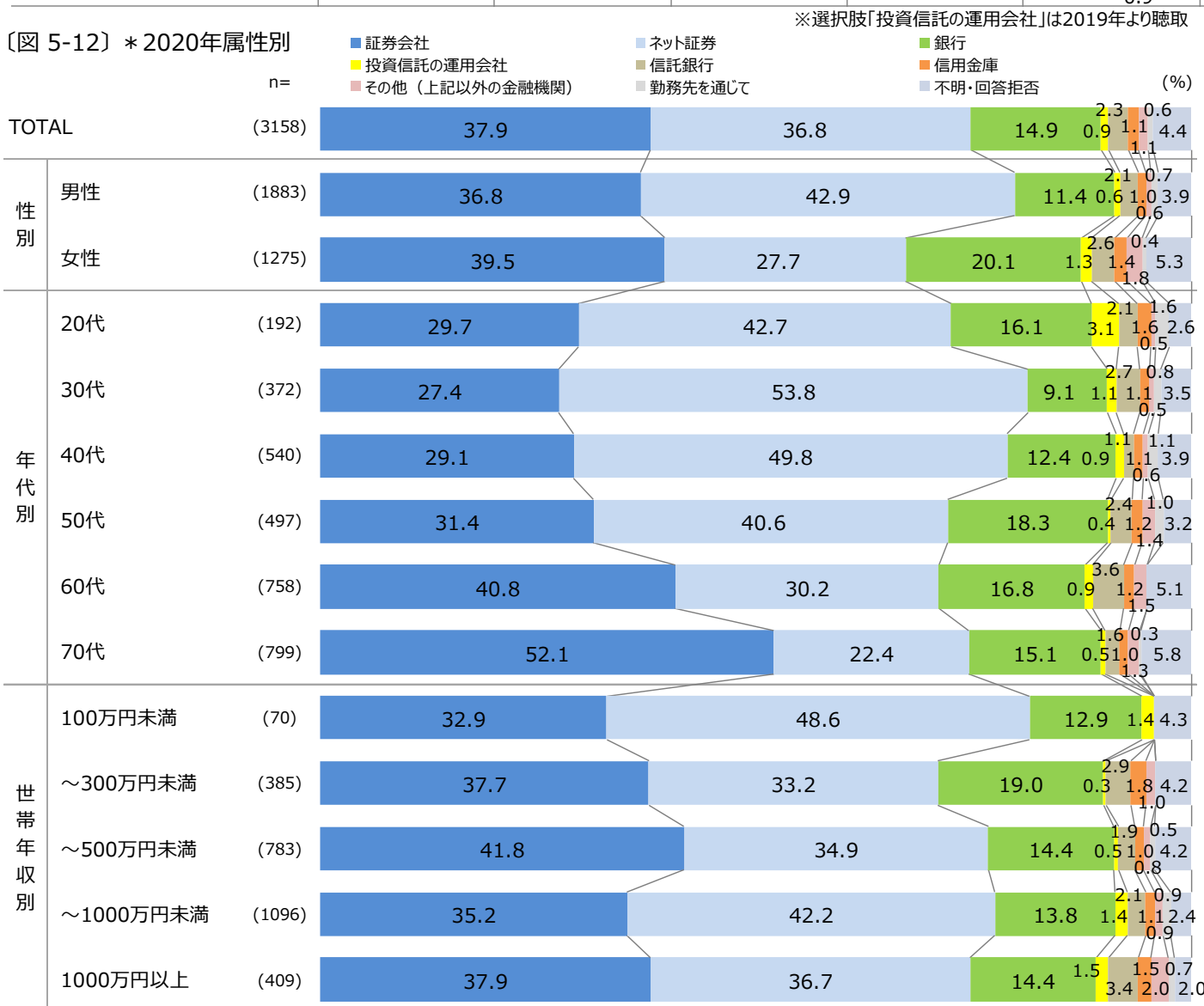
(NISAでの現在金融商品保有者)〔Q18①:単数回答〕

- NISAの口座開設の金融機関は「証券会社」(37.9%)、「ネット証券」(36.8%)でほぼ同程度で並ぶ。〔図5-11〕 \* 2018年からの変動は調査パネル変更の影響も考えられる
- 年代別で見ると、「証券会社」は60代以上で4割以上と高い。「ネット証券」は30代・40代で5割程度と高い。〔図5-12〕

〔図 5-11〕



〔図 5-12〕 \* 2020年属性別



## 5. NISAの浸透状況、今後の利用意向

### (6) NISA口座開設・金融商品未購入理由

(NISA口座開設・金融商品未購入層)〔Q19①:重複回答〕

- NISAでの金融商品未購入理由は、「どの商品を購入してよいかわからない」(18.5%)、「投資に回すお金がない」(13.2%)、「金融機関に勧められて口座開設しただけ」(11.7%)が上位で、いずれも前回と同程度。〔図5-13〕 \* 2018年からの変動は調査パネル変更の影響も考えられる
- 年代別で見ると、20代で「どの商品を購入してよいかわからない」と知識不足傾向がみられる一方、「タイミングを見定めている」との理由も高い。〔図5-14〕
- 投信信託現在保有層は「非課税期間が短い」が認知・保有未経験層より高い。認知・保有未経験層(金融資産保有経験無)は「投資に回すお金がない」「投資の知識がない/知識がないと難しそう」「制度が複雑でよく理解できない」が保有層・保有経験層より高い。〔図5-15〕

〔図 5-13〕

	n=	どの商品を購入してよいかわからないから	投資に回すお金がないから	金融機関に勧められて口座開設しただけだから	投資の知識がないと難しそうだから	経済状況など、商品購入や口座開設のタイミングを見定めているから	制度が複雑でよく理解できないから	非課税期間が短いから	年間の非課税投資限度額(120万円)が小さいから	投資自体に関心がないから	制度の内容を知らないから	株式や投資信託以外の商品(国債など)が購入できないから	既に十分な資産があり、投資は必要ないから	その他	特に理由は無い	(%)
2020年	(681)	18.5	13.2	11.7	10.1	9.5	7.9	7.3	5.9	5.6	4.6	2.5	1.3	2.5	26.1	
2019年	(642)	17.0	15.4	12.3	7.2	7.6	7.5	7.5	4.5	9.0	4.8	3.4	1.1	1.7	28.5	
2018年	(660)	21.2	22.6	18.6	10.6	8.8	7.4	4.1	5.2	7.7	6.8	2.7	0.8	1.8	20.2	

〔図 5-14〕 \* 2020年属性別

	n=	どの商品を購入してよいかわからないから	投資に回すお金がないから	金融機関に勧められて口座開設しただけだから	投資の知識がないと難しそうだから	経済状況など、商品購入や口座開設のタイミングを見定めているから	制度が複雑でよく理解できないから	非課税期間が短いから	年間の非課税投資限度額(120万円)が小さいから	投資自体に関心がないから	制度の内容を知らないから	株式や投資信託以外の商品(国債など)が購入できないから	既に十分な資産があり、投資は必要ないから	その他	特に理由は無い	(%)
TOTAL	(681)	18.5	13.2	11.7	10.1	9.5	7.9	7.3	5.9	5.6	4.6	2.5	1.3	2.5	26.1	
性別																
男性	(420)	16.7	13.6	7.4	8.6	11.2	6.7	8.3	7.4	4.0	5.0	3.1	1.7	2.9	27.4	
女性	(261)	21.5	12.6	18.8	12.6	6.9	10.0	5.7	3.4	8.0	3.8	1.5	0.8	1.9	24.1	
年代別																
20代	(95)	23.2	8.4	7.4	9.5	21.1	6.3	9.5	11.6	1.1	6.3	3.2	3.2	1.1	18.9	
30代	(112)	23.2	13.4	4.5	11.6	10.7	9.8	10.7	8.0	0.9	8.9	3.6	1.8	6.3	24.1	
40代	(141)	22.0	14.9	7.1	10.6	7.1	9.2	7.8	3.5	3.5	2.1	1.4	1.4	1.4	22.7	
50代	(115)	13.9	23.5	13.9	13.9	7.8	9.6	7.0	5.2	5.2	5.2	2.6	0.0	4.3	29.6	
60代	(113)	15.9	6.2	18.6	10.6	6.2	8.8	8.8	4.4	9.7	3.5	2.7	0.0	0.9	26.5	
70代	(105)	12.4	11.4	20.0	3.8	6.7	2.9	0.0	3.8	13.3	1.9	1.9	1.9	1.0	35.2	
世帯年収別																
100万円未満	(19)	10.5	21.1	15.8	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	0.0	10.5	0.0	0.0	0.0	31.6	
~300万円未満	(73)	17.8	24.7	11.0	8.2	5.5	8.2	1.4	2.7	8.2	4.1	1.4	0.0	2.7	23.3	
~500万円未満	(161)	16.8	16.1	8.7	10.6	7.5	7.5	9.9	6.8	4.3	6.8	2.5	0.6	3.1	27.3	
~1000万円未満	(243)	20.6	9.9	12.8	11.5	12.3	9.5	7.4	7.0	3.7	4.1	2.5	2.1	3.3	22.2	
1000万円以上	(80)	22.5	6.3	8.8	15.0	12.5	8.8	6.3	5.0	3.8	1.3	1.3	3.8	1.3	26.3	

〔図 5-15〕 \* 2020年属性別

	n=	どの商品を購入してよいかわからないから	投資に回すお金がないから	金融機関に勧められて口座開設しただけだから	投資の知識がないと難しそうだから	経済状況など、商品購入や口座開設のタイミングを見定めているから	制度が複雑でよく理解できないから	非課税期間が短いから	年間の非課税投資限度額(120万円)が小さいから	投資自体に関心がないから	制度の内容を知らないから	株式や投資信託以外の商品(国債など)が購入できないから	既に十分な資産があり、投資は必要ないから	その他	特に理由は無い	(%)
TOTAL	(681)	18.5	13.2	11.7	10.1	9.5	7.9	7.3	5.9	5.6	4.6	2.5	1.3	2.5	26.1	
投資状況別																
保有層・保有経験層																
現在保有層	(201)	16.9	9.5	10.4	7.0	10.9	7.0	13.9	6.5	3.0	1.5	1.5	2.0	4.5	26.9	
保有経験層(現在非保有)	(42)	14.3	11.9	14.3	4.8	11.9	4.8	11.9	14.3	11.9	2.4	9.5	2.4	0.0	23.8	
認知・保有未経験層																
金融資産保有経験有	(265)	21.1	13.2	9.4	11.7	6.8	7.2	4.9	6.0	5.7	5.3	2.3	1.1	1.5	27.9	
金融資産保有経験無	(123)	19.5	19.5	15.4	15.4	12.2	13.0	3.3	2.4	6.5	8.1	1.6	0.0	3.3	19.5	

## 5. NISAの浸透状況、今後の利用意向

### (7) NISA口座未開設理由

(NISA認知・口座未開設層)[Q19①:重複回答]

- NISA口座未開設理由は、「投資自体に関心がない」(23.4%)、「投資の知識がない／知識がないと難しそう」(19.9%)、「投資に回すお金がない」(16.5%)が上位。前回と比較して大きな変動は見られない。〔図5-16〕 \* 2018年からの変動は調査パネル変更の影響も考えられる
- 若年層ほど「投資自体に関心がない」は低い、「投資に回すお金がない」という経済的理由や、「投資の知識がない／知識がないと難しそう」「どの商品を購入してよいかわからない」「制度が複雑でよく理解できない」「制度内容を知らない」などの知識不足の項目が高い。〔図5-17〕
- 投資信託現在保有層で「非課税期間が短い」という制度上の不満がやや高い。〔図5-18〕

〔図 5-16〕

	n=	投資自体に関心がないから	投資の知識がない／知識がないと難しそうだから	投資に回すお金がないから	どの商品を購入してよいかわからないから	制度が複雑でよく理解できないから	制度の内容を知らないから	口座開設の申込手続きが煩雑で面倒だから	非課税期間が短いから	年間の非課税投資限度額(120万円)が小さいから	経済状況など、商品購入や口座開設のタイミングを見定めているから	既に十分な資産があり、投資は必要ないから	株式や投資信託以外の商品(国債など)が購入できないから	その他	特に理由は無い	(%)
2020年	(10612)	23.4	19.9	16.5	8.3	8.3	8.1	7.4	3.2	2.2	2.1	0.9	0.7	1.5	34.5	
2019年	(10628)	25.7	18.1	17.0	7.4	7.3	7.9	7.1	2.7	1.9	1.7	0.7	0.7	1.3	35.4	
2018年	(8697)	26.4	17.0	20.3	11.9	10.3	14.3	7.2	2.8	1.9	2.1	0.6	1.0	1.0	32.6	

〔図 5-17〕 \* 2020年属性別

	n=	投資自体に関心がないから	投資の知識がない／知識がないと難しそうだから	投資に回すお金がないから	どの商品を購入してよいかわからないから	制度が複雑でよく理解できないから	制度の内容を知らないから	口座開設の申込手続きが煩雑で面倒だから	非課税期間が短いから	年間の非課税投資限度額(120万円)が小さいから	経済状況など、商品購入や口座開設のタイミングを見定めているから	既に十分な資産があり、投資は必要ないから	株式や投資信託以外の商品(国債など)が購入できないから	その他	特に理由は無い	(%)
TOTAL	(10612)	23.4	19.9	16.5	8.3	8.3	8.1	7.4	3.2	2.2	2.1	0.9	0.7	1.5	34.5	
性別																
男性	(4898)	19.8	15.1	15.4	7.2	6.0	6.8	7.0	4.1	3.1	2.7	1.1	0.8	1.8	39.2	
女性	(5714)	26.4	24.1	17.4	9.3	10.2	9.2	7.8	2.5	1.5	1.6	0.8	0.6	1.3	30.4	
年代別																
20代	(1285)	15.4	26.8	18.0	11.2	11.7	11.8	9.8	4.6	1.6	4.3	1.1	0.7	1.2	31.8	
30代	(1765)	14.8	25.7	18.3	11.2	11.4	10.5	9.6	4.2	2.9	3.6	0.9	0.7	2.0	31.7	
40代	(2280)	18.8	22.2	19.3	10.5	8.8	9.1	7.8	3.6	2.0	2.5	0.8	0.5	1.5	33.0	
50代	(2037)	24.4	18.0	15.8	6.8	7.9	7.3	7.1	2.8	1.7	1.6	0.5	0.9	1.3	36.8	
60代	(1808)	32.8	15.0	13.7	5.9	5.3	6.1	6.0	2.6	2.3	0.7	1.0	0.7	1.7	35.2	
70代	(1437)	35.1	11.8	12.9	4.0	4.7	4.2	4.4	1.6	2.7	0.5	1.3	0.8	1.5	38.2	
世帯年収別																
100万円未満	(343)	25.7	22.7	23.6	11.1	9.6	11.1	7.3	3.2	2.0	2.3	0.0	1.2	0.9	33.2	
～300万円未満	(1531)	28.7	21.4	24.0	7.3	8.6	9.0	7.0	1.7	1.7	1.9	0.8	0.7	1.4	29.0	
～500万円未満	(2380)	24.6	21.7	18.5	8.5	8.2	8.9	7.2	3.8	2.3	2.1	0.8	1.1	1.8	31.7	
～1000万円未満	(3107)	19.1	20.4	14.9	9.5	9.0	8.0	8.8	4.3	2.6	2.7	1.2	0.6	2.1	32.4	
1000万円以上	(826)	16.8	15.3	7.3	9.7	6.9	5.2	10.5	4.7	5.3	3.3	1.9	0.8	1.7	36.1	

〔図 5-18〕 \* 2020年属性別

	n=	投資自体に関心がないから	投資の知識がない／知識がないと難しそうだから	投資に回すお金がないから	どの商品を購入してよいかわからないから	制度が複雑でよく理解できないから	制度の内容を知らないから	口座開設の申込手続きが煩雑で面倒だから	非課税期間が短いから	年間の非課税投資限度額(120万円)が小さいから	経済状況など、商品購入や口座開設のタイミングを見定めているから	既に十分な資産があり、投資は必要ないから	株式や投資信託以外の商品(国債など)が購入できないから	その他	特に理由は無い	(%)	
TOTAL	(10612)	23.4	19.9	16.5	8.3	8.3	8.1	7.4	3.2	2.2	2.1	0.9	0.7	1.5	34.5		
投資信託保有状況別	保有層・保有経験層	現在保有層	(1082)	4.4	8.9	11.3	6.7	5.6	4.5	11.1	13.9	8.2	4.3	1.4	1.2	6.7	33.7
		保有経験層(現在非保有)	(327)	16.8	13.1	19.6	6.7	5.2	7.0	8.6	5.2	6.7	2.8	1.5	2.1	2.1	35.2
	認知・保有未経験層	金融資産保有経験有	(2157)	16.9	15.6	14.2	9.3	7.6	7.6	9.4	4.2	3.9	3.2	1.3	1.3	1.9	34.9
		金融資産保有経験無	(5452)	31.2	26.1	20.0	9.2	10.2	10.0	6.6	1.2	0.6	1.6	0.7	0.3	0.7	28.9

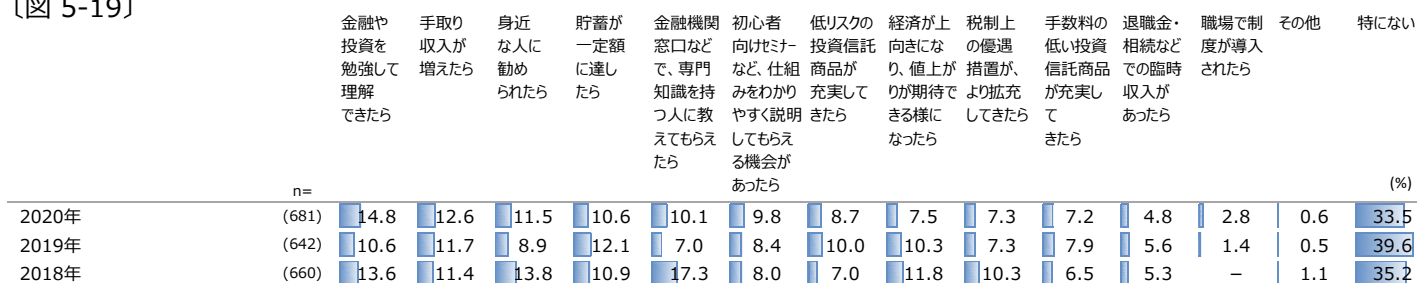


## 5. NISAの浸透状況、今後の利用意向

### (8) NISA口座での金融商品購入検討のきっかけ (NISA口座開設・金融商品未購入層)〔Q20①:重複回答〕

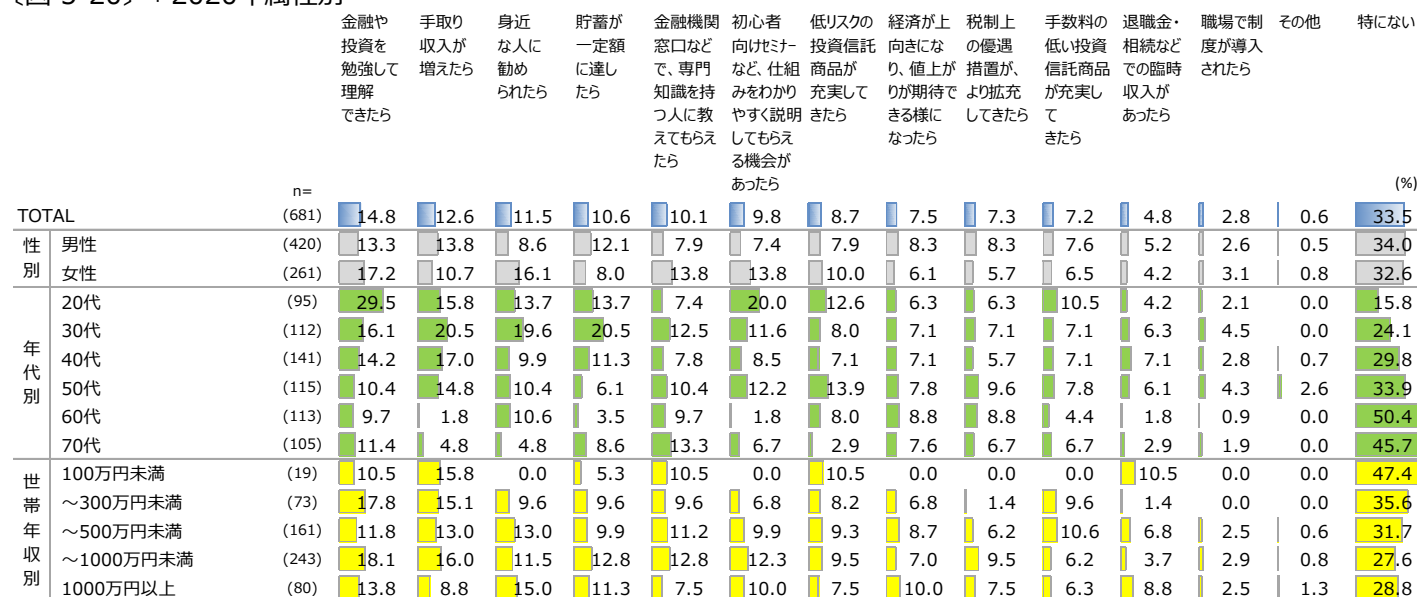
- NISA口座での金融商品購入検討のきっかけは、「金融や投資を勉強して理解できたら」(14.8%)が最も高く、前回より4.2ポイント増加。〔図5-19〕 \*2018年からの変動は調査パネル変更の影響も考えられる
- 20代は「金融や投資を勉強して理解できたら」「初心者向けセミナーなど、仕組みをわかりやすく説明してもらえらる機会があったら」が、30代は「手取りが増えたら」「身近な人に勧められたら」「貯蓄が一定額に達したら」が、50代は「低リスクの投資信託商品が充実してきたら」が他層より高い。〔図5-20〕
- 認知・保有未経験層(金融資産保有経験無)は「専門知識を持つ人に教えてもらえたら」「初心者向けセミナーなど、仕組みをわかりやすく説明してもらえらる機会があったら」がやや高い。〔図5-21〕

〔図 5-19〕

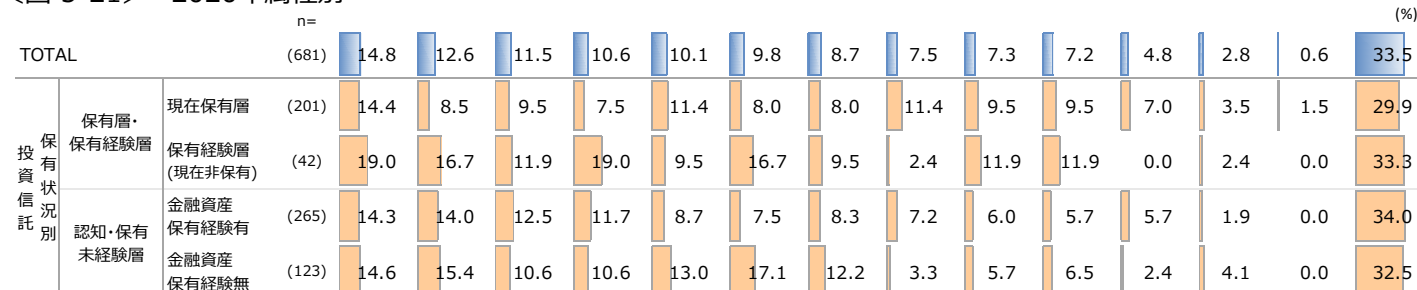


※選択肢「職場で制度が導入されたら」は2019年より聴取

〔図 5-20〕 \* 2020年属性別



〔図 5-21〕 \* 2020年属性別



## 5. NISAの浸透状況、今後の利用意向

### (9) NISA口座開設検討のきっかけ (NISA認知・口座未開設層)〔Q20①:重複回答〕

- NISA口座開設検討のきっかけは、「手取り収入が増えたら」(12.6%)が最も高い。次いで「金融や投資を勉強して理解できたなら」(10.8%)、「身近な人に勧められたら」(10.0%)、「初心者向けセミナーなど、仕組みをわかりやすく説明してもらえる機会があったら」(7.7%)が続く。〔図5-22〕

\* 2018年からの変動は調査パネル変更の影響も考えられる

- 若年層ほど経済的状況の変化や知識不足の解消、「身近な人の勧め」が検討のきっかけとなる模様。〔図5-23〕
- 投資信託現在保有層では、「税制上の優遇措置がより拡充してきたら」が他層に比べてやや高い。〔図5-24〕

〔図 5-22〕

	n=	手取り収入が増えたら	金融や投資を勉強して理解できたなら	身近な人に勧められたら	初心者向けセミナーなど、仕組みをわかりやすく説明してもらえる機会があったら	貯蓄が一定額に達したら	金融機関窓口などで、専門知識を持つ人に教えてもらえたら	低リスクの投資信託商品が充実してきたら	税制上の優遇措置が、より拡充してきたら	経済が上がり、値上がり期待で、きる様になったら	手数料の低い投資信託商品が充実してきたら	退職金・相続などの臨時収入があったら	職場で制度が導入されたら	その他	特にな
2020年	(10612)	12.6	10.8	10.0	7.7	7.4	6.8	6.0	5.1	4.6	4.3	2.7	2.7	0.5	57.7
2019年	(10628)	11.4	8.8	8.3	6.3	7.0	5.5	5.1	4.5	4.2	3.7	2.7	1.8	0.5	63.0
2018年	(8697)	14.4	13.5	9.0	9.1	9.5	9.6	7.7	6.9	7.9	5.4	3.6	-	0.4	57.0

〔図 5-23〕 \* 2020年属性別

※選択肢「職場で制度が導入されたら」は2019年より聴取

	n=	手取り収入が増えたら	金融や投資を勉強して理解できたなら	身近な人に勧められたら	初心者向けセミナーなど、仕組みをわかりやすく説明してもらえる機会があったら	貯蓄が一定額に達したら	金融機関窓口などで、専門知識を持つ人に教えてもらえたら	低リスクの投資信託商品が充実してきたら	税制上の優遇措置が、より拡充してきたら	経済が上がり、値上がり期待で、きる様になったら	手数料の低い投資信託商品が充実してきたら	退職金・相続などの臨時収入があったら	職場で制度が導入されたら	その他	特にな
TOTAL	(10612)	12.6	10.8	10.0	7.7	7.4	6.8	6.0	5.1	4.6	4.3	2.7	2.7	0.5	57.7
性別															
男性	(4898)	12.7	9.1	6.7	5.4	7.3	4.9	5.0	6.3	4.2	3.7	2.6	2.8	0.6	60.3
女性	(5714)	12.6	12.2	12.8	9.6	7.5	8.5	6.8	4.1	5.0	4.9	2.9	2.5	0.5	55.5
年代別															
20代	(1285)	21.9	17.1	18.1	12.5	13.5	10.5	9.5	4.8	5.2	6.6	3.1	3.6	0.2	42.4
30代	(1765)	18.4	15.6	15.8	11.6	11.7	9.7	7.8	6.5	5.5	5.4	2.2	4.0	0.7	44.4
40代	(2280)	16.7	13.2	11.0	8.5	9.0	7.2	6.3	6.2	5.1	5.0	3.3	3.1	0.6	50.0
50代	(2037)	10.3	8.9	7.3	6.6	4.8	5.9	5.4	5.0	4.4	3.8	3.3	2.9	0.3	61.6
60代	(1808)	5.6	5.9	4.9	4.3	3.4	4.8	4.6	3.8	4.3	3.2	2.7	1.3	0.8	70.4
70代	(1437)	2.9	4.0	4.2	3.0	2.6	3.1	2.4	3.9	3.0	1.9	1.4	0.8	0.6	78.4
世帯年収別															
100万円未満	(343)	15.7	10.8	9.3	7.9	8.5	6.1	7.0	5.5	6.7	6.4	3.2	1.5	0.9	60.3
~300万円未満	(1531)	15.2	11.0	7.1	7.0	8.0	6.3	5.9	3.7	4.8	4.1	2.5	2.2	0.7	59.9
~500万円未満	(2380)	14.0	11.9	10.5	7.9	8.2	7.1	6.7	4.7	4.6	3.9	2.6	2.4	0.7	55.6
~1000万円未満	(3107)	13.9	12.0	12.4	8.9	8.8	8.5	6.6	6.0	5.0	5.5	3.3	3.3	0.5	50.7
1000万円以上	(826)	9.2	10.2	11.3	10.7	6.1	6.9	5.3	9.0	4.6	4.4	3.3	4.2	0.7	51.8

〔図 5-24〕 \* 2020年属性別

	n=	手取り収入が増えたら	金融や投資を勉強して理解できたなら	身近な人に勧められたら	初心者向けセミナーなど、仕組みをわかりやすく説明してもらえる機会があったら	貯蓄が一定額に達したら	金融機関窓口などで、専門知識を持つ人に教えてもらえたら	低リスクの投資信託商品が充実してきたら	税制上の優遇措置が、より拡充してきたら	経済が上がり、値上がり期待で、きる様になったら	手数料の低い投資信託商品が充実してきたら	退職金・相続などの臨時収入があったら	職場で制度が導入されたら	その他	特にな	
TOTAL	(10612)	12.6	10.8	10.0	7.7	7.4	6.8	6.0	5.1	4.6	4.3	2.7	2.7	0.5	57.7	
投資信託保有状況別	保有層・現在保有層	(1082)	14.1	10.7	8.1	8.0	8.8	6.0	6.6	13.7	4.2	5.8	2.1	1.2	1.7	48.1
	保有経験層(現在非保有)	(327)	11.3	8.6	7.3	6.4	5.8	5.5	7.0	6.7	5.8	3.4	2.8	1.2	0.9	57.8
	認知・保有金融資産保有経験層	(2157)	12.4	11.4	8.9	8.4	8.4	7.0	6.3	7.1	6.2	5.7	3.0	2.9	0.8	52.1
	認知・保有金融資産保有経験無	(5452)	14.2	12.3	11.9	8.4	7.9	8.0	6.1	3.4	4.7	3.9	3.0	3.2	0.3	56.7

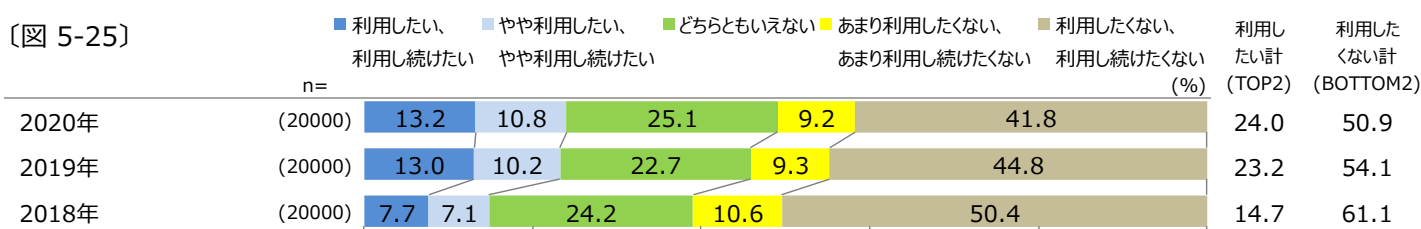


## 5. NISAの浸透状況、今後の利用意向

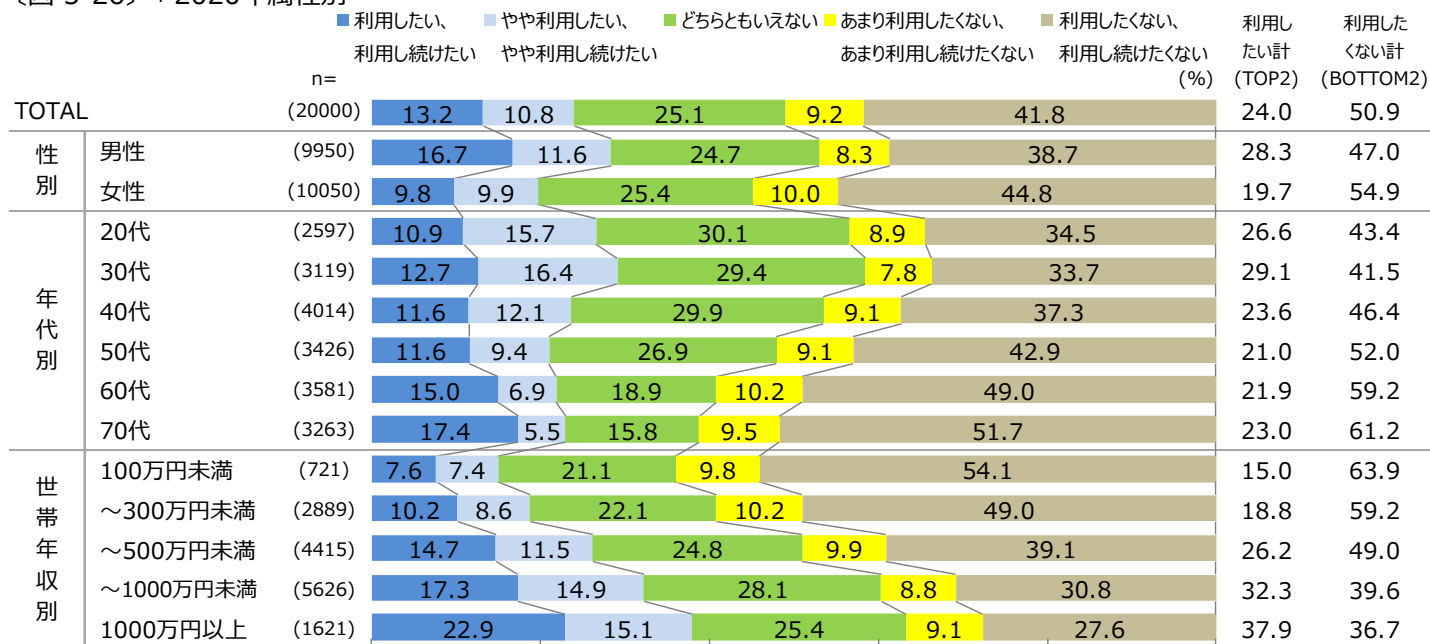
### (10) NISAの今後の利用意向〔Q21①:単数回答〕

- NISAの利用・継続利用意向は、「利用したい計」(TOP2)が24.0%で前回と同程度。「利用したくない計」(BOTTOM2)は50.9%で、前回より3.2ポイント減少。〔図5-25〕  
\* 2018年からの変動は調査パネル変更の影響も考えられる
- 「利用したい、利用し続けたい」との強い意向は60代・70代で高く、高年収層ほど高い。〔図5-26〕
- 現在NISA口座開設層は「利用したい計」が70.1%で、継続意向率が高い。〔図5-27〕

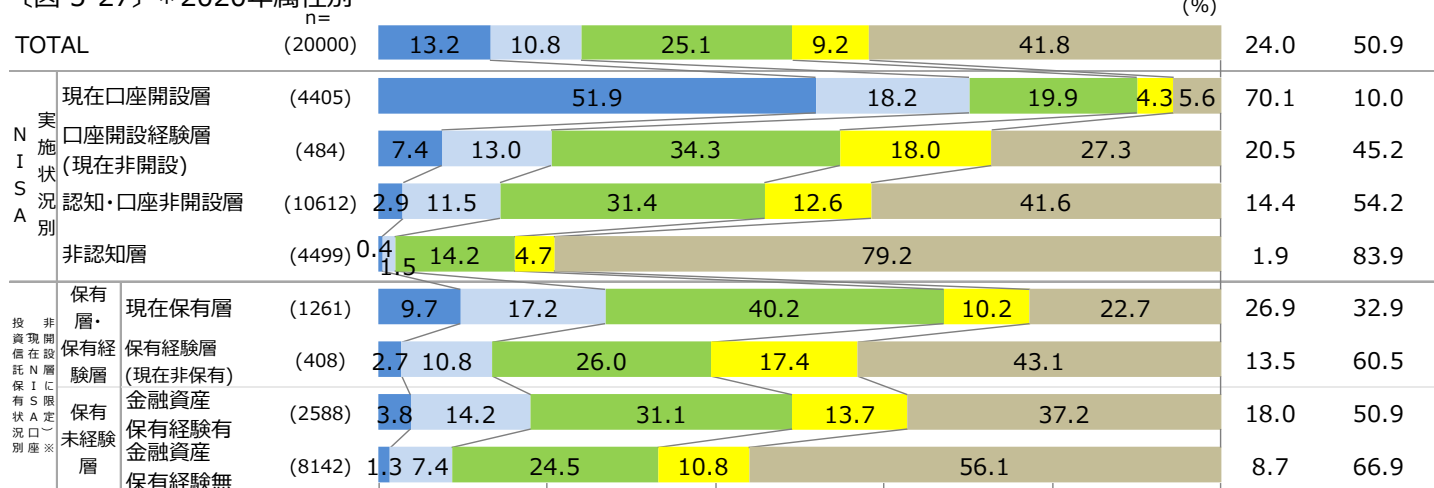
〔図 5-25〕



〔図 5-26〕 \* 2020年属性別



〔図 5-27〕 \* 2020年属性別



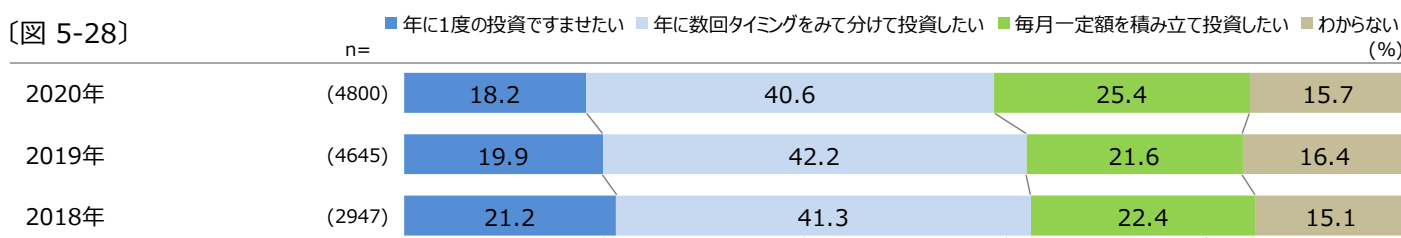
※NISA非認知層含む

## 5. NISAの浸透状況、今後の利用意向

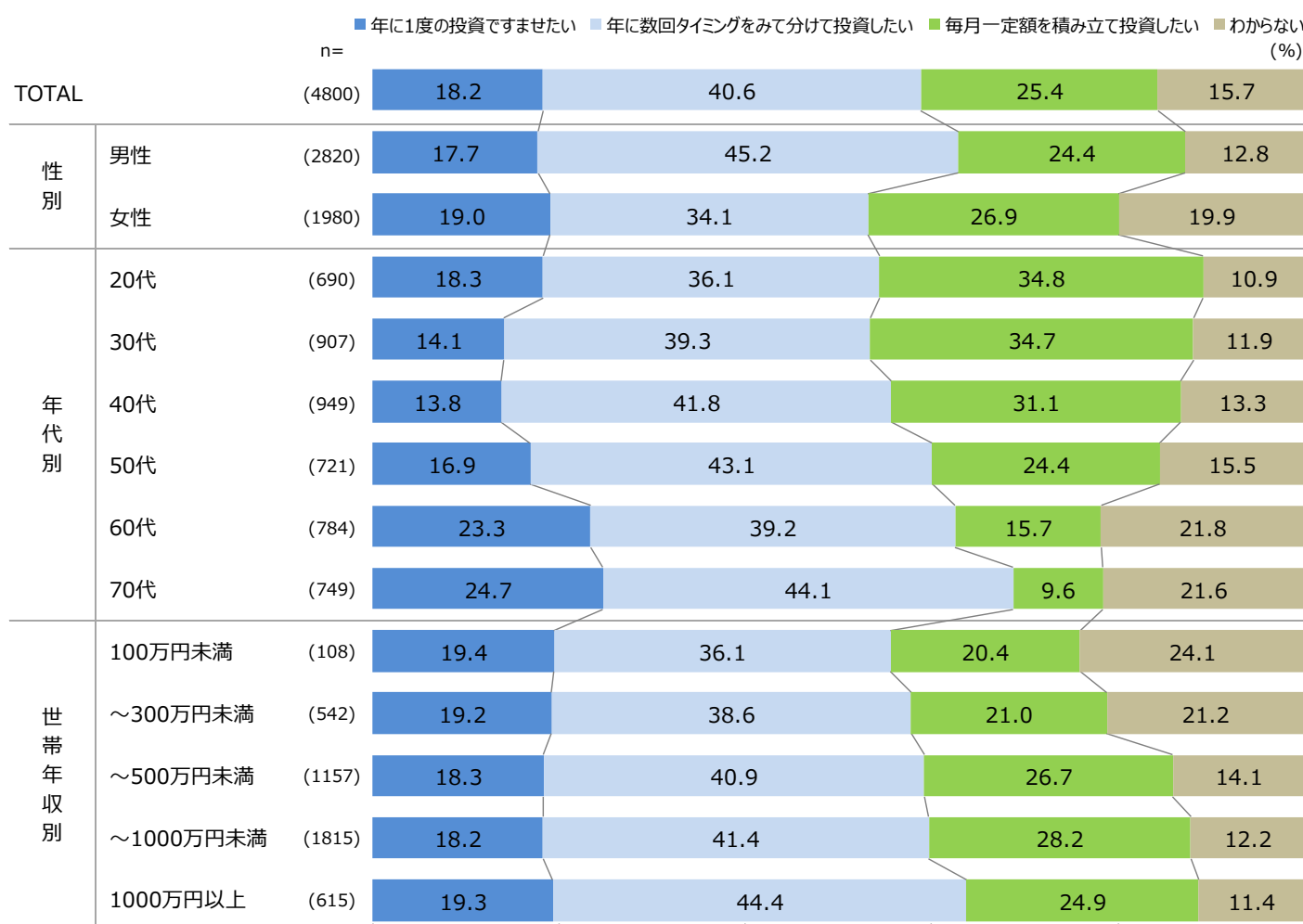
### (11) NISAでの投資方法意向(NISA今後利用意向者)〔Q23①:単数回答〕

- NISAで実施したい投資方法は、前回同様、「年に数回タイミングをみて分けて」(40.6%)が最も高い。次いで高い「毎月一定額積立投資」(25.4%)は前回よりやや増加。〔図5-28〕
- 若年層ほど「毎月一定額積立投資意向」が高くなる。また、世帯収入が上がるほど、「年に数回タイミングをみて分けて投資したい」が高くなる傾向。〔図5-29〕

〔図 5-28〕



〔図 5-29〕 \* 2020年属性別



## 5. NISAの浸透状況、今後の利用意向

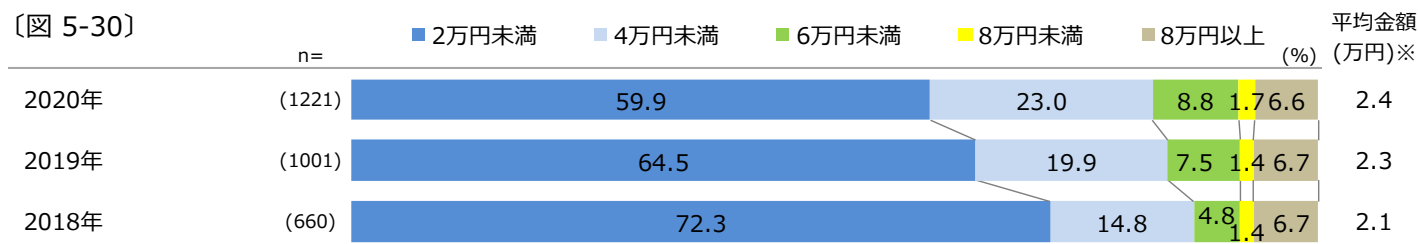
### (12) NISAでの月次積立投資希望額(NISA毎月一定額積立投資意向層) 〔Q24\_1:単数回答〕

- NISAでの月次積立投資希望額は、前回より「2万円未満」(59.9%)が4.6ポイント減少、次いで高い「4万円未満」は3.1ポイント増加。平均金額(2.4万円)は前回と同程度。〔図5-30〕

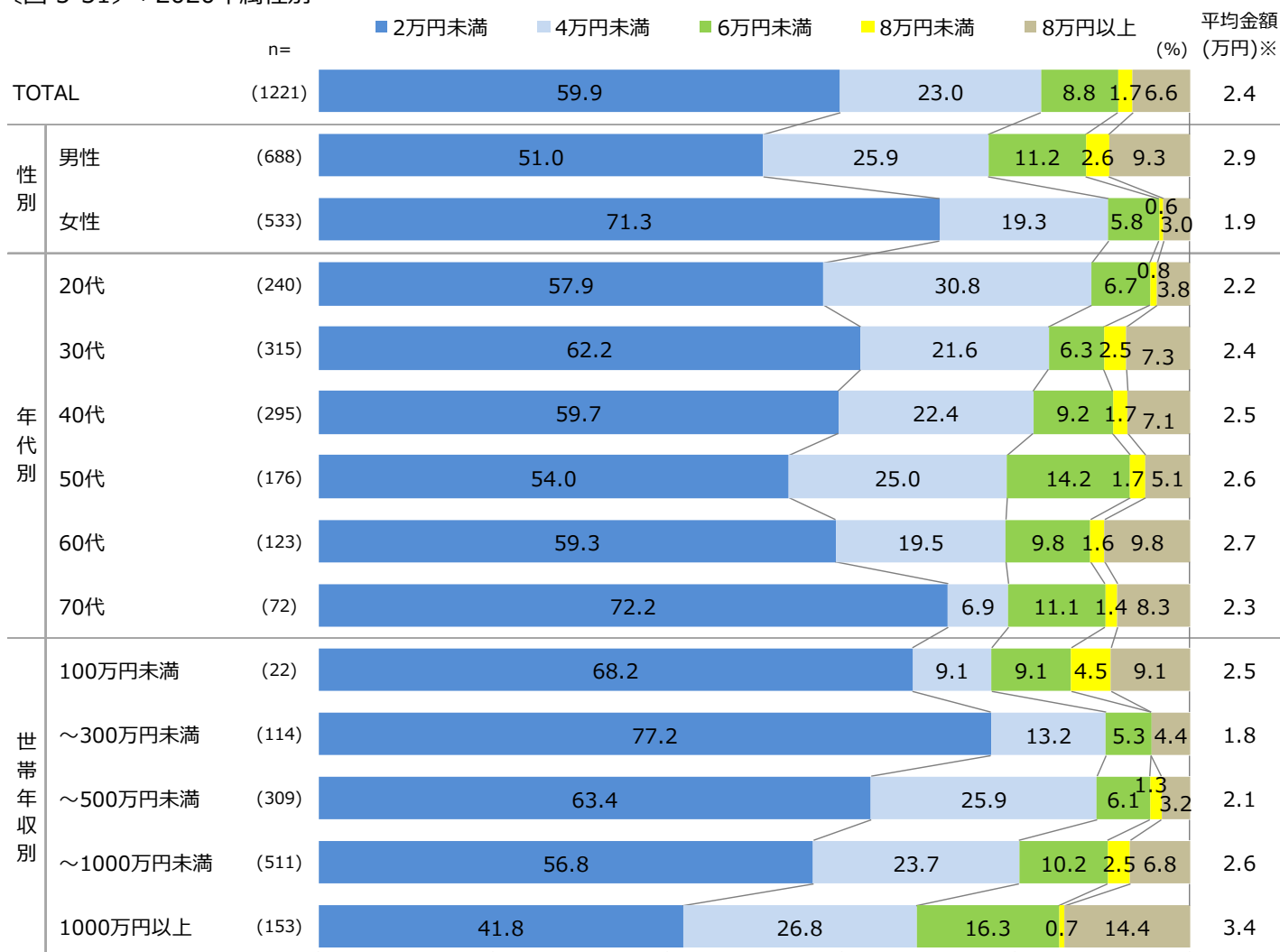
\* 2018年からの変動は調査パネル変更の影響も考えられる

- 平均金額は40~60代が2.5万円以上で他の年代よりやや高い。世帯年収「~300万円未満」以上の層では、高年収層ほど平均金額が高くなる。〔図5-31〕

〔図 5-30〕



〔図 5-31〕 \* 2020年属性別



※平均値算出にあたってのウェイト値 2万円未満：1万円/4万円未満：3万円/6万円未満：5万円/8万円未満：7万円/8万円以上：9万円

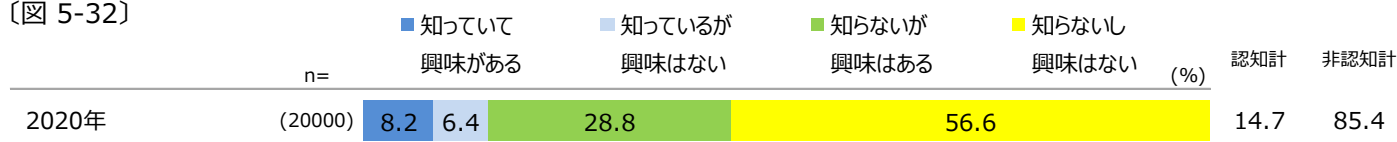
## 5. NISAの浸透状況、今後の利用意向

### (13) NISAの制度改正の認知〔Q22\_3:単数回答〕

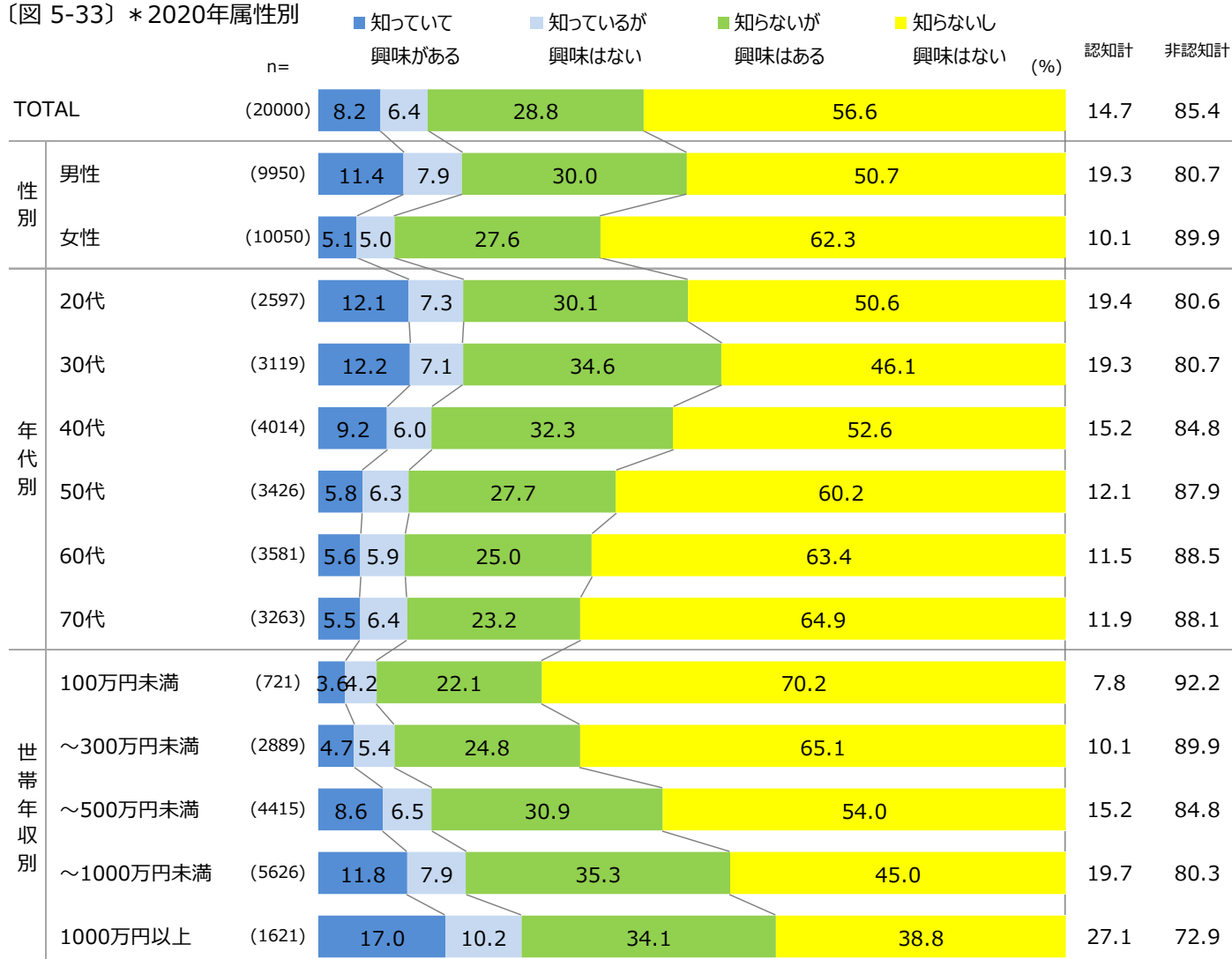
- NISAの制度改正の認知率は14.7%（「知っている興味がある」「知っているが興味はない」の計）。非認知率は85.4%（「知らないし興味はない」「知らないが興味はある」の計）。「知らないし興味はない」が5割を超える。〔図5-32〕
- 認知率は若年層ほど高くなる傾向。また、高年収層ほど高くなる。〔図5-33〕
- NISA実施状況別では、現在口座開設層の認知率が36.7%で他層より高い。また、つみたてNISA実施状況別では、現在口座開設層、口座開設経験層が4割を超え、他層より高い。〔図5-34〕

<設問で提示した制度改正の内容> ・口座開設期間が5年間延長される  
 ・2024年からはNISAの制度自体が変更（原則として、つみたてNISAと一般NISAの2階建て制度となる）  
 ・制度変更に伴い、年間投資可能額が122万円に変更

〔図 5-32〕



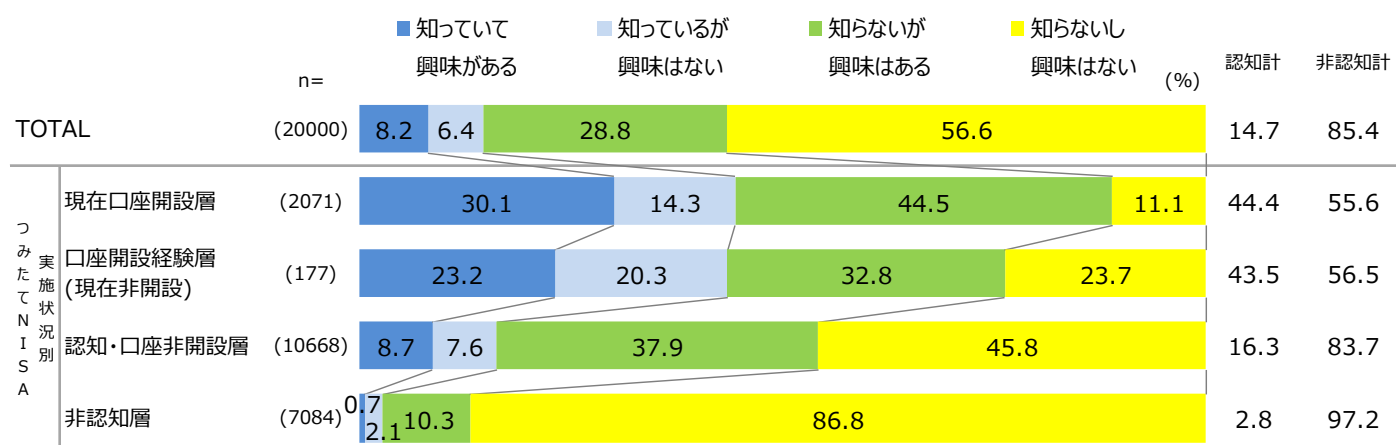
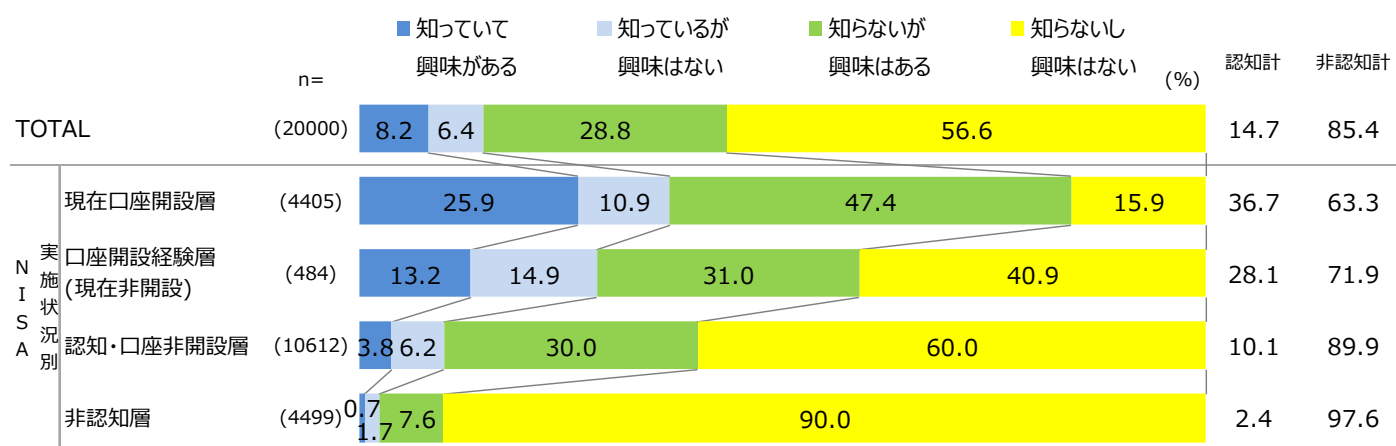
〔図 5-33〕 \* 2020年属性別



## 5. NISAの浸透状況、今後の利用意向

### (13) NISAの制度改正の認知〔Q22\_3:単数回答〕

〔図 5-34〕 \* 2020年属性別



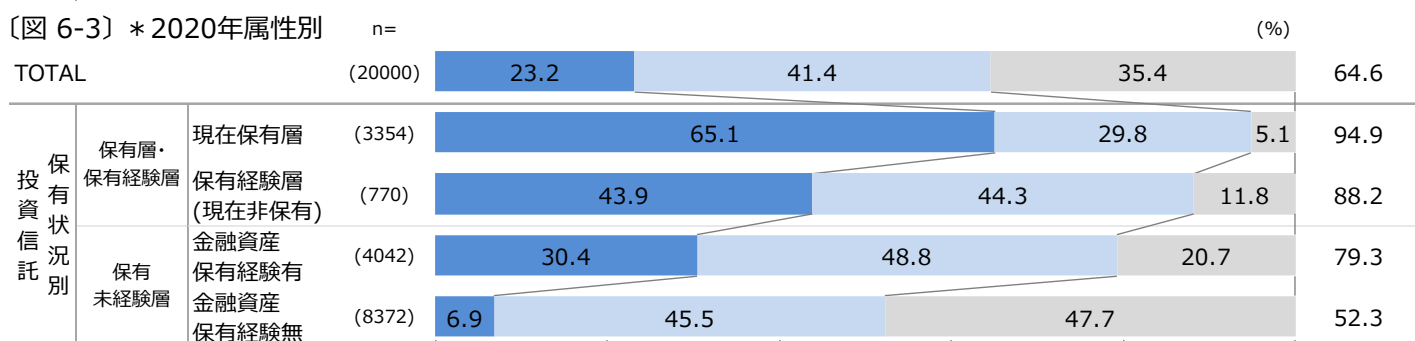
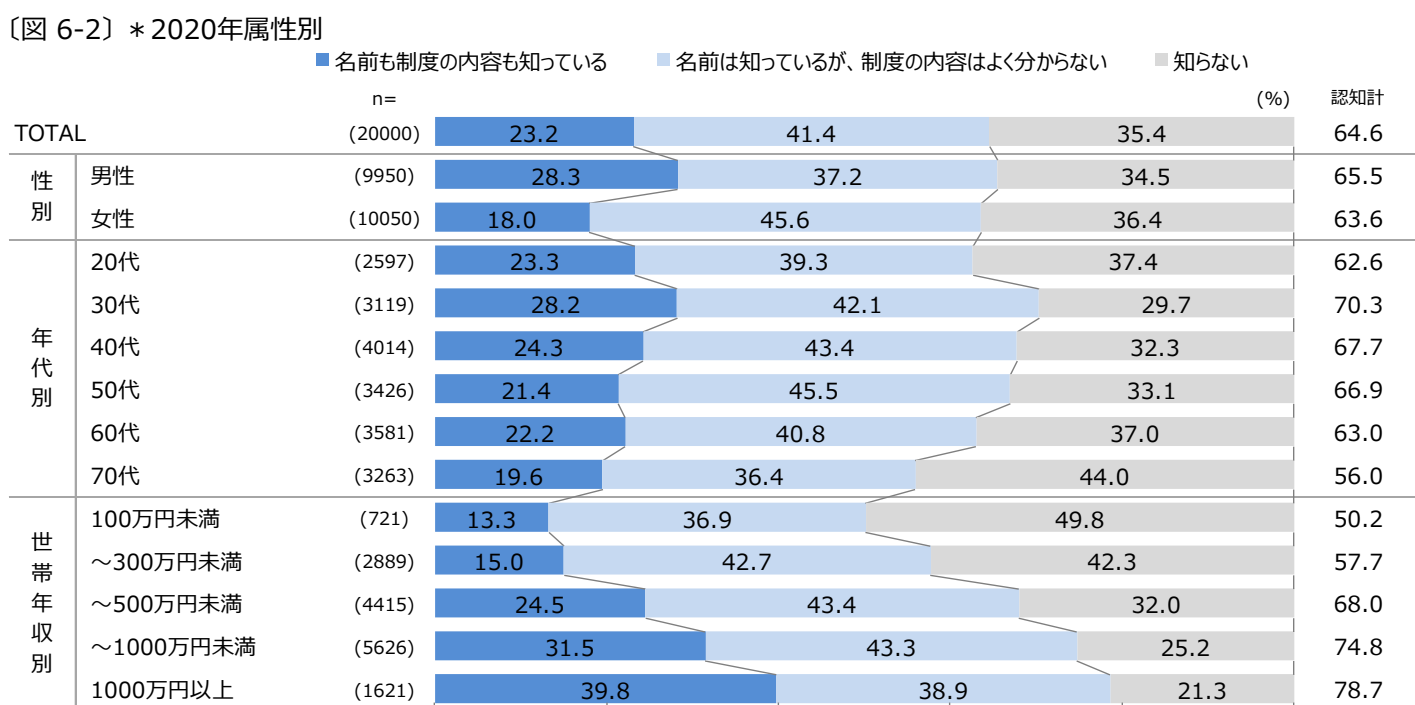
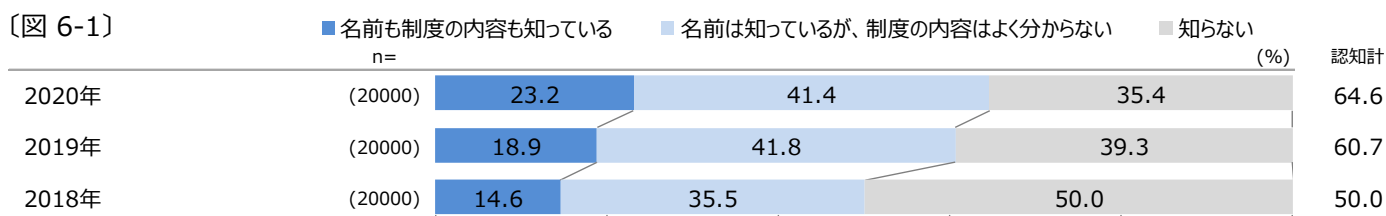
## **6. つみたてNISAの浸透状況、 今後の利用意向**



## 6. つみたてNISAの浸透状況、今後の利用意向

### (1) つみたてNISAの認知〔Q14②:単数回答〕

- つみたてNISAの認知率(認知計)は64.6%と前回より3.9ポイント増加。制度内容認知率(23.2%)も4.3ポイント増加。〔図6-1〕 \* 2018年からの変動は調査パネル変更の影響も考えられる
- 30代の認知率が高く、70代でやや低い。また、世帯年収が上がるにつれて認知率は高くなる。〔図6-2〕
- 投資信託現在保有層では94.9%、保有経験層では88.2%と、投資へ高関与であるほど認知率は高い。一方で、多数を占める保有未経験層(金融資産保有経験無)での認知率は52.3%、制度内容認知率は6.9%と低い。〔図6-3〕

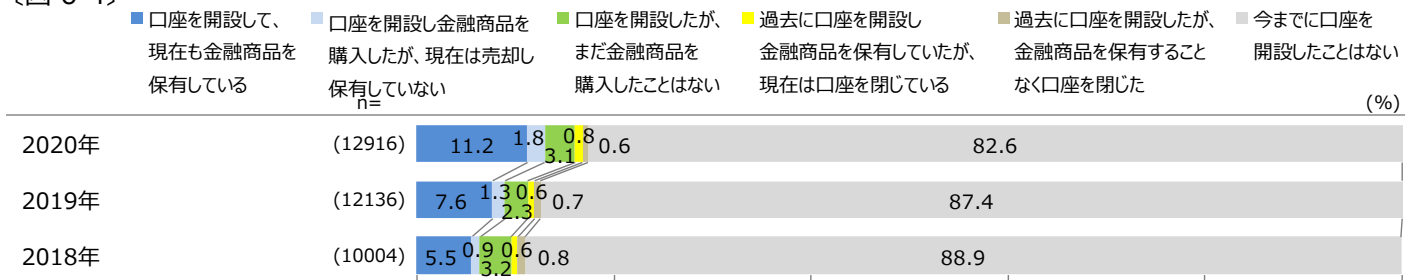


## 6. つみたてNISAの浸透状況、今後の利用意向

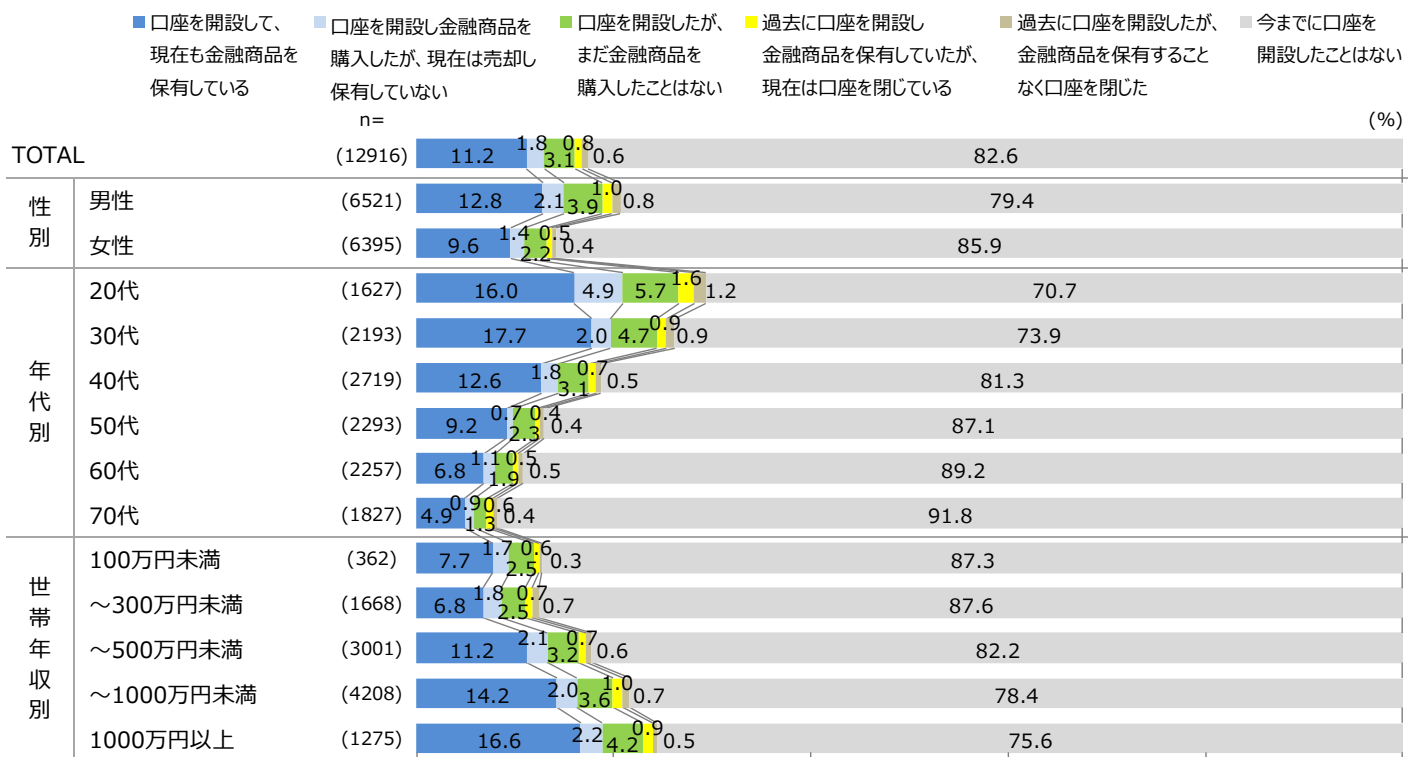
### (2) つみたてNISAの利用状況（制度認知者）〔Q15\_1②:単数回答〕

- つみたてNISA認知者のうち、つみたてNISAでの現在金融商品保有者は11.2%にとどまるが、前回に比べて3.6ポイント増加している。〔図6-4〕
- 20代・30代ではつみたてNISAでの現在金融商品保有層が17%前後、投資信託現在保有層では27.8%で、それぞれ他層より高い。〔図6-5〕〔図6-6〕

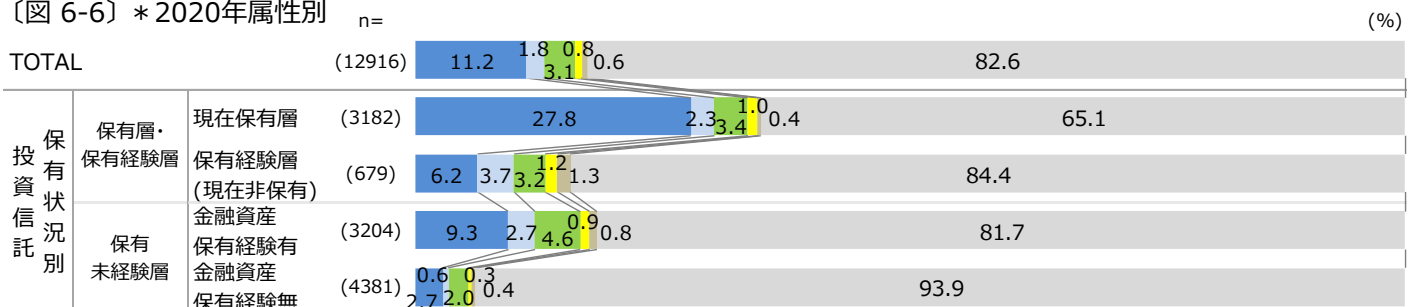
〔図 6-4〕



〔図 6-5〕 \* 2020年属性別



〔図 6-6〕 \* 2020年属性別





## 6. つみたてNISAの浸透状況、今後の利用意向

### (3) つみたてNISAでの保有金融商品

(つみたてNISAでの現在金融商品保有者)〔Q16\_2:重複回答〕

- つみたてNISAでの保有金融商品は、「投資信託」が85.1%を占める。  
また、「投資信託」の詳細内訳は、「外国株式に主に投資する投資信託」(42.2%)が最も高く、前回より8.4ポイント増加。次いで「国内株式に主に投資する投資信託」(32.0%)の保有率が高い。〔図6-7〕
- 「国内株式／外国株式に主に投資する投資信託」では40代以下での保有率が高い傾向。〔図6-8〕

〔図 6-7〕

	n=	投資信託	ETF	その他	不明・非回答 (%)
2020年	(1445)	85.1	3.3	1.5	12.7
2019年	(926)	82.1	4.5	2.7	14.4
2018年	(553)	77.4	3.1	3.1	20.3

	n=	国内債券に主に投資する投資信託	外国債券に主に投資する投資信託	国内株式に主に投資する投資信託	外国株式に主に投資する投資信託	不動産投信に主に投資する投資信託 (除くJリート)	様々な資産に投資する投資信託 (%)
2020年	(1445)	20.4	15.6	32.0	42.2	4.3	16.8
2019年	(926)	25.9	13.7	30.5	33.8	6.0	19.1
2018年	(553)	26.9	15.4	30.6	24.6	4.9	15.4

〔図 6-8〕 \* 2020年属性別

	n=	投資信託	ETF	その他	不明・非回答 (%)
TOTAL	(1445)	85.1	3.3	1.5	12.7
性別					
男性	(834)	89.6	4.1	1.6	7.8
女性	(611)	78.9	2.3	1.3	19.5
年代別					
20代	(260)	89.2	5.0	1.5	8.5
30代	(389)	88.2	3.1	1.0	10.0
40代	(343)	87.2	4.1	1.2	10.2
50代	(210)	81.9	3.8	1.0	17.1
60代	(154)	76.0	0.6	2.6	20.8
70代	(89)	74.2	0.0	3.4	22.5
世帯年収別					
100万円未満	(28)	89.3	7.1	0.0	10.7
~300万円未満	(113)	75.2	0.0	2.7	23.0
~500万円未満	(335)	84.5	3.3	2.7	11.3
~1000万円未満	(598)	90.8	3.5	0.5	7.9
1000万円以上	(212)	88.2	4.7	0.9	10.4

	n=	国内債券に主に投資する投資信託	外国債券に主に投資する投資信託	国内株式に主に投資する投資信託	外国株式に主に投資する投資信託	不動産投信に主に投資する投資信託 (除くJリート)	様々な資産に投資する投資信託 (%)
TOTAL	(1445)	20.4	15.6	32.0	42.2	4.3	16.8
性別							
男性	(834)	21.6	14.9	34.2	48.1	5.3	17.1
女性	(611)	18.8	16.7	29.0	34.2	2.9	16.4
年代別							
20代	(260)	26.2	20.0	36.2	45.8	5.8	15.4
30代	(389)	17.2	13.6	31.1	49.1	4.4	14.1
40代	(343)	16.9	16.3	36.2	52.2	5.0	20.1
50代	(210)	22.9	17.1	28.6	37.1	1.9	16.7
60代	(154)	22.7	11.0	24.7	17.5	2.6	19.5
70代	(89)	21.3	13.5	28.1	18.0	5.6	15.7
世帯年収別							
100万円未満	(28)	25.0	7.1	32.1	35.7	0.0	10.7
~300万円未満	(113)	19.5	15.9	30.1	35.4	5.3	15.0
~500万円未満	(335)	15.5	17.0	29.0	43.3	6.6	17.0
~1000万円未満	(598)	20.6	14.9	32.8	44.8	2.2	18.2
1000万円以上	(212)	30.2	22.2	39.2	46.7	7.5	13.2

## 6. つみたてNISAの浸透状況、今後の利用意向

### (4) つみたてNISAの口座開設金融機関

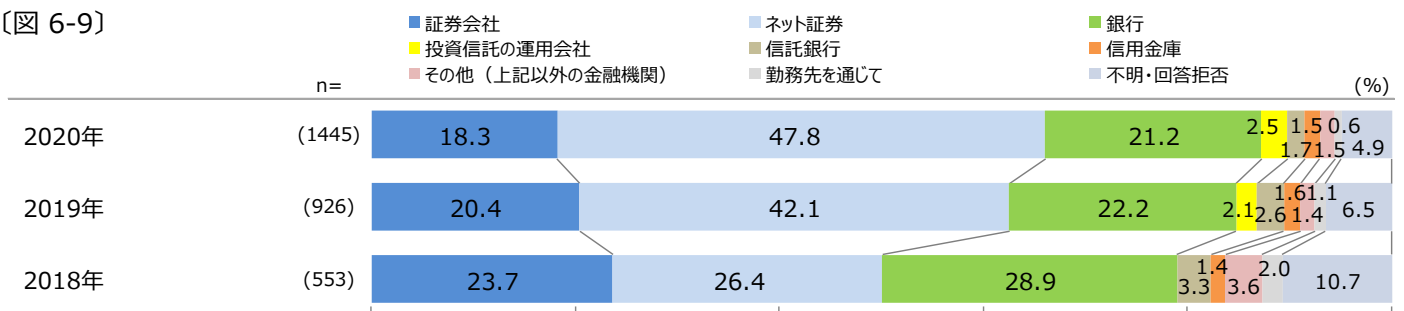
(つみたてNISAでの現在金融商品保有者)〔Q18②:単数回答〕

- つみたてNISAの口座開設金融機関は「ネット証券」が47.8%で最も高く、次いで「銀行」(21.2%)、「証券会社」(18.3%)が続く。前回に比べて、「ネット証券」が5.7ポイント増加。〔図6-9〕

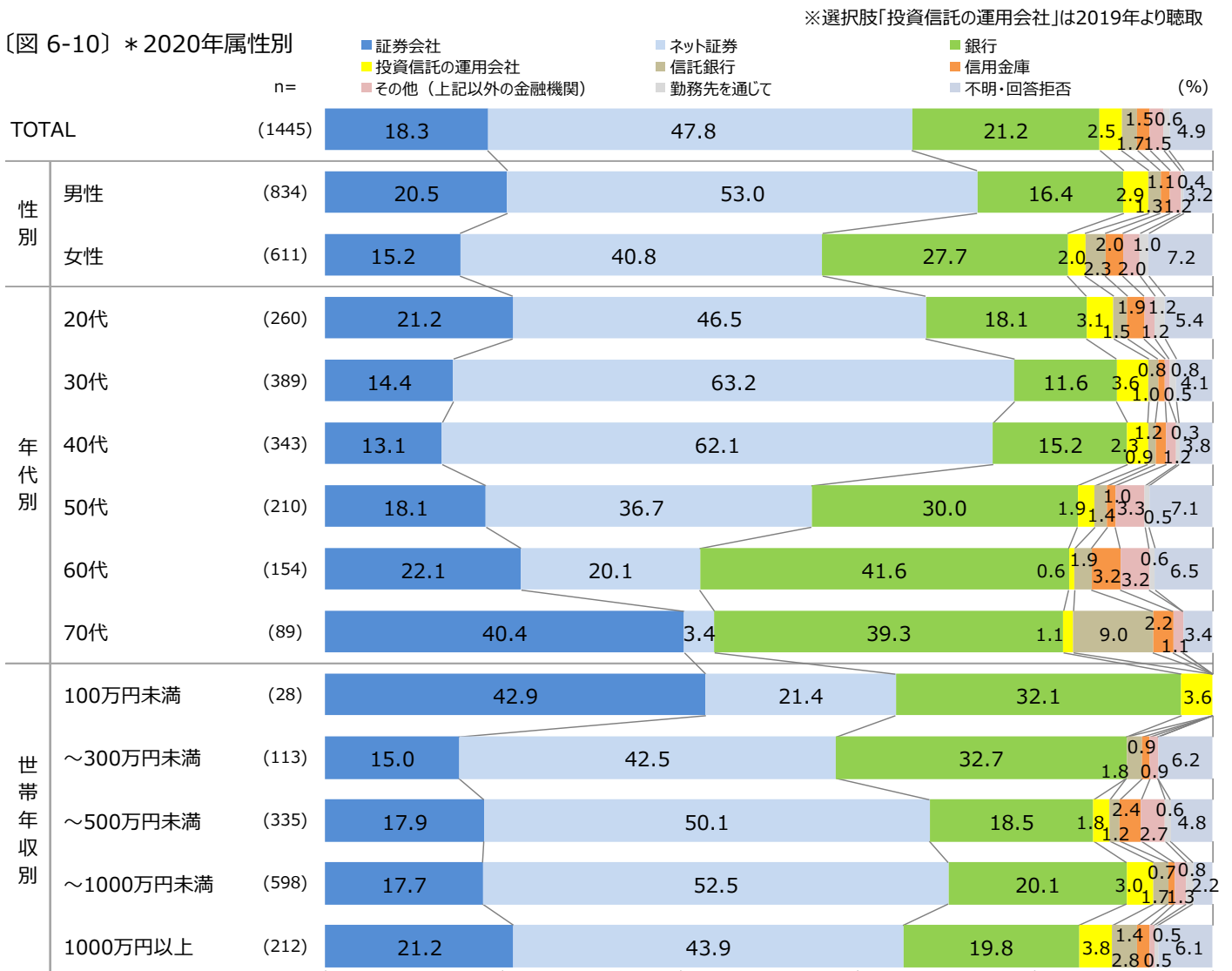
\* 2018年からの変動は調査パネル変更の影響も考えられる

- 「証券会社」は高齢層ほど高く、70代が特に高い。「ネット証券」は30代・40代が特に高い。〔図6-10〕

〔図 6-9〕



〔図 6-10〕 \* 2020年属性別



## 6. つみたてNISAの浸透状況、今後の利用意向

### (5) つみたてNISA口座開設・金融商品未購入理由

(つみたてNISA口座開設・金融商品未購入層)[Q19②:重複回答]

- つみたてNISAでの金融商品未購入理由は「どの商品を購入してよいかわからない」(19.6%)が最も高い。次いで「タイミングを見定めている」(18.1%)が続く。〔図6-11〕

\* 2018年からの変動は調査パネル変更の影響も考えられる

- 20代では「タイミングを見定めている」が他の年代より高い。〔図6-12〕
- 投資信託保有未経験層（金融資産保有経験無）では「金融機関に勧められて口座開設しただけだから」が他層よりやや高い。〔図6-13〕

〔図 6-11〕

	n=	どの商品を購入してよいかわからないから	経済状況など、商品購入入や口座開設のタイミングを見定めているから	投資に回すお金がないから	投資の知識がないから	制度が複雑でよく理解できないから	年間の非課税投資限度額(40万円)が小さいから	制度の内容を知らないから	株式や投資信託以外の商品(国債など)が購入できないから	金融機関に勧められて口座開設しただけだから	非課税期間が短いから	既に十分な資産があり、投資は必要ないから	投資自体に関心がないから	その他	特に理由はない
2020年	(398)	19.6	18.1	13.3	10.1	9.0	8.5	7.3	6.3	5.8	4.5	3.3	2.5	4.3	20.6
2019年	(283)	20.1	16.6	14.5	6.7	8.8	10.6	7.8	7.4	4.6	3.9	2.1	4.2	3.5	23.7
2018年	(316)	22.2	10.1	22.8	10.1	10.4	9.8	10.4	3.5	8.9	4.7	2.8	3.8	3.2	21.8

〔図 6-12〕 \* 2020年属性別

	n=	どの商品を購入してよいかわからないから	経済状況など、商品購入入や口座開設のタイミングを見定めているから	投資に回すお金がないから	投資の知識がないから	制度が複雑でよく理解できないから	年間の非課税投資限度額(40万円)が小さいから	制度の内容を知らないから	株式や投資信託以外の商品(国債など)が購入できないから	金融機関に勧められて口座開設しただけだから	非課税期間が短いから	既に十分な資産があり、投資は必要ないから	投資自体に関心がないから	その他	特に理由はない
TOTAL	(398)	19.6	18.1	13.3	10.1	9.0	8.5	7.3	6.3	5.8	4.5	3.3	2.5	4.3	20.6
性別															
男性	(255)	20.0	18.0	13.7	9.4	6.7	9.0	8.6	8.2	3.5	4.3	3.5	1.6	4.3	18.4
女性	(143)	18.9	18.2	12.6	11.2	13.3	7.7	4.9	2.8	9.8	4.9	2.8	4.2	4.2	24.5
年代別															
20代	(92)	21.7	30.4	16.3	10.9	5.4	12.0	3.3	8.7	4.3	2.2	2.2	3.3	3.3	13.0
30代	(103)	23.3	17.5	15.5	8.7	11.7	7.8	13.6	8.7	4.9	4.9	3.9	1.0	4.9	17.5
40代	(85)	15.3	14.1	10.6	11.8	15.3	11.8	3.5	3.5	7.1	2.4	2.4	2.4	4.7	18.8
50代	(52)	15.4	13.5	15.4	13.5	7.7	7.7	9.6	5.8	7.7	5.8	1.9	0.0	5.8	28.8
60代	(42)	16.7	14.3	7.1	9.5	2.4	0.0	4.8	0.0	4.8	11.9	2.4	7.1	2.4	35.7
70代	(24)	25.0	4.2	8.3	0.0	4.2	4.2	8.3	8.3	8.3	4.2	12.5	4.2	4.2	25.0
世帯年収別															
100万円未満	(9)	11.1	22.2	22.2	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2
~300万円未満	(41)	22.0	14.6	24.4	9.8	9.8	4.9	9.8	4.9	4.9	4.9	2.4	0.0	7.3	14.6
~500万円未満	(95)	20.0	13.7	20.0	11.6	7.4	6.3	8.4	6.3	7.4	5.3	4.2	2.1	4.2	21.1
~1000万円未満	(152)	21.7	23.7	9.9	11.2	8.6	9.9	6.6	6.6	3.9	3.9	3.3	3.9	4.6	15.1
1000万円以上	(53)	18.9	22.6	1.9	11.3	13.2	17.0	5.7	9.4	3.8	3.8	5.7	1.9	3.8	18.9

〔図 6-13〕 \* 2020年属性別

	n=	どの商品を購入してよいかわからないから	経済状況など、商品購入入や口座開設のタイミングを見定めているから	投資に回すお金がないから	投資の知識がないから	制度が複雑でよく理解できないから	年間の非課税投資限度額(40万円)が小さいから	制度の内容を知らないから	株式や投資信託以外の商品(国債など)が購入できないから	金融機関に勧められて口座開設しただけだから	非課税期間が短いから	既に十分な資産があり、投資は必要ないから	投資自体に関心がないから	その他	特に理由はない
TOTAL	(398)	19.6	18.1	13.3	10.1	9.0	8.5	7.3	6.3	5.8	4.5	3.3	2.5	4.3	20.6
投資信託保有状況別															
保有層・保有経験層															
現在保有層	(107)	10.3	18.7	13.1	6.5	7.5	10.3	6.5	6.5	6.5	6.5	3.7	0.0	6.5	22.4
保有経験層(現在非保有)	(22)	27.3	13.6	4.5	4.5	0.0	13.6	0.0	4.5	4.5	9.1	4.5	4.5	4.5	18.2
保有未経験層															
金融資産保有経験有	(148)	25.0	20.9	12.2	11.5	8.1	10.1	8.1	10.8	2.7	4.7	4.1	1.4	2.7	17.6
金融資産保有経験無	(89)	23.6	14.6	16.9	14.6	13.5	1.1	9.0	0.0	11.2	2.2	1.1	5.6	5.6	18.0

## 6. つみたてNISAの浸透状況、今後の利用意向

### (6) つみたてNISA口座未開設理由

(つみたてNISA認知・口座未開設層)〔Q19②:重複回答〕

- つみたてNISA口座未開設理由は「投資自体に関心がない」(17.2%)、「投資の知識がない／知識がないと難しそう」(16.4%)、「投資に回すお金がない」(14.9%)が上位。〔図6-14〕  
\* 2018年からの変動は調査パネル変更の影響も考えられる
- 若年層ほど「投資の知識がない／知識がないと難しそう」「どの商品を購入してよいかわからない」「制度の内容を知らない」「制度が複雑で理解できない」など知識・理解不足項目が高い傾向。〔図6-15〕
- 投資信託現在保有層で「年間の非課税投資限度額が小さい」が保有未経験層より高い。〔図6-16〕

〔図 6-14〕

	n=	投資自体に関心がないから	投資の知識がないから／知識がないと難しそうだから	投資に回すお金がないから	どの商品を購入してよいかわからないから	制度が複雑でよく理解できないから	制度の内容を知らないから	口座開設の申込み手続きが煩雑で面倒だから	年間の非課税投資限度額(40万円)が小さいから	経済状況など、商品購入や口座開設のタイミングを見定めているから	非課税期間が短いから	株式や投資信託以外の商品(国債など)が購入できないから	既に十分な資産があり、投資は必要ないから	その他	特に理由はない	(%)
2020年	(10668)	17.2	16.4	14.9	8.3	7.6	7.4	7.2	4.8	2.6	1.7	1.5	1.0	2.1	37.6	
2019年	(10610)	18.4	14.5	15.2	7.2	6.7	7.1	6.9	4.7	2.0	2.0	1.5	0.8	1.8	38.9	
2018年	(8896)	20.3	13.1	18.5	9.9	8.4	13.0	5.7	3.7	2.6	2.0	1.3	0.8	1.3	35.3	

〔図 6-15〕 \* 2020年属性別

	n=	投資自体に関心がないから	投資の知識がないから／知識がないと難しそうだから	投資に回すお金がないから	どの商品を購入してよいかわからないから	制度が複雑でよく理解できないから	制度の内容を知らないから	口座開設の申込み手続きが煩雑で面倒だから	年間の非課税投資限度額(40万円)が小さいから	経済状況など、商品購入や口座開設のタイミングを見定めているから	非課税期間が短いから	株式や投資信託以外の商品(国債など)が購入できないから	既に十分な資産があり、投資は必要ないから	その他	特に理由はない	(%)
TOTAL	(10668)	17.2	16.4	14.9	8.3	7.6	7.4	7.2	4.8	2.6	1.7	1.5	1.0	2.1	37.6	
性別																
男性	(5175)	13.3	10.9	14.1	7.2	5.3	6.0	6.8	6.6	2.8	2.2	2.0	1.2	2.7	42.3	
女性	(5493)	20.8	21.7	15.6	9.3	9.7	8.7	7.5	3.1	2.3	1.2	1.0	0.8	1.5	33.3	
年代別																
20代	(1150)	14.4	27.4	17.4	11.7	11.7	11.9	10.8	3.0	5.2	1.1	1.7	0.9	1.1	31.3	
30代	(1620)	13.0	24.1	18.3	12.2	11.2	10.2	9.8	4.8	4.4	1.2	1.4	1.2	2.2	30.4	
40代	(2210)	14.3	19.0	18.5	10.7	8.8	8.2	7.6	4.9	3.0	1.8	1.6	0.7	1.9	33.9	
50代	(1997)	18.0	14.9	15.2	7.2	7.5	6.3	7.4	5.1	1.8	1.7	1.6	0.7	2.3	38.2	
60代	(2013)	21.5	10.4	10.5	5.3	4.2	5.4	5.0	5.1	1.2	2.4	1.3	1.1	2.2	42.1	
70代	(1678)	20.7	7.2	10.1	3.8	3.8	4.1	3.8	4.9	1.0	1.5	1.1	1.4	2.4	47.9	
世帯年収別																
100万円未満	(316)	17.7	17.7	23.1	8.5	8.9	8.2	7.9	4.1	1.6	1.9	1.9	0.0	0.6	36.4	
~300万円未満	(1461)	19.6	16.8	20.6	6.9	7.5	7.7	6.7	3.9	2.2	1.0	1.3	1.0	1.7	35.2	
~500万円未満	(2467)	18.5	17.3	16.7	8.1	7.3	7.5	6.8	4.3	2.7	2.1	1.8	0.9	2.5	36.0	
~1000万円未満	(3300)	13.9	16.7	13.8	9.4	8.5	7.5	8.3	5.6	3.2	1.9	1.8	1.2	2.6	35.2	
1000万円以上	(964)	11.3	11.2	6.8	9.5	5.7	5.4	9.6	10.6	3.0	2.2	1.7	2.0	3.0	38.9	

〔図 6-16〕 \* 2020年属性別

	n=	投資自体に関心がないから	投資の知識がないから／知識がないと難しそうだから	投資に回すお金がないから	どの商品を購入してよいかわからないから	制度が複雑でよく理解できないから	制度の内容を知らないから	口座開設の申込み手続きが煩雑で面倒だから	年間の非課税投資限度額(40万円)が小さいから	経済状況など、商品購入や口座開設のタイミングを見定めているから	非課税期間が短いから	株式や投資信託以外の商品(国債など)が購入できないから	既に十分な資産があり、投資は必要ないから	その他	特に理由はない	(%)
TOTAL	(10668)	17.2	16.4	14.9	8.3	7.6	7.4	7.2	4.8	2.6	1.7	1.5	1.0	2.1	37.6	
保有状況別	保有層・保有経験層															
	現在保有層	(2071)	4.8	5.4	8.2	5.7	4.3	4.5	6.8	13.7	3.4	2.8	3.1	1.4	5.3	44.7
	保有経験層(現在非保有)	(573)	13.1	6.8	16.2	4.5	4.9	6.5	5.8	9.8	2.6	3.3	2.6	1.0	4.5	38.6
	保有未経験層															
金融資産保有経験有	(2617)	12.3	11.5	12.8	9.1	6.6	6.7	8.6	4.8	3.1	2.7	1.9	1.1	2.0	40.9	
金融資産保有経験無	(4115)	27.0	27.5	20.6	10.3	10.9	10.0	7.4	0.8	2.1	0.6	0.5	0.7	0.6	27.5	

## 6. つみたてNISAの浸透状況、今後の利用意向

### (7) つみたてNISAでの金融商品購入検討のきっかけ

(つみたてNISA口座開設・金融商品未購入層)〔Q20②:重複回答〕

- つみたてNISA口座での金融商品購入検討のきっかけは、「金融や投資を勉強して理解できたら」(20.1%)、「手取り収入が増えたら」(18.3%)、「貯蓄が一定額に達したら」(17.6%)が上位。〔図6-17〕 \* 2018年からの変動は調査パネル変更の影響も考えられる
- 年代別で見ると、若年層ほど「手取り収入が増えたら」「低リスクの投資信託商品が充実したら」が高い傾向。20代で「手数料の低い投資信託商品が充実してきたら」、30代で「金融や投資を勉強して理解できたら」「身近な人の勧め」が高い。〔図6-18〕

〔図 6-17〕

	n=	金融や投資を勉強して理解できたら	手取り収入が増えたら	貯蓄が一定額に達したら	初心者向けセミナーなど、仕組みをわかりやすく説明してもらえる機会があったら	身近な人に勧められたら	金融機関窓口などで、専門知識を持つ人に教えてもらえたら	低リスクの投資信託商品が充実してきたら	手数料の低い投資信託商品が充実してきたら	経済が上向きになり、値上がり期待できる様になったら	税制上の優遇措置がより拡充してきたら	退職金・相続などでの臨時収入があったら	職場で制度が導入されたら	その他	特にない
2020年	(398)	20.1	18.3	17.6	14.8	12.1	11.8	10.1	8.3	7.5	7.3	5.8	4.3	1.0	22.1
2019年	(283)	19.1	18.7	18.7	13.8	9.9	9.5	8.5	11.7	9.5	6.7	8.5	0.7	1.1	23.7
2018年	(316)	20.3	17.4	10.4	10.4	12.0	16.5	7.9	7.3	11.1	12.0	5.7	-	0.9	30.4

〔図 6-18〕 \* 2020年属性別

	n=	金融や投資を勉強して理解できたら	手取り収入が増えたら	貯蓄が一定額に達したら	初心者向けセミナーなど、仕組みをわかりやすく説明してもらえる機会があったら	身近な人に勧められたら	金融機関窓口などで、専門知識を持つ人に教えてもらえたら	低リスクの投資信託商品が充実してきたら	手数料の低い投資信託商品が充実してきたら	経済が上向きになり、値上がり期待できる様になったら	税制上の優遇措置がより拡充してきたら	退職金・相続などでの臨時収入があったら	職場で制度が導入されたら	その他	特にない
TOTAL	(398)	20.1	18.3	17.6	14.8	12.1	11.8	10.1	8.3	7.5	7.3	5.8	4.3	1.0	22.1
性別															
男性	(255)	18.0	18.8	19.2	13.3	7.8	9.0	11.0	7.8	8.2	7.1	7.1	3.5	1.2	23.1
女性	(143)	23.8	17.5	14.7	17.5	19.6	16.8	8.4	9.1	6.3	7.7	3.5	5.6	0.7	20.3
年代別															
20代	(92)	22.8	31.5	26.1	26.1	13.0	12.0	13.0	15.2	5.4	7.6	9.8	2.2	2.2	7.6
30代	(103)	28.2	19.4	20.4	11.7	20.4	14.6	11.7	6.8	8.7	9.7	2.9	4.9	1.0	17.5
40代	(85)	18.8	14.1	14.1	12.9	10.6	8.2	9.4	7.1	5.9	3.5	8.2	5.9	1.2	22.4
50代	(52)	15.4	13.5	9.6	11.5	7.7	15.4	9.6	7.7	9.6	7.7	5.8	7.7	0.0	32.7
60代	(42)	7.1	9.5	9.5	2.4	4.8	11.9	7.1	2.4	9.5	7.1	0.0	2.4	0.0	42.9
70代	(24)	12.5	4.2	16.7	20.8	0.0	4.2	0.0	4.2	8.3	8.3	4.2	0.0	0.0	37.5
世帯年収別															
100万円未満	(9)	11.1	22.2	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	22.2
~300万円未満	(41)	19.5	29.3	24.4	12.2	9.8	17.1	7.3	4.9	9.8	9.8	4.9	4.9	0.0	19.5
~500万円未満	(95)	17.9	21.1	14.7	20.0	9.5	9.5	9.5	11.6	10.5	5.3	5.3	2.1	1.1	26.3
~1000万円未満	(152)	24.3	19.7	23.0	15.8	13.8	15.1	15.1	6.6	7.2	8.6	5.3	3.9	0.0	12.5
1000万円以上	(53)	15.1	7.5	13.2	11.3	17.0	9.4	7.5	17.0	9.4	9.4	9.4	5.7	3.8	26.4

〔図 6-19〕 \* 2020年属性別

	n=	金融や投資を勉強して理解できたら	手取り収入が増えたら	貯蓄が一定額に達したら	初心者向けセミナーなど、仕組みをわかりやすく説明してもらえる機会があったら	身近な人に勧められたら	金融機関窓口などで、専門知識を持つ人に教えてもらえたら	低リスクの投資信託商品が充実してきたら	手数料の低い投資信託商品が充実してきたら	経済が上向きになり、値上がり期待できる様になったら	税制上の優遇措置がより拡充してきたら	退職金・相続などでの臨時収入があったら	職場で制度が導入されたら	その他	特にない	
TOTAL	(398)	20.1	18.3	17.6	14.8	12.1	11.8	10.1	8.3	7.5	7.3	5.8	4.3	1.0	22.1	
保有状況別	保有層・保有経験層															
	現在保有層	(107)	19.6	15.9	20.6	10.3	7.5	5.6	8.4	8.4	7.5	8.4	6.5	5.6	1.9	28.0
	保有経験層(現在非保有)	(22)	13.6	18.2	18.2	13.6	9.1	13.6	9.1	9.1	4.5	4.5	0.0	4.5	0.0	27.3
	保有未経験層															
金融資産保有経験有	(148)	19.6	24.3	17.6	17.6	13.5	14.9	9.5	9.5	8.8	8.8	8.1	4.1	0.7	13.5	
金融資産保有経験無	(89)	27.0	15.7	14.6	20.2	15.7	13.5	15.7	7.9	5.6	6.7	2.2	4.5	1.1	21.3	

## 6. つみたてNISAの浸透状況、今後の利用意向

### (8) つみたてNISAでの口座開設検討のきっかけ (つみたてNISA認知・口座未開設層)〔Q20②:重複回答〕

- つみたてNISA口座開設検討のきっかけは、「手取り収入が増えたら」(11.9%)、「金融や投資を勉強して理解できたら」(10.1%)、「身近な人の勧め」(9.3%)が上位。〔図6-20〕
- 若年層ほど経済的理由や知識不足の解消に関する項目、「身近な人の勧め」が高い傾向。〔図6-21〕
- 投信保有状況別で見ると、投資への関与が高い層ほど、「税制上の優遇措置がより拡充してきたら」が高くなる。〔図6-22〕

〔図 6-20〕

	n=	手取り収入が増えたら	金融や投資を勉強して理解できたら	身近な人の勧められたら	初心者セミナーなど、仕組みをわかりやすく説明してもらえる機会があったら	金融機関窓口などで、専門知識を持つ人に教えてもらえたら	貯蓄が一定額に達したら	税制上の優遇措置が、より拡充してきたら	低リスクの投資信託商品が充実してきたら	経済が上向きになり、値上がり期待できる様になったら	手数料の低い投資信託商品が充実してきたら	退職金・相続などの臨時収入があったら	職場で制度が導入されたら	その他	特にない
2020年	(10668)	11.9	10.1	9.3	7.7	7.4	6.9	5.9	5.7	4.8	4.5	2.7	2.2	0.7	56.6
2019年	(10610)	10.8	8.5	8.0	6.1	6.0	6.5	5.9	5.2	4.5	4.1	2.8	1.6	0.6	60.5
2018年	(8896)	13.4	11.3	7.9	8.1	9.8	8.6	7.9	6.4	7.6	5.2	2.7	-	0.6	56.1

※選択肢「職場で制度が導入されたら」は2019年より聴取

〔図 6-21〕 \* 2020年属性別

	n=	手取り収入が増えたら	金融や投資を勉強して理解できたら	身近な人の勧められたら	初心者セミナーなど、仕組みをわかりやすく説明してもらえる機会があったら	金融機関窓口などで、専門知識を持つ人に教えてもらえたら	貯蓄が一定額に達したら	税制上の優遇措置が、より拡充してきたら	低リスクの投資信託商品が充実してきたら	経済が上向きになり、値上がり期待できる様になったら	手数料の低い投資信託商品が充実してきたら	退職金・相続などの臨時収入があったら	職場で制度が導入されたら	その他	特にない
TOTAL	(10668)	11.9	10.1	9.3	7.7	7.4	6.9	5.9	5.7	4.8	4.5	2.7	2.2	0.7	56.6
性別															
男性	(5175)	11.6	7.9	5.5	5.3	5.4	6.7	7.4	4.7	4.4	4.0	2.8	2.2	0.9	59.9
女性	(5493)	12.3	12.2	12.8	9.9	9.4	7.0	4.5	6.7	5.2	4.9	2.6	2.2	0.5	53.5
年代別															
20代	(1150)	21.1	17.5	17.4	12.9	11.3	13.0	4.7	8.9	5.5	6.2	4.0	3.5	0.3	42.3
30代	(1620)	18.0	15.5	15.5	11.9	10.4	11.9	6.8	7.7	5.1	5.4	2.7	3.8	0.7	42.3
40代	(2210)	17.1	12.9	10.9	8.9	7.6	8.6	7.4	6.3	5.1	5.3	3.2	2.8	0.7	47.9
50代	(1997)	10.9	8.5	6.4	6.5	6.3	4.9	5.9	5.7	4.9	3.9	3.3	2.5	0.5	59.6
60代	(2013)	4.8	6.1	5.0	4.6	6.3	2.9	5.0	4.6	4.8	4.2	1.8	0.7	0.9	67.6
70代	(1678)	2.7	3.0	4.1	3.5	4.4	2.6	5.2	2.2	3.8	2.2	1.8	0.5	1.0	75.0
世帯年収別															
100万円未満	(316)	13.6	11.4	7.6	6.0	5.7	8.9	5.4	6.3	5.4	6.0	1.6	1.6	0.9	62.7
~300万円未満	(1461)	14.0	10.5	7.7	7.0	7.5	6.5	4.1	6.0	5.1	4.2	2.3	1.4	0.7	59.5
~500万円未満	(2467)	13.0	10.4	9.8	7.8	7.7	7.2	5.7	6.0	4.8	3.9	2.8	2.1	0.9	55.2
~1000万円未満	(3300)	13.2	11.1	11.0	8.8	8.8	7.9	7.1	6.0	5.2	5.5	3.3	2.8	0.7	50.0
1000万円以上	(964)	7.7	8.7	8.9	9.3	7.2	6.4	8.8	5.3	5.0	4.4	3.0	2.7	1.2	52.6

〔図 6-22〕 \* 2020年属性別

	n=	手取り収入が増えたら	金融や投資を勉強して理解できたら	身近な人の勧められたら	初心者セミナーなど、仕組みをわかりやすく説明してもらえる機会があったら	金融機関窓口などで、専門知識を持つ人に教えてもらえたら	貯蓄が一定額に達したら	税制上の優遇措置が、より拡充してきたら	低リスクの投資信託商品が充実してきたら	経済が上向きになり、値上がり期待できる様になったら	手数料の低い投資信託商品が充実してきたら	退職金・相続などの臨時収入があったら	職場で制度が導入されたら	その他	特にない
TOTAL	(10668)	11.9	10.1	9.3	7.7	7.4	6.9	5.9	5.7	4.8	4.5	2.7	2.2	0.7	56.6
投資信託保有状況別															
保有層・保有経験層															
現在保有層	(2071)	7.6	6.8	5.8	5.8	7.3	5.3	10.5	4.9	4.5	5.4	1.6	0.8	1.7	57.5
保有経験層(現在非保有)	(573)	10.1	6.8	4.4	5.4	5.4	7.2	7.7	5.2	6.5	3.3	3.0	0.9	0.9	61.6
保有未経験層															
金融資産保有経験有	(2617)	11.1	9.6	8.7	7.8	6.6	6.9	7.1	5.5	5.5	4.9	2.9	2.3	0.8	54.3
金融資産保有経験無	(4115)	16.4	13.9	12.8	9.9	9.4	8.7	3.7	6.6	4.9	4.2	3.5	3.4	0.3	51.8

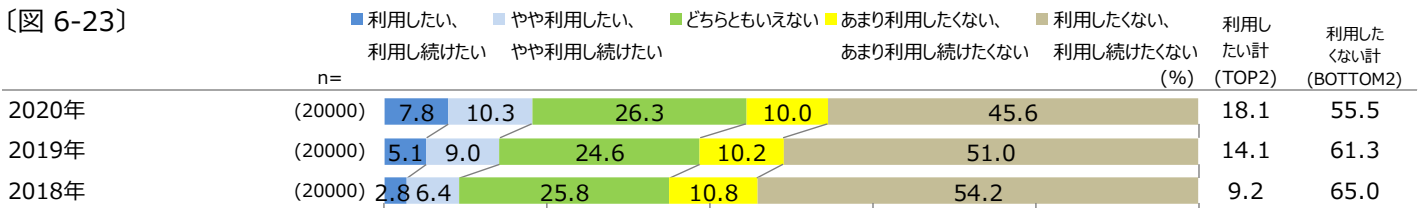


## 6. つみたてNISAの浸透状況、今後の利用意向

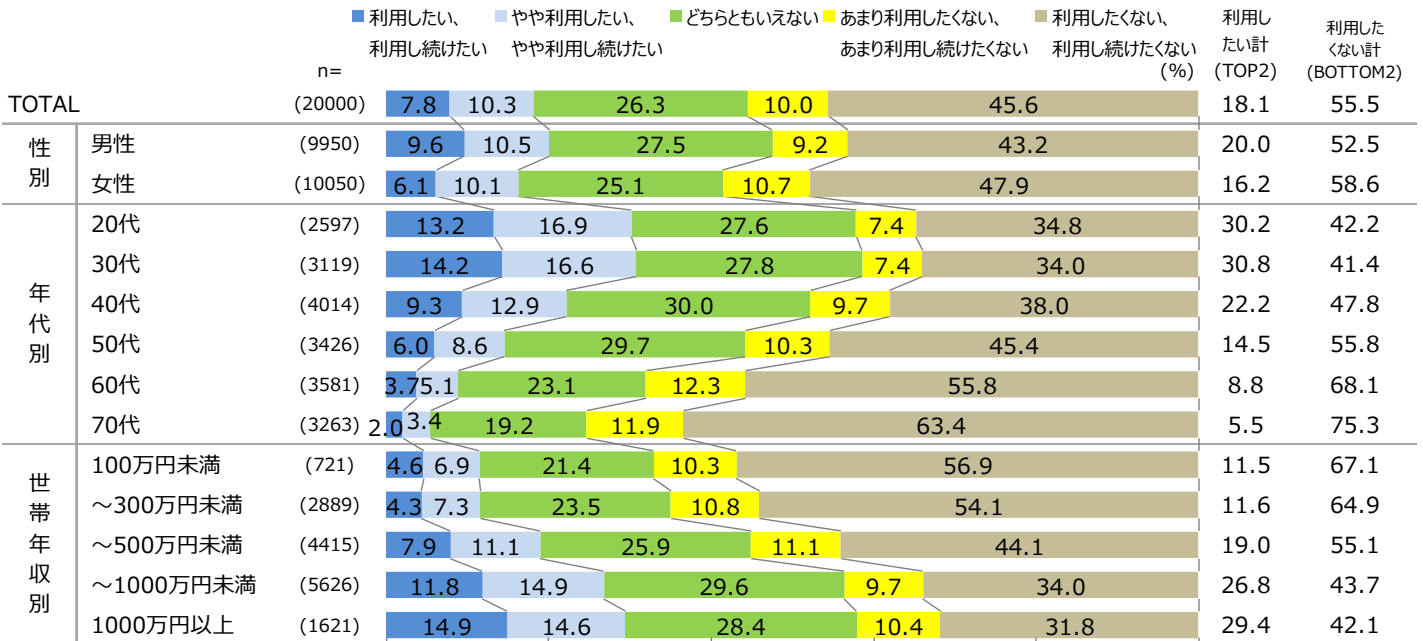
### (9) つみたてNISAの今後の利用意向〔Q21②:単数回答〕

- つみたてNISAの利用意向は「利用したい計」(TOP2)が18.1%、「利用したくない計」(BOTTOM2)が55.5%で、前回より利用意向が4.0ポイント増加。「利用したい計」は若年層、高年収層ほど増加する傾向。〔図6-23〕〔図6-24〕 \* 2018年からの変動は調査パネル変更の影響も考えられる
- 投資信託現在保有層では「利用したい計」(20.2%)と他層よりやや高いが、「利用したくない計」(41.0%)も4割を占める。〔図6-25〕

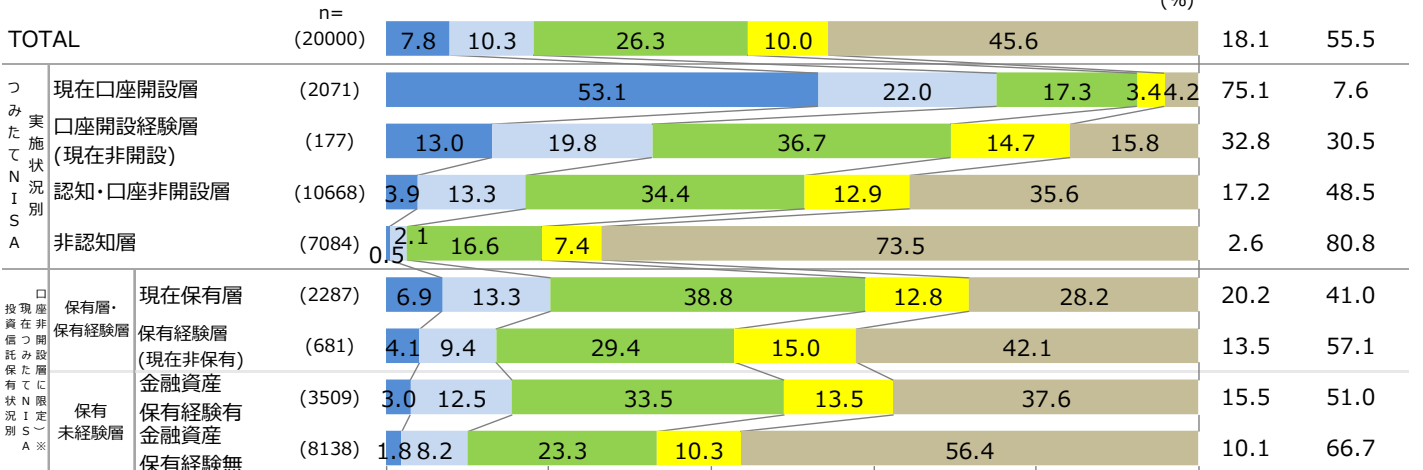
〔図 6-23〕



〔図 6-24〕 \* 2020年属性別



〔図 6-25〕 \* 2020年属性別



※つみたてNISA非認知層含む

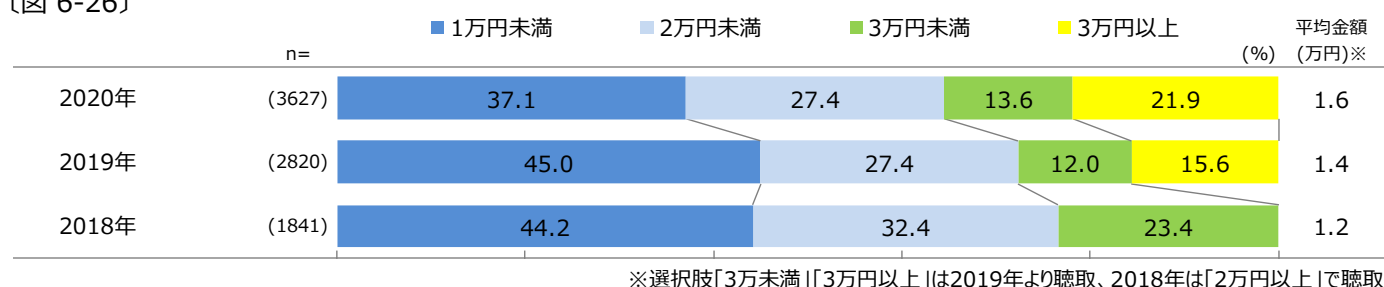
## 6. つみたてNISAの浸透状況、今後の利用意向

### (10) つみたてNISAでの月次積立投資希望額

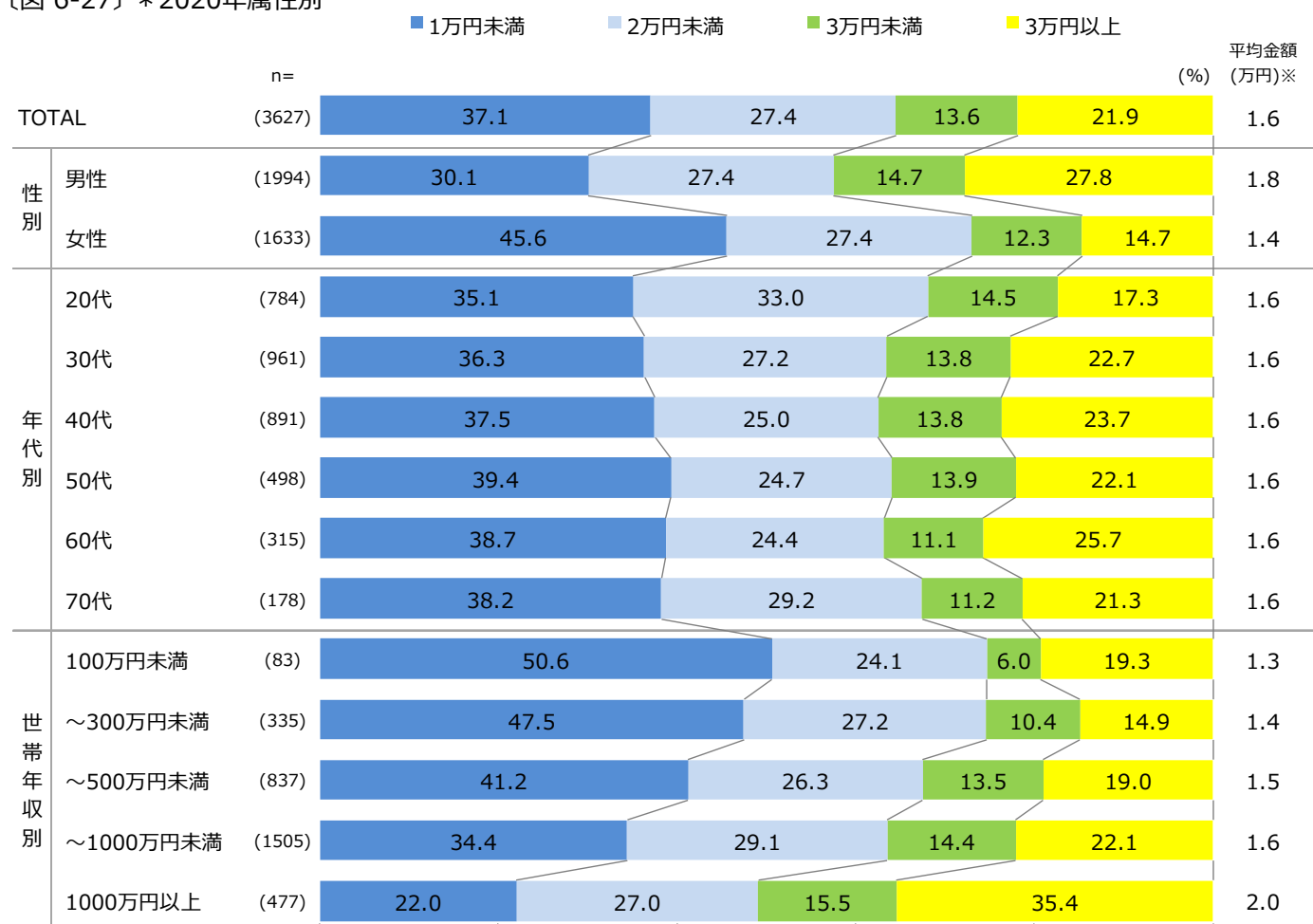
(つみたてNISA今後利用意向者)〔Q24\_2:単数回答〕

- つみたてNISAでの毎月積立額は、「1万円未満」(37.1%)が最も高い。前回より「1万円未満」が7.9ポイント減少し、「3万円以上」が6.3ポイント増加。平均金額は「1.6万円」で前回よりやや増加。〔図6-26〕
- 年代別では平均金額に差はみられないが、世帯年収は高年収層ほど平均金額が上がる。〔図6-27〕

〔図 6-26〕



〔図 6-27〕 \* 2020年属性別



※平均値算出にあたってのウェイト値 : 2019年 1万円未満 : 0.5万円 / 2万円未満 : 1.5万円 / 3万円未満 : 2.5万円 / 3万円以上 : 3万円  
 : 2018年 1万円未満 : 0.5万円 / 2万円未満 : 1万円 / 2万円以上 : 3万円



## **7. ジュニアNISAの浸透状況、 今後の利用意向**

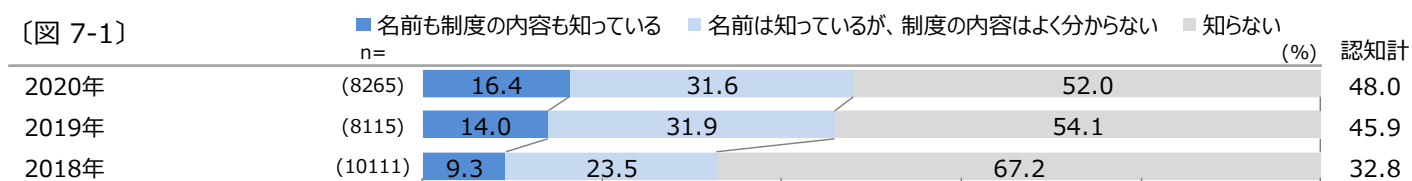


## 7. ジュニアNISAの浸透状況、今後の利用意向

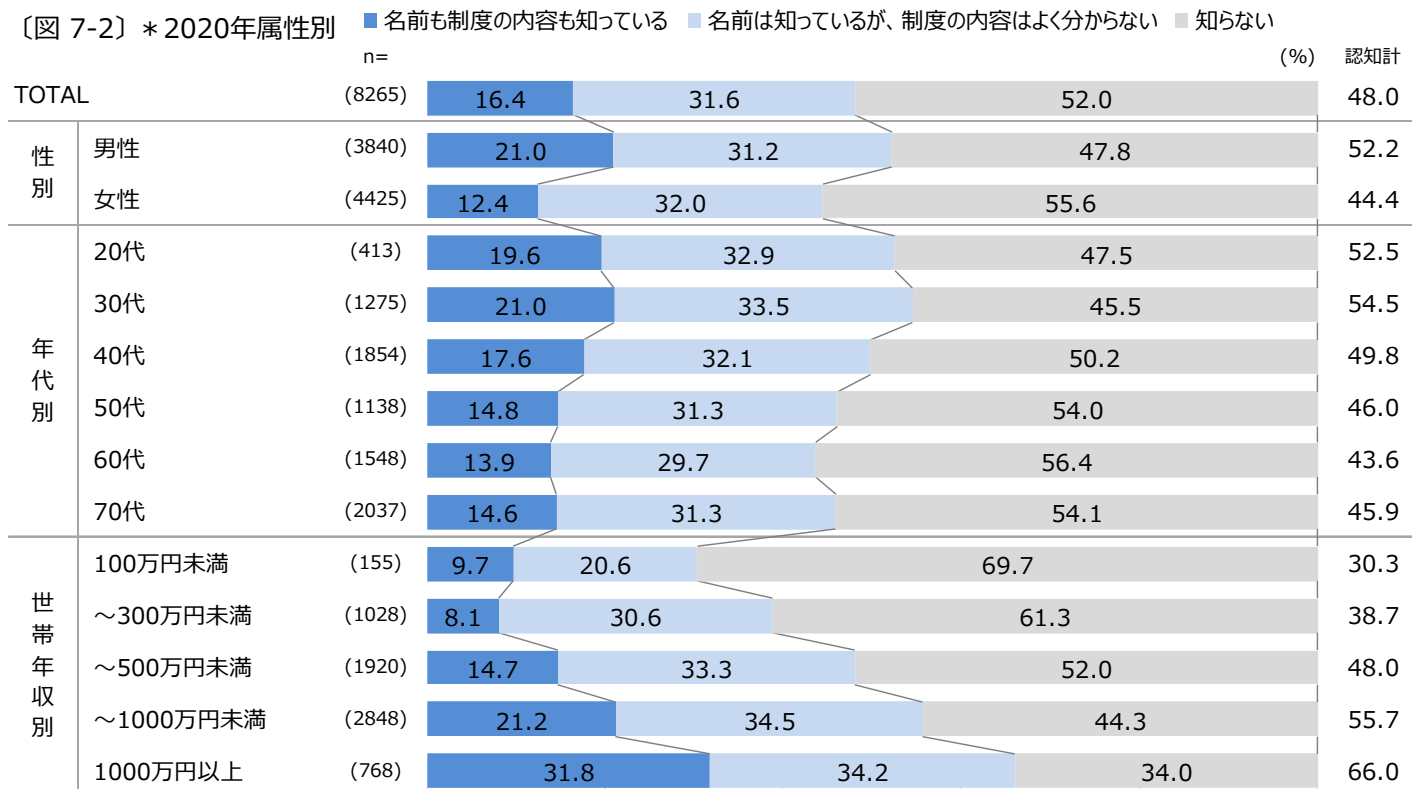
### (1) ジュニアNISAの認知(20歳未満の親族がいる者)[Q14③:単数回答]

- ジュニアNISAの認知率(認知計：48.0%)、制度内容認知率(16.4%)は前回よりわずかに増加。  
〔図7-1〕 \* 2018年からの変動は調査パネル変更の影響も考えられる
- 世帯年収が上がるにつれて、認知率は高くなる。〔図7-2〕
- 投資信託保有状況別でみると、投資への関与が強い層ほど認知率は高い。また、保有未経験層(金融資産保有経験無)での認知率は28.9%、制度内容認知率は3.1%と他層に比べて低い。  
〔図7-3〕

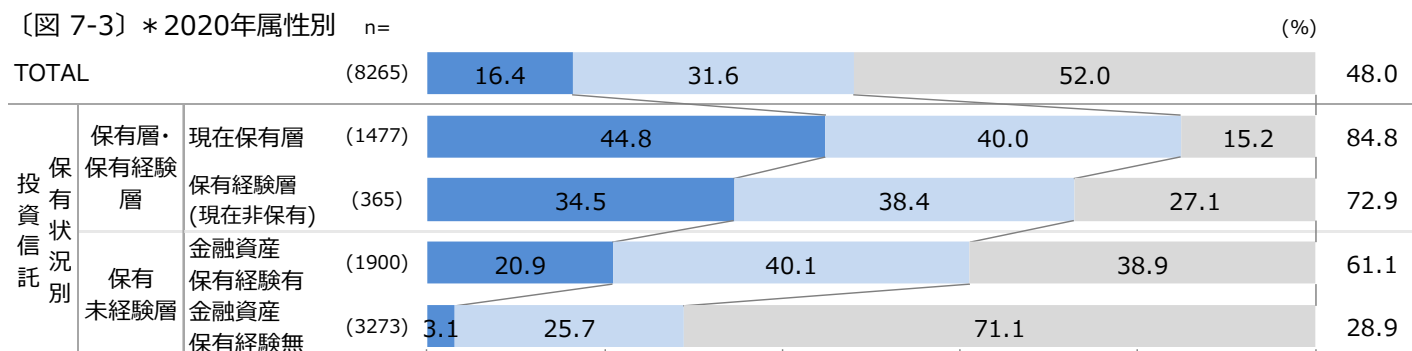
〔図 7-1〕



〔図 7-2〕 \* 2020年属性別



〔図 7-3〕 \* 2020年属性別

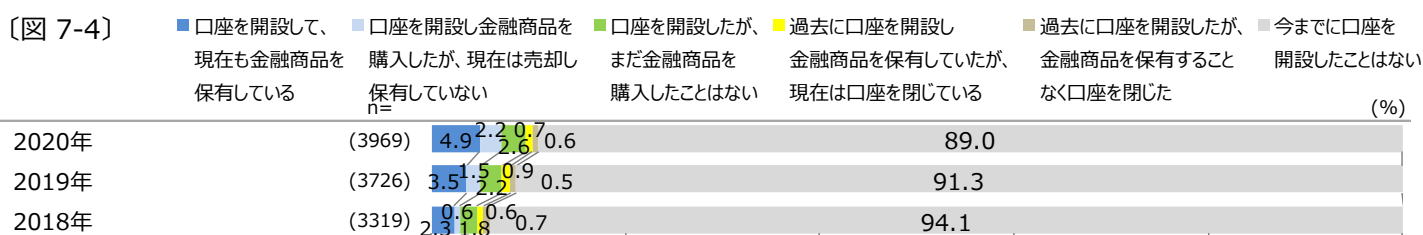


## 7. ジュニアNISAの浸透状況、今後の利用意向

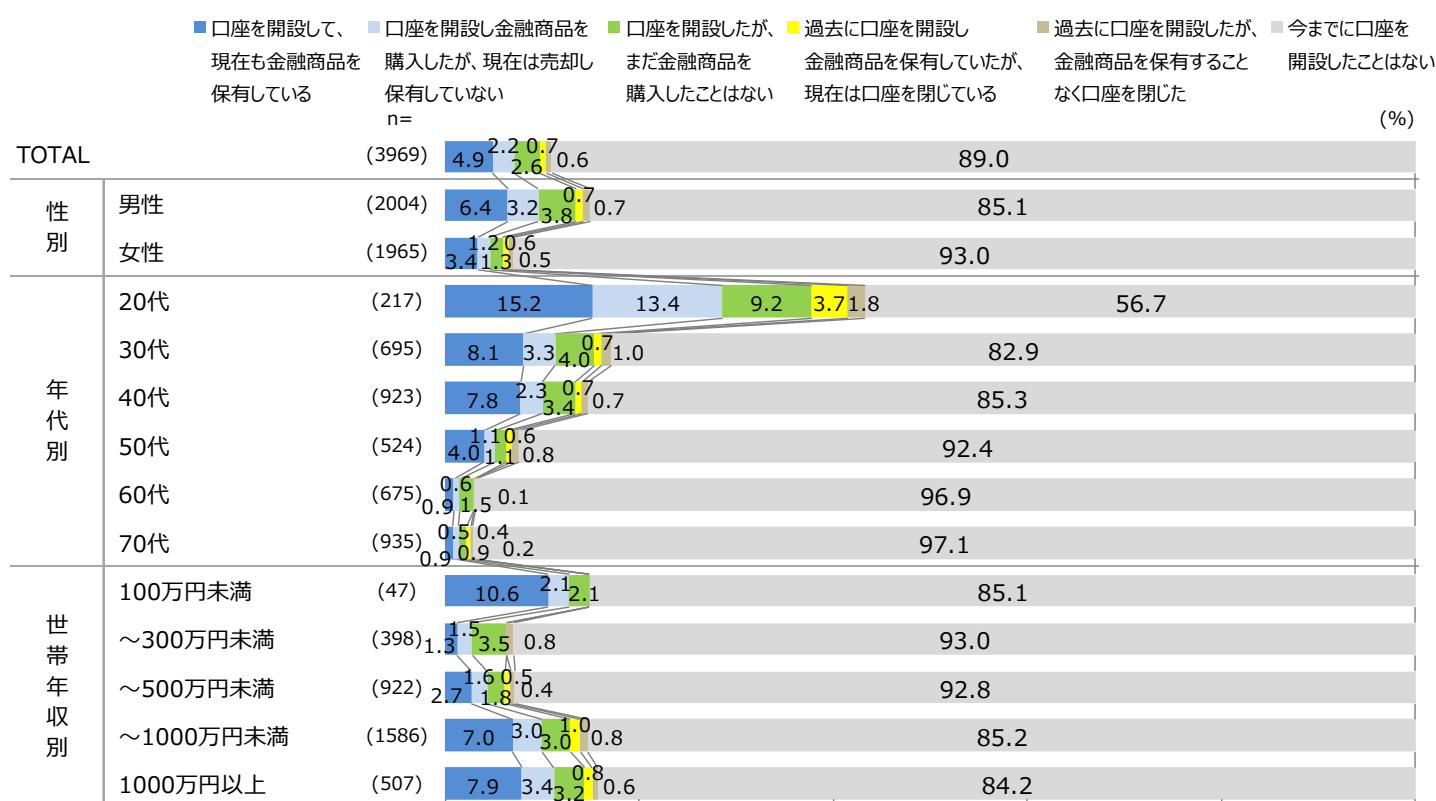
### (2) ジュニアNISAの利用状況(20歳未満の親族がいる制度認知者) 〔Q15\_1③:単数回答〕

- ジュニアNISAで現在金融商品を保有している者は4.9%と前回と大きくは変わらない。口座開設未経験率は89.0%と、大多数を占める。〔図7-4〕  
\* 2018年からの変動は調査パネル変更の影響も考えられる

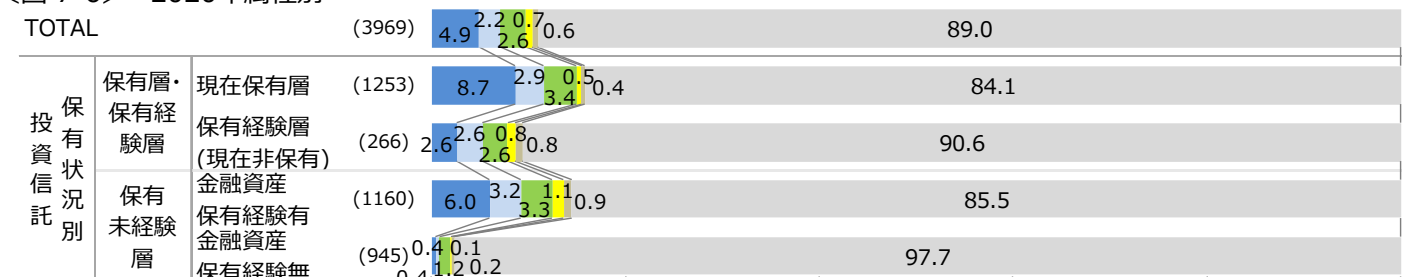
- ジュニアNISAでの現在金融商品保有率は20代で高い。〔図7-5〕  
\* 20代は親や祖父母が開設した口座を引き継いだものも含まれる可能性がある



〔図 7-5〕 \* 2020年属性別



〔図 7-6〕 \* 2020年属性別

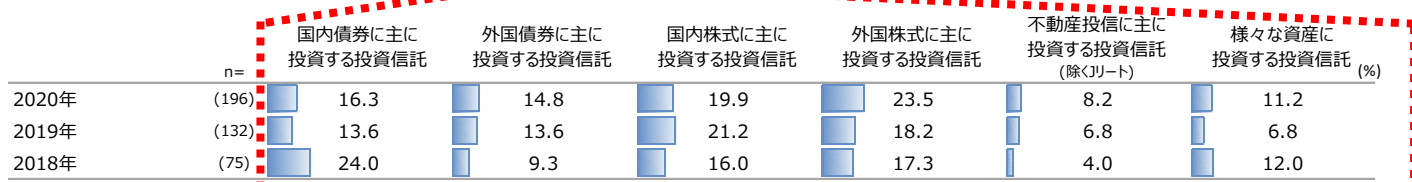
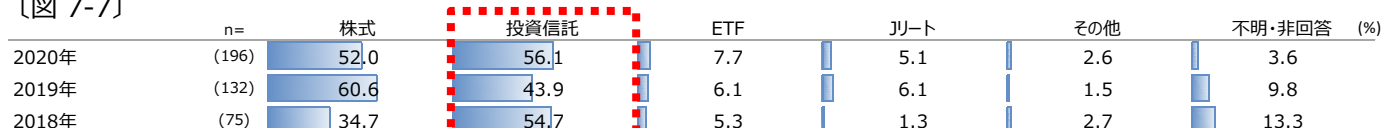


## 7. ジュニアNISAの浸透状況、今後の利用意向

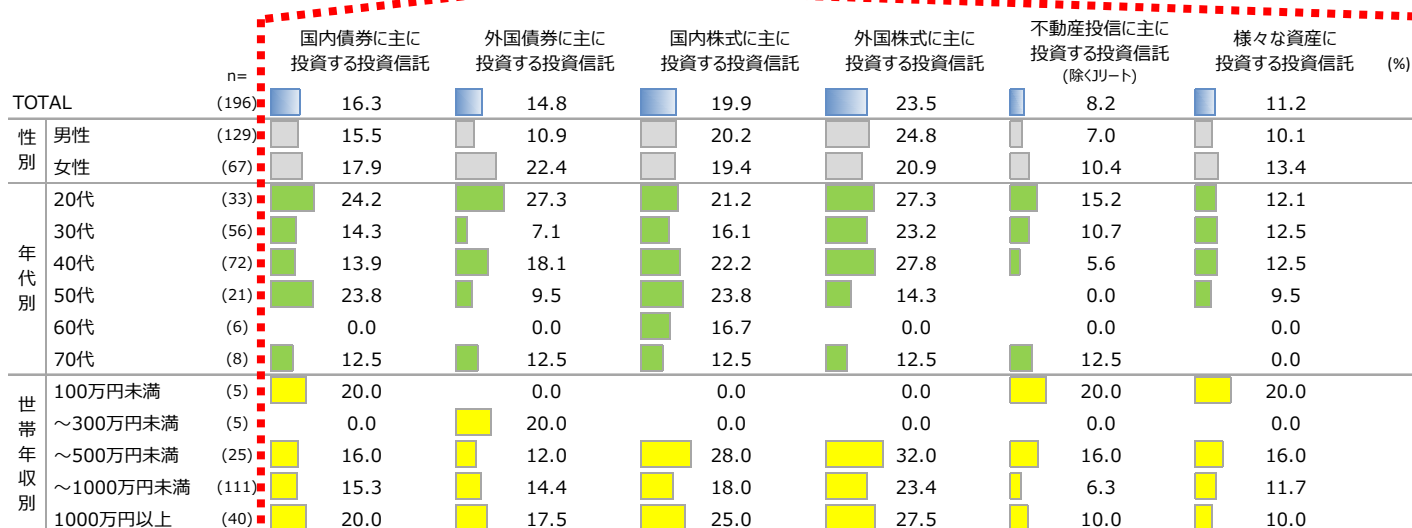
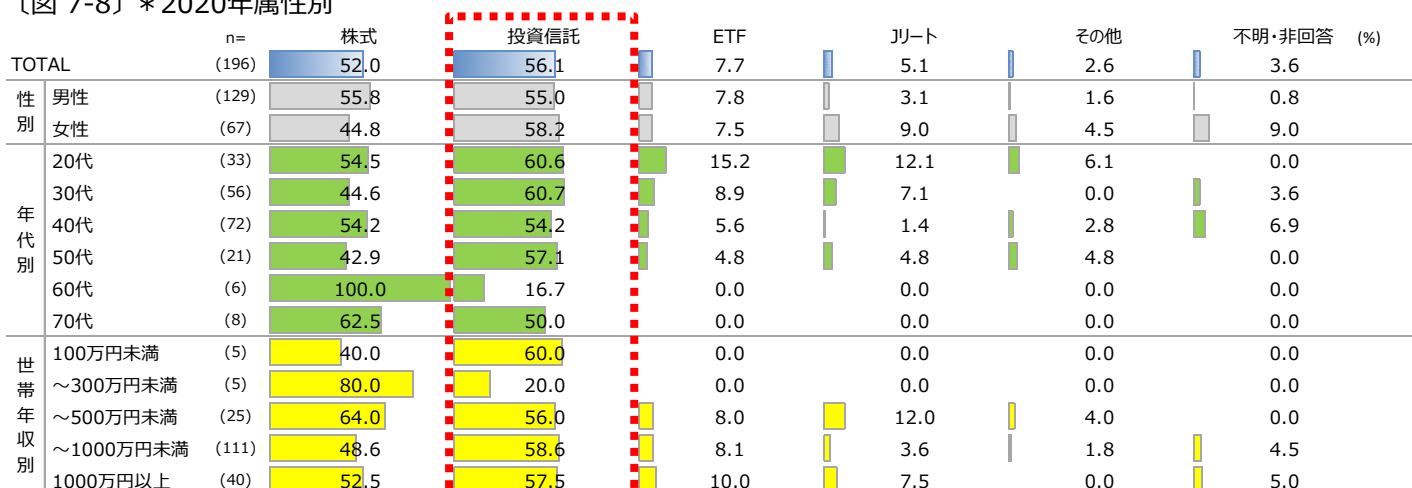
### (3) ジュニアNISAでの保有金融商品(20歳未満の親族がいる ジュニアNISAでの現在金融商品保有者)[Q16\_1②:重複回答]

- ジュニアNISAでの保有金融商品については、「投資信託」の保有率は56.1%と、前回より12.2ポイント増加し、「株式」(52.0%)が8.6ポイント減少。  
また、投資信託の内訳をみると、「外国株式に主に投資する投資信託」(23.5%)が最も高く、次いで「国内株式に主に投資する投資信託」(19.9%)が続く。「外国株式に主に投資する投資信託」は前回より5.3ポイント増加。〔図7-7〕 \* 2018年からの変動は調査パネル変更の影響も考えられる

〔図7-7〕



〔図7-8〕 \* 2020年属性別

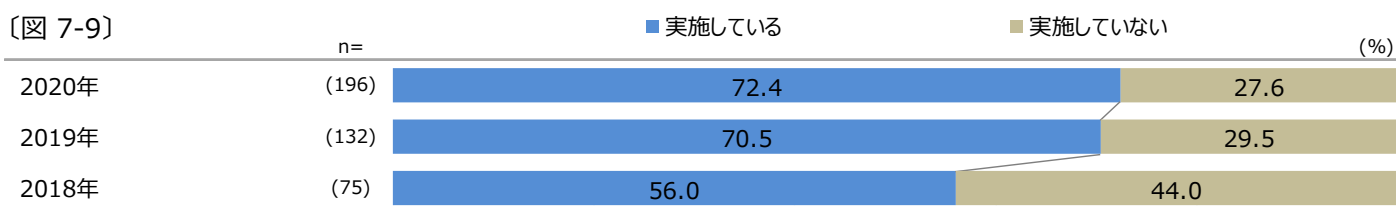


## 7. ジュニアNISAの浸透状況、今後の利用意向

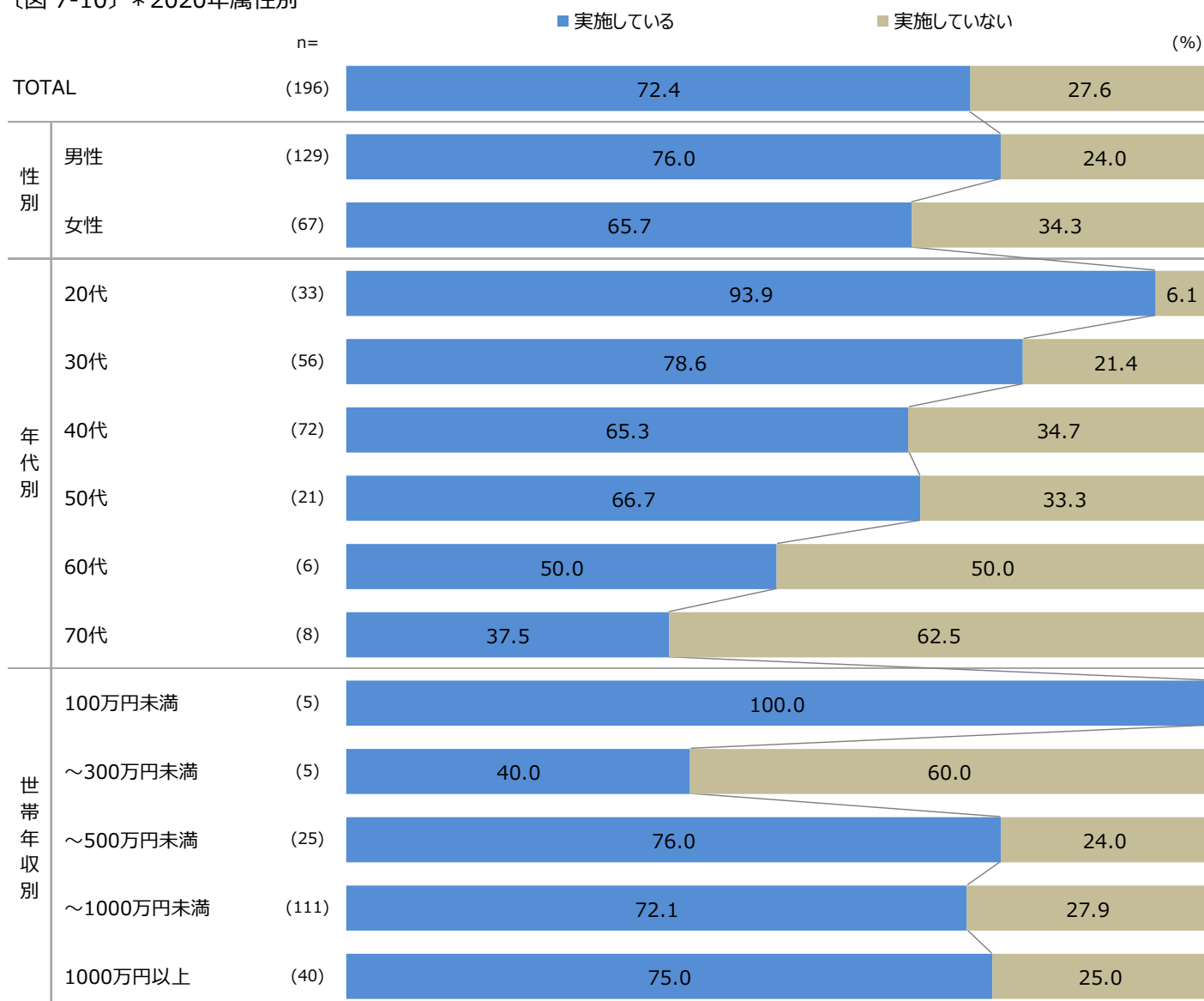
### (4) ジュニアNISAでの積立投資実施状況 (20歳未満の親族がいるジュニアNISAでの現在金融商品保有者)〔Q17②:単数回答〕

- ジュニアNISAでの積立投資実施率は72.4%と、前回と大きく変わらない。〔図7-9〕

\* 2018年からの変動は調査パネル変更の影響も考えられる



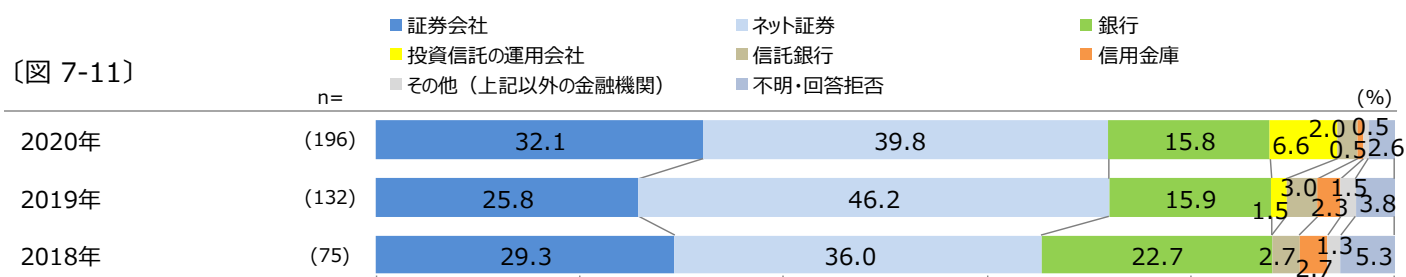
〔図 7-10〕 \* 2020年属性別



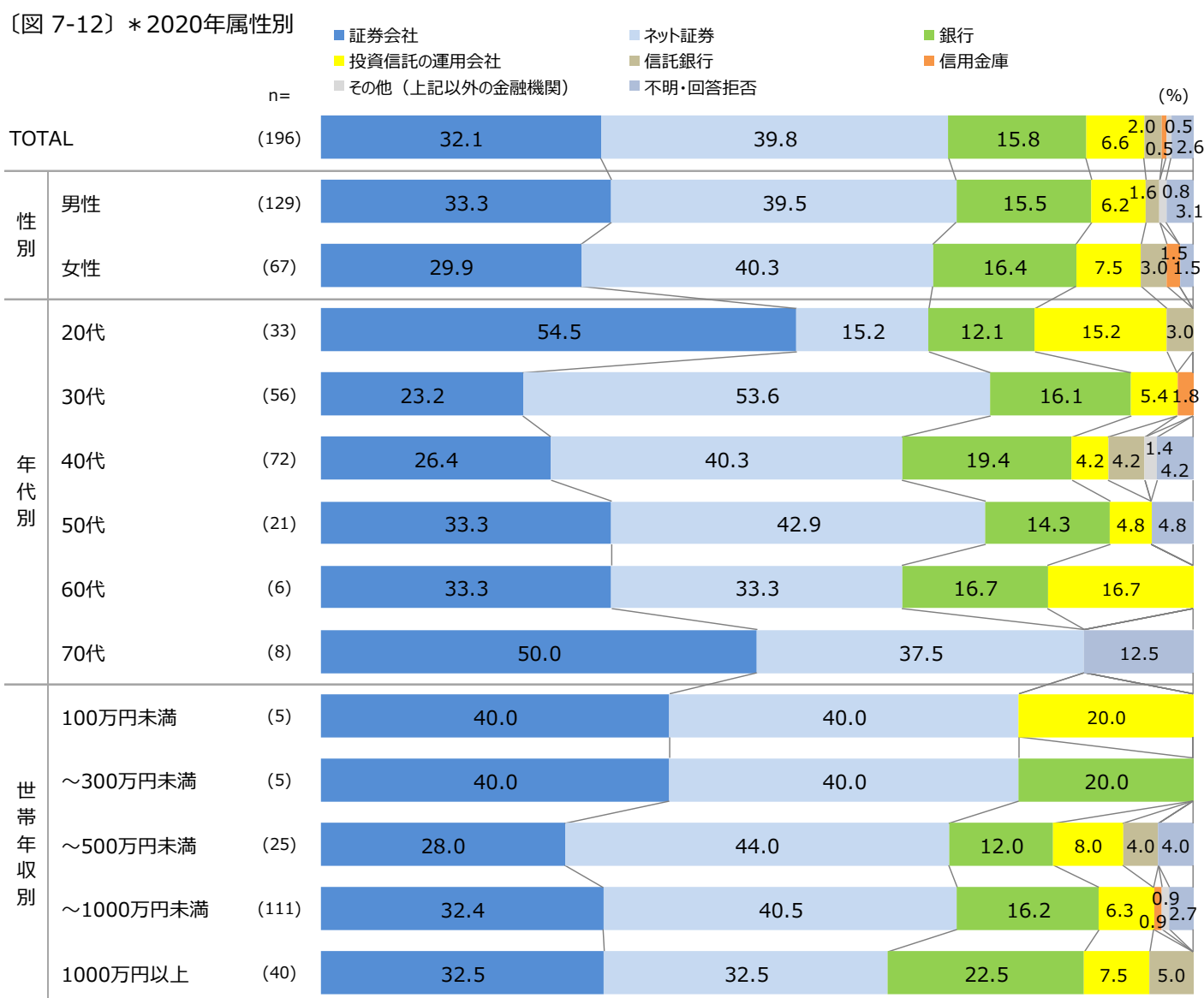
## 7. ジュニアNISAの浸透状況、今後の利用意向

### (5) ジュニアNISAの口座開設金融機関(20歳未満の親族がいるジュニアNISAでの現在金融商品保有者)[Q18③:単数回答]

- ジュニアNISAの口座開設金融機関は、「ネット証券」が39.8%で最も高く、次いで「証券会社」(32.1%)、「銀行」(15.8%)が続く。前回より「ネット証券」が6.4ポイント減少し、「証券会社」が6.3ポイント増加。  
 [図7-11] \* 2018年からの変動は調査パネル変更の影響も考えられる



※選択肢「投資信託の運用会社」は2019年より聴取



## 7. ジュニアNISAの浸透状況、今後の利用意向

### (6) ジュニアNISA口座開設・金融商品未購入理由(20歳未満の親族がいるジュニアNISA口座開設・金融商品未購入層)〔Q19③:重複回答〕

- ジュニアNISAでの金融商品未購入理由は、「どの商品を購入してよいかわからない」(23.3%)が最も高く、次いで「年間の非課税投資限度額が小さい」(16.5%)、「タイミングを見定めている」(15.5%)が続く。

〔図7-13〕 \* 2018年からの変動は調査パネル変更の影響も考えられる

〔図 7-13〕

	n=	どの商品を購入してよいかわからないから	年間の非課税投資限度額(80万円)が小さいから	経済状況など、商品購入や口座開設のタイミングを見定めているから	制度が複雑でよく理解できないから	株式や投資信託以外の商品(国債など)が購入できないから	非課税期間が短いから	制度の内容を知らないから	投資の知識がないから/知識がないと難しそうだから	投資に回すお金がないから	金融機関に勧められて口座開設しただけだから	既に十分な資産があり、投資は必要ないから	投資自体に関心がないから	その他	特に理由はない
2020年	(103)	23.3	16.5	15.5	13.6	11.7	9.7	7.8	7.8	6.8	2.9	1.9	0.0	6.8	19.4
2019年	(82)	17.1	15.9	24.4	8.5	13.4	7.3	14.6	2.4	13.4	7.3	3.7	1.2	0.0	19.5
2018年	(59)	15.3	18.6	13.6	6.8	11.9	13.6	13.6	8.5	30.5	5.1	6.8	3.4	0.0	20.3

〔図 7-14〕 \* 2020年属性別

	n=	どの商品を購入してよいかわからないから	年間の非課税投資限度額(80万円)が小さいから	経済状況など、商品購入や口座開設のタイミングを見定めているから	制度が複雑でよく理解できないから	株式や投資信託以外の商品(国債など)が購入できないから	非課税期間が短いから	制度の内容を知らないから	投資の知識がないから/知識がないと難しそうだから	投資に回すお金がないから	金融機関に勧められて口座開設しただけだから	既に十分な資産があり、投資は必要ないから	投資自体に関心がないから	その他	特に理由はない
TOTAL	(103)	23.3	16.5	15.5	13.6	11.7	9.7	7.8	7.8	6.8	2.9	1.9	0.0	6.8	19.4
性別															
男性	(77)	26.0	15.6	13.0	15.6	13.0	9.1	10.4	7.8	6.5	2.6	2.6	0.0	6.5	18.2
女性	(26)	15.4	19.2	23.1	7.7	7.7	11.5	0.0	7.7	7.7	3.8	0.0	0.0	7.7	23.1
年代別															
20代	(20)	15.0	45.0	35.0	10.0	20.0	5.0	5.0	5.0	0.0	5.0	0.0	0.0	5.0	5.0
30代	(28)	28.6	17.9	25.0	17.9	17.9	10.7	7.1	7.1	17.9	3.6	0.0	0.0	10.7	14.3
40代	(31)	25.8	9.7	6.5	19.4	6.5	9.7	9.7	12.9	3.2	3.2	3.2	0.0	6.5	12.9
50代	(6)	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	33.3	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
60代	(10)	20.0	0.0	0.0	0.0	10.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
70代	(8)	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	12.5	50.0
世帯年収別															
100万円未満	(1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
~300万円未満	(14)	35.7	7.1	21.4	7.1	7.1	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	28.6
~500万円未満	(17)	11.8	29.4	23.5	11.8	11.8	11.8	0.0	0.0	11.8	0.0	5.9	0.0	11.8	17.6
~1000万円未満	(47)	25.5	14.9	12.8	19.1	17.0	8.5	10.6	8.5	6.4	2.1	0.0	0.0	6.4	14.9
1000万円以上	(16)	25.0	18.8	18.8	12.5	6.3	6.3	12.5	25.0	6.3	12.5	6.3	0.0	6.3	12.5

〔図 7-15〕 \* 2020年属性別

	n=	どの商品を購入してよいかわからないから	年間の非課税投資限度額(80万円)が小さいから	経済状況など、商品購入や口座開設のタイミングを見定めているから	制度が複雑でよく理解できないから	株式や投資信託以外の商品(国債など)が購入できないから	非課税期間が短いから	制度の内容を知らないから	投資の知識がないから/知識がないと難しそうだから	投資に回すお金がないから	金融機関に勧められて口座開設しただけだから	既に十分な資産があり、投資は必要ないから	投資自体に関心がないから	その他	特に理由はない
TOTAL	(103)	23.3	16.5	15.5	13.6	11.7	9.7	7.8	7.8	6.8	2.9	1.9	0.0	6.8	19.4
投資状況別															
保有層・保有経験層															
現在保有層	(43)	4.7	14.0	14.0	9.3	18.6	7.0	2.3	9.3	4.7	4.7	4.7	0.0	11.6	20.9
保有経験層(現在非保有)	(7)	57.1	28.6	14.3	28.6	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3
保有未経験層															
金融資産保有経験有	(38)	42.1	15.8	21.1	15.8	10.5	15.8	13.2	5.3	13.2	2.6	0.0	0.0	2.6	10.5
金融資産保有経験無	(11)	18.2	9.1	9.1	18.2	0.0	0.0	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	36.4

## 7. ジュニアNISAの浸透状況、今後の利用意向

### (7) ジュニアNISA口座未開設理由(20歳未満の親族がいる ジュニアNISA認知・口座未開設層)[Q19③:重複回答]

- ジュニアNISA口座未開設理由は、「投資に回すお金がないから」(14.2%)、「投資自体に関心がない」(12.8%)が高い。〔図7-16〕
- 若年層ほど「投資の知識がない／知識がないと難しそう」「どの商品を購入してよいかわからない」「制度の内容を知らない」といった制度への理解不足、知識不足が理由として高くなる傾向。〔図7-17〕

〔図 7-16〕

	n=	投資に回すお金がないから	投資自体に関心がないから	投資の知識がないから／知識がないと難しそうだから	口座開設の申込手続きが煩雑で面倒だから	どの商品を購入してよいかわからないから	制度の内容を知らないから	制度が複雑でよく理解できないから	年間の非課税投資限度額(80万円)が小さいから	経済状況など、商品購入や口座開設のタイミングを見定めているから	非課税期間が短いから	既に十分な資産があり、投資は必要ないから	株式や投資信託以外の商品(国債など)が購入できないから	その他	特に理由は無い	(%)
2020年	(3532)	14.2	12.8	11.9	7.0	6.9	6.3	6.1	4.6	2.5	1.8	1.3	1.2	2.3	42.3	
2019年	(3403)	12.6	16.0	10.8	6.4	6.4	5.3	5.1	4.1	2.0	1.8	1.1	1.1	1.9	43.9	
2018年	(3123)	17.6	18.6	9.6	5.1	7.6	11.5	6.8	3.2	2.0	2.0	0.6	0.5	1.2	39.5	

〔図 7-17〕 \* 2020年属性別

	n=	投資に回すお金がないから	投資自体に関心がないから	投資の知識がないから／知識がないと難しそうだから	口座開設の申込手続きが煩雑で面倒だから	どの商品を購入してよいかわからないから	制度の内容を知らないから	制度が複雑でよく理解できないから	年間の非課税投資限度額(80万円)が小さいから	経済状況など、商品購入や口座開設のタイミングを見定めているから	非課税期間が短いから	既に十分な資産があり、投資は必要ないから	株式や投資信託以外の商品(国債など)が購入できないから	その他	特に理由は無い	(%)
TOTAL	(3532)	14.2	12.8	11.9	7.0	6.9	6.3	6.1	4.6	2.5	1.8	1.3	1.2	2.3	42.3	
性別																
男性	(1705)	13.8	9.4	6.5	6.7	5.8	4.8	4.3	5.5	2.6	2.1	1.4	1.3	3.3	47.4	
女性	(1827)	14.6	16.0	16.9	7.3	7.8	7.7	7.7	3.7	2.4	1.6	1.1	1.1	1.3	37.6	
年代別																
20代	(123)	18.7	8.1	26.0	8.1	13.8	18.7	8.1	2.4	2.4	1.6	0.8	0.0	1.6	24.4	
30代	(576)	17.7	9.0	19.1	9.9	10.1	8.9	8.2	3.3	5.4	1.4	1.2	1.2	1.7	31.6	
40代	(787)	19.9	9.3	14.2	8.9	8.5	6.9	6.7	3.8	3.9	2.4	1.3	1.3	1.7	38.1	
50代	(484)	16.1	11.6	12.2	8.3	7.9	5.8	8.7	6.4	1.7	2.1	0.8	2.5	1.4	42.1	
60代	(654)	10.2	16.4	7.8	5.4	5.0	4.7	3.7	5.0	1.2	1.8	1.4	1.2	2.8	46.3	
70代	(908)	8.3	17.0	6.1	4.0	3.2	4.0	4.2	5.0	0.8	1.5	1.5	0.7	3.3	52.4	
世帯年収別																
100万円未満	(40)	30.0	12.5	12.5	10.0	12.5	7.5	10.0	0.0	0.0	2.5	0.0	0.0	2.5	40.0	
～300万円未満	(370)	15.7	15.4	10.8	4.6	4.1	7.6	5.7	2.7	1.1	1.6	1.1	1.1	2.2	44.6	
～500万円未満	(856)	16.0	16.8	12.4	6.0	5.6	6.5	5.3	4.1	1.8	1.8	0.9	1.2	2.1	41.9	
～1000万円未満	(1352)	15.9	10.1	14.1	8.3	8.7	7.1	7.7	4.9	3.5	1.9	1.7	1.5	2.7	36.7	
1000万円以上	(427)	8.0	8.7	7.7	10.3	7.5	3.5	4.0	10.1	3.3	2.3	1.9	1.2	1.9	45.4	

〔図 7-18〕 \* 2020年属性別

	n=	投資に回すお金がないから	投資自体に関心がないから	投資の知識がないから／知識がないと難しそうだから	口座開設の申込手続きが煩雑で面倒だから	どの商品を購入してよいかわからないから	制度の内容を知らないから	制度が複雑でよく理解できないから	年間の非課税投資限度額(80万円)が小さいから	経済状況など、商品購入や口座開設のタイミングを見定めているから	非課税期間が短いから	既に十分な資産があり、投資は必要ないから	株式や投資信託以外の商品(国債など)が購入できないから	その他	特に理由は無い	(%)
TOTAL	(3532)	14.2	12.8	11.9	7.0	6.9	6.3	6.1	4.6	2.5	1.8	1.3	1.2	2.3	42.3	
投資信託保有状況別	保有層・保有経験層															
	現在保有層	(1054)	10.8	4.6	3.4	7.8	4.8	5.1	4.0	8.7	2.8	3.0	1.6	1.7	4.8	47.7
	保有経験層(現在非保有)	(241)	14.5	12.4	5.4	8.7	4.1	4.6	5.4	8.3	1.7	2.9	2.1	0.4	3.7	45.2
	保有層・未経験層															
金融資産保有経験有	(992)	13.2	11.0	8.9	6.7	7.8	5.9	5.6	4.3	2.6	1.6	1.0	1.6	1.6	46.4	
金融資産保有経験無	(923)	20.5	23.6	26.1	6.7	9.4	9.0	9.9	0.5	2.6	0.8	0.9	0.5	0.4	27.0	



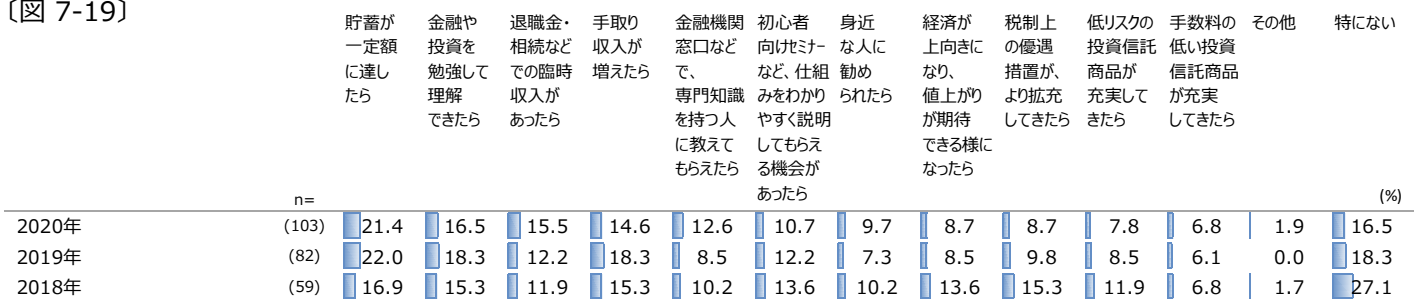
## 7. ジュニアNISAの浸透状況、今後の利用意向

### (8) ジュニアNISA口座での金融商品購入検討のきっかけ(20歳未満の親族がいるジュニアNISA口座開設・金融商品未購入層)〔Q20③:重複回答〕

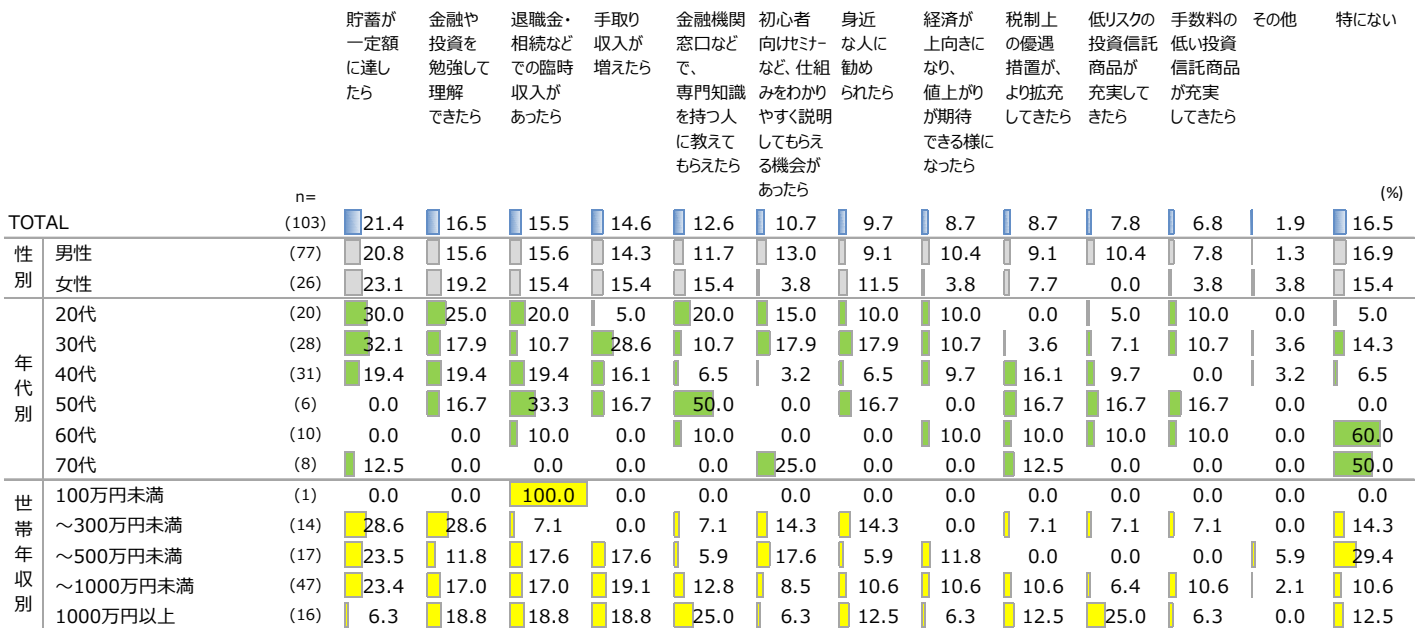
- ジュニアNISA口座での金融商品購入検討のきっかけは、「貯蓄が一定額に達したら」(21.4%)が最も高く、次いで「金融や投資を勉強して理解できたら」(16.5%)が続く。〔図7-19〕

\* 2018年からの変動は調査パネル変更の影響も考えられる

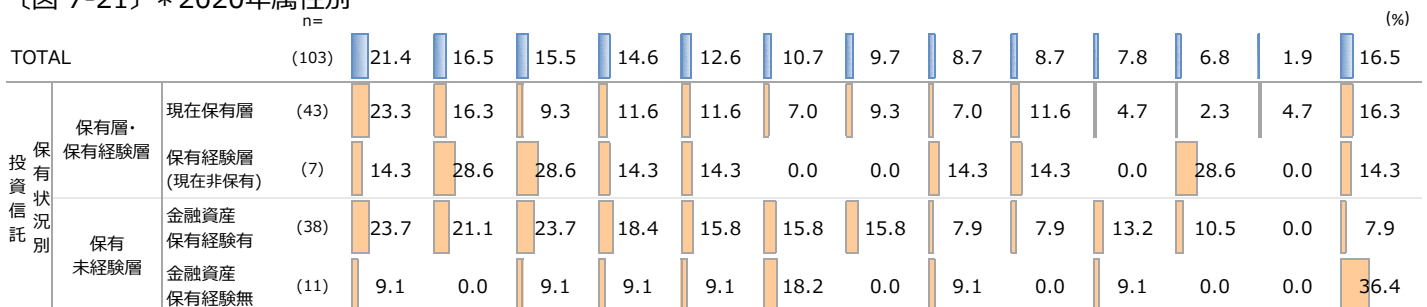
〔図 7-19〕



〔図 7-20〕 \* 2020年属性別



〔図 7-21〕 \* 2020年属性別



## 7. ジュニアNISAの浸透状況、今後の利用意向

### (9) ジュニアNISA口座開設検討のきっかけ(20歳未満の親族がいるジュニアNISA認知・口座未開設層)[Q20③:重複回答]

- ジュニアNISA口座開設検討のきっかけでは前回と大きな変動はみられず、「手取り収入が増えたら」(10.8%)が最も高い。〔図7-22〕 \* 2018年からの変動は調査パネル変更の影響も考えられる
- 年代別で見ると、20代・30代で「身近な人に勧められたら」「金融や投資を勉強して理解できたら」「専門知識を持つ人に教えてもらえたら」「初心者向けセミナーなど、仕組みをわかりやすく説明してもらえる機会があったら」と知識の補足に関する項目が高い傾向。〔図7-23〕

〔図 7-22〕

	n=	手取り収入が増えたら	身近な人に勧められたら	金融や投資を勉強して理解できたら	金融機関窓口などで、専門知識を持つ人に教えてもらえたら	初心者向けセミナーなど、仕組みをわかりやすく説明してもらえる機会があったら	貯蓄が一定額に達したら	税制上の優遇措置が、より拡充してきたら	低リスクの投資信託商品が充実してきたら	経済が上向きになり、値上がり期待できる様になったら	手数料の低い投資信託商品が充実してきたら	退職金・相続などの臨時収入があったら	その他	特にな	(%)
2020年	(3532)	10.8	8.2	8.0	7.4	7.1	6.7	6.7	3.9	3.9	3.8	2.8	0.7	58.5	
2019年	(3403)	9.0	8.0	7.0	5.8	5.3	5.6	5.9	4.6	4.2	3.9	2.6	0.8	61.7	
2018年	(3123)	10.6	6.3	9.5	8.4	6.7	6.9	7.3	5.8	6.2	4.4	2.0	0.5	61.0	

〔図 7-23〕 \* 2020年属性別

	n=	手取り収入が増えたら	身近な人に勧められたら	金融や投資を勉強して理解できたら	金融機関窓口などで、専門知識を持つ人に教えてもらえたら	初心者向けセミナーなど、仕組みをわかりやすく説明してもらえる機会があったら	貯蓄が一定額に達したら	税制上の優遇措置が、より拡充してきたら	低リスクの投資信託商品が充実してきたら	経済が上向きになり、値上がり期待できる様になったら	手数料の低い投資信託商品が充実してきたら	退職金・相続などの臨時収入があったら	その他	特にな	(%)
TOTAL	(3532)	10.8	8.2	8.0	7.4	7.1	6.7	6.7	3.9	3.9	3.8	2.8	0.7	58.5	
性別															
男性	(1705)	10.4	4.8	5.8	5.2	5.1	6.4	8.3	3.5	3.7	3.9	2.9	0.7	62.1	
女性	(1827)	11.2	11.3	10.1	9.4	9.0	6.9	5.1	4.3	4.1	3.7	2.6	0.6	55.1	
年代別															
20代	(123)	26.8	20.3	14.6	14.6	12.2	15.4	6.5	10.6	4.1	5.7	4.1	0.8	33.3	
30代	(576)	17.0	16.0	14.2	11.6	12.8	14.6	8.2	4.0	4.5	4.9	3.3	0.3	38.4	
40代	(787)	18.3	10.4	10.4	7.9	9.9	8.6	9.7	6.0	5.6	5.5	3.8	0.5	45.4	
50代	(484)	10.7	7.0	7.9	7.9	6.6	6.2	8.7	4.5	5.2	3.5	3.5	0.6	55.8	
60代	(654)	4.4	4.1	5.8	6.4	4.0	2.8	4.3	3.5	2.8	3.7	1.5	0.8	68.5	
70代	(908)	2.8	3.1	2.8	3.6	2.9	1.8	3.7	1.1	2.1	1.7	1.9	0.9	80.3	
世帯年収別															
100万円未満	(40)	2.5	10.0	7.5	7.5	7.5	2.5	5.0	2.5	5.0	2.5	7.5	0.0	75.0	
~300万円未満	(370)	10.5	6.2	4.9	8.6	5.1	4.9	3.0	3.2	1.9	3.0	3.0	1.1	65.4	
~500万円未満	(856)	9.7	7.0	8.2	6.0	6.0	5.7	5.1	2.9	2.9	3.3	2.3	0.5	63.4	
~1000万円未満	(1352)	13.9	10.6	9.5	8.7	8.9	9.2	7.9	5.3	5.0	4.7	3.7	0.7	49.8	
1000万円以上	(427)	8.9	7.0	6.1	7.0	7.5	6.1	11.9	3.3	5.9	5.2	2.3	0.7	53.6	

〔図 7-24〕 \* 2020年属性別

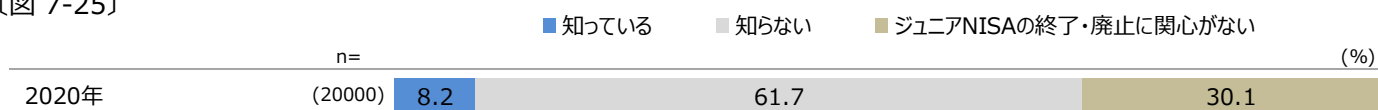
	n=	手取り収入が増えたら	身近な人に勧められたら	金融や投資を勉強して理解できたら	金融機関窓口などで、専門知識を持つ人に教えてもらえたら	初心者向けセミナーなど、仕組みをわかりやすく説明してもらえる機会があったら	貯蓄が一定額に達したら	税制上の優遇措置が、より拡充してきたら	低リスクの投資信託商品が充実してきたら	経済が上向きになり、値上がり期待できる様になったら	手数料の低い投資信託商品が充実してきたら	退職金・相続などの臨時収入があったら	その他	特にな	(%)	
TOTAL	(3532)	10.8	8.2	8.0	7.4	7.1	6.7	6.7	3.9	3.9	3.8	2.8	0.7	58.5		
保有状況別	保有層・保有経験層	現在保有層	(1054)	8.8	6.1	7.2	7.7	5.6	5.6	10.0	3.8	3.0	5.3	2.5	1.1	58.6
		保有経験層(現在非保有)	(241)	9.5	6.2	6.6	5.8	4.6	7.5	6.2	3.3	5.0	2.9	3.7	0.8	63.5
	保有層・未経験層	金融資産保有経験層	(992)	10.4	7.8	5.9	4.7	6.5	5.6	6.3	2.7	4.2	3.3	2.6	0.8	60.0
		金融資産保有経験無	(923)	14.8	12.4	11.9	10.9	10.8	9.5	4.6	5.6	4.9	3.3	3.5	0.1	50.9

## 7. ジュニアNISAの浸透状況、今後の利用意向

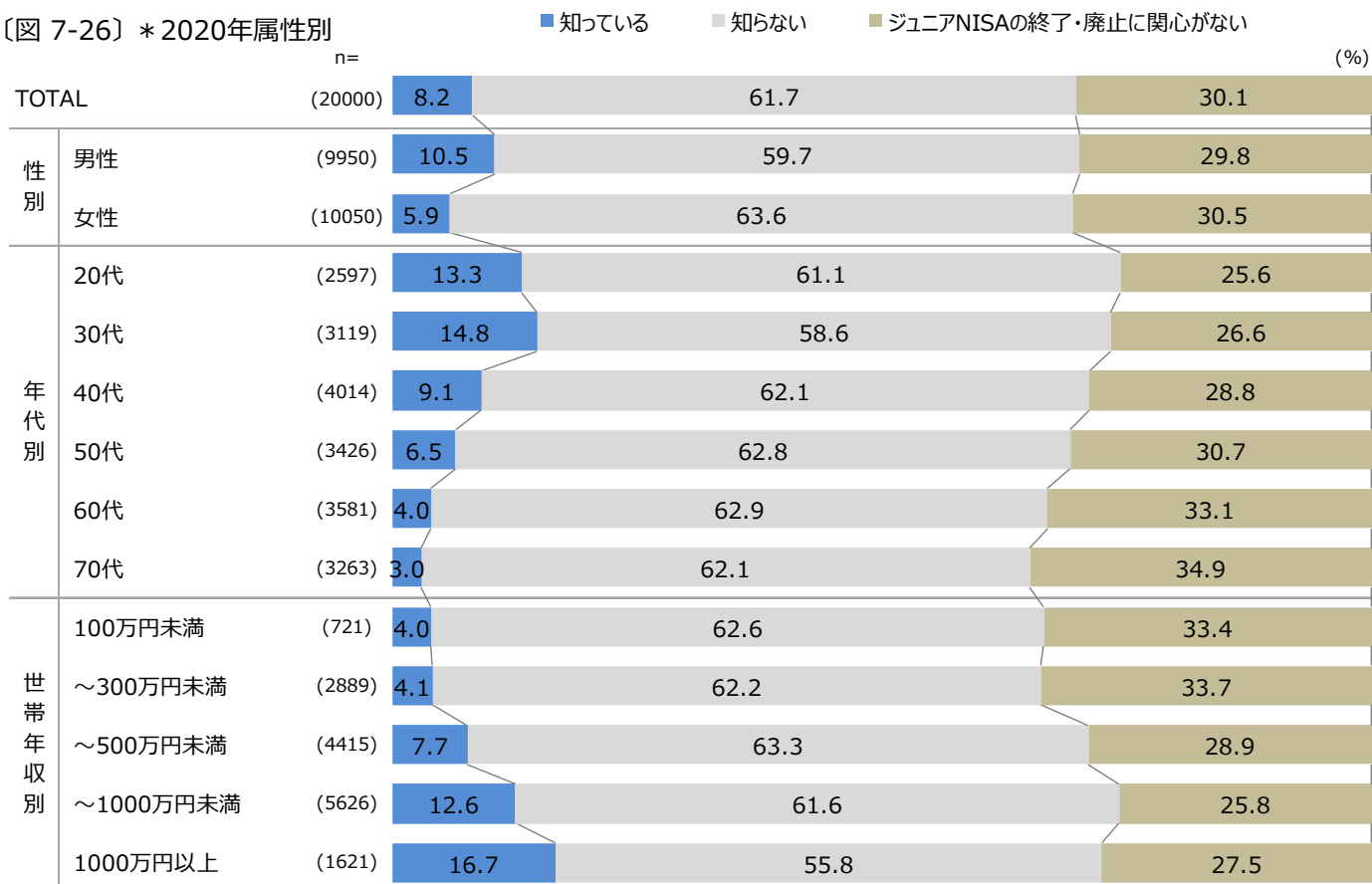
### (10) ジュニアNISA終了・廃止の認知〔Q22\_1〕

- ジュニアNISA終了・廃止の認知は、「知っている」が8.2%。一方、「知らない」が61.7%と6割を超える。〔図7-25〕
- 「知っている」は20代・30代が他の年代より高い。〔図7-26〕
- ジュニアNISAの現在口座開設層では、「知っている」が64.6%と、他層より大幅に高い。〔図7-27〕

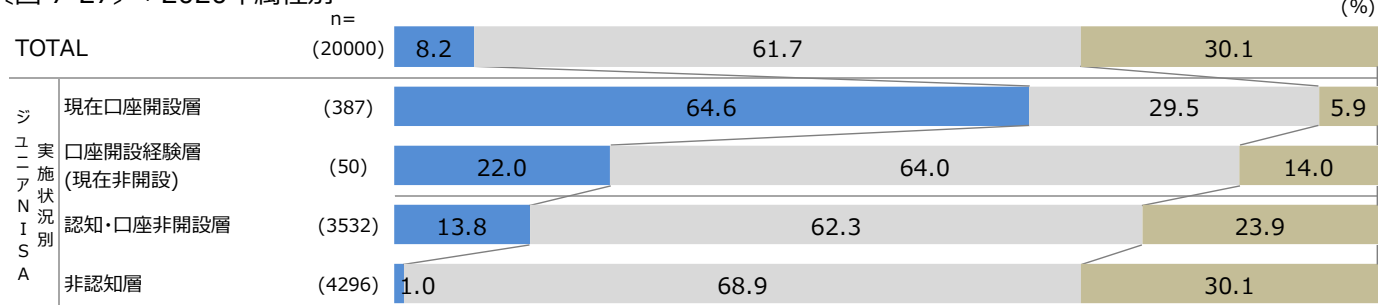
〔図 7-25〕



〔図 7-26〕 \* 2020年属性別



〔図 7-27〕 \* 2020年属性別

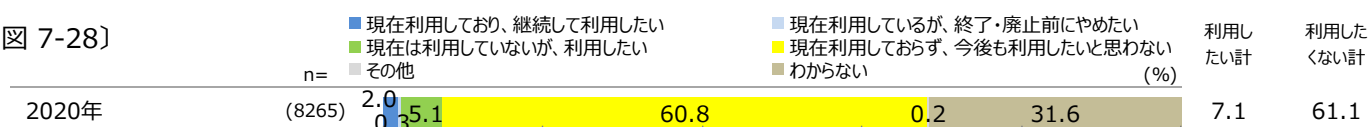


## 7. ジュニアNISAの浸透状況、今後の利用意向

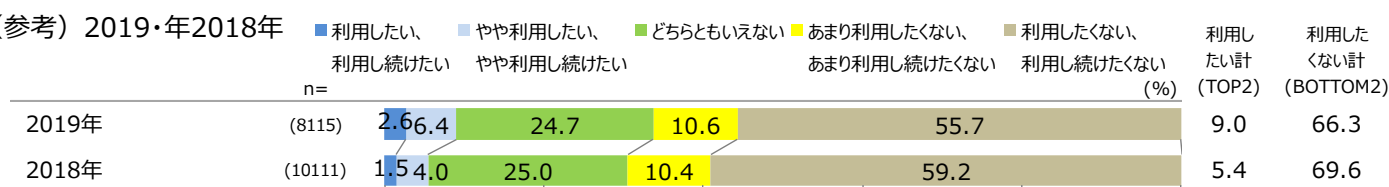
### (11) ジュニアNISAの今後の利用意向(20歳未満の親族がいる者) 〔Q22\_2:単数回答〕

- ジュニアNISAの利用・継続利用意向は、「利用したい計」(「現在利用しており、継続して利用したい」「現在は利用していないが、利用したい」の計)が7.1%。一方、「利用したくない計」(「現在利用しているが終了・廃止前にやめたい」「現在利用しておらず、今後も利用したいと思わない」の計)が61.1%を占める。〔図7-28〕
- 「利用したい計」は若年層や、高年収層ほど増加傾向。〔図7-29〕
- ジュニアNISAの現在口座開設層では、「利用したい計」は65.1%と高い。〔図7-30〕

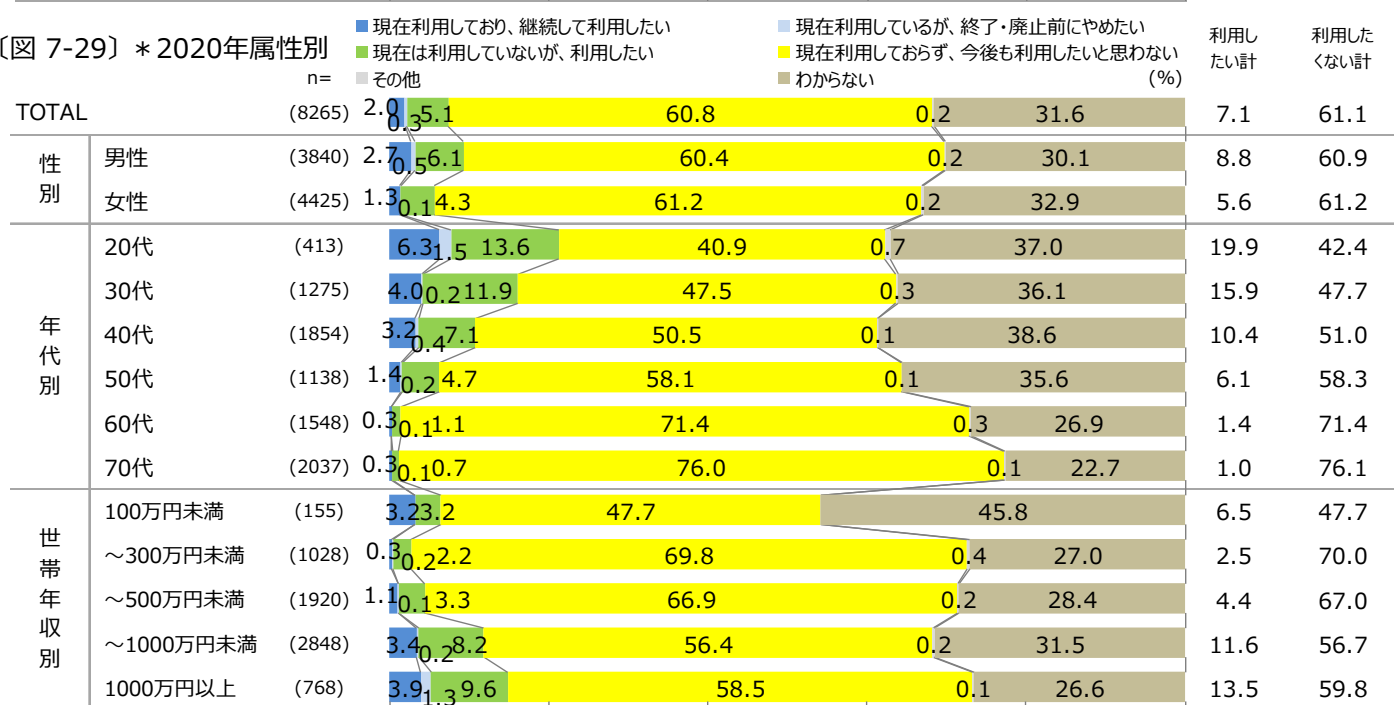
〔図 7-28〕



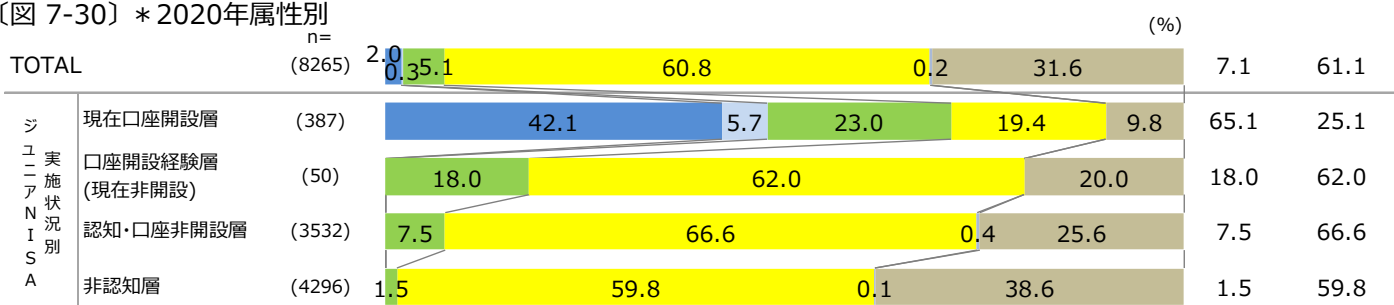
(参考) 2019・年2018年



〔図 7-29〕 \* 2020年属性別



〔図 7-30〕 \* 2020年属性別



※ジュニアNISA非認知層含む

※0.0%の反応率は非表示

## 7. ジュニアNISAの浸透状況、今後の利用意向

### (12) ジュニアNISAでの投資方法意向(20歳未満の親族がいる ジュニアNISA今後利用意向者)[Q23②:単数回答]

- 実施したい投資方法では、「毎月一定額積み立て投資」(37.8%)が最も高い。「年に数回タイミングをみて投資したい」(28.2%)は前回より7ポイント減少。〔図7-31〕

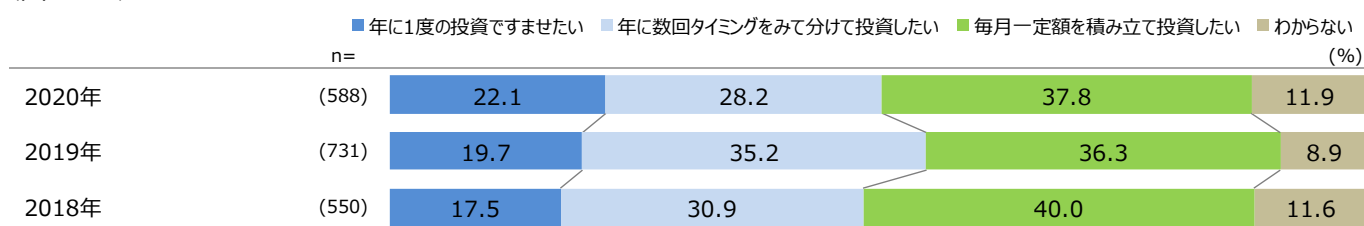
\* 2018年からの変動は調査パネル変更の影響も考えられる

\* 2020年はジュニアNISA今後利用意向者の対象者条件が2019年までとは異なるため、時系列比較は参考値

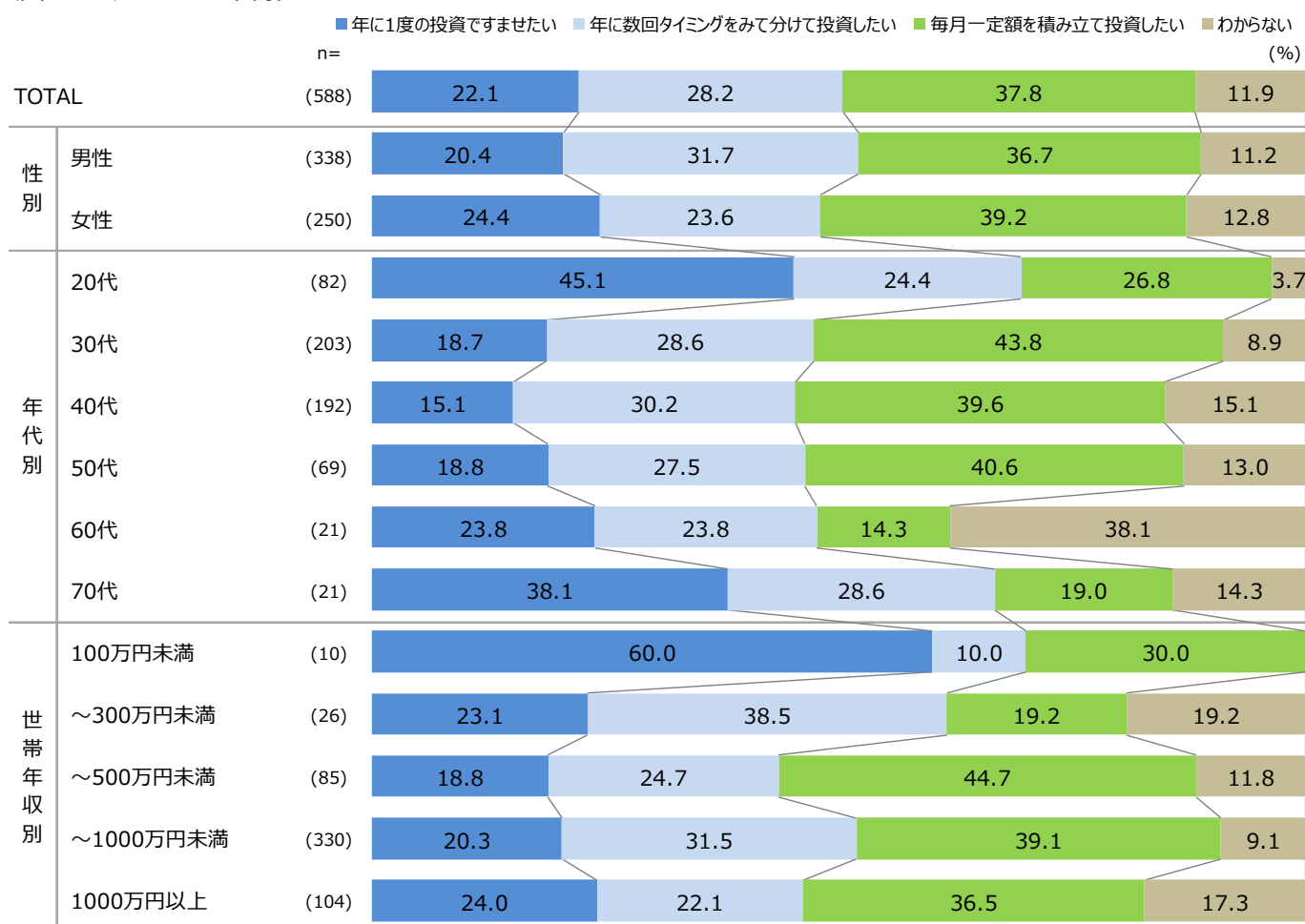
- 年代別では、20代が「年に1度の投資ですませたい」(45.1%)が高い。〔図7-32〕

\* 60・70代は人数が少ないため参考値

〔図 7-31〕



〔図 7-32〕 \* 2020年属性別



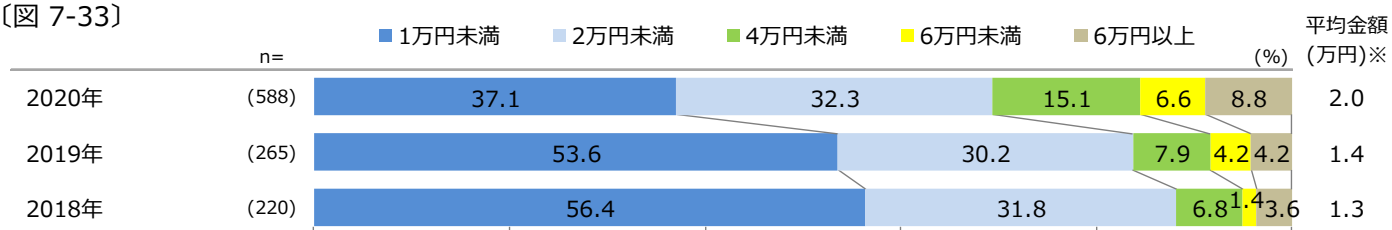
## 7. ジュニアNISAの浸透状況、今後の利用意向

### (13) ジュニアNISAでの月次積立投資希望額(20歳未満の親族がいるジュニアNISA毎月一定額積立投資者)[Q24\_3:単数回答]

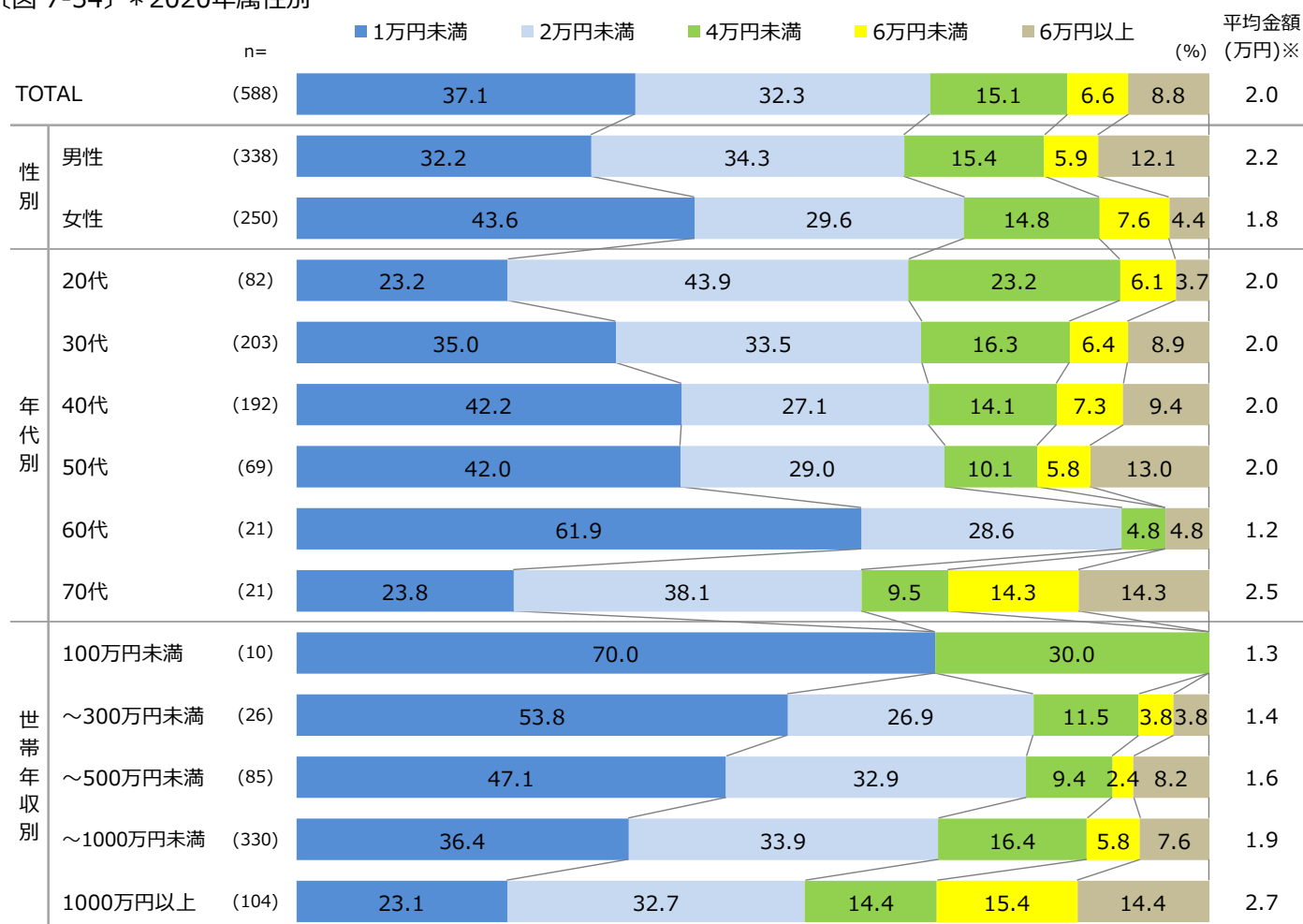
- ジュニアNISAでの毎月積立額は「1万円未満」が37.1%で最も高く、次いで「2万円未満」(32.3%)が高い。2万円未満の合計が69.4%を占める。平均金額は「2.0万円」で前回より6千円高い。〔図7-33〕

\* 2020年はジュニアNISA今後利用意向者の対象者条件が2019年までとは異なるため、時系列比較は参考値

〔図 7-33〕




〔図 7-34〕 \* 2020年属性別



※平均値算出にあたってのウエイト値 1万円未満：0.5万円 / 2万円未満：1.5万円 / 4万円未満：3万円 / 6万円未満：5万円 / 6万円以上：6万円

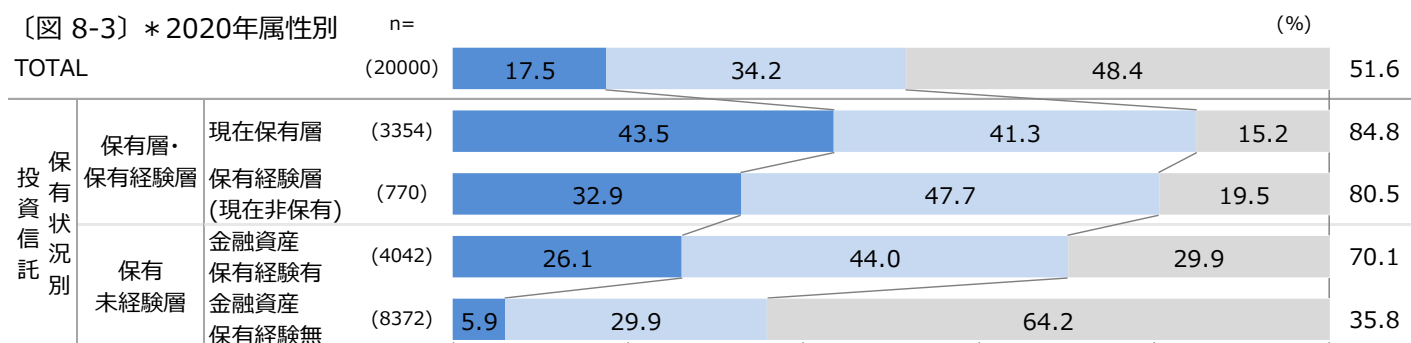
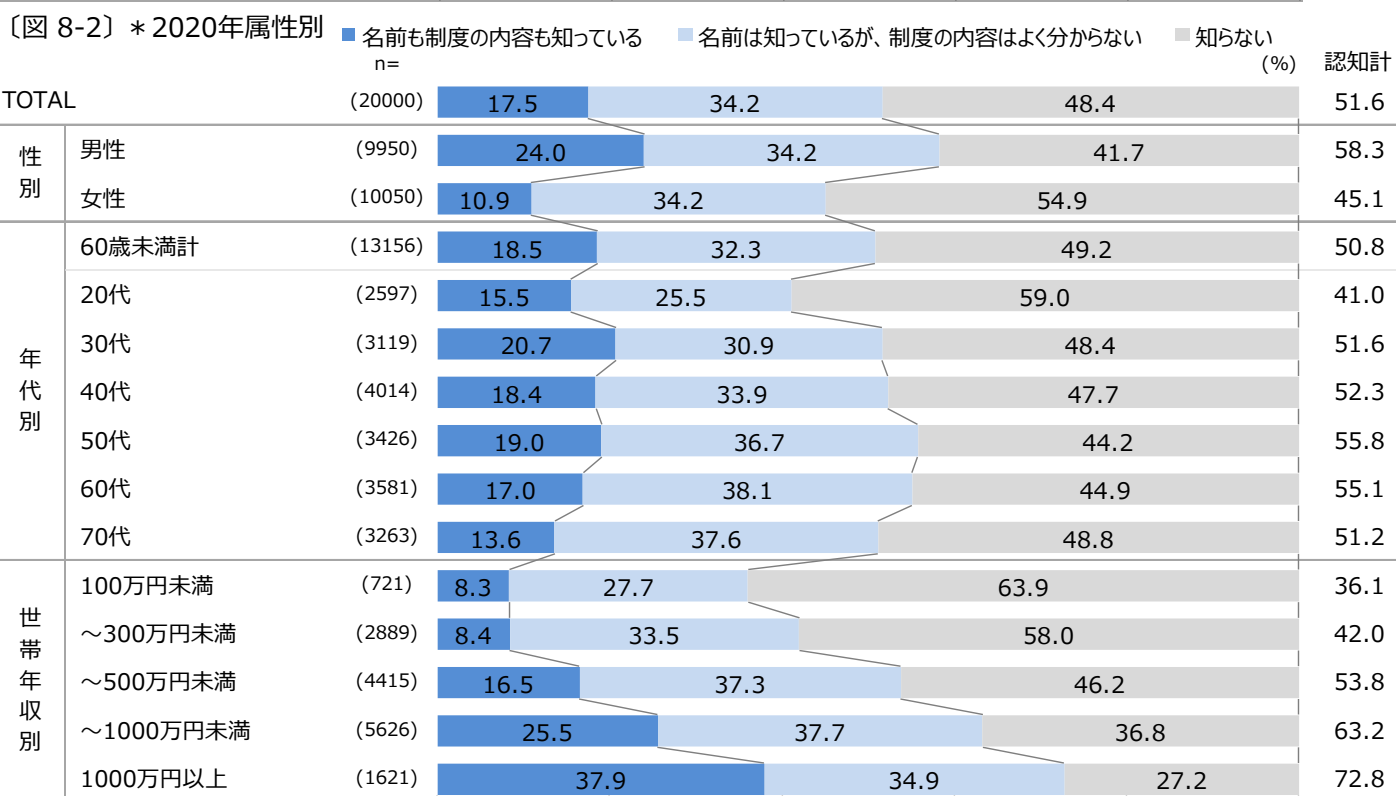
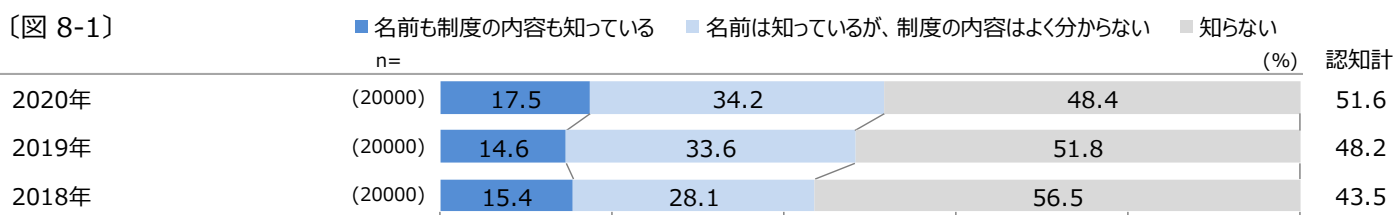
## **8. 企業型確定拠出年金の浸透状況、 今後の利用意向**



## 8. 企業型確定拠出年金の浸透状況、今後の利用意向

### (1) 企業型確定拠出年金の認知〔Q14④:単数回答〕

- 企業型確定拠出年金の認知率(認知計：51.6%)は前回よりやや増加。制度内容認知率は17.5%で前回よりやや増加。〔図8-1〕 \* 2018年からの変動は調査パネル変更の影響も考えられる
- 年代別では20代が他の年代より低いが、30代以上では5割以上が認知している。世帯年収別では年収が上がるにつれて認知率、制度内容認知率ともに高くなる。〔図8-2〕
- 投資信託保有状況別でみると、投資への関与が強い層ほど認知率が高い。保有未経験層(金融資産保有経験無)での認知率は35.8%、制度内容認知率は5.9%にとどまる。〔図8-3〕





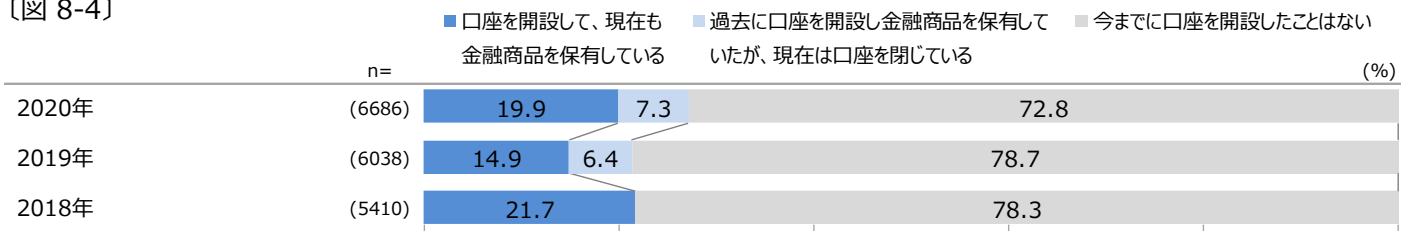
## 8. 企業型確定拠出年金の浸透状況、今後の利用意向

### (2) 企業型確定拠出年金の利用状況(60歳未満の制度認知者)

〔Q15\_2①:単数回答〕

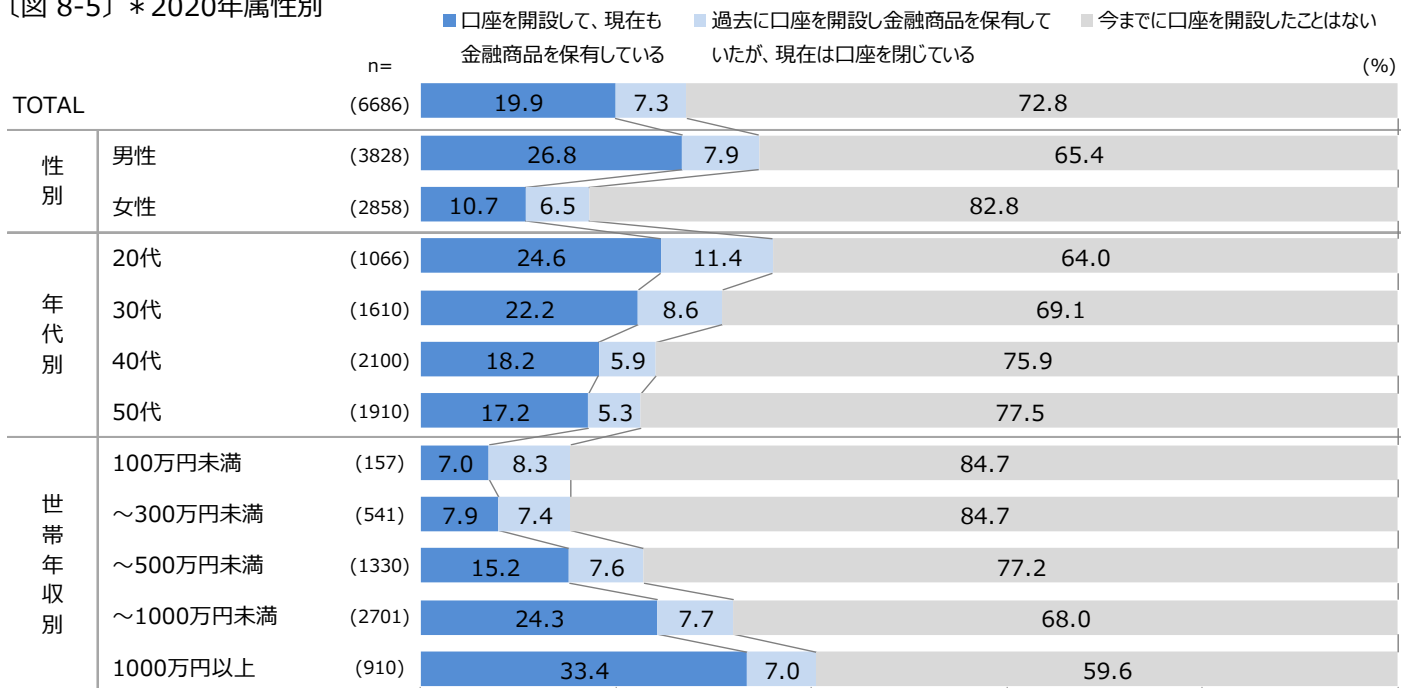
- 企業型確定拠出年金での現在金融商品保有率は19.9%で前回より5.0ポイント高い。口座開設未経験が72.8%を占める。〔図8-4〕 \* 2018年からの変動は調査パネル変更の影響も考えられる
- 同制度での現在金融商品保有率は、若年層、高年収層ほど高い傾向。〔図8-5〕
- 投資信託現在保有層の27.4%が、同制度で現在金融商品を保有している。〔図8-6〕

〔図 8-4〕

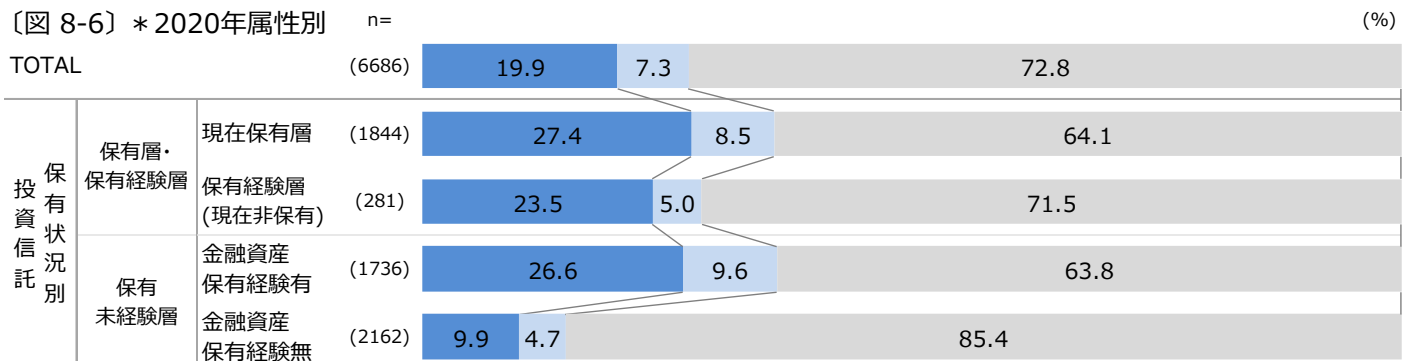


※選択肢「過去に口座を開設し金融商品を保有していたが、現在は口座を閉じている」は2019年より聴取  
 ※2018年は、「口座を開設し金融商品を購入したが、現在は売却し保有していない」「口座を開設したが、まだ金融商品を購入したことはない」を「口座を開設して、現在も金融商品を保有している」に統合して集計

〔図 8-5〕 \* 2020年属性別



〔図 8-6〕 \* 2020年属性別



## 8. 企業型確定拠出年金の浸透状況、今後の利用意向

### (3) 企業型確定拠出年金での保有金融商品(60歳未満で、企業型確定拠出年金での現在金融商品保有者)[Q16\_3①:重複回答]

- 企業型確定拠出年金での保有金融商品では、「投資信託計\*」が67.2%。投資信託商品の中では「国内/外国株式に主に投資する投資信託」の保有率が30%以上と高い。前回に比べて、「外国株式に主に投資する投資信託」が6.7ポイント増加している。〔図8-7〕  
\* 2018年からの変動は調査パネル変更の影響も考えられる
- 年代別では20代で「国内株式に主に投資する投資信託」が他の年代よりやや低い。世帯年収別では高年収層で「投資信託計\*」が高い傾向。〔図8-8〕
- 金融商品の保有を「定期預金・保険」(定期預金か保険商品保有)、「債券投信」(国内か海外債券に主に投資する投信保有)、「株式投信」(国内か海外株式に主に投資する投信保有)、「不動産投信」(不動産投信に主に投資する投信保有)、「その他」(様々な資産に投資する投信かその他商品保有)に分類して併用状況を確認した。その結果、各年代で「定期預金・保険」1種類の保有が最も高く、50代以外で「株式のみ」1種類の保有が10%台でこれに続く。20代・50代は「定期預金・保険」1種類の保有が高い。〔図8-9〕  
\* 投資信託計・・・「国内債券に主に投資～様々な資産に投資する投資信託」のいずれかを保有している者の割合

〔図 8-7〕

	n=	定期預金	保険商品	投資 信託計 (*)	国内債券	外国債券	国内株式	外国株式	不動産	様々な資	その他	わから ない・ 答えたく ない
					に主に 投資する 投資信託	に主に 投資する 投資信託	に主に 投資する 投資信託	に主に 投資する 投資信託	に主に 投資する 投資信託 (除くJIT)	産に投資 する投資 信託		
2020年	(1330)	35.1	14.3	67.2	28.1	26.2	38.7	34.7	5.8	11.5	2.0	12.7
2019年	(898)	40.0	12.9	62.5	27.1	22.8	35.2	28.0	5.0	11.4	1.2	13.7
2018年	(1172)	48.8	23.7	47.6	24.4	18.9	29.7	23.3	3.9	10.3	2.0	7.1

※2018年は、「口座を開設し金融商品を購入したが、現在は売却し保有していない」「口座を開設したが、まだ金融商品を購入したことはない」を「口座を開設して、現在も金融商品を保有している」に統合して集計し、「定期預金」「保険商品」は案分算出している

〔図 8-8〕 \* 2020年属性別

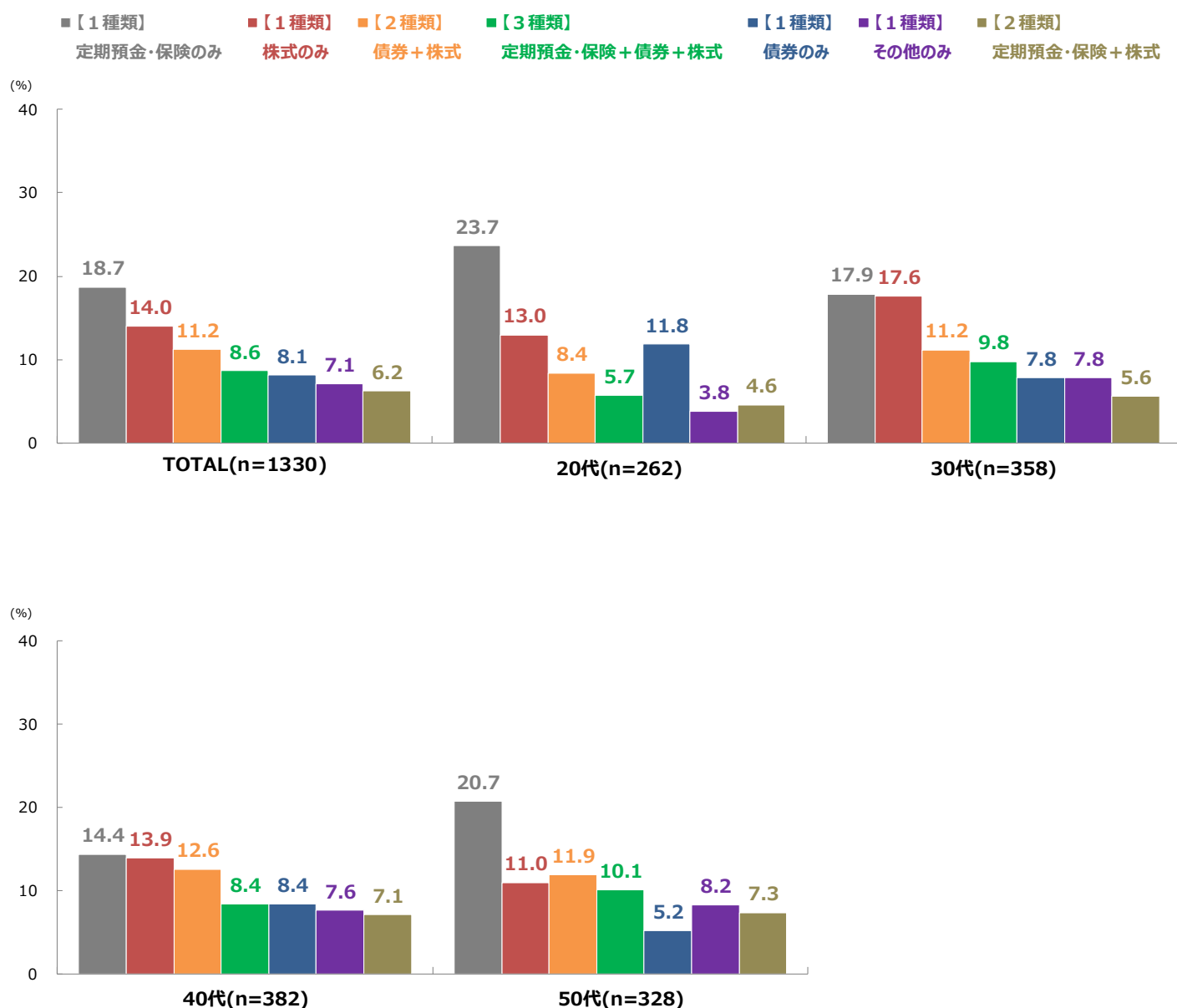
	n=	定期預金	保険商品	投資 信託計 (*)	国内債券	外国債券	国内株式	外国株式	不動産	様々な資	その他	わから ない・ 答えたく ない
					に主に 投資する 投資信託	に主に 投資する 投資信託	に主に 投資する 投資信託	に主に 投資する 投資信託	に主に 投資する 投資信託 (除くJIT)	産に投資 する投資 信託		
TOTAL	(1330)	35.1	14.3	67.2	28.1	26.2	38.7	34.7	5.8	11.5	2.0	12.7
性別												
男性	(1024)	35.4	14.0	71.2	29.1	27.7	41.9	38.0	6.3	11.7	1.6	11.5
女性	(306)	34.3	15.4	53.9	24.8	21.2	28.1	23.9	3.9	10.8	3.3	16.7
年代別												
20代	(262)	34.7	14.9	61.1	26.7	23.7	33.2	30.2	6.1	9.5	0.8	15.3
30代	(358)	33.2	13.7	71.8	27.1	29.1	39.1	39.9	8.1	11.5	2.2	8.9
40代	(382)	32.7	13.4	69.4	29.1	27.2	39.8	36.1	3.9	11.5	1.6	14.9
50代	(328)	40.2	15.5	64.6	29.3	24.1	41.5	31.1	5.2	13.1	3.0	12.2
世帯 年収 別												
100万円未満	(11)	45.5	0.0	45.5	27.3	36.4	18.2	18.2	0.0	0.0	0.0	18.2
～300万円未満	(43)	32.6	9.3	58.1	25.6	11.6	32.6	23.3	4.7	4.7	4.7	16.3
～500万円未満	(202)	36.1	16.8	58.4	19.3	19.3	30.7	27.2	4.0	10.4	3.5	15.8
～1000万円未満	(655)	34.8	14.8	71.5	29.5	27.5	41.1	35.3	6.3	12.2	2.1	9.2
1000万円以上	(304)	37.5	15.8	73.0	34.2	32.9	45.7	43.8	7.9	14.5	0.7	9.5

## 8. 企業型確定拠出年金の浸透状況、今後の利用意向

### (3) 企業型確定拠出年金での保有金融商品(60歳未満で、企業型確定拠出年金での現在金融商品保有者)(Q16\_3:重複回答)

〔図 8-9〕年代別での金融商品保有種類別比率

\* 2020年属性別



※金融商品の保有分類：「定期預金・保険」=定期預金か保険商品保有、「債券投信」=国内か海外債券に主に投資する投信保有、「株式投信」=国内か海外株式に主に投資する投信保有、「不動産投信」=不動産投信に主に投資する投信保有、「その他」=様々な資産に投資する投信かその他商品保有 に分類して併用状況を確認した。

## 8. 企業型確定拠出年金の浸透状況、今後の利用意向

### (4) 企業型確定拠出年金のマッチング拠出実施状況(60歳未満で、企業型確定拠出年金での現在金融商品保有者)〔Q30:単数回答〕

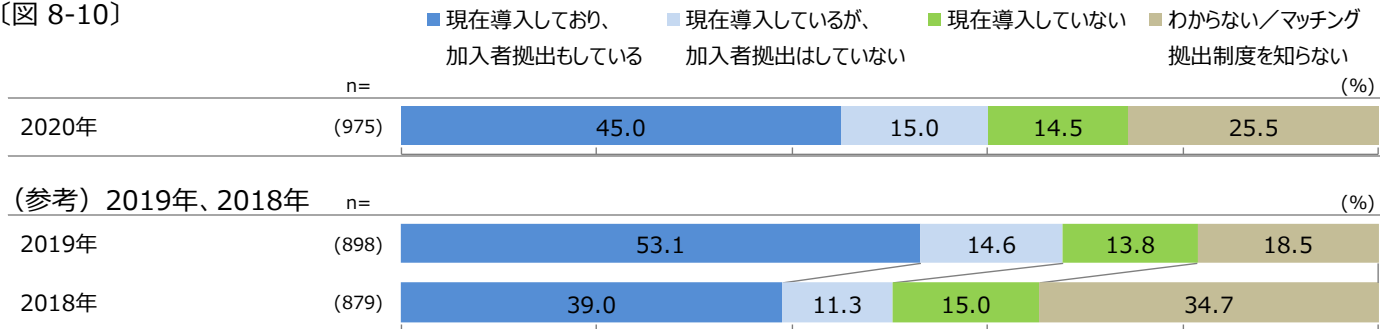
- マッチング拠出の実施率は45.0%で、「わからない／マッチング拠出制度を知らない」は25.5%となっている。〔図8-10〕

\* 2018年からの変動は調査パネル変更の影響も考えられる

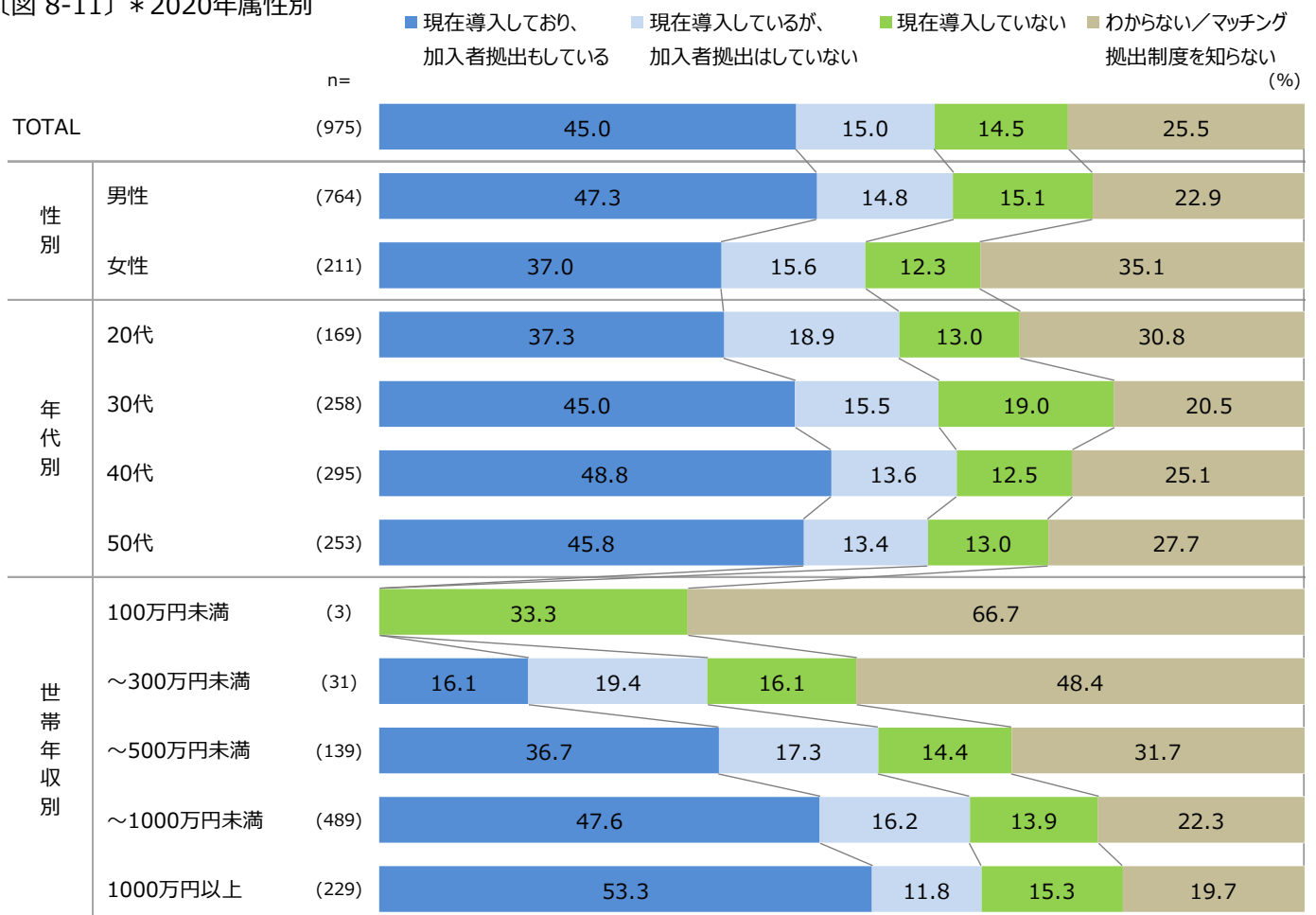
\* 2020年は本質問の対象者条件が2019年までとは異なるため、時系列比較は参考値

- マッチング拠出実施者は、30代以上で45%以上が実施している。〔図8-11〕


〔図 8-10〕



〔図 8-11〕 \* 2020年属性別



## **9. 個人型確定拠出年金（iDeCo）の 浸透状況、今後の利用意向**

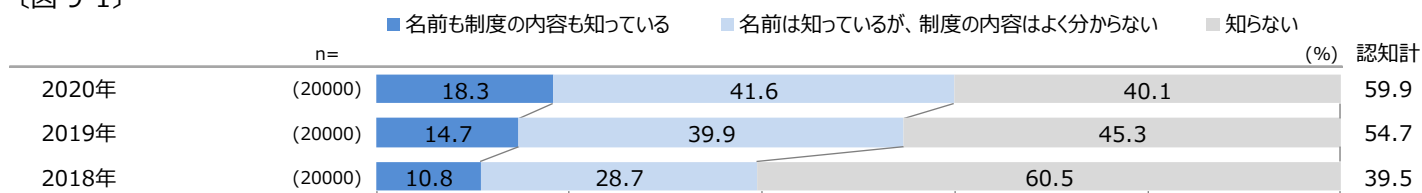


## 9. 個人型確定拠出年金(iDeCo)の浸透状況、今後の利用意向

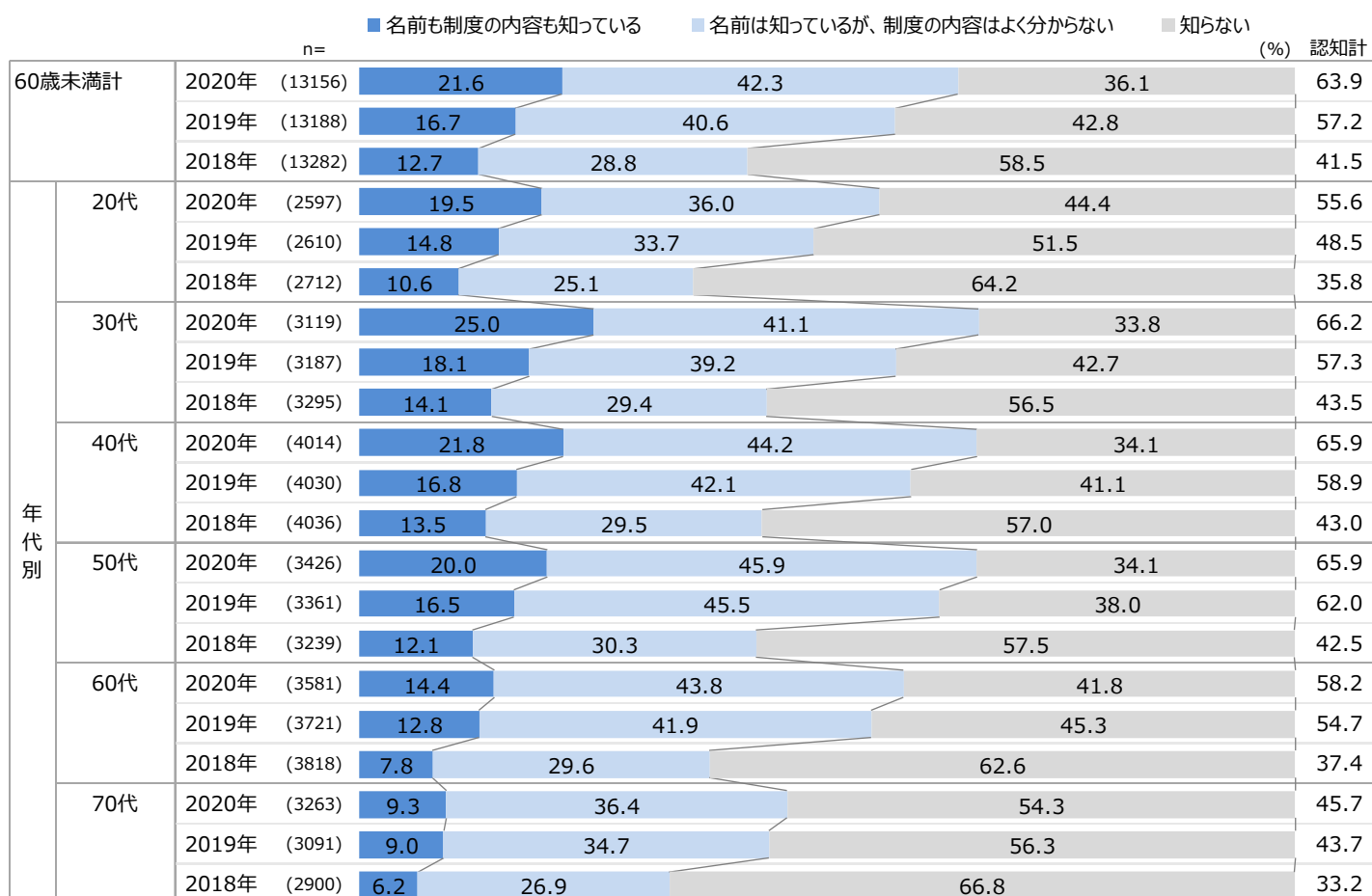
### (1) 個人型確定拠出年金の認知〔Q14⑤:単数回答〕

- 個人型確定拠出年金の認知率(認知計：59.9%)は前回より5.2ポイント増加。制度内容認知率(18.3%)もやや増加。〔図9-1〕 \* 2018年からの変動は調査パネル変更の影響も考えられる
- 年代別でみると、前回に比べて30代・40代で5ポイント以上、認知率が増加している。30代では、「名前も制度の内容も知っている」が前回より6.9ポイント増加し、60代未満計でも前回に比べて4.9ポイント増加している。〔図9-2〕  
\* 2018年からの変動は調査パネル変更の影響も考えられる
- 世帯年収別では、高年収層ほど認知率、制度内容認知率が高くなる。職業別では、専業主婦/主夫で認知率が低い。投資信託保有状況別では、投資への関与が強い層ほど認知率が高い。〔図9-3〕

〔図 9-1〕



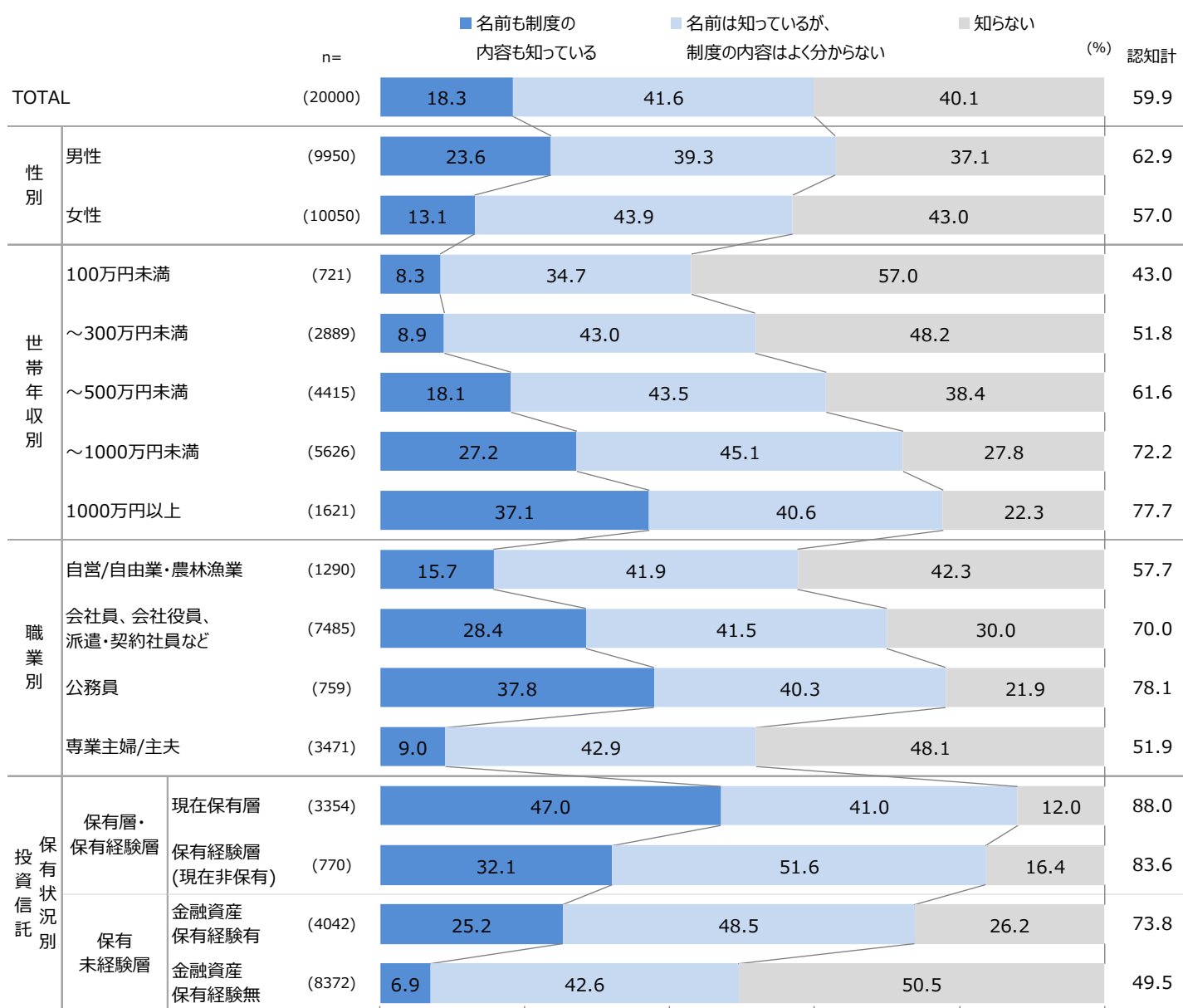
〔図 9-2〕



## 9. 個人型確定拠出年金(iDeCo)の浸透状況、今後の利用意向

### (1) 個人型確定拠出年金の認知〔Q14⑤:単数回答〕

〔図 9-3〕 \* 2020年属性別



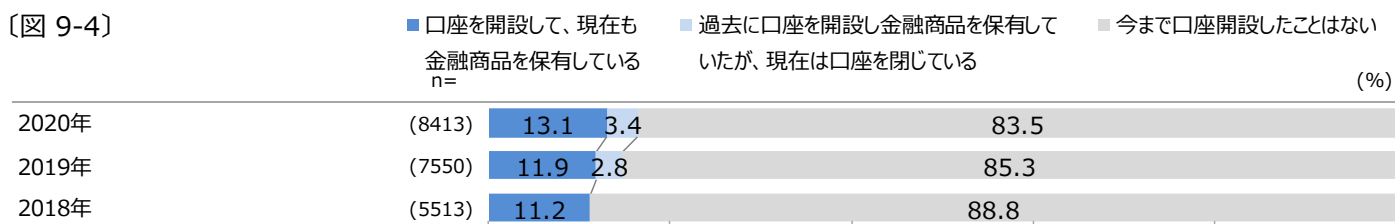
## 9. 個人型確定拠出年金(iDeCo)の浸透状況、今後の利用意向

### (2) 個人型確定拠出年金の利用状況(60歳未満の制度認知者)

〔Q15\_2②:単数回答〕

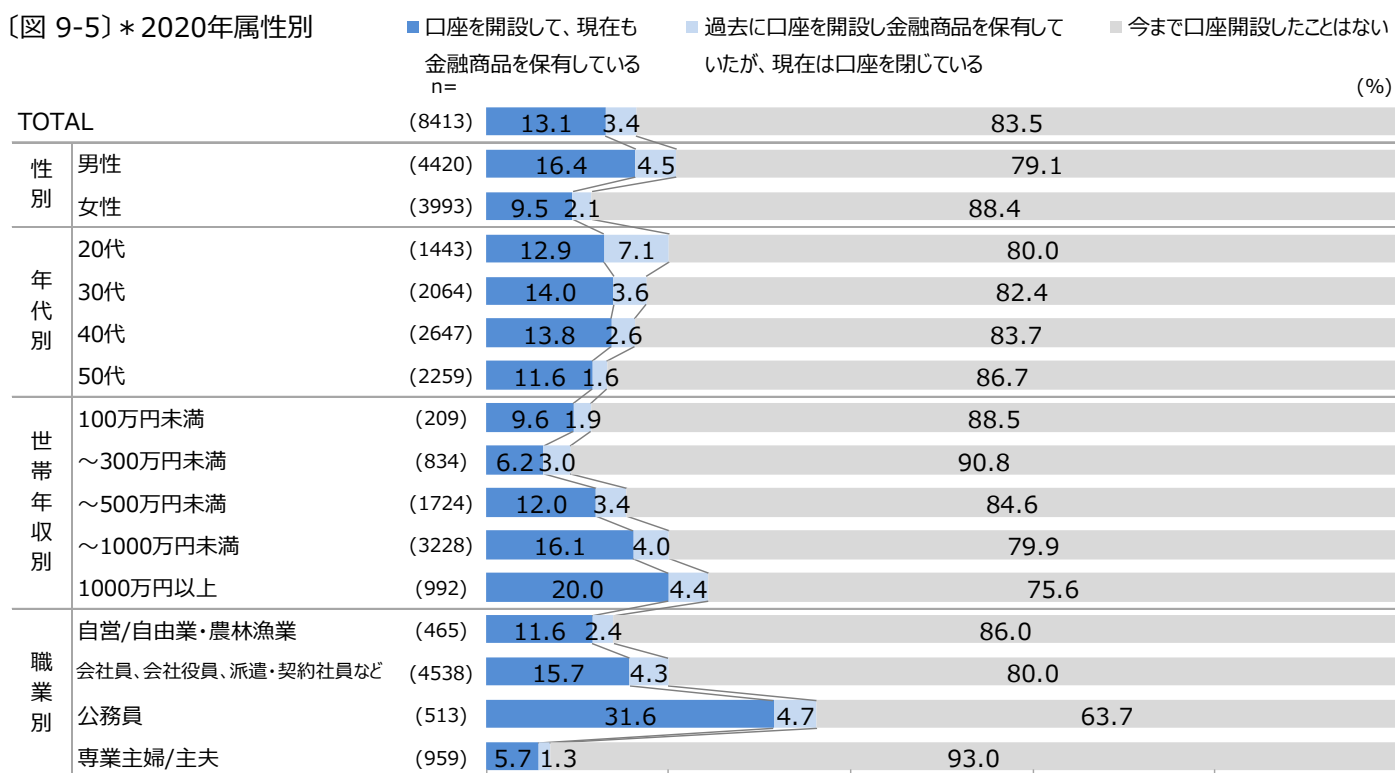
- 個人型確定拠出年金認知者のうち、口座開設率は13.1%。83.5%が口座未開設。〔図9-4〕
- 現在金融商品保有率は、男性が女性より6.9ポイント高く、年代で大きな差はみられない。世帯年収別では高年収ほど高い傾向。また、職業では公務員が最も高い。〔図9-5〕
- 投資信託保有状況別でみると、投資信託現在保有層で、個人型確定拠出年金での現在金融商品保有率が高い。〔図9-6〕
- 個人型確定拠出年金での現在金融商品保有者の平均年齢は41.3歳。〔図9-7〕

〔図 9-4〕

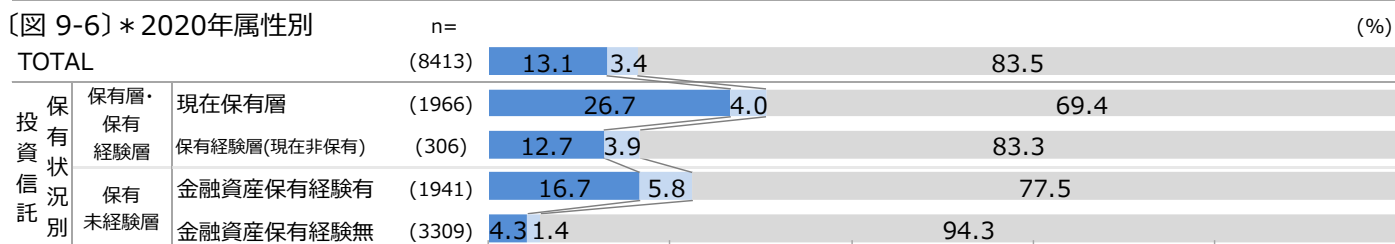


※選択肢「過去に口座を開設し金融商品を保有していたが、現在は口座を閉じている」は2019年より聴取  
 ※2018年は、「口座を開設し金融商品を購入したが、現在は売却し保有していない」「口座を開設したが、まだ金融商品を購入したことはない」を「口座を開設して、現在も金融商品を保有している」に統合して集計

〔図 9-5〕\* 2020年属性別



〔図 9-6〕\* 2020年属性別



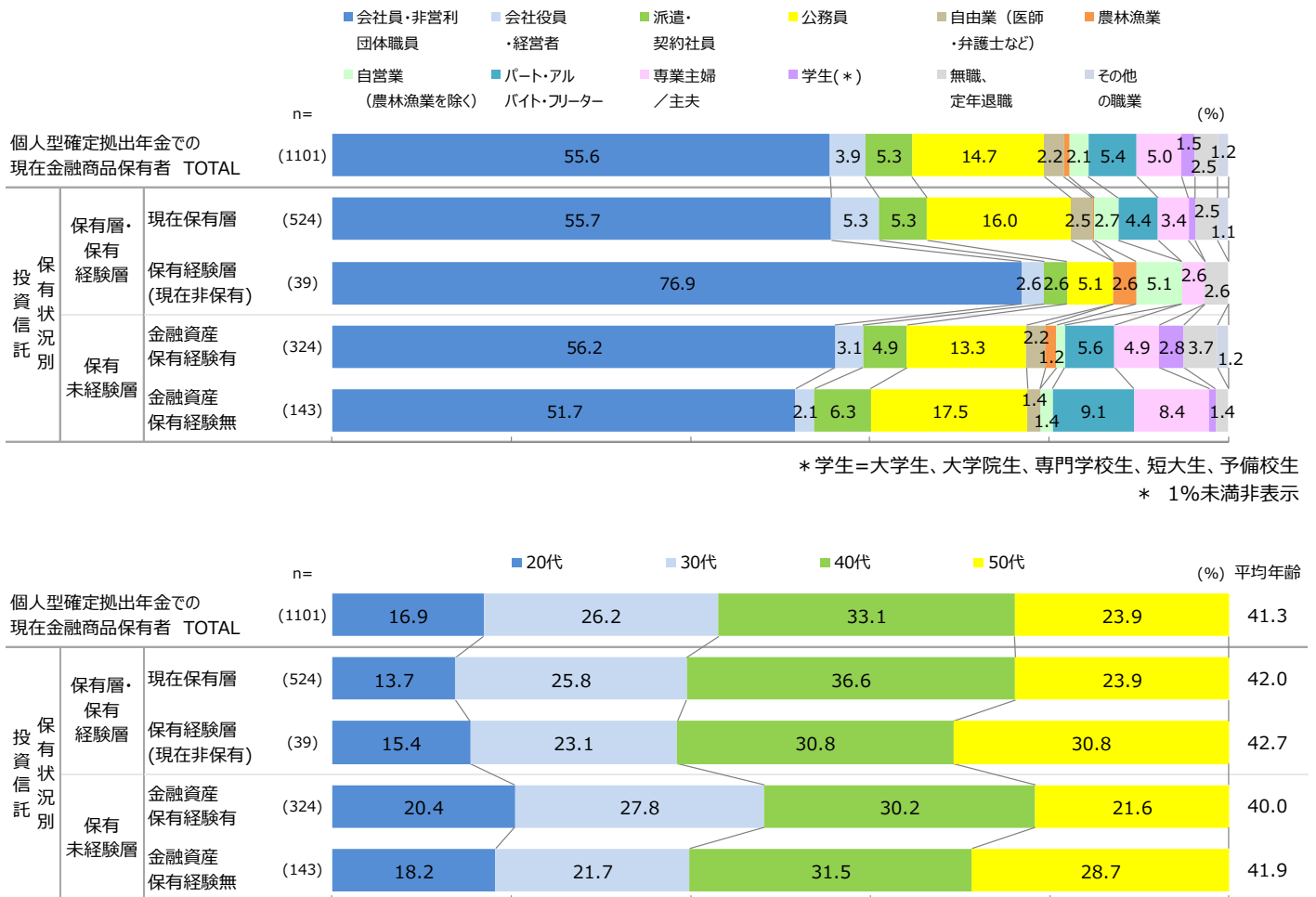


# 9. 個人型確定拠出年金(iDeCo)の浸透状況、今後の利用意向

## (2) 個人型確定拠出年金の利用状況(60歳未満の制度認知者)

〔Q15\_2②:単数回答〕

〔図 9-7〕【個人型確定拠出年金 現在金融商品保有者の年代／職業 投信保有状況別】\* 2020年属性別



## 9. 個人型確定拠出年金(iDeCo)の浸透状況、今後の利用意向

### (3) 個人確定拠出年金での保有金融商品(60歳未満で、個人型確定拠出年金での現在金融商品保有者)[Q16\_3②:重複回答]

- 個人型確定拠出年金での保有金融商品は、「投資信託計\*」が67.8%で前回より7.4ポイント増加。「国内株式/外国株式に主に投資する投資信託」の保有率が30%以上と高い。「外国株式に主に投資する投資信託」は前回より6.6ポイント増加。〔図9-8〕

\* 2018年からの変動は調査パネル変更の影響も考えられる

- 年代別で見ると、30代で「投資信託計\*」が74.0%と高く、「国内株式/外国株式に主に投資する投資信託」の保有率がやや高い。職業別で見ると、専業主婦/主夫では、「投資信託計\*」が他職業に比べて低い。〔図9-9〕

\* 投資信託計・・・「国内債券に主に投資～様々な資産に投資する投資信託」のいずれかを保有している者の割合

〔図 9-8〕

	n=	定期預金	保険商品	投資信託計(*)	投資信託計(*)						その他	わからない・答えたくない
					国内債券に主に投資する投資信託	外国債券に主に投資する投資信託	国内株式に主に投資する投資信託	外国株式に主に投資する投資信託	不動産に主に投資する投資信託(除くJリート)	様々な資産に投資する投資信託		
2020年	(1101)	29.8	7.1	67.8	22.0	20.4	31.6	36.9	8.2	12.1	1.9	11.3
2019年	(897)	34.3	9.0	60.4	23.7	17.8	33.3	30.3	9.4	13.3	2.3	13.4
2018年	(615)	48.4	14.2	45.2	19.5	15.1	27.2	25.9	5.9	10.7	1.3	7.3

※2018年は、「口座を開けし金融商品を購入したが、現在は売却し保有していない」「口座を開けしたが、まだ金融商品を購入したことはない」を「口座を開けして、現在も金融商品を保有している」に統合して集計し、「定期預金」「保険商品」は案分算出している

〔図 9-9〕

\* 2020年属性別

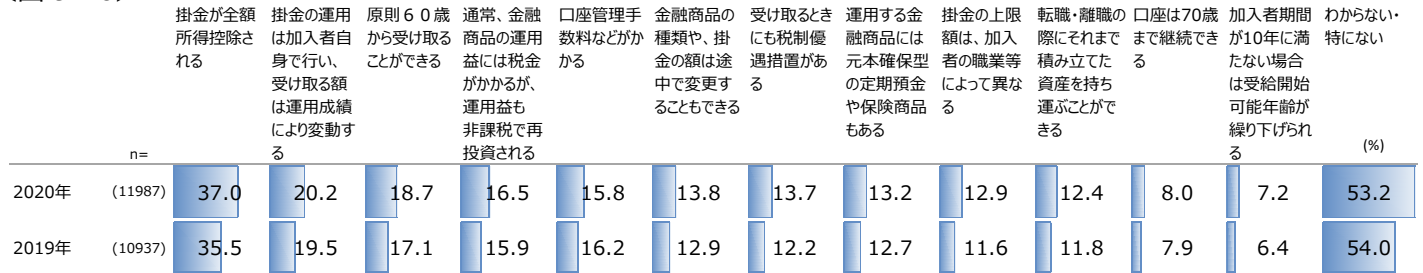
	n=	定期預金	保険商品	投資信託計(*)	投資信託計(*)						その他	わからない・答えたくない
					国内債券に主に投資する投資信託	外国債券に主に投資する投資信託	国内株式に主に投資する投資信託	外国株式に主に投資する投資信託	不動産に主に投資する投資信託(除くJリート)	様々な資産に投資する投資信託		
TOTAL	(1101)	29.8	7.1	67.8	22.0	20.4	31.6	36.9	8.2	12.1	1.9	11.3
性別												
男性	(723)	29.9	6.8	71.9	21.7	20.7	33.1	39.8	9.7	13.4	1.4	7.6
女性	(378)	29.6	7.7	60.1	22.5	19.8	28.8	31.2	5.3	9.5	2.9	18.3
年代別												
20代	(186)	34.4	12.9	62.9	23.1	21.5	21.0	28.0	8.6	7.5	1.6	10.8
30代	(288)	25.7	6.6	74.0	23.6	22.9	34.7	40.3	8.7	9.7	1.0	9.7
40代	(364)	26.9	5.2	67.3	20.3	19.5	31.3	43.1	8.8	13.2	1.6	14.8
50代	(263)	35.0	6.1	65.4	21.7	18.3	36.1	30.8	6.5	16.3	3.4	8.4
世帯年収別												
100万円未満	(20)	55.0	10.0	50.0	15.0	15.0	25.0	20.0	5.0	5.0	0.0	15.0
～300万円未満	(52)	34.6	7.7	59.6	17.3	13.5	26.9	21.2	7.7	9.6	3.8	17.3
～500万円未満	(207)	29.0	7.7	70.0	22.2	22.2	30.4	43.0	10.6	8.2	4.3	9.2
～1000万円未満	(520)	28.7	6.3	69.6	22.9	22.3	33.8	36.7	7.3	12.5	1.5	9.2
1000万円以上	(198)	28.8	8.6	73.7	26.3	21.2	34.8	42.9	10.1	18.2	0.0	7.6
職業別												
自営/自由業・農林漁業	(54)	22.2	3.7	68.5	24.1	24.1	22.2	33.3	3.7	13.0	0.0	13.0
会社員、会社役員、派遣・契約社員など	(713)	29.0	8.1	70.7	23.6	22.2	33.4	37.4	9.4	13.6	1.5	9.3
公務員	(162)	30.9	3.1	66.0	21.0	18.5	33.3	40.1	7.4	8.0	2.5	10.5
専業主婦/主夫	(55)	27.3	3.6	56.4	21.8	14.5	32.7	30.9	1.8	5.5	5.5	23.6

## 9. 個人型確定拠出年金(iDeCo)の浸透状況、今後の利用意向

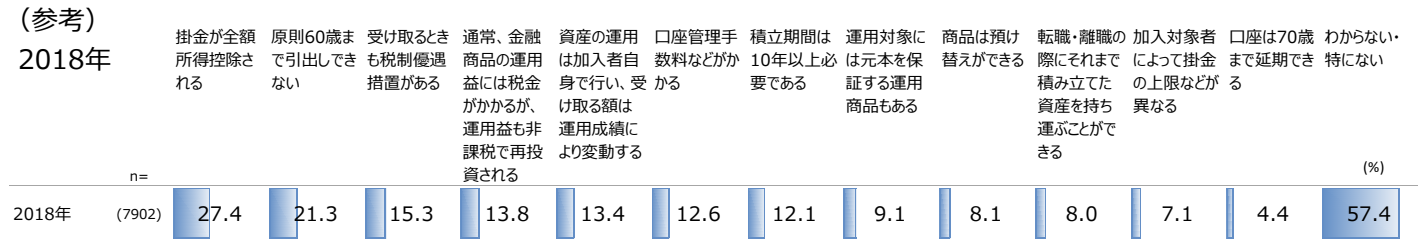
### (4) 個人型確定拠出年金の特徴認知(制度認知者全体)[Q27①:複数回答]

- 個人型確定拠出年金の特徴では、「掛金が全額所得控除される」(37.0%)が最も高く、「掛金の運用は加入者自身で行い、受け取る額は運用成績により変動する」(20.2%)が続く。〔図9-10〕
- 年代別でみると、他の年代に比べて30代の認知率がやや高い項目が多い。〔図9-11〕

〔図 9-10〕



(参考)  
2018年



※2018年は選択肢が異なるため、時系列比較は参考値

〔図 9-11〕 \* 2020年属性別



## 9. 個人型確定拠出年金(iDeCo)の浸透状況、今後の利用意向

### (5) 個人型確定拠出年金の特徴認知(60歳未満の制度認知者)

〔Q27①:複数回答〕

- 60歳未満で個人型確定拠出年金認知者に絞ってみると、同制度の特徴認知率は「掛金が全額所得控除される」(40.6%)が最も高く、「掛金の運用は加入者自身で行い、受け取る額は運用成績により変動」(21.4%)、「原則60歳から受け取ることができる」(21.0%)が続く。他の項目は2割未満となっている。〔図9-12〕

- 世帯年収別では高年収層ほど各項目で認知率が高い傾向。職業別では、公務員で「掛金が全額所得控除される」が6割弱と高い。専業主婦/主夫ではいずれの項目も認知率が低い。〔図9-13〕

〔図9-12〕

	n=	掛金が全額所得控除される	掛金の運用は加入者自身で行い、受け取る額は運用成績により変動する	原則60歳から受け取ることができる	通常、金融商品の運用益には税金がかかるが、運用益も非課税で再投資される	口座管理手数料などがかる	金融商品の種類や、掛金の額は途中で変更することもできる	掛金の上限額は、加入者の職業等によって異なる	運用する金融商品には元本確保型の定期預金や保険商品もある	受け取る時も税制優遇措置がある	転職・離職の際にそれまで積み立てた資産を持ち運ぶことができる	加入者期間が10年に満たない場合は受給開始可能年齢が繰り下げられる	口座は70歳まで継続できる	わからない	(%)
2020年	(8413)	40.6	21.4	21.0	18.0	17.2	15.4	15.2	14.8	14.7	13.6	8.0	8.0	48.3	
2019年	(7550)	38.1	20.1	18.7	16.5	17.1	13.9	13.9	13.6	12.5	12.3	7.0	7.8	50.6	

(参考) 2018年

	n=	掛金が全額所得控除される	原則60歳未満で引出しできない	受け取る時も税制優遇措置がある	通常、金融商品の運用益には税金がかかるが、運用益も非課税で再投資される	口座管理手数料などがかる	資産の運用は加入者自身で行い、受け取る額は運用成績により変動する	積立期間は10年以上必要である	運用対象には元本を保障する運用商品もある	商品は預け替えができる	転職・離職の際にそれまで積み立てた資産を持ち運ぶことができる	加入対象者が10年以上経過した掛金の上限などがある	口座は70歳まで継続できる	わからない	(%)
2018年	(5513)	29.4	24.5	16.1	14.9	14.2	13.9	13.3	10.4	9.4	8.7	8.3	4.6	55.3	

※2018年は選択肢が異なるため、時系列比較は参考値

〔図9-13〕 \* 2020年属性別

	n=	掛金が全額所得控除される	掛金の運用は加入者自身で行い、受け取る額は運用成績により変動する	原則60歳から受け取ることができる	通常、金融商品の運用益には税金がかかるが、運用益も非課税で再投資される	口座管理手数料などがかる	金融商品の種類や、掛金の額は途中で変更することもできる	掛金の上限額は、加入者の職業等によって異なる	運用する金融商品には元本確保型の定期預金や保険商品もある	受け取る時も税制優遇措置がある	転職・離職の際にそれまで積み立てた資産を持ち運ぶことができる	加入者期間が10年に満たない場合は受給開始可能年齢が繰り下げられる	口座は70歳まで継続できる	わからない	(%)
TOTAL	(8413)	40.6	21.4	21.0	18.0	17.2	15.4	15.2	14.8	14.7	13.6	8.0	8.0	48.3	
世帯年収別															
100万円未満	(209)	26.3	16.3	13.9	9.6	11.5	9.1	8.1	8.1	7.7	8.1	4.3	6.2	62.2	
~300万円未満	(834)	27.6	12.6	13.8	10.2	10.4	8.9	7.3	8.0	8.3	8.0	4.8	5.3	60.6	
~500万円未満	(1724)	41.4	21.1	21.4	16.7	16.9	14.6	14.9	13.5	15.1	13.1	7.4	7.2	46.5	
~1000万円未満	(3228)	47.0	25.4	24.4	22.1	19.6	18.6	18.5	17.5	17.6	15.9	9.4	9.1	40.8	
1000万円以上	(992)	53.9	31.9	28.3	27.6	26.5	23.9	23.6	25.3	21.6	21.9	13.8	14.4	35.0	
職業別															
自営/自由業・農林漁業	(465)	37.2	18.5	16.3	15.9	15.9	13.8	14.4	12.3	12.9	9.9	7.3	7.7	51.6	
会社員、会社役員、派遣・契約社員など	(4538)	47.3	25.0	23.8	21.4	19.6	18.2	17.5	17.7	16.8	17.1	9.4	9.2	40.5	
会社員、会社役員、派遣・契約社員など(企業型DC現在非加入層)	(2636)	48.3	26.1	26.1	22.6	22.0	19.3	19.4	18.9	18.9	17.9	10.6	10.2	40.1	
公務員	(513)	57.7	34.3	30.4	29.2	28.7	22.4	28.8	22.4	24.4	17.5	13.8	12.7	33.3	
専業主婦/主夫	(959)	27.8	13.3	15.8	10.7	10.8	10.8	9.3	9.6	10.1	8.8	3.6	4.5	63.2	

〔図9-14〕 \* 2020年属性別

	n=	掛金が全額所得控除される	掛金の運用は加入者自身で行い、受け取る額は運用成績により変動する	原則60歳から受け取ることができる	通常、金融商品の運用益には税金がかかるが、運用益も非課税で再投資される	口座管理手数料などがかる	金融商品の種類や、掛金の額は途中で変更することもできる	掛金の上限額は、加入者の職業等によって異なる	運用する金融商品には元本を保障する運用商品もある	受け取る時も税制優遇措置がある	転職・離職の際にそれまで積み立てた資産を持ち運ぶことができる	加入者期間が10年に満たない場合は受給開始可能年齢が繰り下げられる	口座は70歳まで継続できる	わからない	(%)
TOTAL	(8413)	40.6	21.4	21.0	18.0	17.2	15.4	15.2	14.8	14.7	13.6	8.0	8.0	48.3	
個人型DC認知別															
商品内容認知層	(2848)	71.8	44.0	43.8	39.8	37.0	34.9	34.6	33.6	33.5	30.9	19.1	17.9	15.6	
個人型DC認知別															
口座開設層	(1101)	76.7	51.7	45.8	41.4	44.4	42.0	43.1	41.6	38.0	37.1	22.9	22.2	11.1	
個人型DC認知別															
口座開設経験層(現在非開設)	(283)	55.8	37.8	21.6	27.6	17.0	22.6	23.0	24.4	17.3	18.4	15.2	10.2	15.5	
個人型DC認知別															
認知・口座非開設層	(7029)	34.4	16.0	17.1	13.9	12.9	11.0	10.5	10.2	11.0	9.7	5.4	5.7	55.4	

# 9. 個人型確定拠出年金(iDeCo)の浸透状況、今後の利用意向

## (6) 個人型確定拠出年金の魅力点(60歳未満の者)[Q27②:重複回答]

- 個人型確定拠出年金の魅力点では、「掛金が全額所得控除される」(30.4%)が最も高く、それ以外の項目は10%未満にとどまる。〔図9-15〕
- いずれの属性でも「掛金が全額所得控除される」が最も高い。〔図9-16〕〔図9-17〕

〔図 9-15〕

	n=	掛金が全額所得控除される	通常、金融商品の運用益には税金がかかるが、運用益も非課税で再投資される	受け取るときにも税制優遇措置がある	金融商品の種類や、掛金の額は途中で変更することもできる	運用する金融商品には元本確保型の定期預金や保険商品もある	掛金の運用は加入者自身で行い、受け取る額は運用成績により変動する	転職・離職の際にそれぞれ積み立てた資産を持ち運ぶことができる	原則60歳から受け取ることができる	口座は70歳まで継続できる	掛金の上限額は、加入者の職業等によって異なる	加入者期間が10年に満たない場合は受給開始可能年齢が繰り下げられる	口座管理手数料などがかかる	わからない・特にな
2020年	(13156)	30.4	9.9	6.8	6.2	5.6	5.2	5.2	4.4	3.4	2.4	1.8	1.3	59.5
2019年	(13188)	26.7	8.7	5.7	5.3	5.3	4.2	4.7	4.1	3.4	2.5	1.5	1.2	63.4

(参考) 2018年

	n=	掛金が全額所得控除される	受け取るときにも税制優遇措置がある	通常、金融商品の運用益には税金がかかるが、運用益も非課税で再投資される	運用対象には元本を確保する運用商品もある	商品は預け替えができる	転職・離職の際にそれぞれ積み立てた資産を持ち運ぶことができる	資産の運用は加入者自身で行い、受け取る額は運用成績により変動する	原則60歳まで引出しできない	口座は70歳まで継続できる	積立期間は10年以上必要である	加入者期間によって掛金の上限などが異なる	口座管理手数料などがかかる	わからない・特にな
2018年	(13282)	18.7	8.9	8.7	5.9	3.3	3.3	2.2	1.9	1.8	1.7	1.0	0.8	72.4

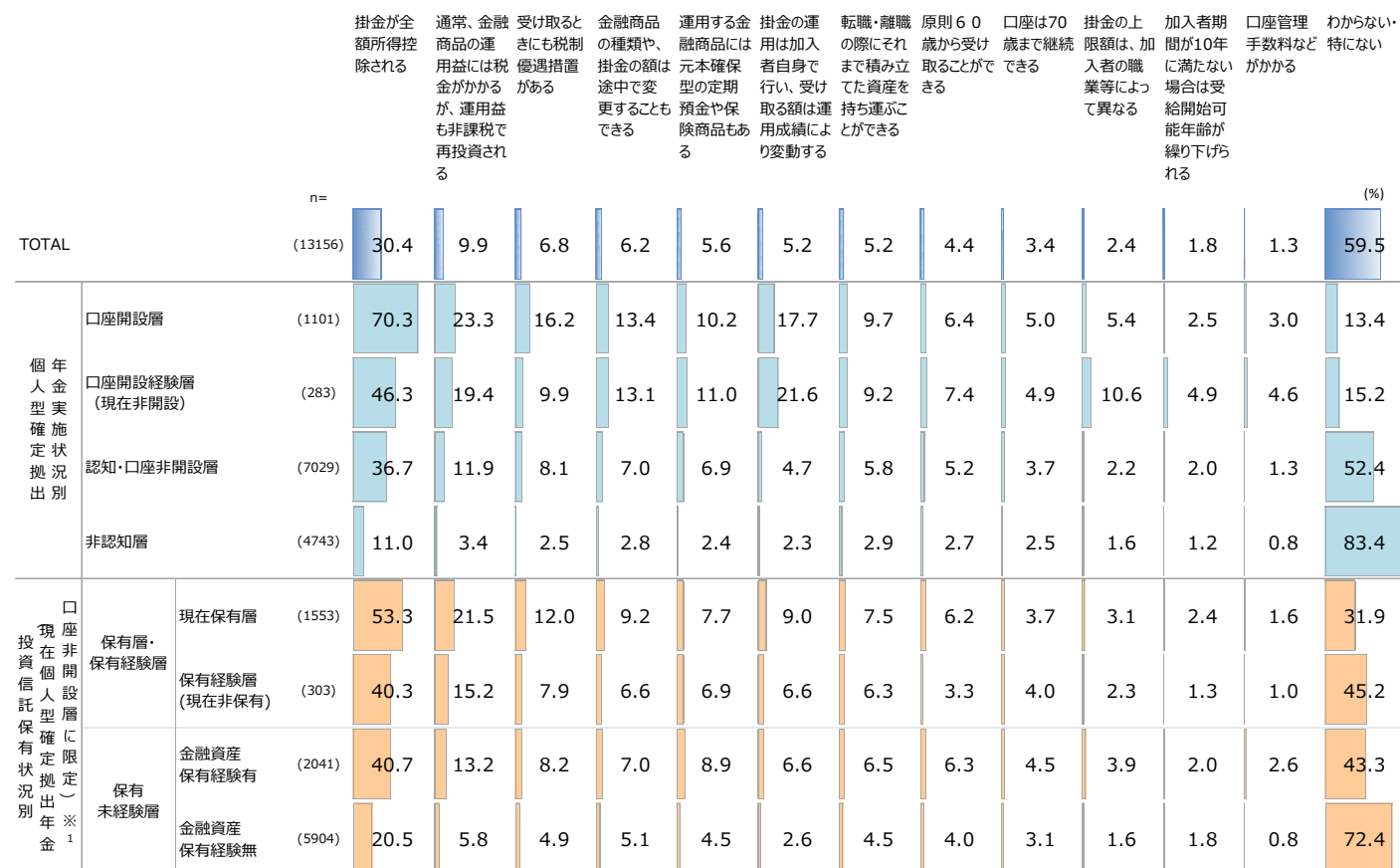
〔図 9-16〕 \* 2020年属性別

	n=	掛金が全額所得控除される	通常、金融商品の運用益には税金がかかるが、運用益も非課税で再投資される	受け取るときにも税制優遇措置がある	金融商品の種類や、掛金の額は途中で変更することもできる	運用する金融商品には元本確保型の定期預金や保険商品もある	掛金の運用は加入者自身で行い、受け取る額は運用成績により変動する	転職・離職の際にそれぞれ積み立てた資産を持ち運ぶことができる	原則60歳から受け取ることができる	口座は70歳まで継続できる	掛金の上限額は、加入者の職業等によって異なる	加入者期間が10年に満たない場合は受給開始可能年齢が繰り下げられる	口座管理手数料などがかかる	わからない・特にな
TOTAL	(13156)	30.4	9.9	6.8	6.2	5.6	5.2	5.2	4.4	3.4	2.4	1.8	1.3	59.5
性別														
男性	(6695)	33.5	11.9	7.0	6.1	5.7	7.0	5.6	4.3	3.6	3.3	1.9	1.9	55.1
女性	(6461)	27.3	7.9	6.5	6.2	5.6	3.4	4.8	4.6	3.3	1.5	1.7	0.8	64.1
年代別														
20代	(2597)	27.6	10.1	6.5	7.7	6.3	7.2	7.0	5.1	4.3	4.0	3.0	1.9	58.2
30代	(3119)	34.5	11.5	6.8	6.9	5.9	5.9	6.3	4.3	3.0	2.9	1.8	1.5	54.2
40代	(4014)	31.4	9.8	7.2	5.7	5.2	4.9	4.5	4.1	3.2	2.1	1.4	1.1	59.5
50代	(3426)	27.8	8.6	6.5	4.8	5.5	3.6	3.5	4.4	3.4	1.3	1.4	0.9	65.4
世帯年収別														
100万円未満	(457)	19.9	6.6	5.9	4.6	4.8	3.1	4.2	4.2	5.0	2.0	2.2	1.5	72.9
~300万円未満	(1473)	20.7	6.6	5.0	5.4	5.4	2.7	4.7	4.3	3.1	1.4	1.3	0.8	70.0
~500万円未満	(2632)	32.9	10.6	7.7	7.1	6.1	6.0	5.4	4.9	3.6	2.8	2.1	1.8	55.8
~1000万円未満	(4360)	38.3	13.0	8.2	7.3	6.8	6.8	6.1	5.2	3.5	3.0	2.0	1.6	49.0
1000万円以上	(1238)	45.7	15.3	9.5	7.5	7.3	8.4	7.1	6.3	4.6	4.0	3.1	1.9	42.1
職業別														
自営/自由業・農林漁業	(756)	27.6	11.1	6.2	4.8	6.5	4.8	3.4	5.0	4.4	3.3	2.1	2.0	61.5
会社員、会社役員、派遣・契約社員など	(6442)	36.7	11.8	7.4	7.0	6.4	6.6	6.3	4.7	3.3	3.0	2.0	1.6	51.8
会社員、会社役員、派遣・契約社員など(企業型DC現在非加入層)	(2767)	46.9	15.4	10.3	9.5	8.5	7.8	7.1	5.6	3.7	3.4	2.6	2.1	40.5
公務員	(651)	46.7	15.1	10.9	7.1	6.1	10.1	5.7	4.6	3.1	3.2	1.8	2.0	42.9
専業主婦/主夫	(1640)	20.7	6.0	5.5	4.7	5.2	2.5	3.2	3.5	2.8	1.0	1.2	0.5	71.3

## 9. 個人型確定拠出年金(iDeCo)の浸透状況、今後の利用意向

### (6) 個人型確定拠出年金の魅力点(60歳未満の者)[Q27②:重複回答]

〔図 9-17〕\* 2020年属性別



※1 個人型確定拠出年金非認知層含む

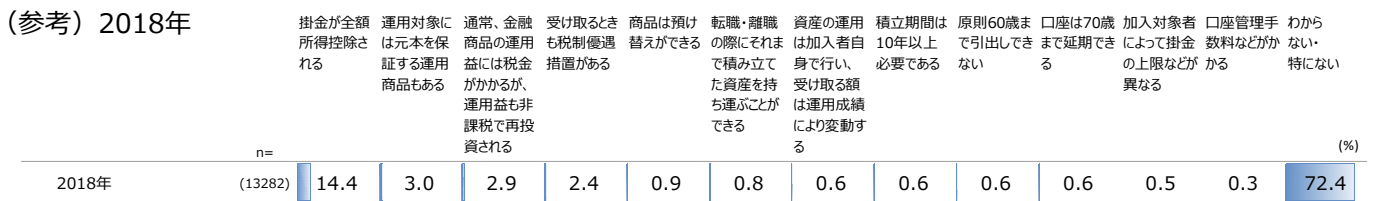
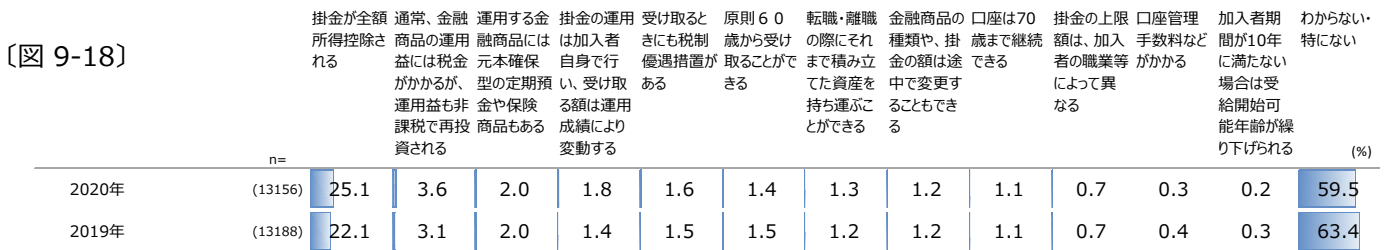
※2 “過去・現在保有の金融資産(Q6①②)”で「不明・回答拒否」の者は、金融資産保有状況が不明の為、「保有層・保有経験層」「保有未経験層」では除外している。



# 9. 個人型確定拠出年金(iDeCo)の浸透状況、今後の利用意向

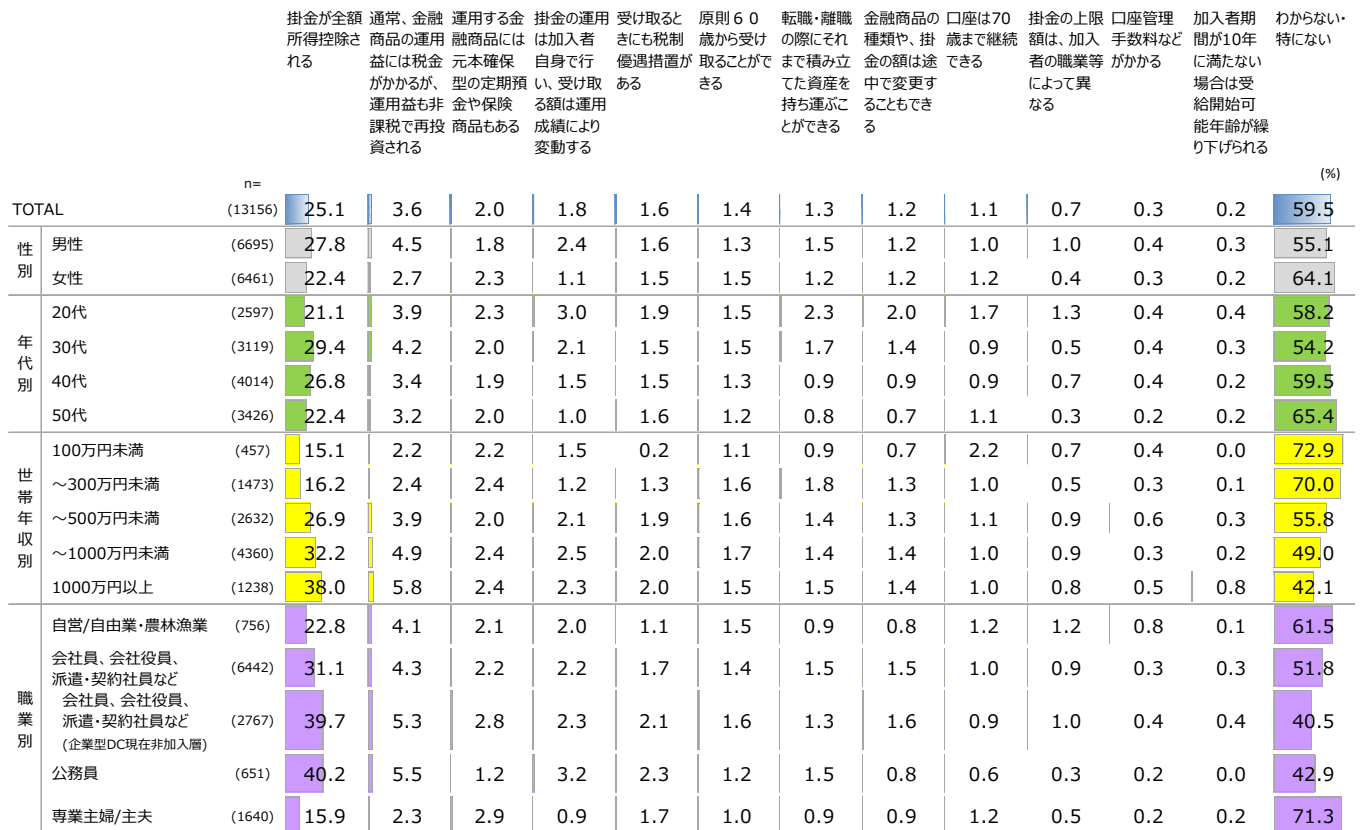
## (6) 個人型確定拠出年金の最魅力点(60歳未満の者)[Q27③:単数回答]

- 個人型確定拠出年金の最魅力点は、魅力点と同様に「掛金が全額所得控除される」(25.1%)が最も高い。他の項目は4%未満となっている。〔図9-18〕
- また、魅力点と同様、いずれの属性でも「掛金が全額所得控除される」が最も高い。〔図9-19〕〔図9-20〕



※2018年は選択肢が異なるため、時系列比較は参考値

〔図 9-19〕 \* 2020年属性別



# 9. 個人型確定拠出年金(iDeCo)の浸透状況、今後の利用意向

## (6) 個人型確定拠出年金の最魅力点(60歳未満の者)[Q27③:単数回答]

[図 9-20] \* 2020年属性別

		n=	掛金が全額所得控除される	通常、金融商品の運用益にかかるが、運用益も非課税で再投資される	運用する金融商品には元本確保型の定期預金や保険商品もある	掛金の運用は加入者自身で行い、受け取る額は運用成績により変動する	受け取るときにも税制優遇措置がある	原則60歳から受け取ることができ	転職・離職の際にそれまで積み立てた資産を持ち運ぶことができる	金融商品の種類や、掛金の額は途中で変更することもできる	口座は70歳まで継続できる	掛金の上限額は、加入者の職業等によって異なる	口座管理手数料などがかる	加入者期間が10年に満たない場合は支給開始可能年齢が繰り下げられる	わからない・特にならない	
TOTAL		(13156)	25.1	3.6	2.0	1.8	1.6	1.4	1.3	1.2	1.1	0.7	0.3	0.2	59.5	
個人型確定拠出状況別	口座開設層	(1101)	61.9	6.3	1.6	5.8	2.6	1.4	1.5	1.6	1.2	1.6	0.8	0.1	13.4	
	口座開設経験層(現在非開設)	(283)	39.9	8.5	3.5	12.7	1.8	2.5	2.5	3.9	1.4	4.9	1.4	1.8	15.2	
	認知・口座非開設層	(7029)	30.3	4.7	2.7	1.3	2.1	1.7	1.4	1.4	1.1	0.5	0.3	0.3	52.4	
	非認知層	(4743)	8.1	1.2	1.1	0.9	0.6	0.9	1.1	0.7	1.1	0.5	0.2	0.2	83.4	
現在個人型確定拠出年金に限定(※1) 投資信託保有状況別	現在非開設層に限定(※1) 保有層・保有経験層	現在保有層	(1553)	45.1	9.0	2.3	2.7	2.3	1.5	1.4	1.5	0.8	0.6	0.4	0.5	31.9
		保有経験層(現在非保有)	(303)	32.0	7.9	4.3	2.3	2.6	1.3	1.0	1.0	1.7	0.7	0.0	0.0	45.2
	保有層・保有経験層	金融資産保有経験有	(2041)	32.7	6.2	3.6	2.7	2.3	2.0	1.7	1.9	1.1	1.5	0.8	0.2	43.3
		金融資産保有経験無	(5904)	16.2	1.7	1.9	0.8	1.3	1.4	1.4	1.0	1.2	0.4	0.1	0.2	72.4

※1 個人型確定拠出年金非認知層含む

※2 “過去・現在保有の金融資産(Q6①②)”で「不明・回答拒否」の者は、金融資産保有状況が不明の為、「保有層・保有経験層」「保有未経験層」では除外している。



## 9. 個人型確定拠出年金(iDeCo)の浸透状況、今後の利用意向

### (7) 個人型確定拠出年金の口座開設・投資性商品未購入理由および口座未開設理由 (60歳未満の口座開設・投資性商品未購入、口座未開設層)〔Q25:重複回答〕

- 個人型確定拠出年金で投資性商品(定期預金・保険を除く商品)未購入や口座未開設の理由は、「投資に回すお金がない」(24.7%)が最も高く、「制度の内容を知らないから」(19.5%)が続く。これに次ぐ「投資は元本が保証されない」(17.3%)は、前回より6.0ポイント減少。〔図9-21〕  
\* 2018年からの変動は調査パネル変更の影響も考えられる
- 若年層では、「投資は元本が保証されない」が低いものの、「制度内容を知らない」という理解不足への懸念がやや高い。世帯年収が低い層では、これに加えて「投資に回すお金がない」との経済的理由も高い傾向。また、職業別では、専業主婦/主夫で高い項目が多い傾向。〔図9-22〕

〔図 9-21〕

	n=	投資に回す お金がない から	制度の内容 を知らないか ら	投資は元本 が保証され ないから	投資の知識 がないから ／知識がな いと難しそう だから	制度が複雑 でよく理解で きないから	どの金融商 品を購入し たらよいかわ からないから	企業型確 定拠出年 金に加入し ているので	口座開設の 申込手続き が煩雑で面 倒だから	投資したい 金融商品が ないから	既に十分な 資産があ り、投資は 必要ないか ら	金融機関に 勧められて 口座開設し ただけだから	その他	特に理由は ない	(%)
2020年	(7245)	24.7	19.5	17.3	17.1	15.7	11.1	9.1	8.9	5.1	1.0	0.1	2.8	28.8	
2019年	(6661)	25.2	18.8	23.3	18.1	16.0	10.4	6.6	9.4	5.3	1.0	0.1	2.9	27.0	
2018年	(5141)	22.1	17.6	12.4	17.4	13.4	11.6	8.0	6.0	3.9	1.0	0.3	1.9	34.1	

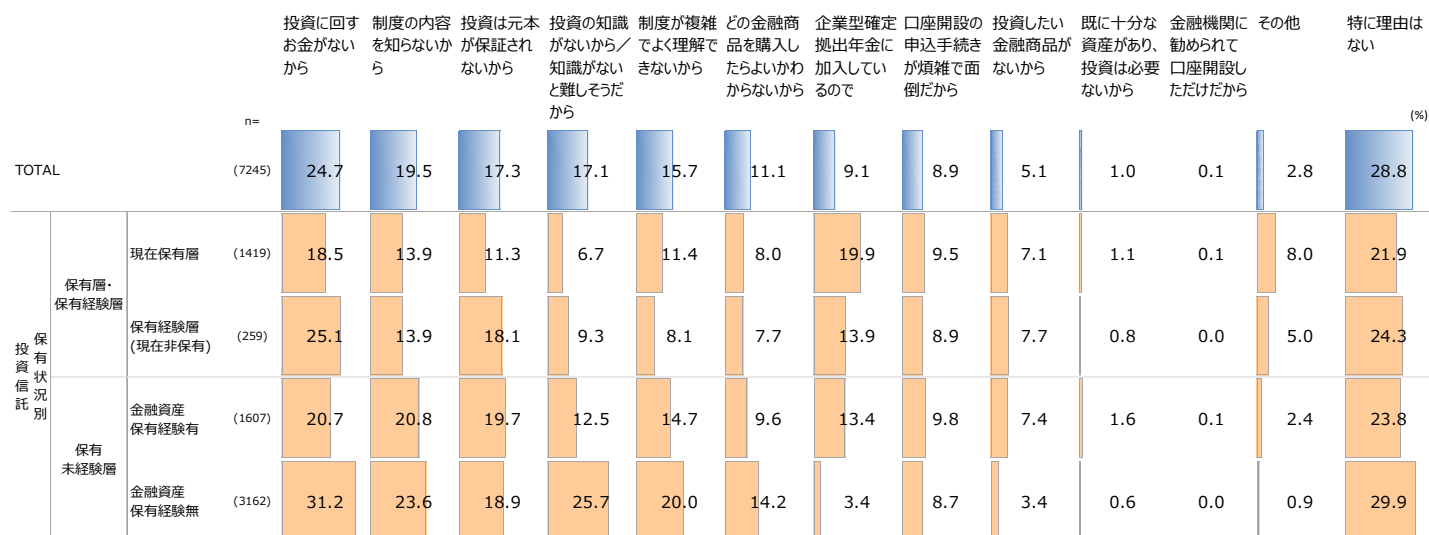
〔図 9-22〕 \* 2020年属性別

	n=	投資に回す お金がない から	制度の内容 を知らないか ら	投資は元本 が保証され ないから	投資の知識 がないから ／知識がな いと難しそう だから	制度が複雑 でよく理解で きないから	どの金融商 品を購入し たらよいかわ からないから	企業型確 定拠出年 金に加入し ているので	口座開設の 申込手続き が煩雑で面 倒だから	投資したい 金融商品が ないから	既に十分な 資産があ り、投資は 必要ないか ら	金融機関に 勧められて 口座開設し ただけだから	その他	特に理由は ない	(%)
TOTAL	(7245)	24.7	19.5	17.3	17.1	15.7	11.1	9.1	8.9	5.1	1.0	0.1	2.8	28.8	
性別															
男性	(3637)	22.4	16.4	15.0	11.6	12.0	8.3	14.3	8.7	5.9	1.3	0.1	2.8	29.7	
女性	(3608)	27.0	22.6	19.6	22.8	19.4	13.9	3.9	9.1	4.4	0.6	0.0	2.7	28.0	
年代別															
20代	(1202)	26.7	25.9	12.5	19.9	17.6	12.0	8.7	9.2	4.7	1.2	0.0	2.5	27.1	
30代	(1746)	25.7	21.6	15.3	17.8	17.4	10.9	11.0	10.5	4.5	0.9	0.1	3.1	26.7	
40代	(2276)	26.6	18.6	18.7	17.8	16.6	12.4	8.7	9.5	5.4	0.7	0.1	2.7	26.4	
50代	(2021)	20.4	14.8	20.4	14.2	11.9	9.2	8.3	6.7	5.6	1.2	0.0	2.8	34.4	
世帯年収別															
100万円未満	(192)	30.7	24.0	21.4	16.1	15.1	12.0	1.6	14.6	8.9	1.0	0.0	2.6	31.3	
～300万円未満	(769)	36.4	25.5	19.8	21.8	19.5	12.7	2.0	10.5	6.1	0.5	0.0	2.5	26.3	
～500万円未満	(1493)	31.8	21.7	17.5	18.5	16.3	11.0	6.2	10.4	5.1	0.9	0.0	3.0	25.6	
～1000万円未満	(2684)	22.1	18.3	18.1	15.3	15.2	11.1	12.5	8.3	4.8	1.2	0.1	3.2	26.3	
1000万円以上	(787)	11.4	14.4	14.6	11.6	12.3	9.4	20.7	7.8	6.5	1.8	0.1	3.3	25.5	
職業別															
自営/自由業・ 農林漁業	(410)	24.6	21.2	16.6	18.0	18.0	9.8	0.5	8.0	8.8	0.7	0.0	4.9	31.7	
会社員、会社役員、 派遣・契約社員など	(3767)	21.1	17.5	15.8	13.2	14.0	10.2	16.5	8.6	5.5	1.0	0.1	2.8	26.9	
公務員	(362)	20.4	14.1	16.6	13.8	11.9	10.8	2.2	8.3	6.1	0.8	0.3	3.6	31.8	
専業主婦/主夫	(901)	25.1	22.0	21.0	22.5	17.4	10.3	1.3	7.8	3.6	0.8	0.0	2.9	32.5	

## 9. 個人型確定拠出年金(iDeCo)の浸透状況、今後の利用意向

### (7) 個人型確定拠出年金の口座開設・投資性商品未購入理由および口座未開設理由 (60歳未満の口座開設・投資性商品未購入、口座未開設層)〔Q25:重複回答〕

〔図 9-23〕 \* 2020年属性別

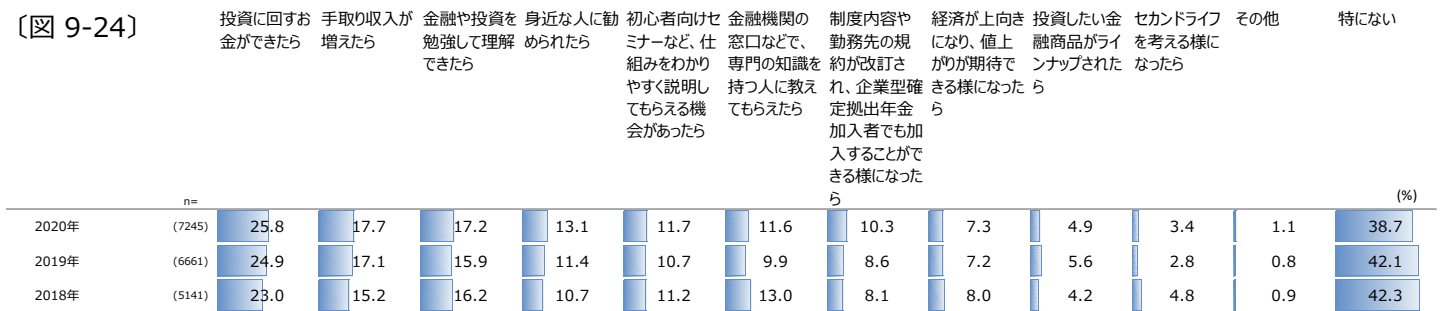


## 9. 個人型確定拠出年金(iDeCo)の浸透状況、今後の利用意向

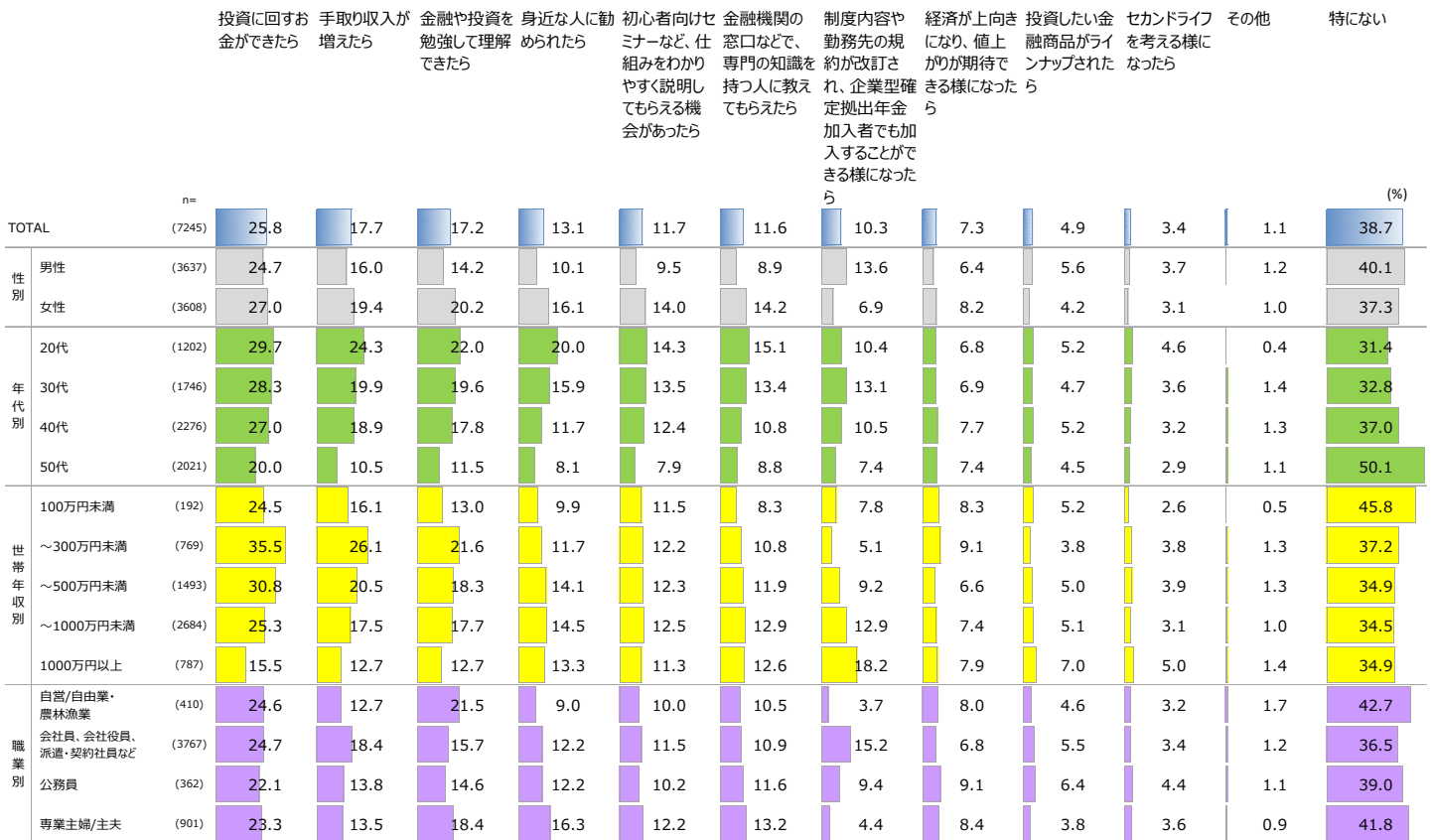
### (8) 個人型確定拠出年金での投資性商品購入および口座開設検討のきっかけ (60歳未満の口座開設・投資性商品未購入、口座未開設層)〔Q26:重複回答〕

- 個人型確定拠出年金での投資性商品(定期預金・保険を除く商品)購入や、口座開設検討のきっかけは、「投資に回すお金ができたら」(25.8%)、「手取り収入が増えたら」(17.7%)と上位2つが経済的な理由となっている。次いで「金融や投資を勉強して理解できたら」(17.2%)と知識不足の解消に関する項目が続く。〔図9-24〕
- 年代別では、若年層ほど「金融や投資を勉強して理解できたら」「身近な人に勧められたら」「初心者向けセミナーなどでわかりやすく説明してもらえたら」「専門の知識を持つ人に教えてもらえたら」など知識習得機会がきっかけになる模様。〔図9-25〕

〔図9-24〕



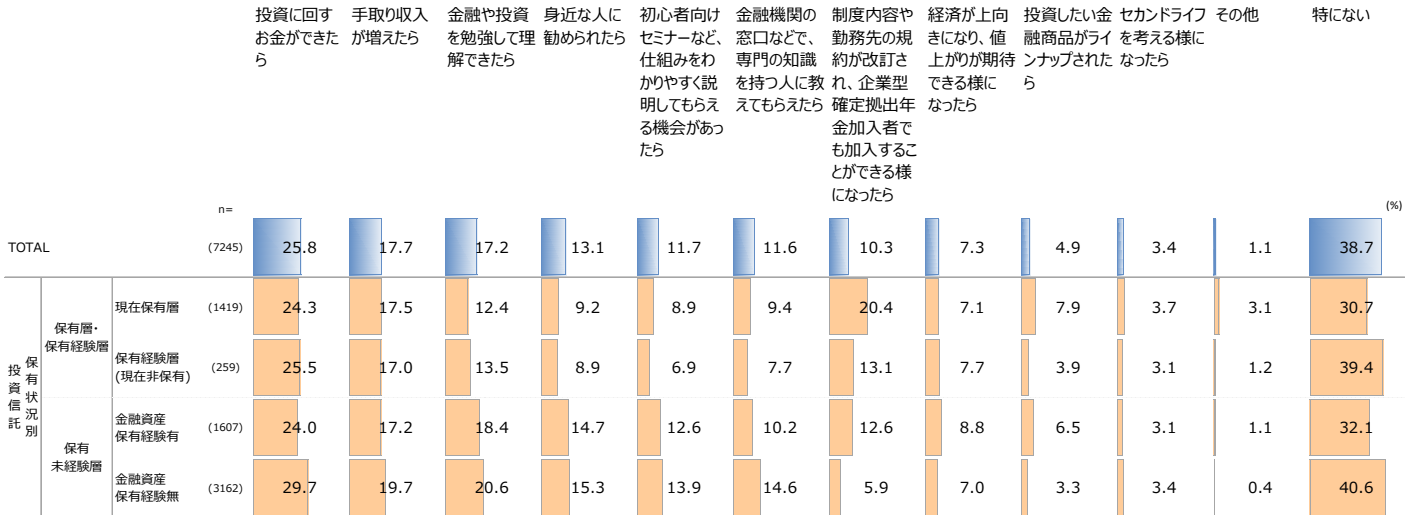
〔図9-25〕 \* 2020年 属性別



## 9. 個人型確定拠出年金(iDeCo)の浸透状況、今後の利用意向

### (8) 個人型確定拠出年金での投資性商品購入および口座開設検討のきっかけ (60歳未満の口座開設・投資性商品未購入、口座未開設層)(Q26:重複回答)

〔図 9-26〕 \* 2020年属性別

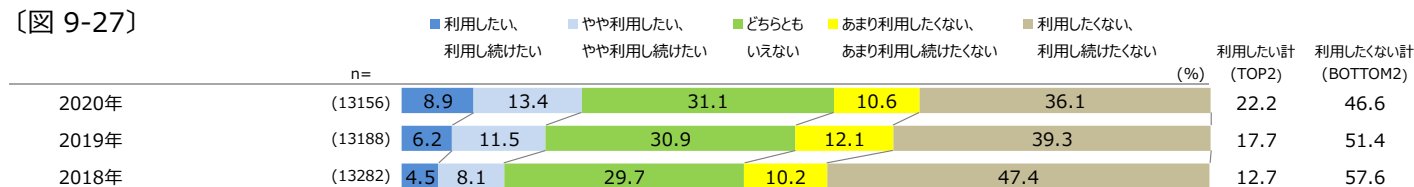


## 9. 個人型確定拠出年金(iDeCo)の浸透状況、今後の利用意向

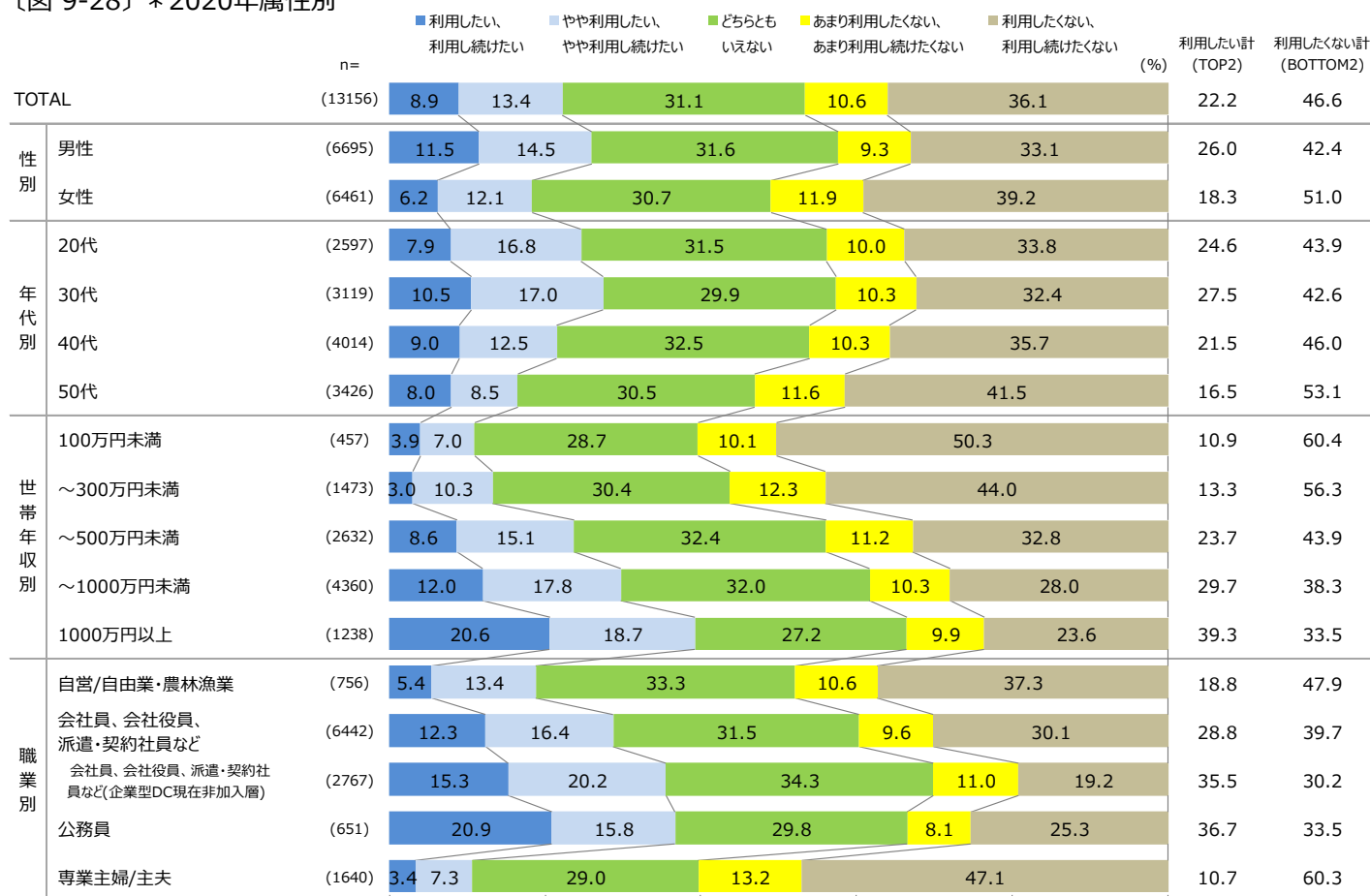
### (9) 個人型確定拠出年金の今後の利用・継続利用意向(60歳未満の者) 〔Q28:単数回答〕

- 個人型確定拠出年金の利用意向は「利用したい計」(TOP2)が22.2%、「利用したくない計」(BOTTOM2)が46.6%と、前回より利用意向がやや増加。〔図9-27〕  
\* 2018年からの変動は調査パネル変更の影響も考えられる
- 「利用したい計」は30代、公務員、会社員など（企業型DC現在非加入層）が他層に比べて高く、世帯年収が上がるほど高くなる。〔図9-28〕
- 個人型確定拠出年金の口座開設層では、「利用したい計」は81.9%と高い。また、口座非開設層を投資信託保有状況別にみると、投資信託現在保有層(34.7%)、保有未経験層(金融資産保有経験有)(28.4%)の利用意向が高い。〔図9-29〕

〔図 9-27〕



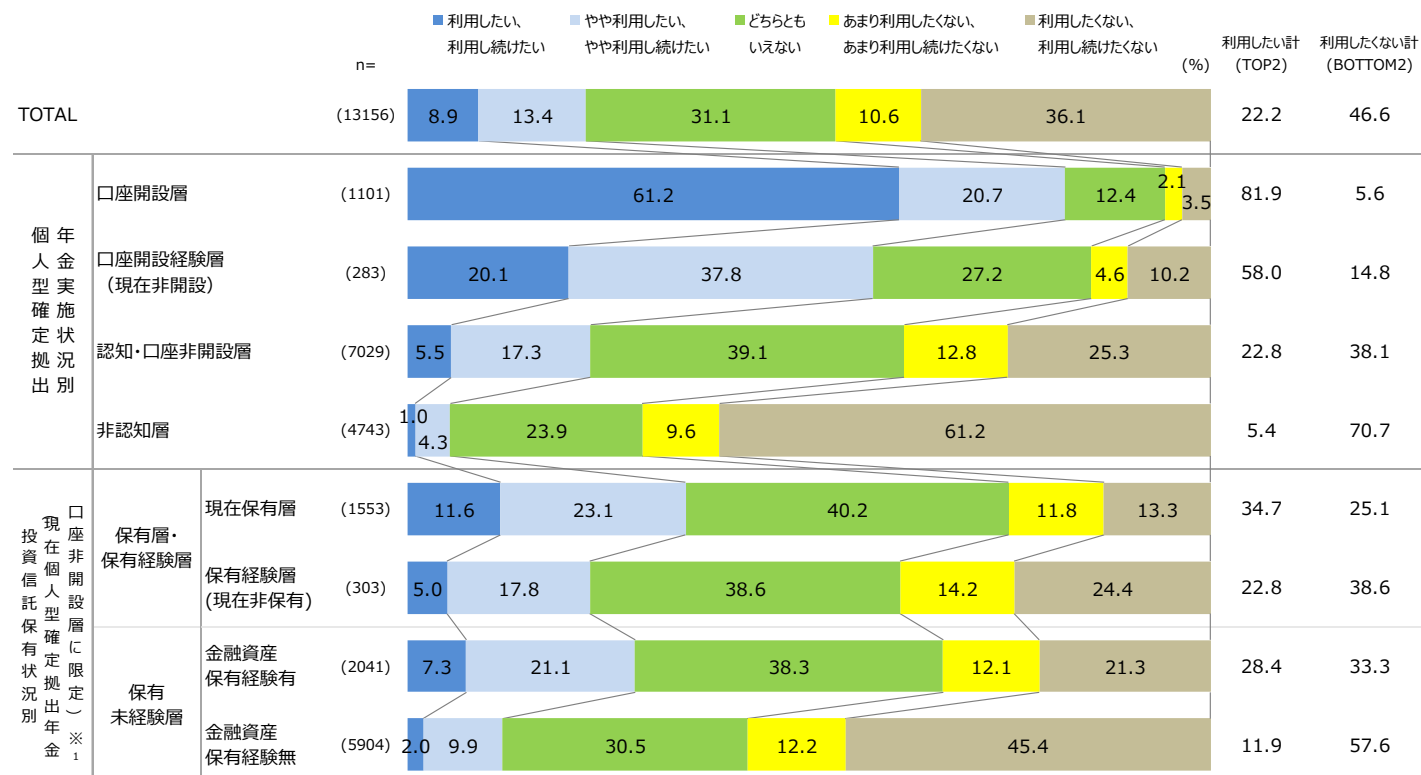
〔図 9-28〕 \* 2020年属性別



## 9. 個人型確定拠出年金(iDeCo)の浸透状況、今後の利用意向

### (9) 個人型確定拠出年金の今後の利用・継続利用意向(60歳未満の者) 〔Q28:単数回答〕

〔図 9-29〕 \* 2020年属性別



※1 個人型確定拠出年金非認知層含む

※2 "過去・現在保有の金融資産(Q6①②)"で「不明・回答拒否」の者は、金融資産保有状況が不明の為、「保有層・保有経験層」「保有未経験層」では除外している。

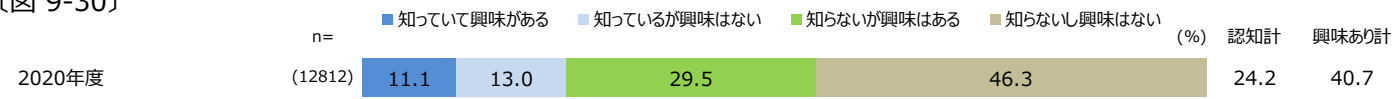
## 9. 個人型確定拠出年金(iDeCo)の浸透状況、今後の利用意向

### (10) 確定拠出年金制度の対象者拡大・受給開始の上限延長に関する認知と興味度 (企業型確定拠出年金・個人型確定拠出年金認知者)〔Q29:単数回答〕

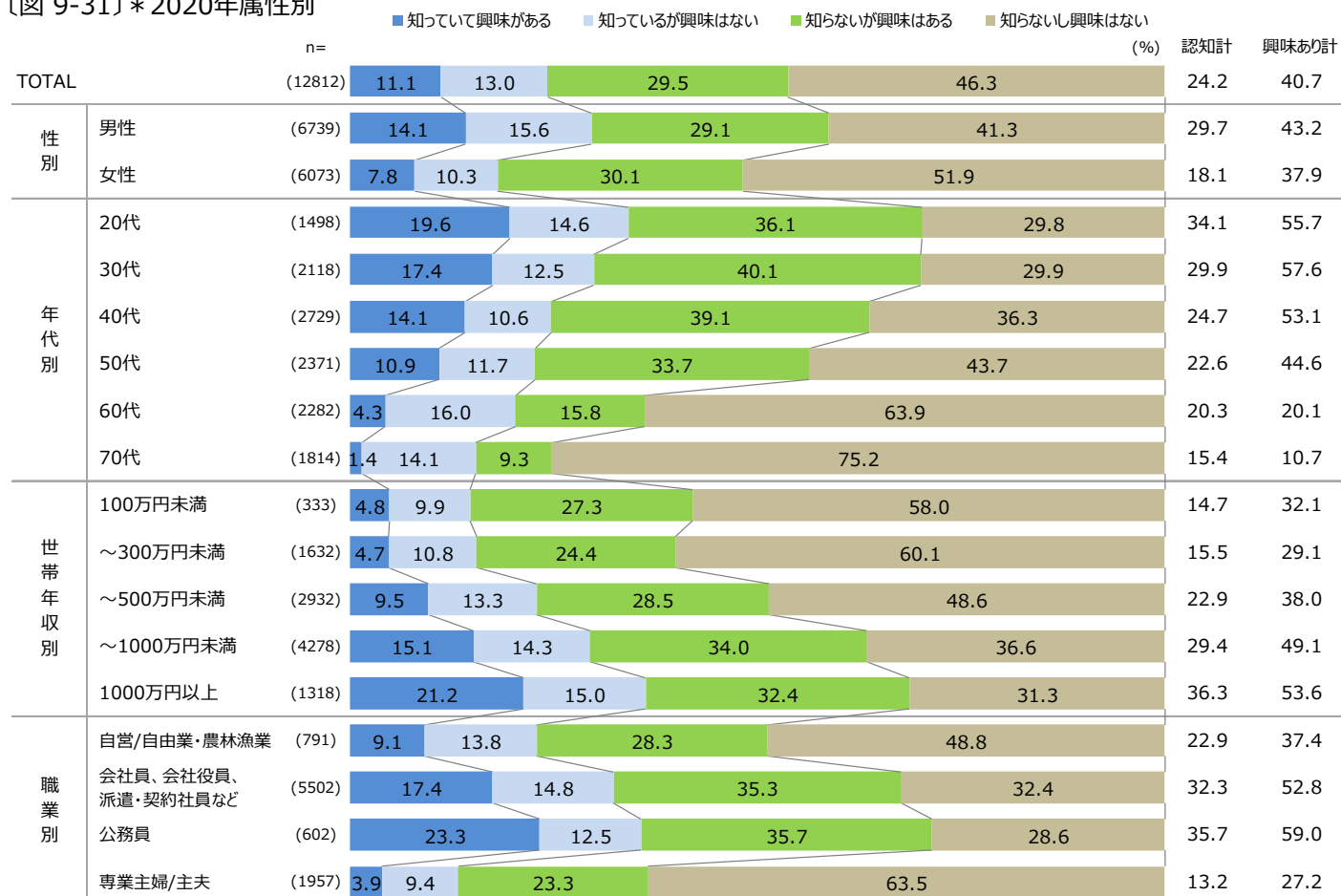
- 企業型確定拠出年金または個人型確定拠出年金認知者における個人型確定拠出年金制度の対象者拡大・受給開始の上限延長に関する認知率(「知っていて興味がある」「知っているが興味はない」)は24.2%、興味度(「知っていて興味がある」「知らないが興味がある」の計)は40.7%。〔図9-30〕  
\* 2018年からの変動は調査パネル変更の影響も考えられる
- 認知率、興味度は、男性の方が高い。年代別では若年層ほど高い傾向にあり、また高年収層ほど高い。職業別では、会社員などや公務員での認知率が3割以上、興味度は5割以上で他層より高い。〔図9-31〕
- 企業型確定拠出年金実施状況別では、口座開設層、口座開設経験層の認知率が5割弱、興味度が6割を超え、他層より高い。個人型確定拠出年金実施状況別では、口座開設層、口座開設経験層の認知率が6割半ば、興味度は口座開設層が8割、口座開設経験層が6割と他層より高い。〔図9-32〕

<設問で提示した制度改革の内容> ・企業型確定拠出年金の加入可能年齢が65歳未満から70歳未満に拡大  
 ・個人型確定拠出年金【iDeCo（イデコ）】の加入可能年齢が60歳未満から65歳未満に拡大  
 ・それぞれの確定拠出年金制度の受給開始上限が75歳に延長

〔図 9-30〕



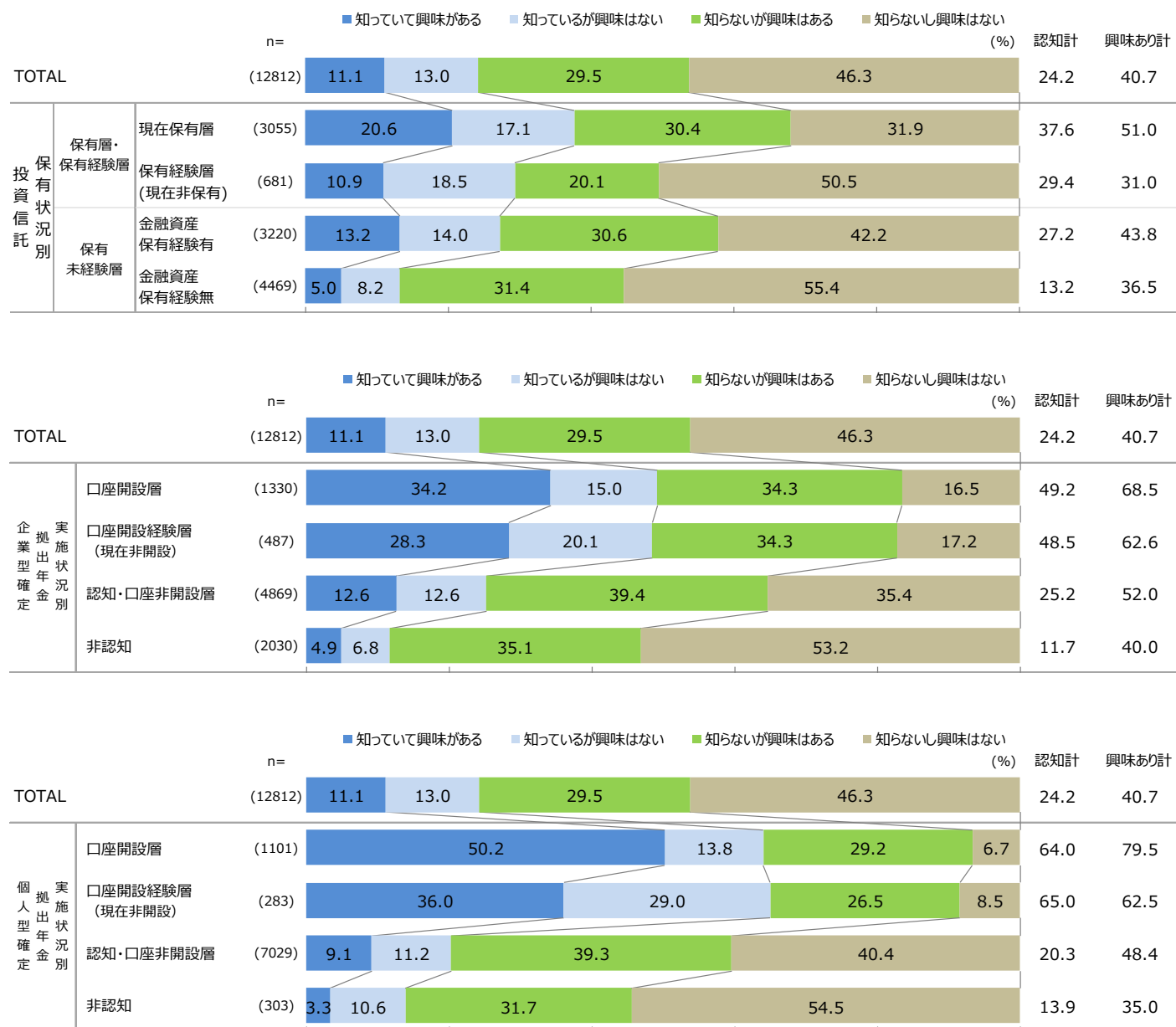
〔図 9-31〕\* 2020年属性別



## 9. 個人型確定拠出年金(iDeCo)の浸透状況、今後の利用意向

### (10) 確定拠出年金制度の対象者拡大・受給開始の上限延長に関する認知と興味度 (企業型確定拠出年金・個人型確定拠出年金認知者)[Q29:単数回答]

〔図 9-32〕 \* 2020年属性別





## 10. その他項目



## 10. その他項目

### (1) NISAで投資する場合に、選択したい金融商品〔Q31①:単数回答〕

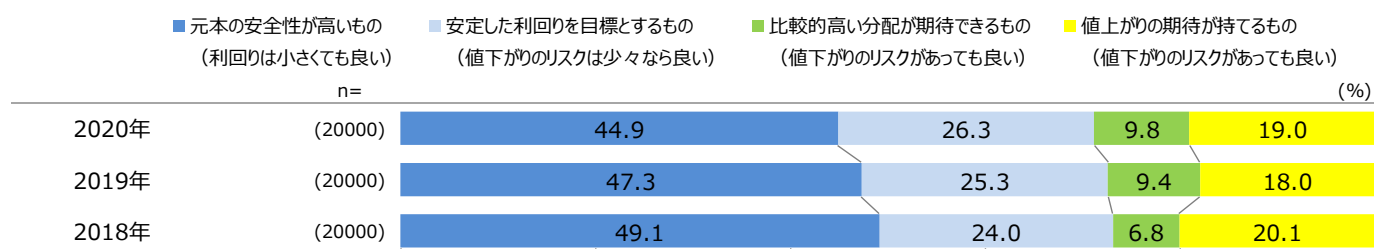
- NISAで投資したい商品は、前回と同様に「元本安全」商品(44.9%)が最も高い。〔図10-1〕

\* 2018年からの変動は調査パネル変更の影響も考えられる

- 高齢層ほど「元本安全」商品の割合が増加。また、高年収層ほど「元本安全」商品が減少傾向にあり、「安定利回り目標」「比較的高い分配が期待できる」商品の割合が増加する傾向。〔図10-2〕

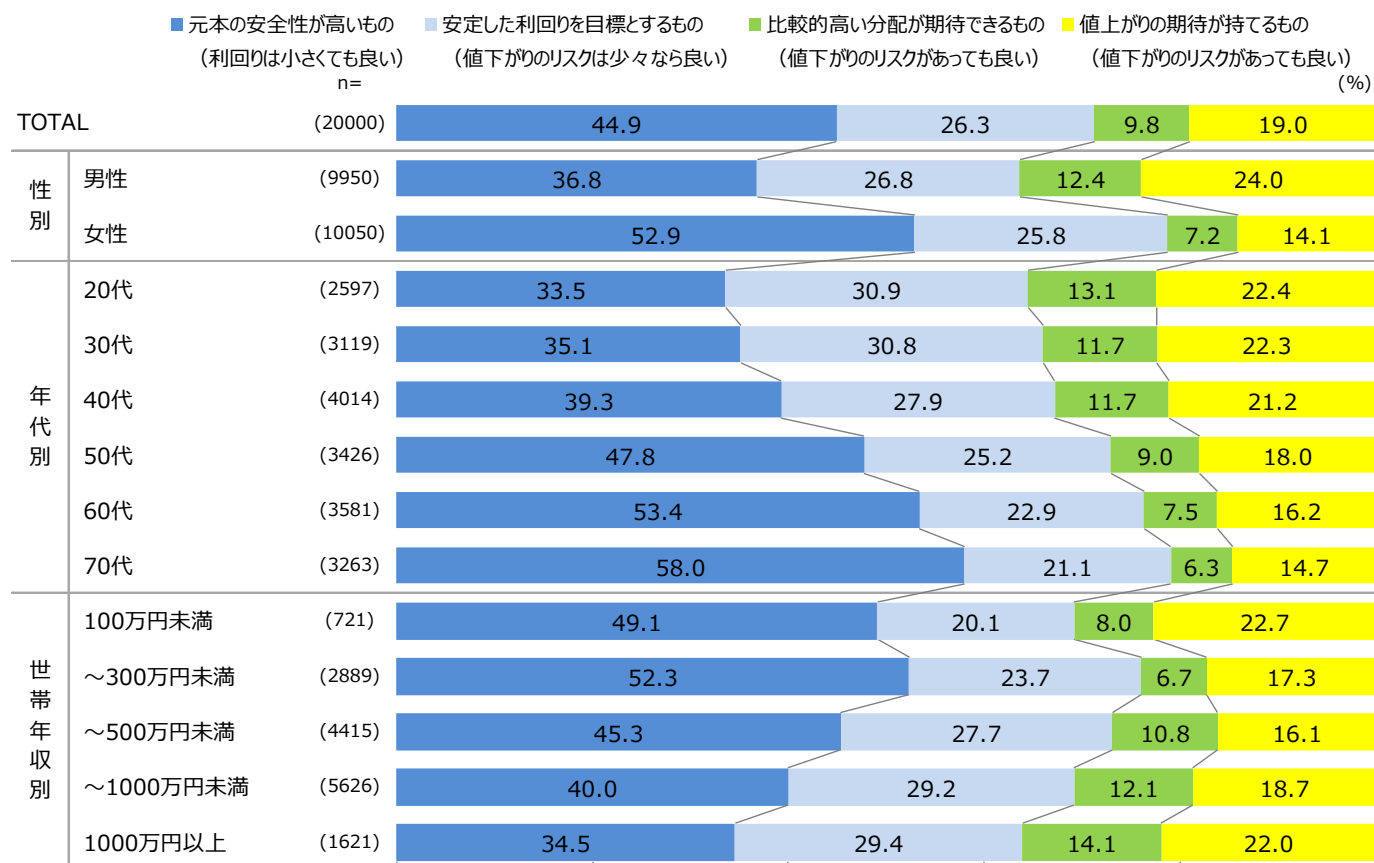
- 今後NISA利用意向有層全体では「安定利回り目標」商品が35.5%で最も高い。〔図10-3〕

〔図 10-1〕



※選択肢「元本の安全性が高いもの」は2018年は「極力元本が安全であるもの」で聴取

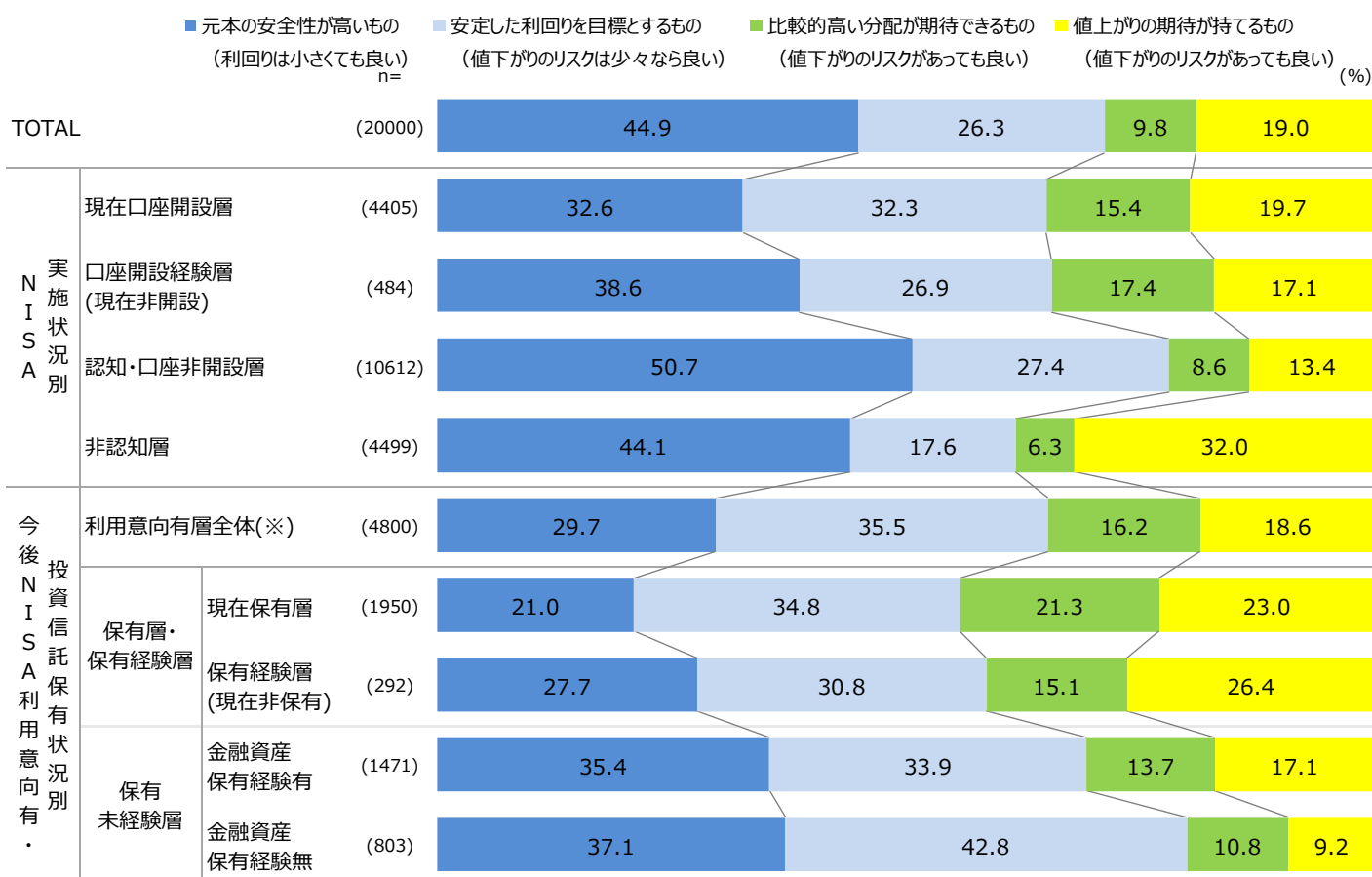
〔図 10-2〕 \* 2020年属性別



## 10. その他項目

### (1) NISAで投資する場合に、選択したい金融商品〔Q31①:単数回答〕

〔図 10-3〕 \* 2020年属性別



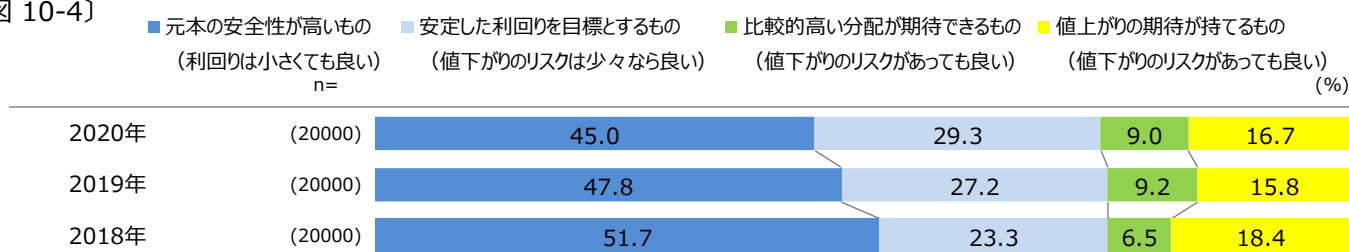
※「利用意向有層全体」では、「過去・現在保有の金融資産(Q6①②)」で「不明・回答拒否」の者も含めているが、「保有層・保有経験層」「保有未経験層」では金融資産の保有状況が不明の為、除外している。

## 10. その他項目

### (1) つみたてNISAで投資する場合に、選択したい金融商品〔Q31②:単数回答〕

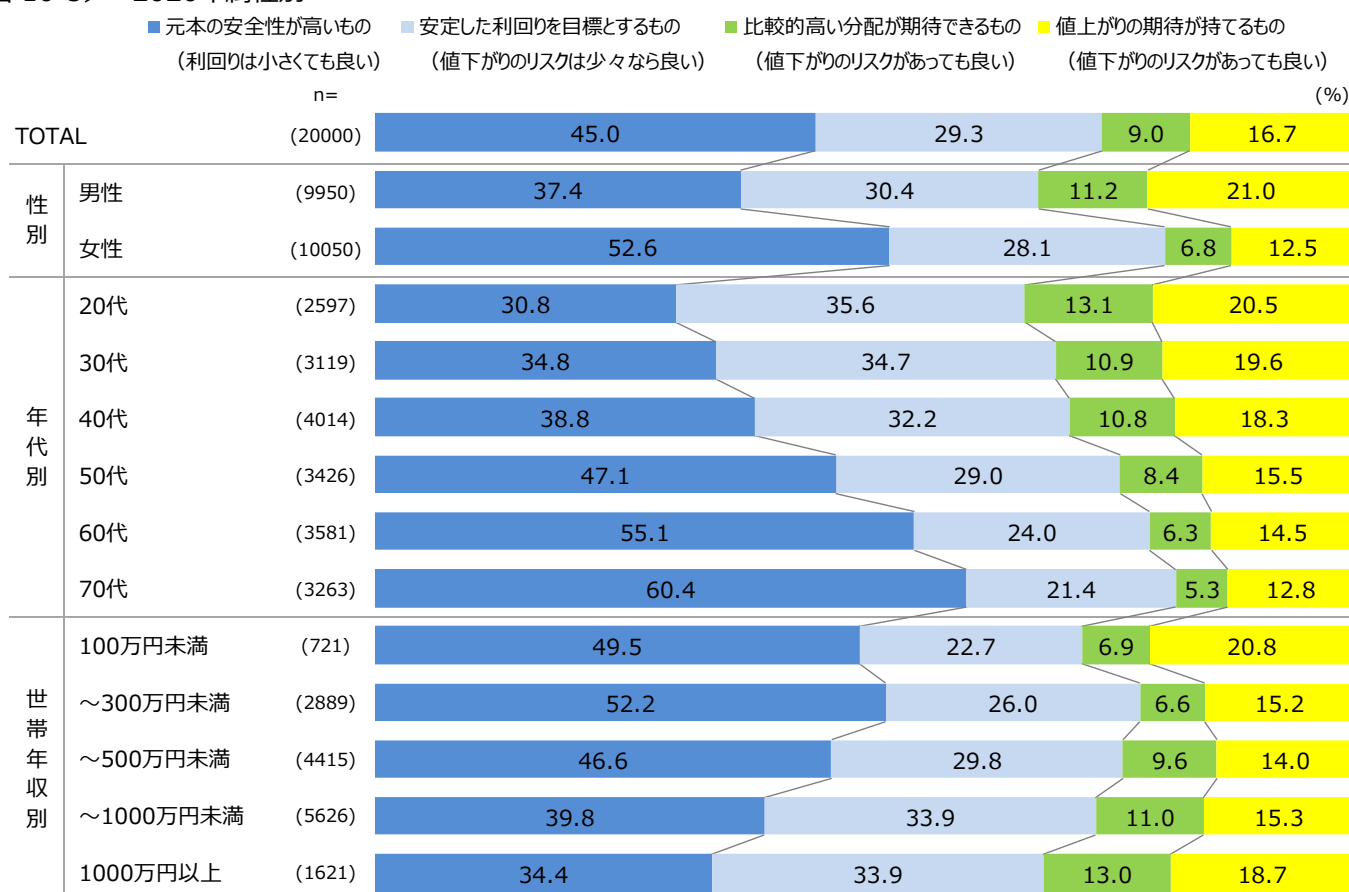
- つみたてNISAで投資したい商品は、「元本安全」商品(45.0%)が最多。〔図10-4〕  
\* 2018年からの変動は調査パネル変更の影響も考えられる
- 「元本安全」商品は高齢層ほど増加し、他の商品項目は減少する。また、世帯年収が高いほど「元本安全」商品が減少し、「安定利回り目標」「比較的高い分配が期待できる」商品が増加する傾向。〔図10-5〕
- 今後つみたてNISA利用意向有層では、「安定利回り目標」商品が45.5%と高い。〔図10-6〕

〔図 10-4〕



※選択肢「元本の安全性が高いもの」は2018年は「極力元本が安全であるもの」で聴取

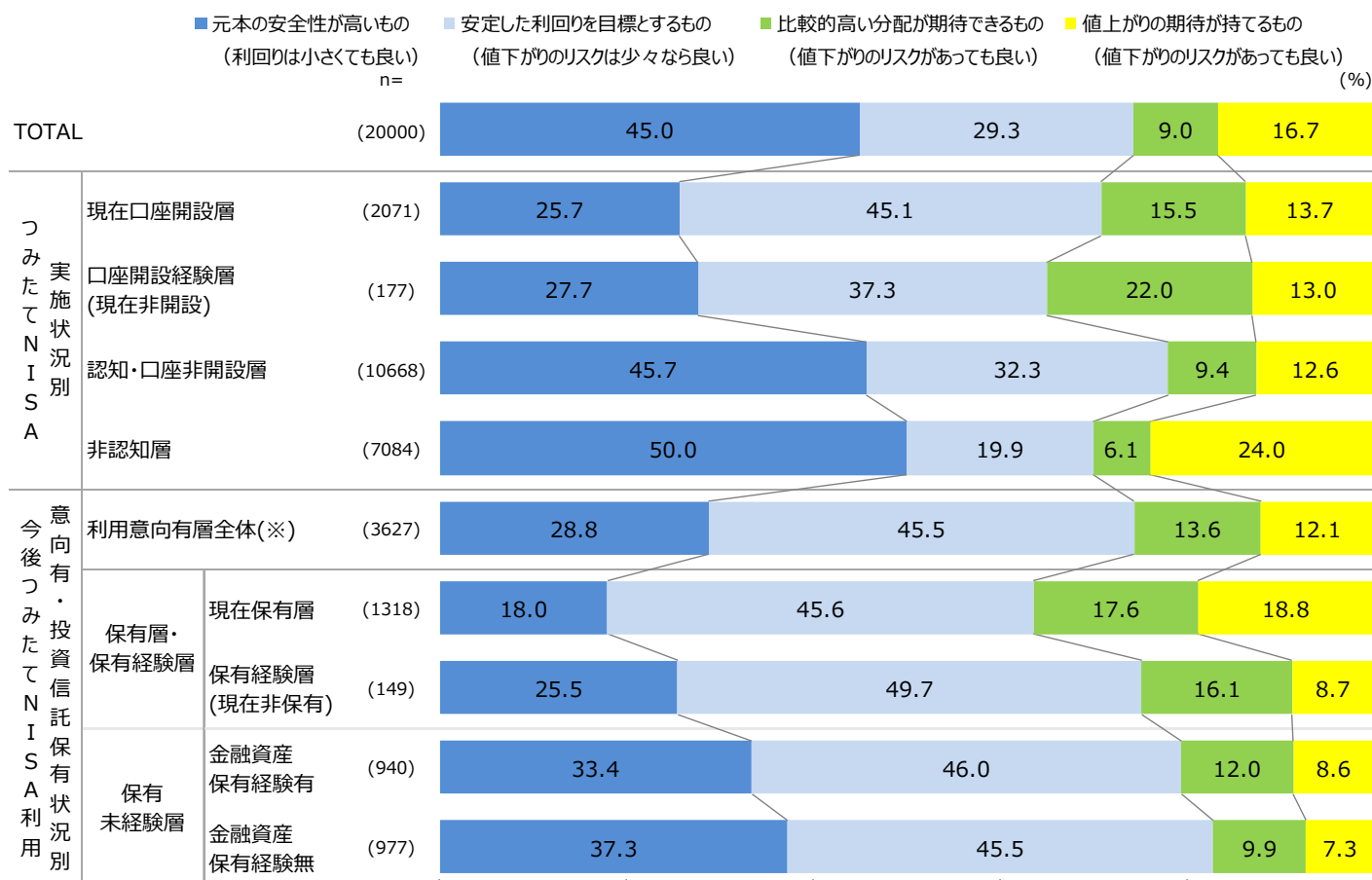
〔図 10-5〕 \* 2020年属性別



## 10. その他項目

### (1) つみたてNISAで投資する場合に、選択したい金融商品〔Q31②:単数回答〕

〔図 10-6〕 \* 2020年属性別



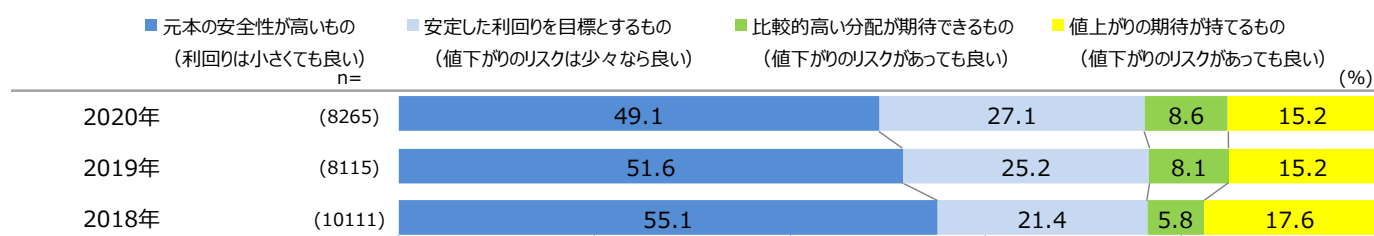
※「利用意向有層全体」では、「過去・現在保有の金融資産(Q6①②)」で「不明・回答拒否」の者も含めているが、「保有層・保有経験層」「保有未経験層」では金融資産の保有状況が不明の為、除外している。

## 10. その他項目

### (1) ジュニアNISAで投資する場合に、選択したい金融商品 (20歳未満の親族がいる者)〔Q31③:単数回答〕

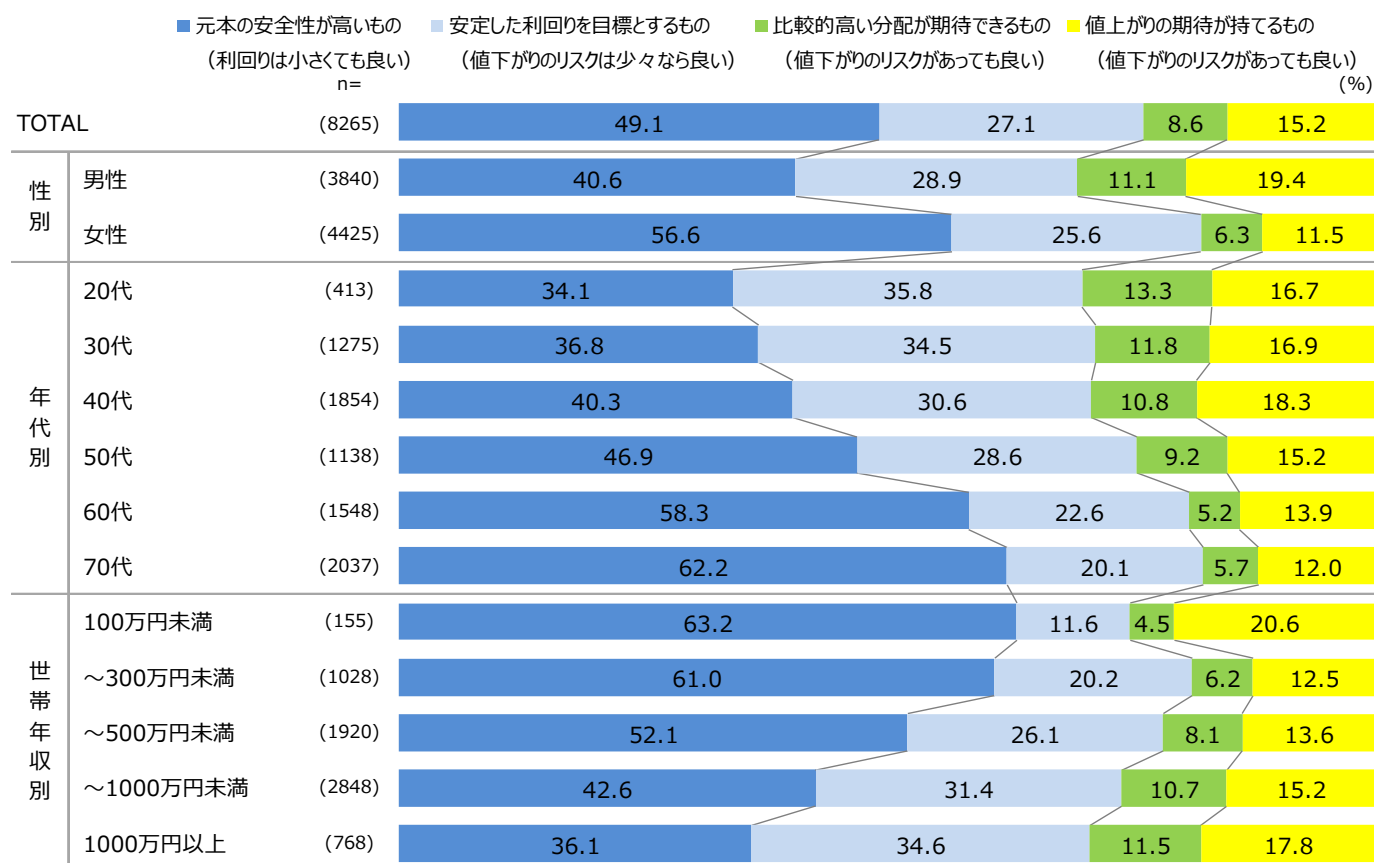
- ジュニアNISAで投資したい商品は、「元本安全」商品(49.1%)が最も高く、「安定利回り目標」商品(27.1%)が続く。〔図10-7〕\* 2018年からの変動は調査パネル変更の影響も考えられる
- NISAと同様に高齢層ほど「元本安全」商品が高い。世帯年収が高いほど「元本安全」商品が低く、「安定利回り目標」「比較的高い分配が期待できる」商品が高くなる傾向。〔図10-8〕
- 今後ジュニアNISA利用意向有層では、「安定利回り目標」商品が41.5%と高い。〔図10-9〕

〔図 10-7〕



※選択肢「元本の安全性が高いもの」は2018年は「極力元本が安全であるもの」で聴取

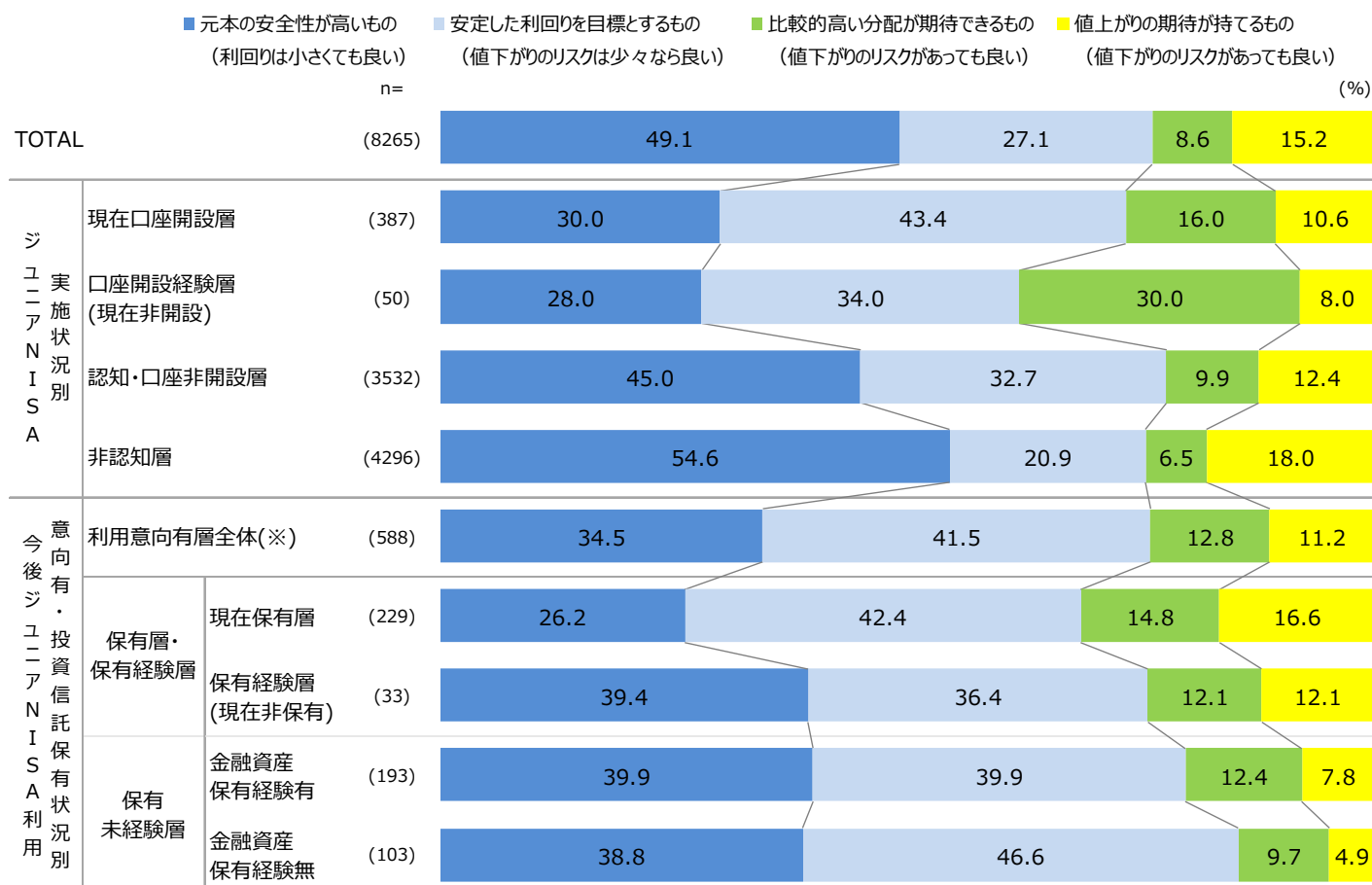
〔図 10-8〕 \* 2020年属性別



## 10. その他項目

### (1) ジュニアNISAで投資する場合に、選択したい金融商品 (20歳未満の親族がいる者)〔Q31③:単数回答〕

〔図 10-9〕 \* 2020年属性別



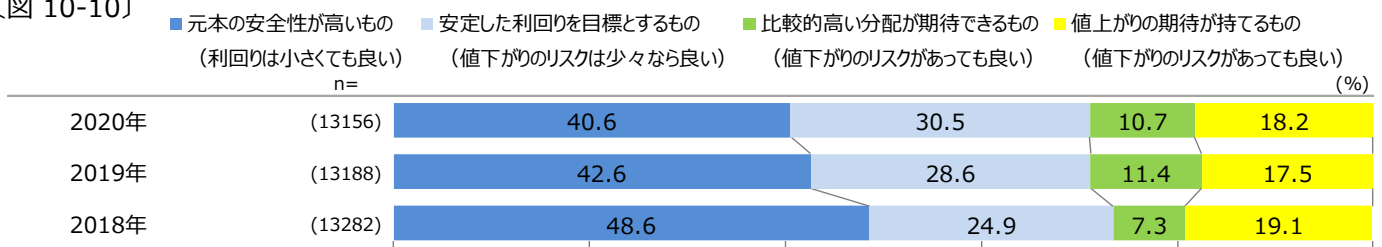
※「利用意向有層全体」では、「過去・現在保有の金融資産(Q6①②)」で「不明・回答拒否」の者も含めているが、「保有層・保有経験層」「保有未経験層」では金融資産の保有状況が不明の為、除外している。

## 10. その他項目

### (1) 企業型確定拠出年金で投資する場合に、選択したい金融商品 (60歳未満の者)[Q31④:単数回答]

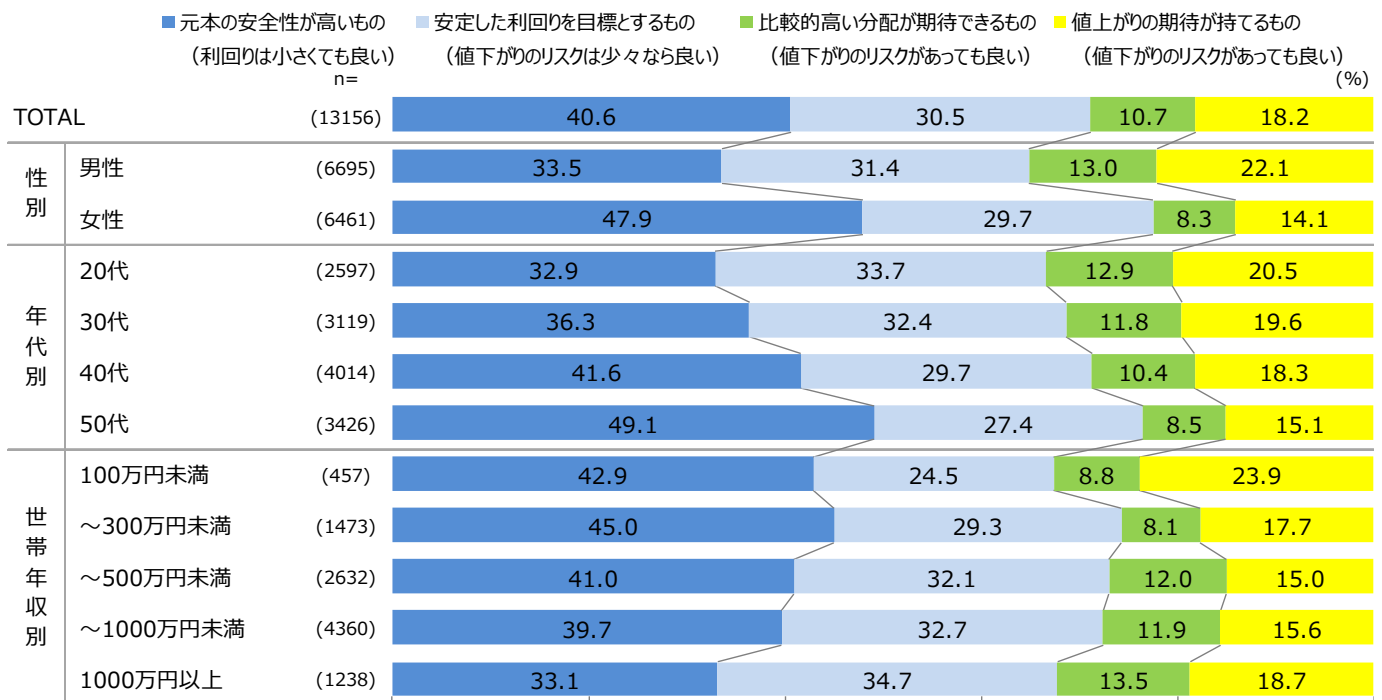
- 企業型確定拠出年金で投資したい商品は、「元本安全」商品(40.6%)が最も高い。前回と比べて大きな変動はみられない。〔図10-10〕 \* 2018年からの変動は調査パネル変更の影響も考えられる
- 年代が上がるほど「元本安全」商品が高くなる。また高年収層ほど「元本安全」商品が低く、「安定利回り目標」商品が高くなる傾向。〔図10-11〕
- 企業型確定拠出年金の現在口座開設層、口座開設経験層では、「安定利回り目標」商品が最も高い。〔図10-12〕

〔図 10-10〕

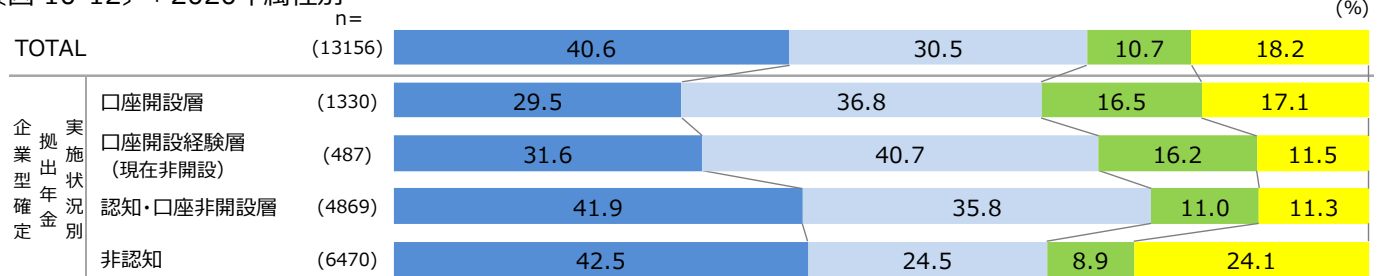


※選択肢「元本の安全性が高いもの」は2018年は「極力元本が安全であるもの」で聴取

〔図 10-11〕 \* 2020年属性別



〔図 10-12〕 \* 2020年属性別



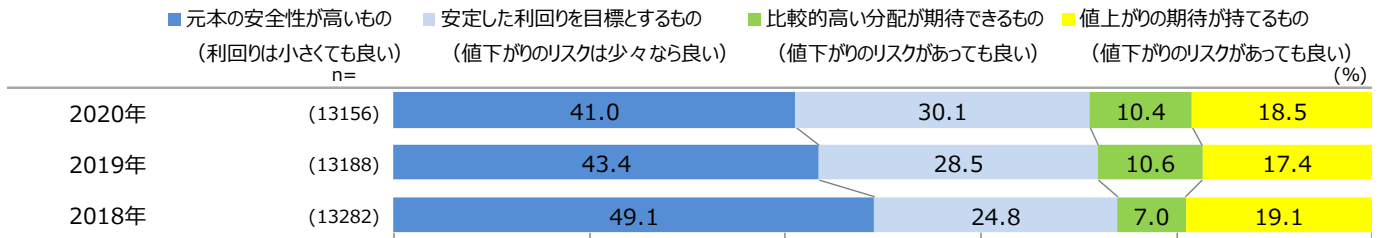


## 10. その他項目

### (1) 個人型確定拠出年金で投資する場合に、選択したい金融商品 (60歳未満の者)[Q31⑤:単数回答]

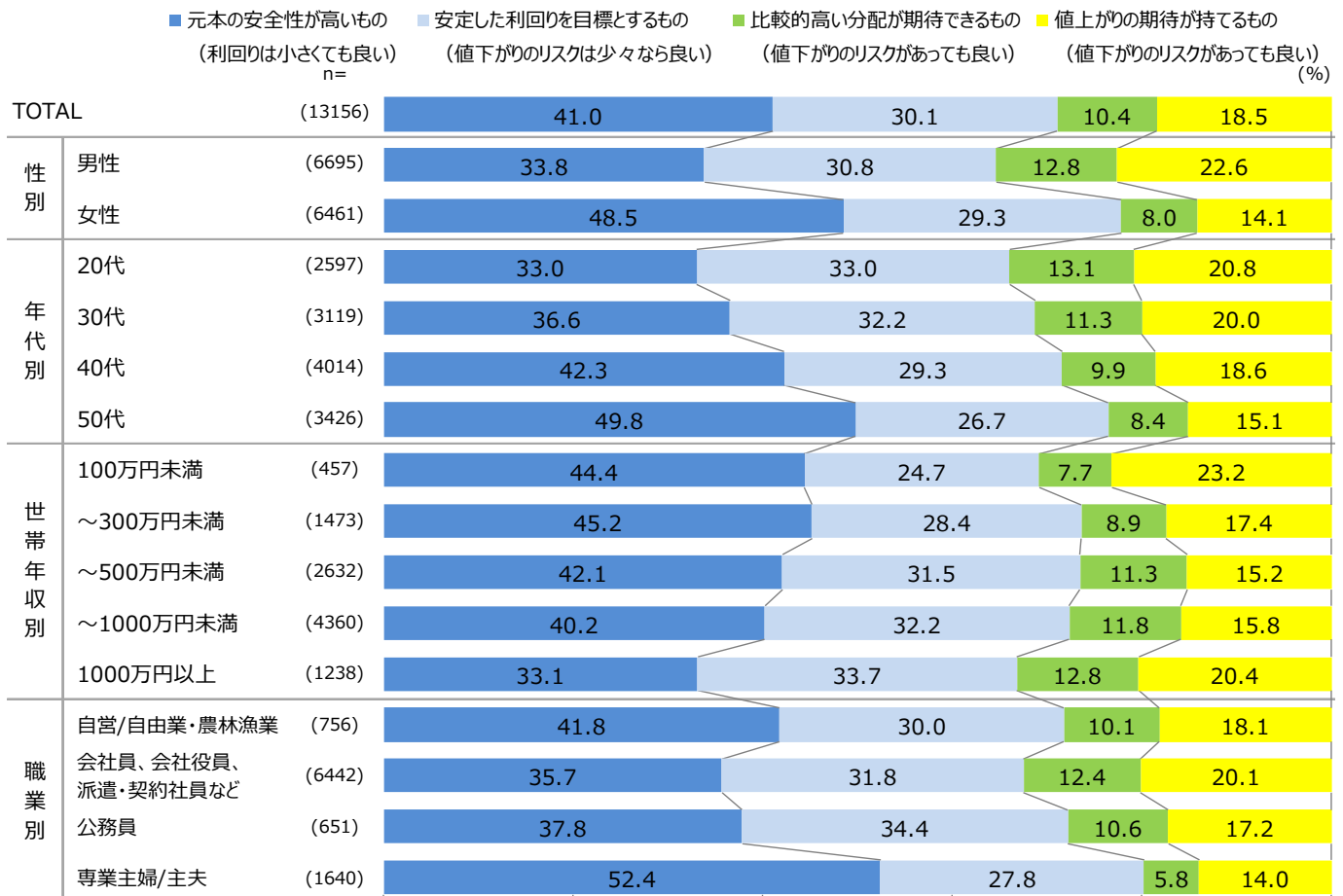
- 個人型確定拠出年金で投資したい商品は、「元本安全」商品(41.0%)が最も高い。前回と比べて大きな変動はみられない。〔図10-13〕 \* 2018年からの変動は調査パネル変更の影響も考えられる
- 「元本安全」商品は高齢層ほど増加し、職業別では専業主婦/主夫で52.4%と高い。「安定利回り目標」商品は、世帯年収が上がるほど高くなる。〔図10-14〕
- 個人型確定拠出年金の今後利用意向有層では「安定利回り目標」商品が40.2%で他の商品タイプと比べて高い。〔図10-15〕

〔図 10-13〕



※選択肢「元本の安全性が高いもの」は2018年は「極力元本が安全であるもの」で聴取

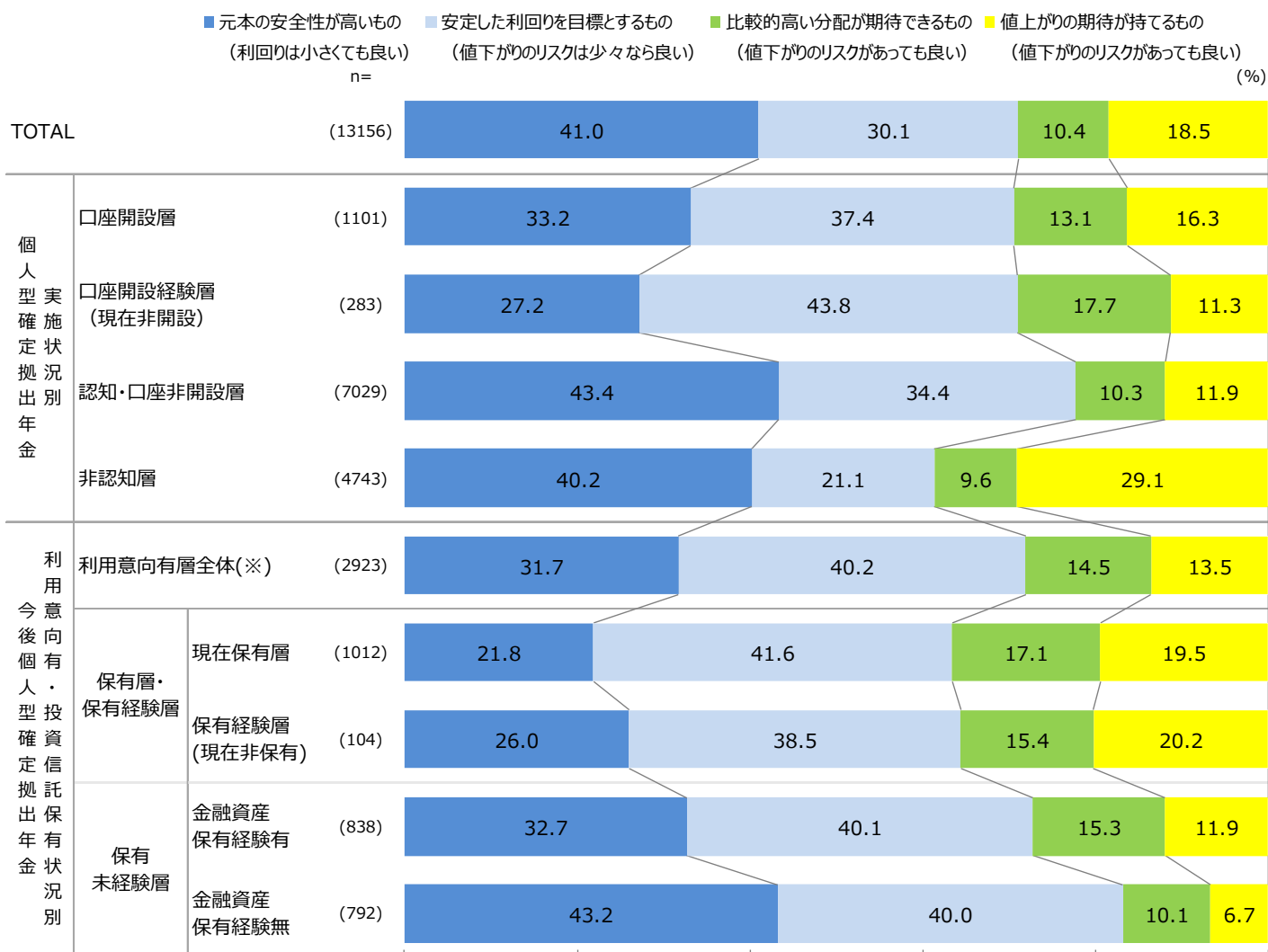
〔図 10-14〕 \* 2020年属性別



## 10. その他項目

### (1) 個人型確定拠出年金で投資する場合に、選択したい金融商品 (60歳未満の者)[Q31⑤:単数回答]

〔図 10-15〕 \* 2020年属性別



※「利用意向有層全体」では、「過去・現在保有の金融資産(Q6①②)」で「不明・回答拒否」の者も含めているが、「保有層・保有経験層」「保有未経験層」では金融資産の保有状況が不明の為、除外している。

**末尾添付資料：調査票**



## 添付資料：調査票

---

Q1 あなたの性別を教えてください。

- 男性
- 女性

Q2 あなたの年齢をお答えください。

 歳

Q3 あなたの職業をお知らせください。

- 会社員・非営利団体職員
- 会社役員・経営者
- 派遣・契約社員
- 公務員
- 自由業（医師・弁護士など）
- 農林漁業
- 自営業（農林漁業を除く）
- パート・アルバイト・フリーター
- 専業主婦/主夫
- 大学生、大学院生、専門学校生、短大生、予備校生
- 無職、定年退職
- その他の職業

## 添付資料：調査票

**Q4** あなたの親族に20歳未満の人はいますか。あてはまる人数をお答えください。

		1人	2人	3人以上	該当する親族で、 20歳未満の人はいない
あなたの子ども（20歳未満）	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
あなたの孫（20歳未満）	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

**Q5** あなたの世帯年収と、個人年収をお知らせください。

		100万円未満	100～300万円未満	300～500万円未満	500～800万円未満	800～1000万円未満	1000～1500万円未満	1500万円以上	わからない・答えたくない
あなたの世帯年収	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
あなたの個人年収	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

## 添付資料：調査票

- 世帯ではなく、あなた個人でお持ちの資産についてお答えください。
- 財形貯蓄や確定拠出年金を通じての購入も含めて、お答えください。

Q6 あなたはこれまでに「現金・預貯金（円）以外の金融資産」を保有したことがありますか。

※ 「現金・預貯金（円）以外の金融資産」・・・外貨預金、株式、債券（国債・公社債など）、投資信託、FX、ETF、Jリートなど。土地や不動産そのもの、保険は除きます。

	① 保有した ことがある金融資産	② 現在保有している金融資産
外貨預金	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
国内株式	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
外国株式	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
投資信託(除くETF、Jリート)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ETF	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
不動産投信（Jリート）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
個人向け国債	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
国内債券(個人向け国債除く)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
外国債券	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
先物、オプション、コモディティ商品(金など)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
FX	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
その他（具体的に <input type="text"/> ）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
この中で保有したものはない/ 保有しているものはない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
わからない・答えたくない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

## 添付資料：調査票

<Q7①聴取対象：投資信託現在保有者(Q6②=4)>

<Q7②聴取対象：ETF現在保有者(Q6②=5)>

<Q7③聴取対象：Jリート現在保有者(Q6②=6)>

■金融商品についてお伺いします。

■世帯ではなく、あなた個人でお持ちの資産についてお答えください。

■財形貯蓄や確定拠出年金を通じての購入も含めて、お答えください。

Q7 現在あなたは、以下の金融商品をどの程度の期間、保有していますか。

※複数のファンドを保有している方は平均保有期間でお答えください。

		1年未満	1年以上 ～3年未満	3年以上 ～5年未満	5年以上 ～10年未満	10年以上
①	投資信託(除くETF、Jリート)	→ ●	●	●	●	●
②	ETF	→ ●	●	●	●	●
③	不動産投信【Jリート】	→ ●	●	●	●	●

Q8 あなたは、以下の金融商品をどの程度ご存知ですか。

※ 「ETF」とは、株価指数などに連動する投資信託で、日本の証券取引所に上場しているものを指します。

※ 「不動産投信【Jリート】」とは、不動産に投資する、日本の証券取引所に上場しているものを指します。

		名前も商品の内容も知っている	名前は知っているが、商品の内容はよく分からない	知らない
①	ETF	→ ●	●	●
②	不動産投信【Jリート】	→ ●	●	●

## 添付資料：調査票

### <Q9①聴取対象：ETF認知者(Q8①=1or2)>

#### ■金融商品についてお伺いします。

Q9 金融商品のETF（株価指数などに連動する投資信託で日本の証券取引所に上場しているもの）には以下の様な特徴があります。

それぞれの特徴を読んで、各質問にあてはまるものを全てお答えください。

- ※ 成行（なりゆき）注文とは...売買価格を指定せず、銘柄、数量のみを指定して取引する形態のこと
- ※ 指値注文とは...一口当りの売買価格を指定して注文をすること

	①	②	③
	あなたが知っている特徴	あなたが魅力を感じた特徴	あなたが最も魅力を感じた特徴
	↓	↓	↓
元本保証はない	■	■	●
一般的な投資信託の購入価額は一日1つの基準価額であるが、ETFはその時々取引価格が購入価額となる	■	■	●
成行（なりゆき）・指値注文が可能	■	■	●
証券会社ごとに購入時の手数料が異なる	■	■	●
運用管理费用(信託報酬)などの手数料は、一般的な投資信託より低い	■	■	●
分散投資ができるのでリスクの低減が期待できる	■	■	●
指数などに連動するので値動きがわかりやすい	■	■	●
わからない・特になし	■	■	●



## 添付資料：調査票

### <Q10①②聴取対象：ETF保有経験者および内容認知者(Q6①=5 or Q8①=1)>

#### ■金融商品についてお伺いします。

ETF（株価指数などに連動する投資信託で日本の証券取引所に上場しているもの）を保有したことがある方、内容についてご存知の方に、お伺いします。

**Q10** ETFで不満を感じるのどのような点ですか。あてはまるものを全てお答えください。  
そのうち特に不満を感じている点を1つあげてください。

	① 不満を感じる点	② その中で特に不満を感じている点
	↓	↓
仕組みや運用実績がわかりにくい	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
専門知識がないと商品を選びにくい	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
リターン（収益）が低い	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
分配金が少ない	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
株式に比べて面白さに欠ける	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
購入後の運用に関する情報が少ない	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
手続きがわずらわしい	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
種類が多く選択に迷う	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
元本保証がない	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
その他（ <input type="text"/> ）	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
わからない・特にない	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>

## 添付資料：調査票

### <Q11①聴取対象：Jリート認知者(Q8②=1or2)>

#### ■金融商品についてお伺いします。

**Q11** 金融商品の不動産投信（Jリート）（不動産に投資する、日本の証券取引所に上場しているもの）には以下の様な特徴があります。

それぞれの特徴を読んで、各質問にあてはまるものを全てお答えください。

	① あなたが知っている特徴	② あなたが魅力を感じた特徴	③ あなたが最も魅力を感じた特徴
	↓	↓	↓
少額から不動産投資できる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
複数の不動産に分散して投資できる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
専門家が運用や物件の管理などを行う	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
物件の賃料収入を主な分配金原資としている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
運用益のほとんどが分配されている （投資法人に係る課税の特例制度があるため）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
インフレになると不動産価格や賃料が上がり、 リートの価格や分配金も上がるので、インフレ対策になる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
比較的高い利回りが期待できる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
保有する資産にはオフィスビル、住宅、商業施設、ホテル、物流施設 などの建物を、単体あるいは複合で保有するタイプがある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
ファンドによって決算期（分配）が分散している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
株式と同様に取引所で売買ができるため、換金性・流動性が高い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
開示されている情報が入手しやすい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
元本保証がない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
わからない・特にない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

## 添付資料：調査票

### <Q12①②聴取対象：Jリート保有経験者またはJリート内容認知者(Q6①=6 or Q8②=1)>

#### ■金融商品についてお伺いします。

不動産投信（Jリート）（不動産に投資する、日本の証券取引所に上場しているもの）を保有したことがある方、内容についてご存知の方に、お伺いします。

**Q12** 不動産投信（Jリート）で不満を感じるのとはどのような点ですか。あてはまるものを全てお答えください。  
そのうち特に不満を感じている点を1つあげてください。

	① 不満を感じる点	② その中で特に不満を感じている点
	↓	↓
仕組みや運用実績がわかりにくい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
専門知識がないと商品を選びにくい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
リターン（収益）が低い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
分配金が少ない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
株式に比べて面白さに欠ける	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
債券に比べてリスクが高い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
購入後の運用に関する情報が少ない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
手続きがわずらわしい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
最低購入価額が高い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
種類が多く選択に迷う	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
元本保証がない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
その他（ <input type="text"/> ）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
わからない・特になし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

## 添付資料：調査票

### ■金融商品についてお伺いします。

Q13 あなたは今後、「ETF」「不動産投信（Jリート）」をどの程度購入してみたいと思いますか。

また現在保有している方は、今後どの程度保有し続けたいとお考えですか。それぞれあてはまるものを1つだけお答えください。

購入したくない、保有し続けたくない  
あまり購入したくない、あまり保有し続けたくない  
どちらともいえない  
やや購入してみたい、やや保有し続けたい  
購入してみたい、保有し続けたい

- |   |             |   |                       |                       |                                  |                       |                       |
|---|-------------|---|-----------------------|-----------------------|----------------------------------|-----------------------|-----------------------|
| ① | ETF         | → | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input checked="" type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| ② | 不動産投信（Jリート） | → | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input checked="" type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |

## 添付資料：調査票

- 金融商品についてお伺いします。
- 投資制度についてお伺いします。

**Q14** あなたは、以下の投資に関する制度についてご存知ですか。それぞれあてはまるものをお答えください。

- ※ NISAとは、20歳以上を対象に2014年から始まった、投資から得られる収益に対する非課税制度です。毎年120万円までの新規投資額から得られる収益に対し、5年間非課税となります。
- ※ つみたてNISAとは、20歳以上を対象に、2018年1月から始まった制度です。投資対象商品は金融庁が定めた要件を満たす「長期の積立・分散投資に適した一定の投資信託」に限定されており、毎年40万円までの新規投資額から得られる収益に対し、非課税となります。非課税期間は最長で20年間となります。
- ※ ジュニアNISAとは、2016年から始まった、投資から得られる収益に対する非課税制度です。0歳～19歳の未成年者が対象ですが、親権者が子や孫に代わって運用を管理できます。毎年80万円までの新規投資額から得られる収益に対し、5年間非課税となります。
- ※ 確定拠出年金とは、国民年金や厚生年金保険などの公的年金と異なり、加入者自身が運用を行う私的年金制度です。また確定拠出年金は「企業型」と「個人型」に分かれますが、「企業型」の加入対象者は確定拠出年金を導入している企業の従業員です。

名前も制度の内容も知っていません  
名前も知っていませんが、制度の内容はよく分かっていません  
知らない

①	NISA	→	●	●	●
②	つみたてNISA	→	●	●	●
③	ジュニアNISA	→	●	●	●
④	企業型確定拠出年金	→	●	●	●
⑤	個人型確定拠出年金 【iDeCo（イデコ）】	→	●	●	●

## 添付資料：調査票

<Q15\_1①聴取対象：NISA認知者(Q14①=1or2)>

<Q15\_1②聴取対象：つみたてNISA認知者(Q14②=1or2)>

<Q15\_1③聴取対象：ジュニアNISA認知者(Q14③=1or2)>

### ■投資制度についてお伺いします。

以下の投資制度をご存知の方にお伺いします。

**Q15\_1** あなたは、以下の投資制度で口座を開設し、株式や投資信託などの金融商品を購入したことがありますか。それぞれあてはまるものを1つだけお答えください。

今までに口座を開設したことはない  
過去に口座を開設したが、  
金融商品を保有することなく口座を閉じた  
過去に口座を開設し金融商品を保有していたが、  
現在は口座を閉じている  
口座を開設したが、また金融商品を購入したとはない  
口座を開設し金融商品を購入したが、  
現在は売却し保有していない  
(口座は閉じていない)  
口座を開設して、現在も金融商品を保有している

- |   |          |   |                       |                       |                       |                       |                       |                       |
|---|----------|---|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| ① | NISA     | → | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| ② | つみたてNISA | → | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| ③ | ジュニアNISA | → | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |

## 添付資料：調査票

<Q15\_2①聴取対象：60歳未満の企業型確定拠出年金認知者（Q2<60 且つ Q14④ = 1or2）>

<Q15\_2②聴取対象：60歳未満の個人型確定拠出年金認知者（Q2<60 且つ Q14⑤ = 1or2）>

### ■投資制度についてお伺いします。

以下の投資制度をご存知の方にお伺いします。

Q15\_2 あなたは、以下の投資制度で口座を開設し、株式や投資信託などの金融商品を購入したことがありますか。それぞれあてはまるものを1つだけお答えください。

今までも口座を開設したことはない  
過去に口座を開設し金融商品を保有していたが、  
現在は口座を閉じている  
口座を開設して、現在も金融商品を保有している

- |   |                           |   |                       |                       |                       |
|---|---------------------------|---|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| ① | 企業型確定拠出年金                 | → | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| ② | 個人型確定拠出年金<br>【iDeCo（イデコ）】 | → | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |

## 添付資料：調査票

<Q15\_3①聴取対象：60歳以上の企業型確定拠出年金認知者（Q2≥60 且つ Q14④ = 1or2）>

<Q15\_3②聴取対象：60歳以上の個人型確定拠出年金認知者（Q2≥60 且つ Q14⑤ = 1or2）>

### ■投資制度についてお伺いします。

以下の投資制度をご存知の方にお伺いします。

Q15\_3 あなたは、以下の投資制度で口座を開設し、株式や投資信託などの金融商品を購入したことがありますか。それぞれあてはまるものを1つだけお答えください。

今までに口座を開設したことはない  
過去に口座を開設し金融商品を保有していたが、  
現在は口座を閉じている  
口座を開設して、現在も金融商品を保有している

- |   |                           |   |                       |                       |                       |
|---|---------------------------|---|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| ① | 企業型確定拠出年金                 | → | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| ② | 個人型確定拠出年金<br>【iDeCo（イデコ）】 | → | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |



## 添付資料：調査票

<Q16\_1①聴取対象：NISA口座開設・現在金融商品保有者(Q15\_1①=1)>

<Q16\_1②聴取対象：ジュニアNISA口座開設・現在金融商品保有者(Q15\_1③=1)>

### ■投資制度についてお伺いします。

現在、以下の制度で金融商品を保有している方にお伺いします。

Q16\_1 あなたが現在保有している金融商品を、各制度ごとにお答えください。

株式	国内債券に主に投資する投資信託	外国債券に主に投資する投資信託	国内株式に主に投資する投資信託	外国株式に主に投資する投資信託	主に投資する投資信託（除くJリート）	不動産投資信託に	様々な資産に投資する投資信託	ETF（上場株式投資信託）	Jリート（不動産投資信託）	その他（左記にあてはまらないもの）	わからない・答えたくない
----	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	--------------------	----------	----------------	---------------	---------------	-------------------	--------------

①	NISA	→	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
②	ジュニアNISA	→	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

## 添付資料：調査票

<Q16\_2聴取対象：つみたてNISA口座開設・現在金融商品保有者(Q15\_1②=1)>

### ■投資制度についてお伺いします。

現在、以下の制度で金融商品を保有している方にお伺いします。

Q16\_2 あなたがつみたてNISAで現在保有している金融商品をお答えください。

わからない・答えたくない  
その他（左記にあてはまらないもの）  
ETF（上場株式投資信託）  
様々な資産に投資する投資信託  
不動産投資信託に主に投資する投資信託  
外国株式に主に投資する投資信託  
国内株式に主に投資する投資信託  
外国債券に主に投資する投資信託  
国内債券に主に投資する投資信託

つみたてNISA →



## 添付資料：調査票

<Q16\_3①聴取対象：60歳未満の企業型確定拠出年金の口座開設・現在金融商品保有者(Q2<60 且つ Q15\_2①=1)>  
<Q16\_3②聴取対象：60歳未満の個人型確定拠出年金の口座開設・現在金融商品保有者(Q2<60 且つ Q15\_2②=1)>

### ■投資制度についてお伺いします。

現在、以下の制度で金融商品を保有している方にお伺いします。

Q16\_3 あなたが現在保有している金融商品を、各制度ごとにお答えください。

		定期預金	保険商品	国内債券に主に投資する投資信託	外国債券に主に投資する投資信託	国内株式に主に投資する投資信託	外国株式に主に投資する投資信託	不動産投資信託に主に投資する投資信託	様々な資産に投資する投資信託	その他（左記にあてはまらないもの）	わからない・答えたくない
①	企業型確定拠出年金	→	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
②	個人型確定拠出年金 【iDeCo（イデコ）】	→	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

## 添付資料：調査票

<Q17①聴取対象：NISA口座開設・現在金融商品保有者(Q15\_1①=1)>

<Q17②聴取対象：ジュニアNISA口座開設・現在金融商品保有者(Q15\_1③=1)>

### ■各種NISAについてお伺いします。

NISAまたはジュニアNISAで、「口座を開設して、現在も金融商品を保有している」方にお伺いします。

Q17 あなたは現在NISA/ジュニアNISA口座で積立投資を実施していますか。

		実施している	実施していない
①	NISA	→ ●	●
②	ジュニアNISA	→ ●	●

<Q18①聴取対象：NISA口座開設・現在金融商品保有者(Q15\_1①=1)>

<Q18②聴取対象：つみたてNISA口座開設・現在金融商品保有者(Q15\_1②=1)>

<Q18③聴取対象：ジュニアNISA口座開設・現在金融商品保有者(Q15\_1③=1)>

### ■各種NISAについてお伺いします。

NISA、つみたてNISA、またはジュニアNISAで、「口座を開設して、現在も金融商品を保有している」方にお伺いします。

Q18 あなたが、NISA/つみたてNISA/ジュニアNISAの口座を開設した金融機関などを教えてください。

※ 勤務先を通じて口座を開設された方は、「勤務先を通じて」を選択してください。

		証券会社	ネット証券	銀行	投資信託の運用会社	信託銀行	信用金庫	その他（左記以外の金融機関）	勤務先を通じて	わからない・答えたくない
①	NISA	→ ●	●	●	●	●	●	●	●	●
②	つみたてNISA	→ ●	●	●	●	●	●	●	●	●
③	ジュニアNISA	→ ●	●	●	●	●	●	●	-	●





## 添付資料：調査票

### ■各種NISAについてお伺いします。

**Q21** 下記の説明を読んで、あなたは今後NISA/つみたてNISAをどの程度利用したいと思いますか。現在利用している方は、今後の程度利用し続けたいとお考えですか。

#### <NISAの特徴>

NISAは、毎年120万円までの株式や投資信託への投資から得られる収益（収益分配金・配当金、譲渡益）が、5年間非課税になる制度です。

20歳以上が対象となります。

#### <つみたてNISAの特徴>

つみたてNISAは20歳以上を対象とした非課税制度です。

投資対象商品は「長期の積立・分散投資に適した一定の投資信託」に限定されており、

毎年40万円までの新規投資額から得られる収益に対し、非課税となります。

非課税期間は最長で20年間となります。

※購入方法は定期かつ継続的な買い付けに限られています。また現行のNISAとつみたてNISAの2つの制度を併用して利用することはできません。

利用したくない、利用し続けたくない  
あまり利用したくない、あまり利用し続けたくない  
どちらともいえない  
やや利用したい、やや利用し続けたい  
利用したい、利用し続けたい

- |   |          |   |   |   |   |   |   |
|---|----------|---|---|---|---|---|---|
| ① | NISA     | → | ● | ● | ● | ● | ● |
| ② | つみたてNISA | → | ● | ● | ● | ● | ● |



## 添付資料：調査票

### ■各種NISAについてお伺いします。

ジュニアNISAについてお伺いします。

Q22\_1 ジュニアNISAは、2023年末をもって終了・廃止の予定であることをご存じですか。

- 知っている
- 知らない
- ジュニアNISAの終了・廃止に関心がない

### ■各種NISAについてお伺いします。

ジュニアNISAについてお伺いします。

Q22\_2 ジュニアNISAが2023年末に終了・廃止になるまで、利用したいと思えますか。

- 現在利用しており、継続して利用したい
- 現在利用しているが、終了・廃止前にやめたい
- 現在は利用していないが、利用したい
- 現在利用しておらず、今後も利用したいと思わない
- 利用する予定がない（未成年の子・孫がいない／子・孫の誕生の予定がない）
- その他
- わからない



## 添付資料：調査票

---

### ■各種NISAについてお伺いします。

NISAの制度改革についてお伺いします。

**Q22\_3** 2020年税制改正により、NISAの制度が以下のように変更になることをご存じですか。

- ・口座開設期間が5年間延長される
- ・2024年からはNISAの制度自体が変更（原則として、つみたてNISAと一般NISAの2階建て制度となる）
- ・制度変更に伴い、年間投資可能額が122万円に変更

- 知っていて興味がある
- 知っているが興味はない
- 知らないが興味はある
- 知らないし興味はない

## 添付資料：調査票

<Q23①聴取対象：NISA今後利用意向者(Q21①=1or2)>

<Q23②聴取対象：ジュニアNISA今後利用意向者(Q22\_2=1or3)>

### ■各種NISAについてお伺いします。

NISAを「今後利用したい、利用し続けたい」とお考えの方にお伺いします。

Q23 あなたはNISAで、どのような投資方法を実施したいですか。お気持ちに最も近いものを1つだけお答えください。

わからない  
毎月一定額を積み立て投資したい  
年に数回タイミングをみて分けて投資したい  
年に1度の投資ですませたい

- ① NISA → ● ● ● ●
- ② ジュニアNISA → ● ● ● ●

<Q24\_1聴取対象：NISAでの毎月一定額積立投資意向者(Q23①=3)>

### ■各種NISAについてお伺いします。

NISAで「毎月一定額を積み立て投資したい」とお考えの方にお伺いします。

Q24\_1 あなたはNISAで、毎月いくらずつ積み立てたいですか。お気持ちに最も近いものを1つだけお答えください。

- 2万円未満
- 4万円未満
- 6万円未満
- 8万円未満
- 8万円以上

## 添付資料：調査票

### <Q24\_2聴取対象：つみたてNISA今後利用意向者(Q21②=1or2)>

#### ■各種NISAについてお伺いします。

つみたてNISAを「利用したい、利用し続けたい」とお考えの方にお伺いします。

**Q24\_2** あなたはつみたてNISAで、毎月いくらずつ積み立てたいですか。お気持ちに最も近いものを1つだけお答えください。

- 1万円未満
- 2万円未満
- 3万円未満
- 3万円以上

### <Q24\_3聴取対象：ジュニアNISAでの毎月一定額積立投資意向者(Q22\_2=1,3)>

#### ■各種NISAについてお伺いします。

ジュニアNISAで「毎月一定額を積み立て投資したい」とお考えの方にお伺いします。

**Q24\_3** あなたはジュニアNISAで、毎月いくらずつ積み立てたいですか。お気持ちに最も近いものを1つだけお答えください。

- 1万円未満
- 2万円未満
- 4万円未満
- 6万円未満
- 6万円以上

## 添付資料：調査票

<Q25聴取対象：60歳未満で、個人型確定拠出年金で口座開設・投資性商品未購入者および口座未開設者  
{ Q2<60 且つ (「Q15\_2②=3」 or 「Q16\_3②で1or2のみ回答」) } >

### ■個人型確定拠出年金についてお伺いします。

個人型確定拠出年金【iDeCo (イデコ)】で、「投資信託を購入していない」方、「今までに口座を開設したことはない」方にお伺いします。

**Q25** 個人型確定拠出年金で、投資信託を購入していない、または口座を開設していないのはなぜですか。あてはまるものをいくつかでもお答えください。

- 企業型確定拠出年金に加入しているから
- 投資は元本が保証されないから
- 口座開設の申込手続きが煩雑で面倒だから
- 制度の内容を知らないから
- 制度が複雑でよく理解できないから
- 投資したい金融商品がないから
- 投資に回すお金がないから
- 既に十分な資産があり、投資は必要ないから
- 投資の知識がないから／知識がないと難しそうだから
- どの金融商品を購入したらよいかわからないから
- 金融機関に勧められて口座開設しただけだから
- その他（具体的に  ）
- 特に理由はない

## 添付資料：調査票

<Q26聴取対象：60歳未満で、個人型確定拠出年金で口座開設・投資性商品未購入者および口座未開設者  
{ Q2<60 且つ (「Q15\_2②=3」 or 「Q16\_3②で1or2のみ回答」) } >

### ■個人型確定拠出年金についてお伺いします。

個人型確定拠出年金【iDeCo（イデコ）】で、「投資信託を購入していない」方、「今までに口座を開設したことはない」方にお伺いします。

Q26 あなたが、個人型確定拠出年金で、投資信託の購入や口座の開設を検討するきっかけとなりそうな項目を、全てお答えください。

制度内容や勤務先の規約が改訂され、企業型確定拠出年金加入者でも加入することができる様になったら

身近な人（家族・友人など）に勧められたら

金融機関の窓口などで、専門の知識を持つ人に教えてもらえたら

初心者向けセミナーなど、仕組みをわかりやすく説明してもらえる機会があったら

金融や投資を勉強して理解できたら

投資したい金融商品がラインナップされたら

投資に回すお金ができたら

手取り収入が増えたら

経済が上向きになり、値上がり期待できる様になったら

セカンドライフを考えるようになったら

その他 (  )

特になし

## 添付資料：調査票

### <Q27①聴取対象：個人型確定拠出年金認知者(Q14⑤=1or2)>

#### ■個人型確定拠出年金についてお伺いします。

Q27 個人型確定拠出年金【iDeCo（イデコ）】には以下の特徴があります。それぞれの特徴を読んで、各質問にあてはまるものを全てお答えください。

	①	②	③
	あなたか知っている特徴	あなたが魅力を感じた特徴	あなたが最も魅力を感じた特徴
	↓	↓	↓
掛金が全額所得控除される	■	■	●
掛金の運用は加入者自身で行い、受け取る年金資産の額は各自の運用成績により変動する	■	■	●
掛金の上限額は、加入者の職業等によって異なる	■	■	●
通常、金融商品の運用益には税金がかかるが、運用益も非課税で再投資される	■	■	●
運用する金融商品には元本確保型の定期預金や保険商品もある	■	■	●
金融商品の種類や、掛金の額は途中で変更することもできる	■	■	●
転職・離職の際にそれまで積み立てた資産を持ち運ぶことができる	■	■	●
口座管理手数料などがかかる	■	■	●
積み立てた年金資産は、原則60歳から受け取ることができる	■	■	●
受け取るときに税制優遇措置がある（一時金は「退職所得控除」年金は「公的年金等控除」）	■	■	●
通算で加入者期間が10年に満たない場合は受給開始可能年齢が繰り下げられる	■	■	●
口座は70歳まで継続できる	■	■	●
わからない・特にない	■	■	●

## 添付資料：調査票

### <Q28聴取対象：60歳未満(Q2<60)>

#### ■個人型確定拠出年金についてお伺いします。

**Q28** 下記の説明を読んで、あなたは今後個人型確定拠出年金制度をどの程度利用したいと思えますか。現在利用している方は、今後どの程度利用し続けたいとお考えですか。あてはまるものを1つだけお答えください。

個人型確定拠出年金とは、国民年金や厚生年金保険などの公的年金と異なり、加入者自身が運用を行う私的年金制度です。  
「損金は全額所得控除」「運用益は非課税で再投資可能」「受け取り時の控除措置」など、様々な税制優遇措置を受けることができます。  
また転職・離職の際にそれまで積み立てた資産を持ち運ぶことができます。  
但し原則として60歳まで引き出しができません。また口座管理費などの手数料がかかります。

- 利用したい、利用し続けたい
- やや利用したい、やや利用し続けたい
- どちらともいえない
- あまり利用したくない、あまり利用し続けたくない
- 利用したくない、利用し続けたくない

### <Q29聴取対象：企業型または個人型確定拠出年金認知者(Q14④=1or2 または Q14⑤=1or2)>

#### ■企業型確定拠出年金、個人型確定拠出年金【iDeCo（イデコ）】についてお伺いします

企業型確定拠出年金、個人型確定拠出年金【iDeCo（イデコ）】をご存知の方にお伺いします。

**Q29** 2022年から、確定拠出年金制度が以下のように改正されることをご存じですか。

- ・企業型確定拠出年金の加入可能年齢が65歳未満から70歳未満に拡大
- ・個人型確定拠出年金【iDeCo（イデコ）】の加入可能年齢が60歳未満から65歳未満に拡大
- ・それぞれの確定拠出年金制度の受給開始上限が75歳に延長

- 知っていて興味がある
- 知っているが興味はない
- 知らないが興味はある
- 知らないし興味はない



## 添付資料：調査票

### <Q30聴取対象：60歳未満の企業型確定拠出年金口座開設・現在金融商品保有者 且つ 個人型確定拠出年金口座未開設者(Q2<60 且つ Q15\_2①=1 且つ Q15\_2②=2or3)>

#### ■企業型確定拠出年金についてお伺いします。

企業型確定拠出年金で金融資産を保有している方にお伺いします。

**Q30** あなたの職場は企業型確定拠出年金における、マッチング拠出制度を導入していますか。  
またマッチング拠出の加入者拠出をしていますか。

※マッチング拠出とは、確定拠出年金において、事業主（企業）の拠出額に上乘せする形で加入者（従業員）が拠出できる制度です。

- 現在導入しており、加入者拠出もしている
- 現在導入しているが、加入者拠出はしていない
- 現在導入していない
- わからない/マッチング拠出制度を知らない

### <Q31④⑤聴取対象：60歳未満全員(Q2<60)>

#### ■投資制度についてお伺いします。

**Q31** 各制度で新規投資、追加投資（増額）を考えるとした場合、あなたはどのような金融商品を選択しますか。お気持ちに最も近いものを1つだけお答えください。

値上がりの期待が持てるもの  
(値下がりのリスクがあっても良い)  
比較的高い分配が期待できるもの  
(値下がりのリスクがあっても良い)  
安定した利回りを目標とするもの  
(値下がりのリスクは少なからず良い)  
元本の安全性が高いもの  
(利回りは小さくても良い)

①	NISA	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
②	つみたてNISA	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
③	ジュニアNISA	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
④	企業型確定拠出年金	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
⑤	個人型確定拠出年金 【iDeCo (イデコ)】	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>